
令和2年度（2020年度）
吹田市市政モニタリング調査報告書

令和3年（2021年）3月

吹 田 市

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査項目	1
3	調査対象	1
4	調査期間	1
5	調査方法	1
6	回収状況	1
7	調査結果の表示方法	2
II	調査結果	3
1	標本構成	3
2	地域との関わりについて	14
第1章	防災について	22
第2章	パスポートセンターについて	47
第3章	市民自治について	62
第4章	住みやすさについて	99
第5章	吹田市情報発信プラザ（Inforest すいた）について.....	108
第6章	ひきこもりについて	122
第7章	地球環境問題（地球温暖化、生物多様性等）について	132
第8章	市政モニタリング調査について	164
III	調査に対する意見・感想	166
IV	調査票	168

I 調査の概要

1 調査の目的

市民参画のまちづくりのため、市民の意見をうかがうことにより、その声を市政に反映することを目的とする。

2 調査項目

属性（年齢、性別、職業、通勤・通学地、配偶者の有無、同居家族、年収、住宅の種類）、居住地域、居住地域の小学校区、居住年数、以前の居住地、永住意思、ふるさと意識、防災について、パスポートセンターについて、市民自治について、住みやすさについて、吹田市情報発信プラザ（Inforest すいた）について、ひきこもりについて、地球環境問題（地球温暖化、生物多様性等）について、市政モニタリング調査について、調査への感想

3 調査対象

- (1) 調査地域：吹田市全域
- (2) 母集団：令和2年(2020年)7月31日現在、
18歳以上85歳未満の吹田市在住者298,400名
- (3) 計画標本：2,000名
- (4) 抽出方法：層化系統無作為抽出方法

4 調査期間

2020年9月1日（火）～9月30日（水）


5 調査方法

郵送調査法（お礼状兼督促状を1回送付）

6 回収状況

- (1) 回収票数 1,362通
- (2) 無効票数 9通
- (3) 有効票数（率） 1,353通（67.7%）
- (4) 調査不能票数 638通

7 調査結果の表示方法

- 回答は各質問の回答者数を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- 調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを  で網かけをしています。（無回答を除く）

II 調査結果

1 標本構成

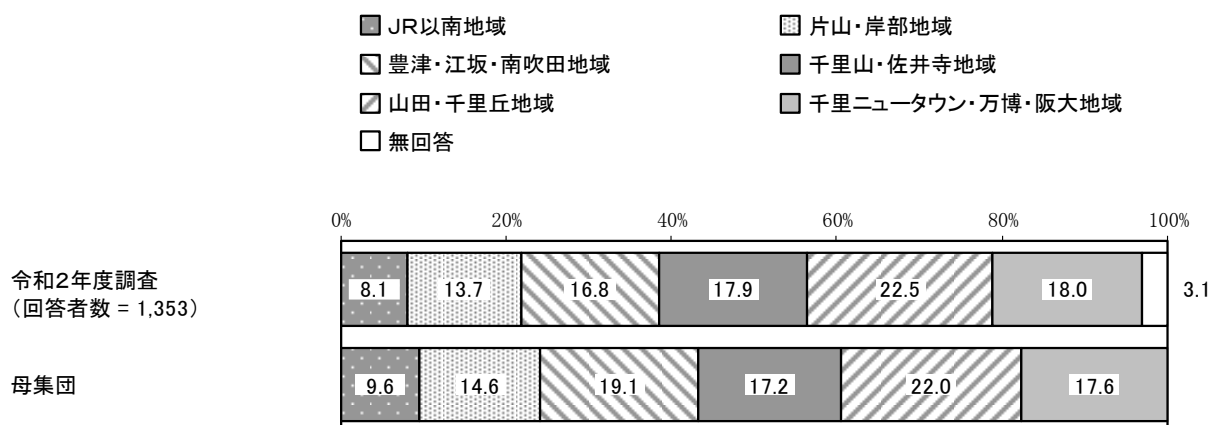
ここでは、回答者の基本属性について集計し、回収標本の特徴を示します。また、母集団（令和2年(2020年)7月31日現在）と比較可能な項目についても示しています。なお、無回答の算入や除外、四捨五入の処理などによって、百分率の合計が100%にならない場合もあります。

(1) 居住地域（問10）

「山田・千里丘地域」の割合が22.5%と最も高く、次いで「千里ニュータウン・万博・阪大地域」の割合が18.0%、「千里山・佐井寺地域」の割合が17.9%となっています。

母集団と比較すると、大きな違いはみられません。

図表1 居住地域（単純回答）

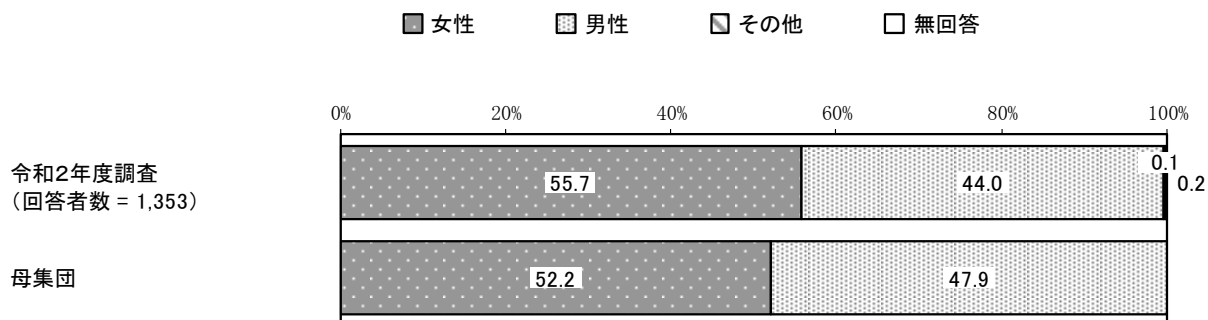


(2) 性別 (問2)

「女性」の割合が55.7%、「男性」の割合が44.0%となっており、「女性」が「男性」を11.7ポイント上回っています。

母集団をみると、「女性」の割合が52.2%、「男性」の割合が47.9%となっており、「女性」が「男性」を4.3ポイント上回っています。

図表2 回答者の性別 (単純回答)



図表3 回答者の性別 (居住地域別)

単位：%

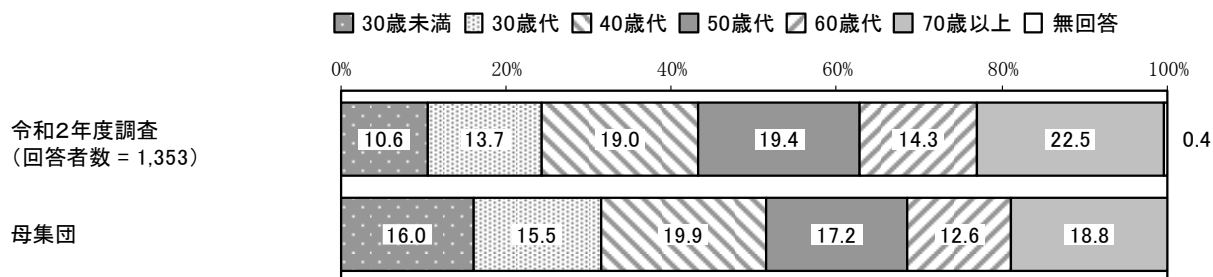
区分	有効回答数 (件)	女性	男性	その他	無回答	
全 体	1353	55.7	44.0	0.1	0.2	
母集団	298400	52.2	47.9	0.0	0.0	
居住地域別	JR以南	110	60.0	40.0	—	—
	片山・岸部	185	55.1	44.3	—	0.5
	豊津・江坂・南吹田	227	56.8	42.7	0.4	—
	千里山・佐井寺	242	55.4	44.6	—	—
	山田・千里丘	304	52.3	47.0	0.3	0.3
	千里NT・万博・阪大	243	55.6	44.4	—	—

(3) 年齢層 (問1)

「70歳以上」の割合が22.5%と最も高く、次いで「50歳代」の割合が19.4%、「40歳代」の割合が19.0%となっています。

母集団と比較すると、「30歳未満」の割合が少なくなっています。

図表4 回答者の年齢層 (単純回答)



図表5 回答者の年齢層 (居住地域別)

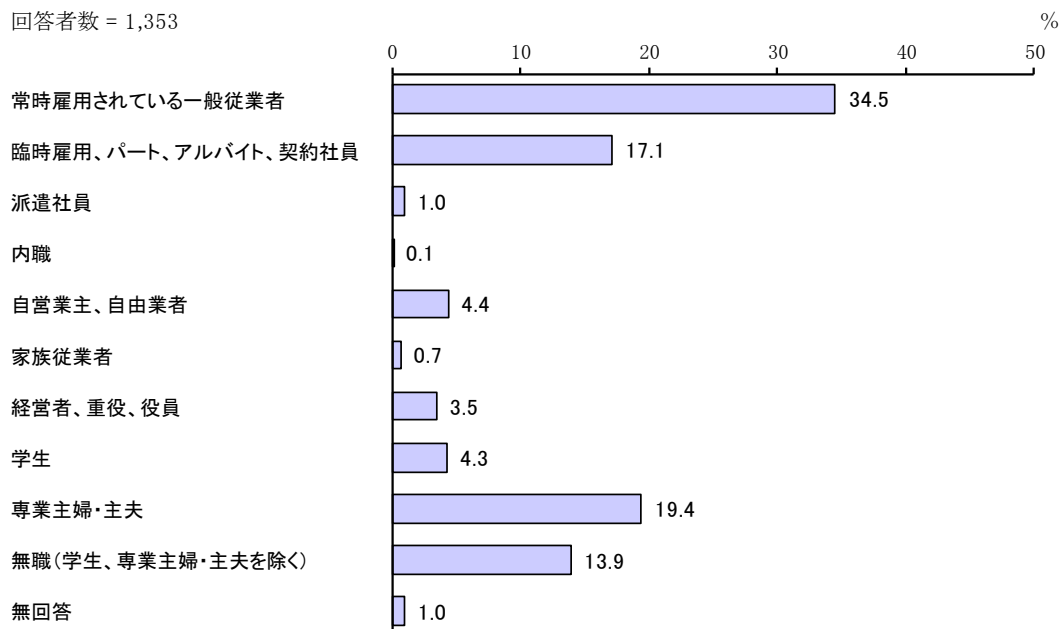
単位：%

区分		有効回答数 (件)	30歳未満	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
全体		1353	10.6	13.7	19.0	19.4	14.3	22.5	0.4
性別	女性	753	10.9	14.2	19.4	18.7	14.3	22.3	0.1
	男性	595	10.1	12.9	18.5	20.5	14.5	23.0	0.5
居住地域別	JR以南	110	9.1	12.7	17.3	17.3	13.6	30.0	—
	片山・岸部	185	9.7	15.1	18.9	21.1	13.5	21.1	0.5
	豊津・江坂・南吹田	227	16.7	17.6	17.2	18.5	11.9	18.1	—
	千里山・佐井寺	242	9.5	15.3	21.5	18.6	15.7	18.6	0.8
	山田・千里丘	304	9.9	12.5	18.1	21.4	15.5	22.7	—
	千里NT・万博・阪大	243	7.8	10.3	21.4	18.1	15.6	26.7	—

(4) 職業 (問3)

「常時雇用されている一般従業者」の割合が34.5%と最も高く、次いで「専業主婦・主夫」の割合が19.4%、「臨時雇用、パート、アルバイト、契約社員」の割合が17.1%となっています。

図表6 回答者の職業 (単純回答)



図表7 回答者の職業 (性別、年齢別、居住地域別)

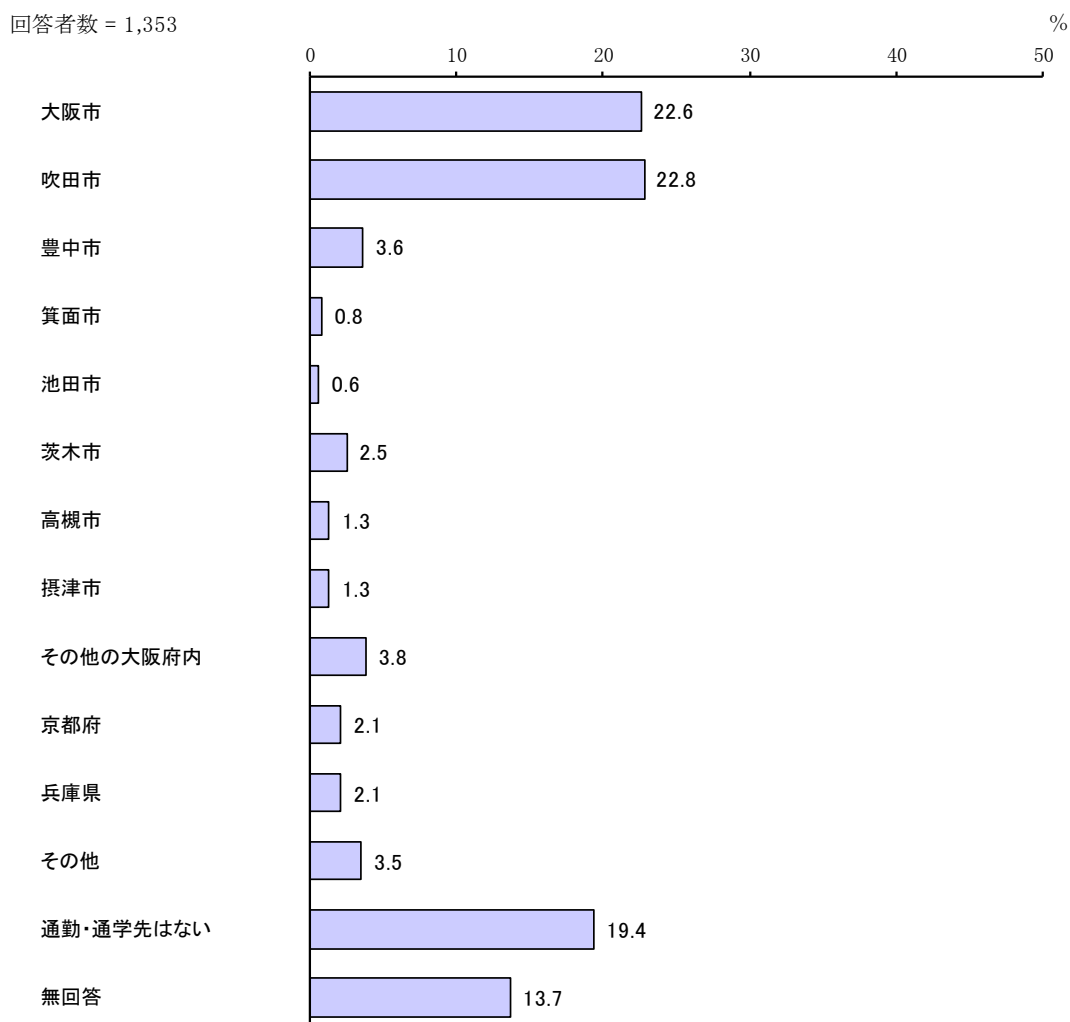
単位：%

区分	有効回答数(件)	一般従業者	常時雇用されている パート、アルバイト、 契約社員	派遣社員	内職	自営業主、自由業者	家族従業者	経営者、重役、役員	学生	専業主婦・主夫	無職(学生、専業主婦・主夫を除く)	無回答	
全体	1353	34.5	17.1	1.0	0.1	4.4	0.7	3.5	4.3	19.4	13.9	1.0	
性別	女性	753	21.6	23.2	1.5	—	1.7	1.2	1.9	5.4	33.5	8.9	1.1
	男性	595	50.8	9.6	0.5	0.2	7.7	0.2	5.7	2.9	1.7	20.3	0.5
年齢別	30歳未満	143	44.8	6.3	1.4	0.7	1.4	—	0.7	39.9	2.8	2.1	—
	30歳代	185	61.1	11.4	1.1	—	2.2	0.5	0.5	0.5	16.2	6.5	—
	40歳代	257	50.2	22.2	1.6	—	3.9	—	5.4	—	16.3	0.4	—
	50歳代	263	47.5	23.6	1.1	—	6.1	0.8	4.2	—	11.4	4.6	0.8
	60歳代	194	14.9	27.8	1.0	—	8.2	0.5	5.7	—	25.8	14.9	1.0
70歳以上	305	2.0	9.2	0.3	—	3.9	2.0	3.3	—	34.4	42.6	2.3	
居住地域別	JR以南	110	30.0	19.1	0.9	—	1.8	1.8	4.5	2.7	21.8	15.5	1.8
	片山・岸部	185	35.1	18.4	1.1	0.5	4.9	0.5	3.8	2.2	16.8	15.1	1.6
	豊津・江坂・南吹田	227	41.0	12.8	0.9	—	5.7	1.3	4.4	4.4	17.2	10.1	2.2
	千里山・佐井寺	242	33.1	16.5	1.2	—	5.0	0.8	5.0	5.0	21.1	12.0	0.4
	山田・千里丘	304	35.2	20.7	0.7	—	4.3	0.3	1.6	5.3	19.1	12.8	—
千里NT・万博・阪大	243	31.7	16.0	1.2	—	4.1	0.4	3.3	4.1	21.0	18.1	—	

(5) 通勤・通学地 (問4)

「吹田市」の割合が22.8%と最も高く、次いで「大阪市」の割合が22.6%、「通勤・通学先はない」の割合が19.4%となっています。

図表8 回答者の通勤・通学地 (単純回答)



図表9 回答者の通勤・通学地（性別、年齢別、居住地域別、職業別）

単位：％

区分		有効回答数 (件)	大阪市	吹田市	通勤・通学先はない	無回答
全体		1353	22.6	22.8	19.4	13.7
性別	女性	753	15.9	27.9	22.8	18.6
	男性	595	30.9	16.3	15.3	7.2
年齢別	30歳未満	143	28.0	27.3	2.8	1.4
	30歳代	185	32.4	18.4	15.7	6.5
	40歳代	257	33.5	24.9	12.5	4.7
	50歳代	263	29.3	27.4	11.8	4.6
	60歳代	194	17.0	24.2	23.7	18.0
	70歳以上	305	3.0	16.7	39.3	35.7
居住地域別	JR以南	110	20.9	24.5	19.1	16.4
	片山・岸部	185	22.7	25.4	17.8	15.1
	豊津・江坂・南吹田	227	24.7	24.2	16.3	11.5
	千里山・佐井寺	242	28.9	23.1	21.9	9.5
	山田・千里丘	304	18.8	22.7	16.4	14.5
	千里NT・万博・阪大	243	21.8	17.3	25.5	14.4
職業別	常時雇用者	467	45.8	16.3	—	0.2
	臨時雇用者	232	19.8	56.9	1.3	0.4
	派遣社員	14	42.9	7.1	—	—
	内職	1	—	100.0	—	—
	自営業主、自由業者	60	21.7	55.0	1.7	1.7
	家族従業者	10	—	70.0	10.0	10.0
	経営者、重役、役員	48	37.5	39.6	2.1	4.2
	学生	58	12.1	36.2	—	—
	専業主婦・主夫	262	0.4	3.4	55.0	40.5
無職	188	—	1.6	59.6	36.2	

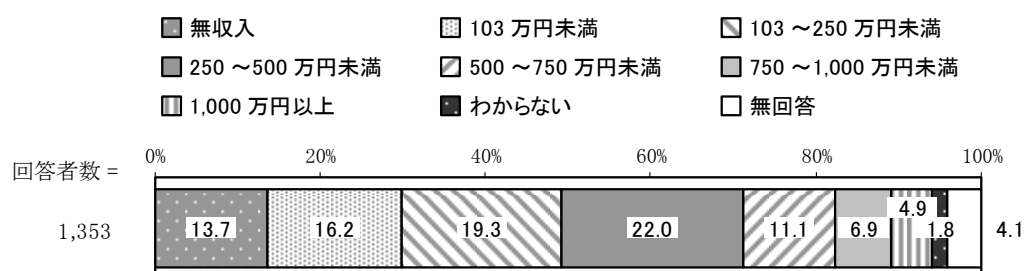
(6) 年間収入 (問7)

【回答者自身の年間収入】

「250～500 万円未満」の割合が 22.0%と最も高く、次いで「103～250 万円未満」の割合が 19.3%、「103 万円未満」の割合が 16.2%となっています。

なお、各年収層の中間値を回答者数に乗じて年間収入総額を算出、その算出額を有所得者数で除して加重平均値を算出すると、回答者自身の平均年間収入は 324.7 万円となります。

図表10 回答者自身の年間収入 (単純回答)



注) 加重平均値

- 加重平均値は、値を単純に平均するのではなく、値の個数を加味して平均すること。
- 各年収層の中間値と回答者数を掛け、収入総額を算出する。例えば、「103 万円未満」では、51.5 万円×219 人=11,279 万円となる。
- 全年収層の総収入額を回答者数で割った値が加重平均値となる。このケースでは、352,970 万円÷1087 人=324.7 万円となる。
- なお、「無回答」や「わからない」は計算から除かれている。

図表11 回答者自身の年間収入

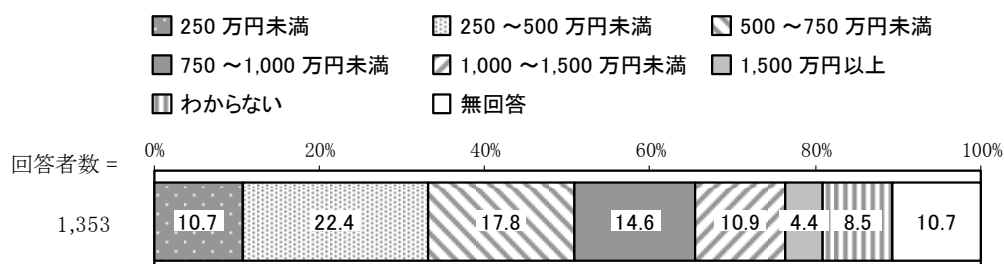
	回答者数	構成比 (%)	中間値 (万円)	収入総額 (万円)
無収入	186	13.7	—	—
103 万円未満	219	16.2	51.5	11,279
103～250 万円未満	261	19.3	176.5	46,067
250～500 万円未満	297	22.0	375.0	111,375
500～750 万円未満	150	11.1	625.0	93,750
750～1,000 万円未満	94	6.9	875.0	82,250
1,000 万円以上	66	4.9	125.0	8,250
わからない	25	1.8	—	—
無回答	55	4.1	—	—
合計	1353	100.0	—	—
有所得者数・収入総額	1087	—	—	352,970
平均年間収入(加重平均値)	—	—	—	324.7

【回答者の世帯の年間収入】

「250～500 万円未満」の割合が 22.4%と最も高く、次いで「500～750 万円未満」の割合が 17.8%、「750～1,000 万円未満」の割合が 14.6%となっています。

なお、各年収層の中間値を回答者数に乗じて年間収入総額を算出、その算出額を有所得者数で除して加重平均値を算出すると、回答者の世帯の平均年間収入は 679.4 万円となります。

図表12 回答者の世帯の年間収入（単純回答）



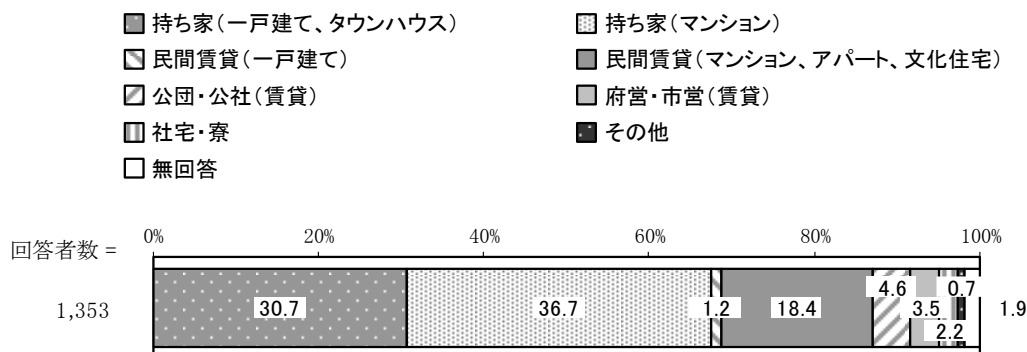
図表13 回答者の世帯の年間収入（単純回答）

	回答者数	構成比 (%)	中間値 (万円)	収入総額 (万円)
250 万円未満	145	10.7	125.0	18,125
250～500 万円未満	303	22.4	375.0	113,625
500～750 万円未満	241	17.8	625.0	150,625
750～1,000 万円未満	198	14.6	875.0	173,250
1,000～1,500 万円未満	147	10.9	1250.0	183,750
1,500 万円以上	59	4.4	1750.0	103,250
わからない	115	8.5	—	—
無回答	145	10.7	—	—
合計	1353	100.0	—	—
有所得者数・収入総額	1093	—	—	742,625
平均年間収入(加重平均値)	—	—	—	679.4

(7) 住宅の種類 (問8)

「持ち家 (マンション)」の割合が 36.7%と最も高く、次いで「持ち家 (一戸建て、タウンハウス)」の割合が 30.7%、「民間賃貸 (マンション、アパート、文化住宅)」の割合が 18.4%となっています。

図表14 回答者の住宅の種類 (単純回答)



図表15 回答者の住宅の種類 (性別・年齢別・居住地域別)

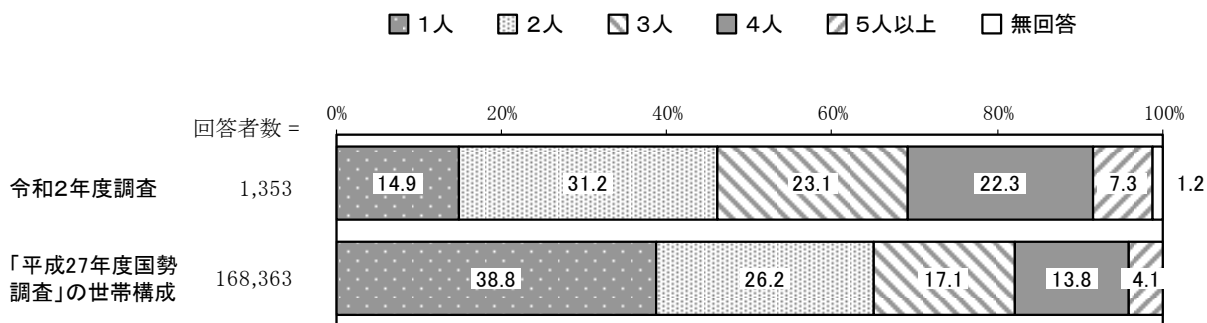
単位：%

区分	有効回答数 (件)	持ち家 (一戸建て、タウンハウス)	持ち家 (マンション)	民間賃貸 (一戸建て)	民間賃貸 (マンション、アパート、文化住宅)	公団・公社 (賃貸)	府営・市営 (賃貸)	社宅・寮	その他	無回答	
全体	1353	30.7	36.7	1.2	18.4	4.6	3.5	2.2	0.7	1.9	
性別	女性	753	29.7	36.1	1.2	19.9	4.5	4.0	1.5	0.7	2.4
	男性	595	31.8	37.8	1.2	16.5	4.7	3.0	3.2	0.7	1.2
年齢別	30歳未満	143	19.6	32.9	0.7	37.1	2.1	0.7	4.9	—	2.1
	30歳代	185	18.9	33.5	0.5	36.2	2.2	2.2	4.9	—	1.6
	40歳代	257	30.0	37.7	1.2	22.2	2.7	1.2	2.7	1.2	1.2
	50歳代	263	33.1	42.6	—	13.7	2.3	3.4	2.3	—	2.7
	60歳代	194	35.6	40.2	2.6	8.2	6.2	4.1	0.5	1.5	1.0
	70歳以上	305	38.7	32.8	2.0	6.6	9.8	7.5	—	1.0	1.6
居住地域別	JR以南	110	53.6	14.5	2.7	20.0	—	3.6	2.7	—	2.7
	片山・岸部	185	50.3	20.0	1.1	18.4	3.2	2.7	2.7	1.6	—
	豊津・江坂・南吹田	227	26.0	31.7	2.2	33.9	1.3	—	3.1	0.4	1.3
	千里山・佐井寺	242	36.4	31.8	0.8	24.8	2.1	0.8	2.1	0.4	0.8
	山田・千里丘	304	21.7	56.9	0.7	13.8	2.0	1.6	1.6	0.7	1.0
	千里NT・万博・阪大	243	16.9	46.5	0.8	3.7	15.6	13.2	2.1	0.8	0.4

(8) 世帯構成 (問5～問6)

本調査の回答者の世帯人員は「1人」世帯が14.9%であり、平成27年度の国勢調査での本市の「1人」世帯の割合(38.8%)の半数以下となっています。一方、「2人」世帯(31.2%)、「3人」世帯(23.1%)、「4人」世帯(22.3%)及び「5人以上」世帯(7.3%)は、本市の平成27年度の国勢調査による世帯構成を上回っています。

図表16 回答者の世帯人員



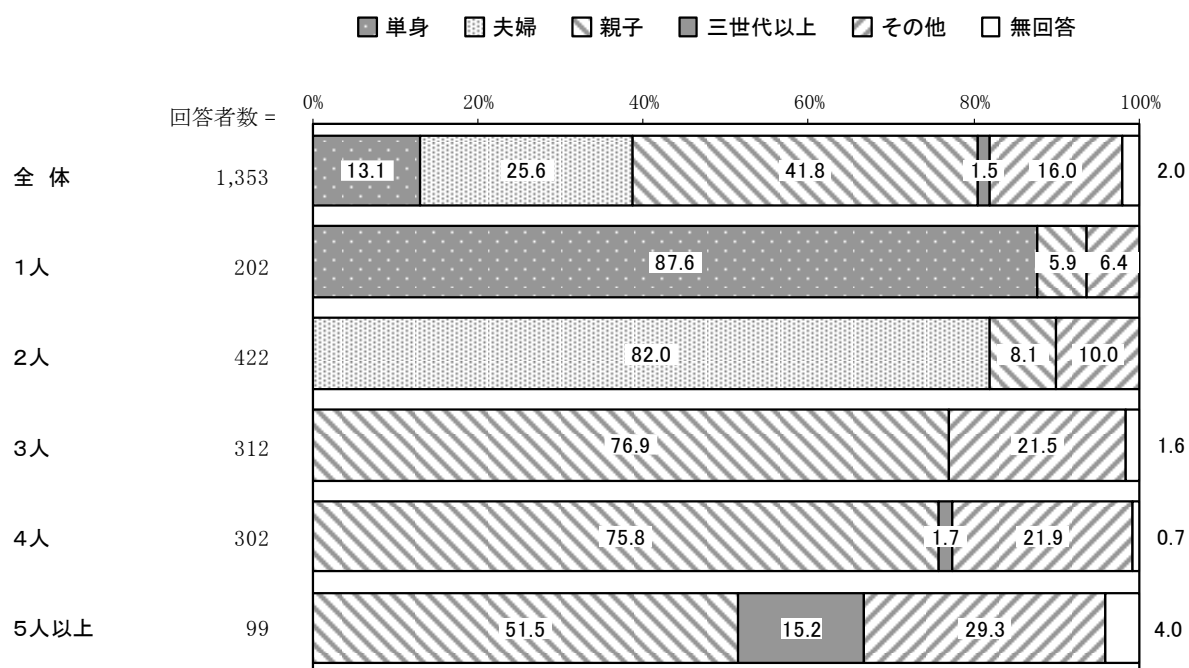
図表17 回答者の世帯人員

	アンケート調査		平成27年度国勢調査	
	回答者数	構成比 (%)	世帯数	構成比 (%)
1人	202	14.9	65,350	38.8
2人	422	31.2	44,107	26.2
3人	312	23.1	28,718	17.1
4人	302	22.3	23,286	13.8
5人以上	99	7.3	6,902	4.1
無回答	16	1.2	—	—
合計	1337	100.0	168,363	100.0
世帯人員	3837	—	374,468	—
1世帯当たり人員	2.87	—	2.22	—

回答者の家族構成は、「親子」の割合が 41.8%と最も高く、次いで「夫婦」の割合が 25.6%、「単身」の割合が 13.1%となっています。

世帯人員別で見ると、2人世帯で「夫婦」の割合が 82.0%を占めており、3人世帯、4人世帯で「親子」の割合が 75%を超えています。一方、5人以上世帯は「親子」が 51.5%を占めています。

図表18 回答者の家族構成

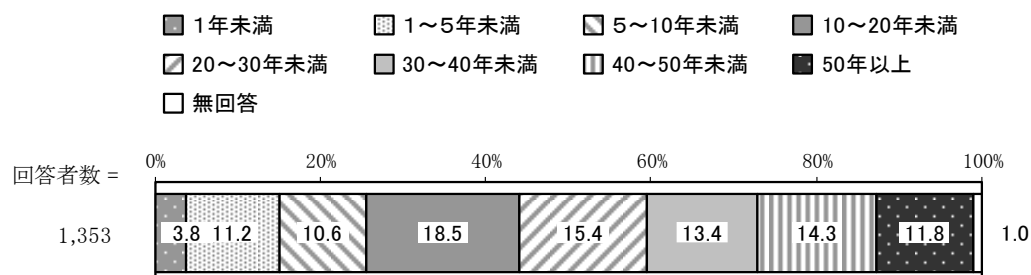


2 地域との関わりについて

(1) 居住年数 (問 12)

「10～20年未満」の割合が18.5%と最も高く、次いで「20～30年未満」の割合が15.4%、「40～50年未満」の割合が14.3%となっています。

図表19 回答者の居住年数 (単純回答)



年齢別で見ると、他に比べ、30歳代で「1～5年未満」の割合が高くなっています。40歳代以上では、年齢層が上がるにつれて居住年数が長い傾向がうかがえます。

図表20 回答者の居住年数（性別・年齢別・居住地別・職業別・居住形態別）

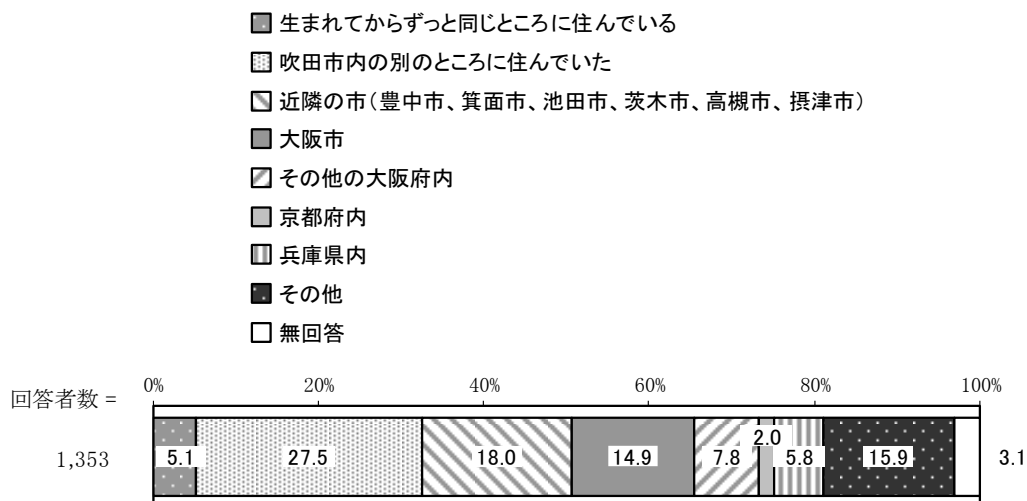
単位：％

区分		有効回答数 (件)	1年未満	1 ～ 5年未満	5 ～ 10年未満	10 ～ 20年未満	20 ～ 30年未満	30 ～ 40年未満	40 ～ 50年未満	50年以上	無回答
今回調査		1353	3.8	11.2	10.6	18.5	15.4	13.4	14.3	11.8	1.0
H28年度(2016年度)調査		1197	3.2	12.5	8.9	17.6	15.2	17.0	14.9	10.2	0.5
H24年度(2012年度)調査		1092	3.5	10.5	10.9	17.1	15.5	19.7	13.2	8.6	1.0
H21年度(2009年度)調査		1305	3.4	12.3	11.8	15.4	19.6	19.7	11.3	5.9	0.5
H20年度(2008年度)調査		1260	3.5	12.2	11.3	16.0	20.5	17.4	12.2	6.5	0.5
H14年度(2002年度)調査		3385	4.1	13.4	10.9	17.4	23.8	18.4	5.7	5.9	0.4
性別	女性	753	3.9	11.7	10.9	18.2	15.1	14.2	13.5	11.6	0.9
	男性	595	3.9	10.4	10.4	19.0	16.0	12.1	15.1	12.1	1.0
年齢別	30歳未満	143	13.3	19.6	7.0	34.3	25.9	—	—	—	—
	30歳代	185	7.0	29.2	22.7	10.8	8.1	21.1	—	—	1.1
	40歳代	257	5.1	14.0	21.0	24.5	9.3	10.1	14.4	—	1.6
	50歳代	263	0.8	6.8	7.2	25.5	28.9	9.1	5.7	14.4	1.5
	60歳代	194	1.0	3.6	3.6	11.3	16.5	26.3	20.6	16.5	0.5
	70歳以上	305	1.0	2.0	3.9	9.2	8.2	13.1	32.8	29.2	0.7
居住地別	JR以南	110	3.6	10.9	5.5	11.8	14.5	10.0	15.5	28.2	—
	片山・岸部	185	5.4	8.6	9.2	13.5	16.2	16.2	12.4	17.8	0.5
	豊津・江坂・南吹田	227	6.2	19.4	15.0	16.7	12.3	9.3	10.1	9.7	1.3
	千里山・佐井寺	242	3.7	12.0	6.6	22.3	15.7	20.7	12.0	6.2	0.8
	山田・千里丘	304	2.6	6.9	9.9	21.4	17.1	14.1	20.1	7.2	0.7
	千里NT・万博・阪大	243	2.9	10.3	15.2	19.8	16.5	9.9	13.6	11.1	0.8
職業別	常時雇用者	467	7.3	18.4	14.3	18.8	17.3	11.8	6.0	4.9	1.1
	臨時雇用者	232	1.3	8.2	11.2	19.8	20.7	15.5	13.4	8.2	1.7
	派遣社員	14	—	7.1	14.3	21.4	14.3	28.6	14.3	—	—
	内職	1	—	—	—	—	100.0	—	—	—	—
	自営業主、自由業者	60	1.7	5.0	—	16.7	13.3	13.3	30.0	20.0	—
	家族従業者	10	—	10.0	—	—	20.0	—	50.0	20.0	—
	経営者、重役、役員	48	2.1	8.3	10.4	10.4	14.6	16.7	14.6	22.9	—
	学生	58	5.2	8.6	3.4	63.8	19.0	—	—	—	—
	専業主婦・主夫	262	2.7	9.9	11.1	13.7	10.3	14.9	21.8	14.9	0.8
	無職	188	1.6	3.2	6.9	12.8	11.2	16.0	22.9	24.5	1.1
居住形態別	持ち家(一戸建て)	416	1.0	4.8	6.7	17.1	15.4	15.9	16.8	21.9	0.5
	持ち家(マンション)	497	0.6	4.6	13.5	23.3	20.3	14.5	15.7	6.2	1.2
	民間賃貸(一戸建て)	16	6.3	6.3	—	6.3	6.3	6.3	25.0	43.8	—
	民間賃貸(マンション)	249	12.0	32.9	12.4	16.9	9.6	8.4	4.0	2.4	1.2
	公団・公社(賃貸)	62	4.8	8.1	6.5	14.5	11.3	17.7	25.8	9.7	1.6
	府営・市営(賃貸)	48	6.3	2.1	4.2	8.3	14.6	14.6	22.9	27.1	—
	社宅・寮	30	23.3	40.0	20.0	10.0	3.3	—	3.3	—	—
	その他	9	11.1	33.3	22.2	11.1	—	—	11.1	11.1	—

(2) 直前の居住地 (問 13)

「吹田市内の別のところに住んでいた」の割合が 27.5%と最も高く、次いで「近隣の市（豊中市、箕面市、池田市、茨木市、高槻市、摂津市）」の割合が 18.0%、「大阪市」の割合が 14.9%となっています。

図表21 回答者の直前の居住地（単純回答）



【その他の記述】(一部)

- 東京都
- 神奈川県
- 愛知県
- 埼玉県
- 広島県
- 福岡県
- 海外 (アメリカ、中国)
- など

年齢別でみると、他に比べ、50歳代、60歳代で「吹田市内の別のところに住んでいた」の割合が高くなっています。

居住形態別でみると、「持ち家（一戸建て）」「持ち家（マンション）」「民間賃貸（一戸建て）」及び「府営・市営（賃貸）」では「吹田市内の別のところに住んでいた」が最も多く、「民間賃貸（マンション）」及び「社宅・寮」は「その他」が、「公団・公社（賃貸）」では「近隣の市」が最も多く、居住形態によって差がみられます。

図表22 直前の居住地（性別・年齢別・居住地別・職業別・居住形態別）

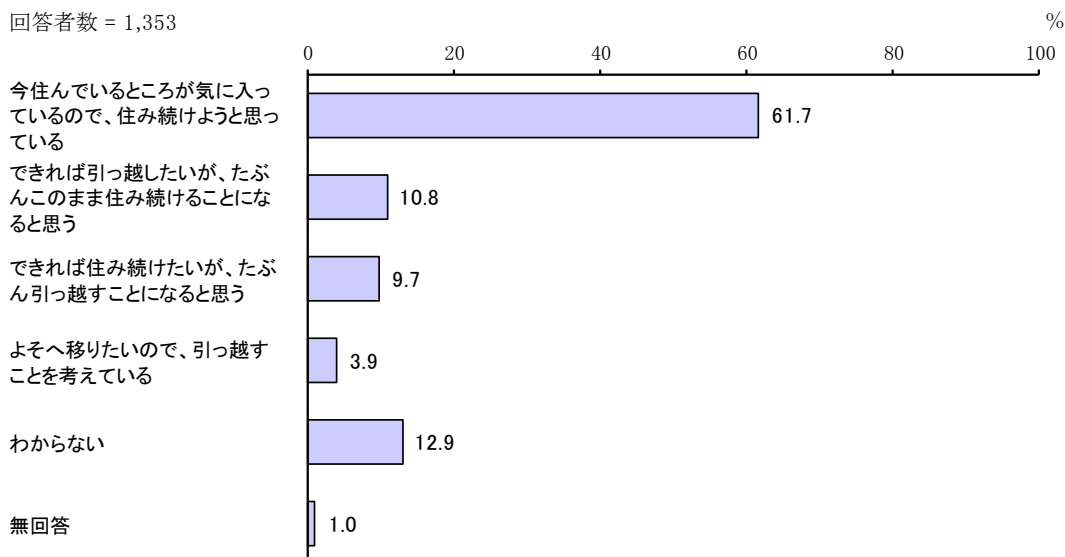
単位：％

区分		有効回答数 (件)	生まれてからずっと同じところに住んでいる	吹田市内の別のところに住んでいた	近隣の市	大阪市	その他の大阪府内	京都府内	兵庫県内	その他	無回答
今回調査		1353	5.1	27.5	18.0	14.9	7.8	2.0	5.8	15.9	3.1
H28年度(2016年度)調査		1197	3.6	31.8	18.1	13.2	8.2	2.2	5.6	16.7	0.6
H24年度(2012年度)調査		1092	5.8	26.4	18.4	13.4	8.0	2.4	6.6	17.0	2.1
H21年度(2009年度)調査		1305	6.8	25.6	18.2	15.9	7.8	2.1	6.5	16.8	0.2
H20年度(2008年度)調査		1260	6.8	25.8	17.4	16.5	7.1	1.4	6.7	17.5	0.8
H19年度(2007年度)調査		1222	7.0	24.3	19.8	16.0	7.9	2.1	7.4	15.2	0.3
H18年度(2006年度)調査		1632	5.8	22.5	17.6	18.2	8.0	2.3	8.5	16.2	1.0
H14年度(2002年度)調査		3385	9.2	35.8	15.1	13.7	5.6	1.6	5.6	13.0	0.4
性別	女性	753	4.1	29.0	17.9	14.6	8.0	2.1	5.3	15.9	3.1
	男性	595	6.1	25.9	18.2	15.5	7.6	1.7	6.4	15.8	3.0
年齢別	30歳未満	143	16.1	22.4	14.0	7.7	9.8	3.5	4.2	18.2	4.2
	30歳代	185	5.4	23.2	14.6	17.8	7.6	2.7	4.9	20.5	3.2
	40歳代	257	3.5	25.3	14.0	16.3	8.9	1.6	6.2	21.4	2.7
	50歳代	263	4.2	31.9	21.3	11.8	7.6	1.5	4.2	15.2	2.3
	60歳代	194	3.1	32.5	18.0	14.9	6.2	1.0	9.3	13.4	1.5
	70歳以上	305	3.3	27.5	22.6	18.0	7.2	2.0	5.9	9.5	3.9
居住地別	JR以南	110	5.5	31.8	12.7	17.3	5.5	—	9.1	13.6	4.5
	片山・岸部	185	9.7	29.7	14.1	14.1	7.6	2.7	4.9	15.1	2.2
	豊津・江坂・南吹田	227	3.5	23.3	11.9	18.9	7.9	2.6	5.3	22.5	4.0
	千里山・佐井寺	242	4.5	28.1	12.8	14.0	7.9	2.1	8.3	20.2	2.1
	山田・千里丘	304	4.3	32.6	25.0	11.2	6.6	3.0	3.3	11.8	2.3
千里NT・万博・阪大	243	4.1	22.6	23.9	17.3	10.3	0.8	6.6	11.9	2.5	
職業別	常時雇用者	467	5.1	21.2	20.3	15.6	8.6	1.5	6.4	18.6	2.6
	臨時雇用者	232	3.0	35.8	15.9	17.2	5.6	0.9	5.2	14.7	1.7
	派遣社員	14	14.3	28.6	14.3	14.3	7.1	7.1	—	14.3	—
	内職	1	—	—	—	—	100.0	—	—	—	—
	自営業主、自由業者	60	6.7	31.7	16.7	18.3	6.7	1.7	6.7	11.7	—
	家族従業者	10	—	60.0	20.0	—	10.0	10.0	—	—	—
	経営者、重役、役員	48	12.5	25.0	16.7	6.3	12.5	2.1	6.3	18.8	—
	学生	58	24.1	31.0	10.3	5.2	5.2	1.7	1.7	15.5	5.2
	専業主婦・主夫	262	0.8	30.2	14.5	15.3	8.0	3.1	6.5	18.7	3.1
	無職	188	4.8	26.6	22.3	15.4	8.0	1.6	5.9	9.0	6.4
居住形態別	持ち家(一戸建て)	416	8.7	32.0	14.4	16.6	7.0	1.7	6.7	11.8	1.2
	持ち家(マンション)	497	4.2	29.0	23.1	14.1	8.0	2.2	5.4	11.7	2.2
	民間賃貸(一戸建て)	16	6.3	56.3	6.3	6.3	12.5	—	—	6.3	6.3
	民間賃貸(マンション)	249	1.6	19.7	12.4	14.5	7.6	3.2	5.6	29.7	5.6
	公団・公社(賃貸)	62	6.5	14.5	29.0	25.8	9.7	—	6.5	4.8	3.2
	府営・市営(賃貸)	48	6.3	35.4	18.8	16.7	10.4	—	6.3	4.2	2.1
	社宅・寮	30	—	6.7	6.7	—	6.7	—	6.7	66.7	6.7
	その他	9	—	33.3	22.2	—	—	—	—	44.4	—

(3) 永住意識 (問 14)

「今住んでいるところが気に入っているので、住み続けようと思っている」の割合が 61.7%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 12.9%、「できれば引っ越したいが、たぶんこのまま住み続けることになると思う」の割合が 10.8%となっています。

図表23 回答者の永住意識 (単純回答)



年齢別でみると、「今住んでいるところが気に入っているので、住み続けようと思っている」は「30歳未満」が 36.4%であるのに対し、「70歳以上」は 72.5%であり、年齢層が高くなるほど永住の傾向が強くなる傾向がうかがえます。

また、居住年数別でみると、居住年数が長いほど、永住の意向が強くなる傾向がうかがえます。

図表24 回答者の永住意識（性別・年齢別・居住地別・職業別・居住形態別）

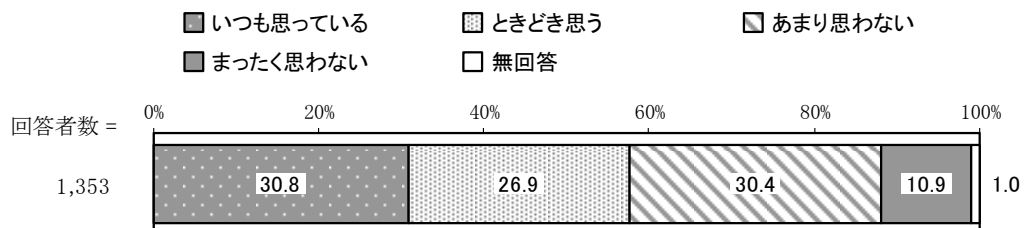
単位：％

区分		有効回答数 (件)	今住んでいるところが気に入っている ので、住み続けよう と思っている	できれば引っこ越したいが、 たぶんこのまま住み続ける ことになると思う	できれば住み続けたいが、 たぶん引っこ越すことにな ると思う	よそへ移りたいので、引っこ 越すことを考えている	わからない	無回答
今回調査		1353	61.7	10.8	9.7	3.9	12.9	1.0
H28年度(2016年度)調査		1197	61.5	12.3	10.9	2.5	12.6	0.3
H24年度(2012年度)調査		1092	57.1	13.2	11.8	3.3	12.8	1.8
H21年度(2009年度)調査		1305	52.6	17.1	13.2	4.8	11.4	0.9
H20年度(2008年度)調査		1260	50.7	16.7	13.9	5.9	12.0	0.8
H19年度(2007年度)調査		1222	54.9	14.3	12.1	5.8	12.7	0.2
H18年度(2006年度)調査		1632	51.2	16.2	13.1	4.8	13.8	0.9
H14年度(2002年度)調査		3385	53.8	13.4	11.5	9.9	11.1	0.3
性別	女性	753	58.3	13.4	9.7	4.2	13.5	0.8
	男性	595	65.9	7.6	9.7	3.5	12.3	1.0
年齢別	30歳未満	143	36.4	9.8	25.2	9.1	19.6	—
	30歳代	185	54.1	10.8	14.6	5.4	14.1	1.1
	40歳代	257	63.4	8.2	8.6	5.4	13.6	0.8
	50歳代	263	64.6	11.4	8.4	1.1	13.7	0.8
	60歳代	194	64.9	12.4	4.1	4.6	13.4	0.5
	70歳以上	305	72.5	12.1	5.2	1.3	7.5	1.3
居住地別	JR以南	110	59.1	14.5	9.1	5.5	11.8	—
	片山・岸部	185	61.6	10.8	9.7	3.2	14.1	0.5
	豊津・江坂・南吹田	227	55.5	7.9	12.8	4.8	18.1	0.9
	千里山・佐井寺	242	63.2	7.9	8.7	4.1	15.3	0.8
	山田・千里丘	304	63.5	14.8	10.2	3.0	8.2	0.3
	千里NT・万博・阪大	243	65.8	9.1	8.2	4.1	11.9	0.8
居住年数別	1年未満	52	44.2	1.9	32.7	1.9	19.2	—
	1～5年未満	151	38.4	9.9	19.9	10.6	21.2	—
	5～10年未満	144	59.0	9.0	8.3	4.9	18.8	—
	10～20年未満	250	62.8	10.4	10.8	4.0	12.0	—
	20～30年未満	209	63.6	12.0	11.0	2.4	11.0	—
	30～40年未満	181	69.6	11.6	2.2	3.9	12.7	—
	40～50年未満	193	72.0	12.4	2.6	2.6	9.8	0.5
	50年以上	159	70.4	13.2	7.5	1.3	6.3	1.3
居住形態別	持ち家(一戸建て)	416	75.7	10.6	3.1	2.2	7.9	0.5
	持ち家(マンション)	497	71.0	11.5	5.0	2.2	9.3	1.0
	民間賃貸(一戸建て)	16	50.0	18.8	12.5	6.3	12.5	—
	民間賃貸(マンション)	249	31.7	8.0	24.5	8.4	26.1	1.2
	公団・公社(賃貸)	62	58.1	6.5	11.3	4.8	17.7	1.6
	府営・市営(賃貸)	48	47.9	22.9	12.5	4.2	12.5	—
	社宅・寮	30	23.3	6.7	43.3	16.7	10.0	—
	その他	9	11.1	22.2	33.3	—	33.3	—

(4) ふるさと意識 (問 15)

「いつも思っている」の割合が 30.8%と最も高く、次いで「あまり思わない」の割合が 30.4%、「ときどき思う」の割合が 26.9%となっています。

図表25 回答者のふるさと意識 (単純回答)



居住年数別で見ると、居住年数が長いほど、ふるさと意識が強くなる傾向がうかがえます。平成 28 年度調査と比べると、大きな変化はみられません。

図表26 回答者のふるさと意識（性別・年齢別・居住地別・職業別・居住形態別）

単位：％

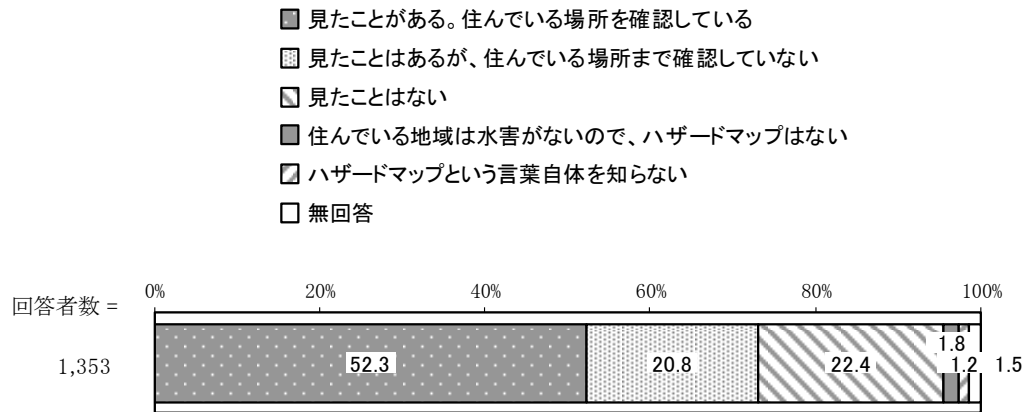
区分		有効回答数 (件)	いつも 思っている	ときどき 思う	あまり 思わない	まったく 思わない	無 回答
今回調査		1353	30.8	26.9	30.4	10.9	1.0
H28年度(2016年度)調査		1197	31.5	27.1	29.6	11.4	0.5
H24年度(2012年度)調査		1092	28.5	25.0	33.7	10.3	2.5
H21年度(2009年度)調査		1305	31.1	25.2	28.7	14.4	0.5
H20年度(2008年度)調査		1260	29.4	25.4	31.7	12.9	0.6
H19年度(2007年度)調査		1222	29.7	24.9	33.4	11.5	0.5
H18年度(2006年度)調査		1632	28.1	26.5	32.7	11.6	1.1
H14年度(2002年度)調査		3385	20.1	30.0	35.6	12.5	1.8
性別	女性	753	30.3	27.6	30.4	10.8	0.9
	男性	595	31.4	26.2	30.4	10.9	1.0
年齢別	30歳未満	143	34.3	26.6	23.8	15.4	—
	30歳代	185	25.4	22.2	32.4	18.9	1.1
	40歳代	257	23.7	29.2	30.4	15.6	1.2
	50歳代	263	28.1	28.5	33.8	8.4	1.1
	60歳代	194	33.5	24.2	34.5	7.2	0.5
	70歳以上	305	39.3	28.5	26.6	4.6	1.0
居住地別	JR以南	110	38.2	19.1	34.5	8.2	—
	片山・岸部	185	41.6	20.0	25.9	11.9	0.5
	豊津・江坂・南吹田	227	25.6	25.1	29.1	18.5	1.8
	千里山・佐井寺	242	31.8	27.3	29.3	10.7	0.8
	山田・千里丘	304	28.9	29.9	31.9	8.6	0.7
	千里NT・万博・阪大	243	23.5	33.3	34.2	8.2	0.8
居住年数別	1年未満	52	5.8	13.5	38.5	42.3	—
	1～5年未満	151	7.9	13.2	43.7	34.4	0.7
	5～10年未満	144	9.0	28.5	45.1	16.7	0.7
	10～20年未満	250	20.0	37.2	32.8	10.0	—
	20～30年未満	209	33.5	29.2	31.1	6.2	—
	30～40年未満	181	44.2	27.6	26.0	2.2	—
	40～50年未満	193	43.5	30.6	23.3	2.1	0.5
	50年以上	159	65.4	20.8	11.9	1.9	—
	永住意識別	住み続ける	835	38.9	28.3	26.8	6.0
たぶん住み続ける	146	21.9	22.6	40.4	14.4	0.7	
たぶん引っ越す	131	23.7	32.8	29.0	14.5	—	
引っ越す	53	17.0	24.5	28.3	30.2	—	
わからない	175	10.3	22.3	42.3	23.4	1.7	
居住形態別	持ち家(一戸建て)	416	41.6	25.5	26.9	5.8	0.2
	持ち家(マンション)	497	29.6	30.0	30.4	9.1	1.0
	民間賃貸(一戸建て)	16	37.5	37.5	18.8	6.3	—
	民間賃貸(マンション)	249	17.3	21.7	37.8	22.1	1.2
	公団・公社(賃貸)	62	35.5	22.6	33.9	6.5	1.6
	府営・市営(賃貸)	48	29.2	39.6	27.1	4.2	—
	社宅・寮	30	10.0	16.7	30.0	43.3	—
	その他	9	11.1	55.6	22.2	11.1	—

第1章 防災について

問16 あなたは、お住まいの地域の洪水ハザードマップを見たことがありますか。
(最もあてはまるものに1つだけ○印)

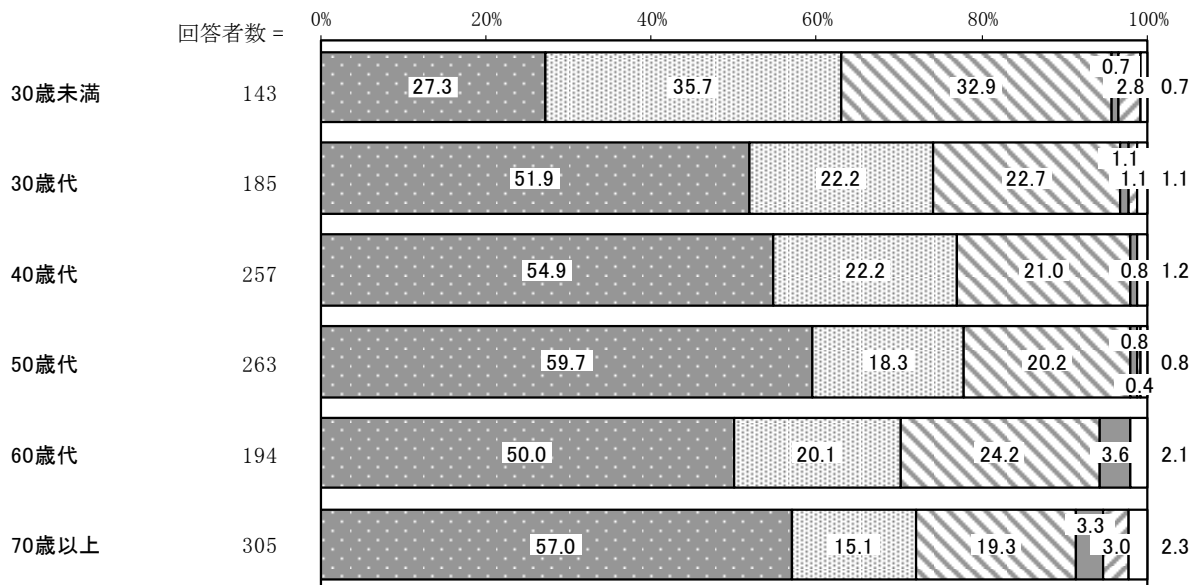
「見たことがある。住んでいる場所を確認している」の割合が52.3%と最も高く、次いで「見たことはない」の割合が22.4%、「見たことはあるが、住んでいる場所まで確認していない」の割合が20.8%となっています。

図表1-1 地域の洪水ハザードマップの認知度（単純回答）



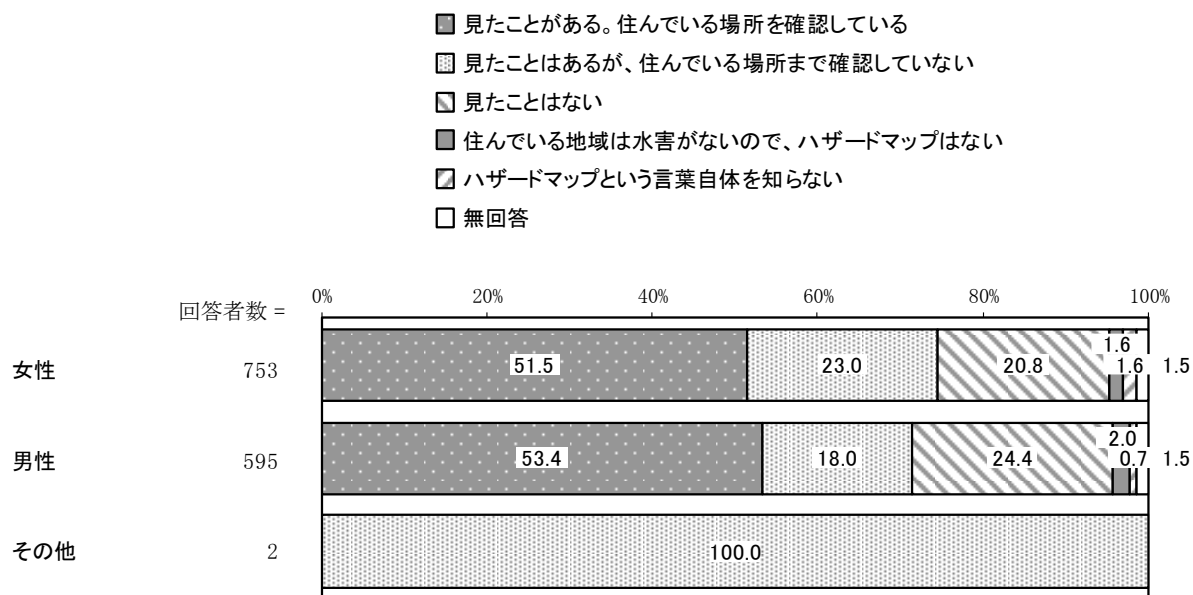
年齢別でみると、50歳代で「見たことがある。住んでいる場所を確認している」の割合が最も高くなっています。また、30歳未満で「見たことはない」の割合が高くなっています。

図表1-2 地域の洪水ハザードマップの認知度（年齢別）



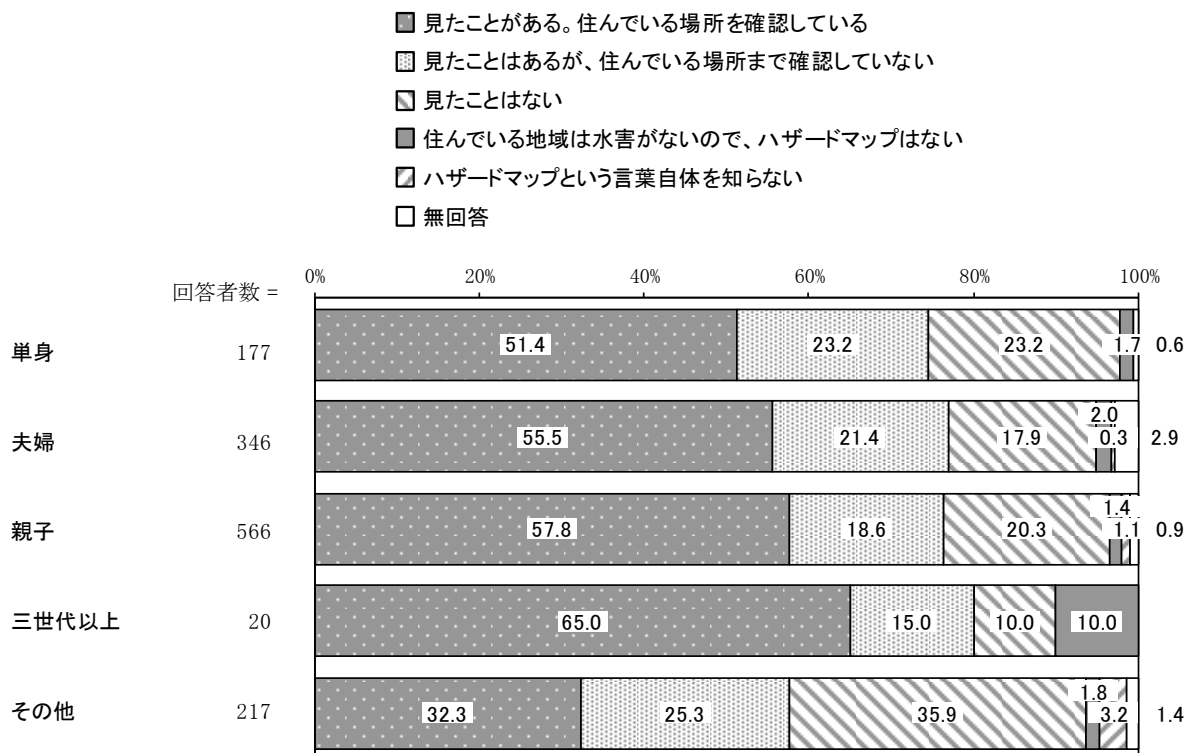
性別でみると、大きな差異はみられません。

図表 1-3 地域の洪水ハザードマップの認知度（性別）



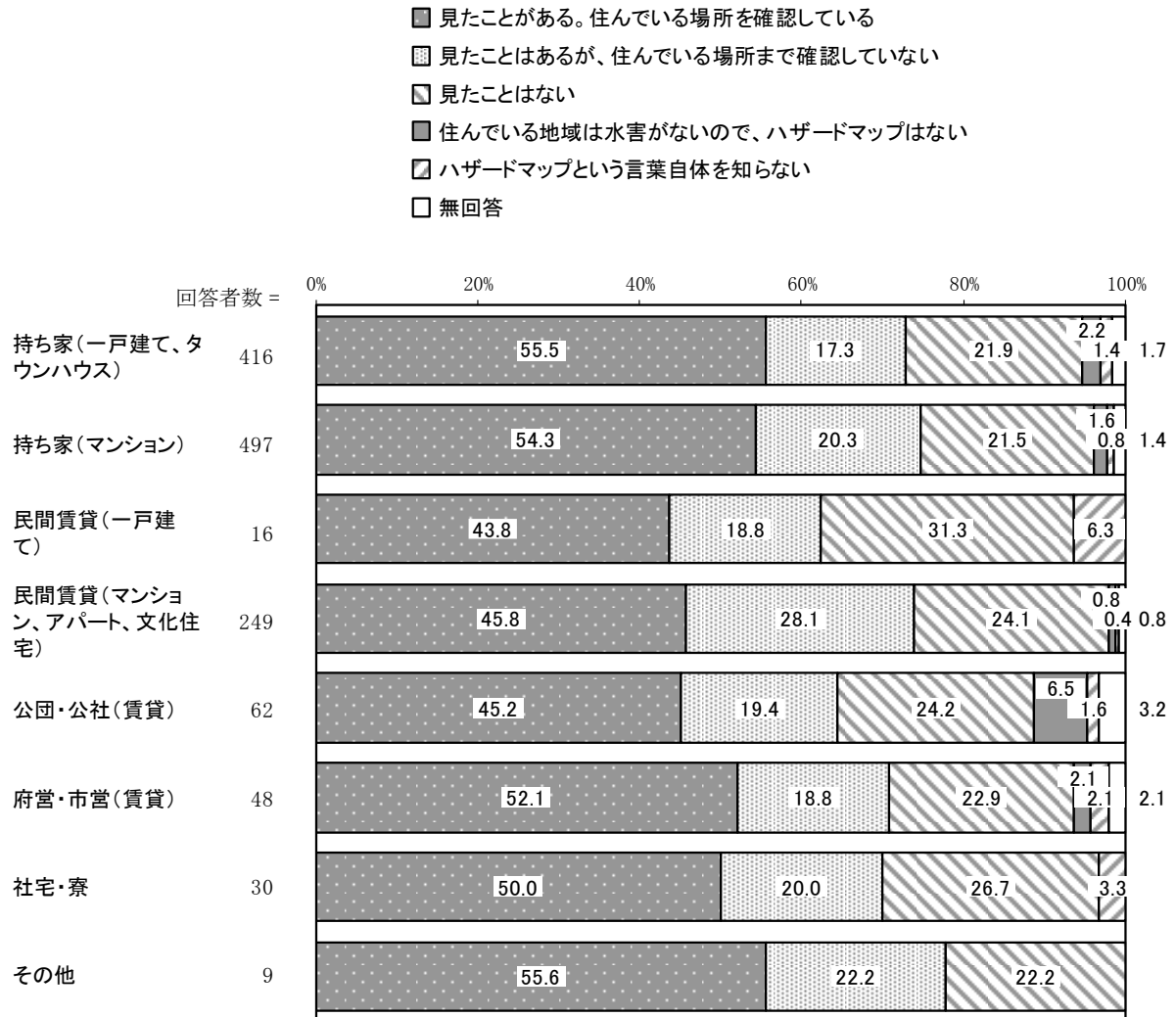
家族構成別でみると、他に比べ、親子、三世代以上で「見たことがある。住んでいる場所を確認している」の割合が高くなっています。

図表 1-4 地域の洪水ハザードマップの認知度（家族構成別）



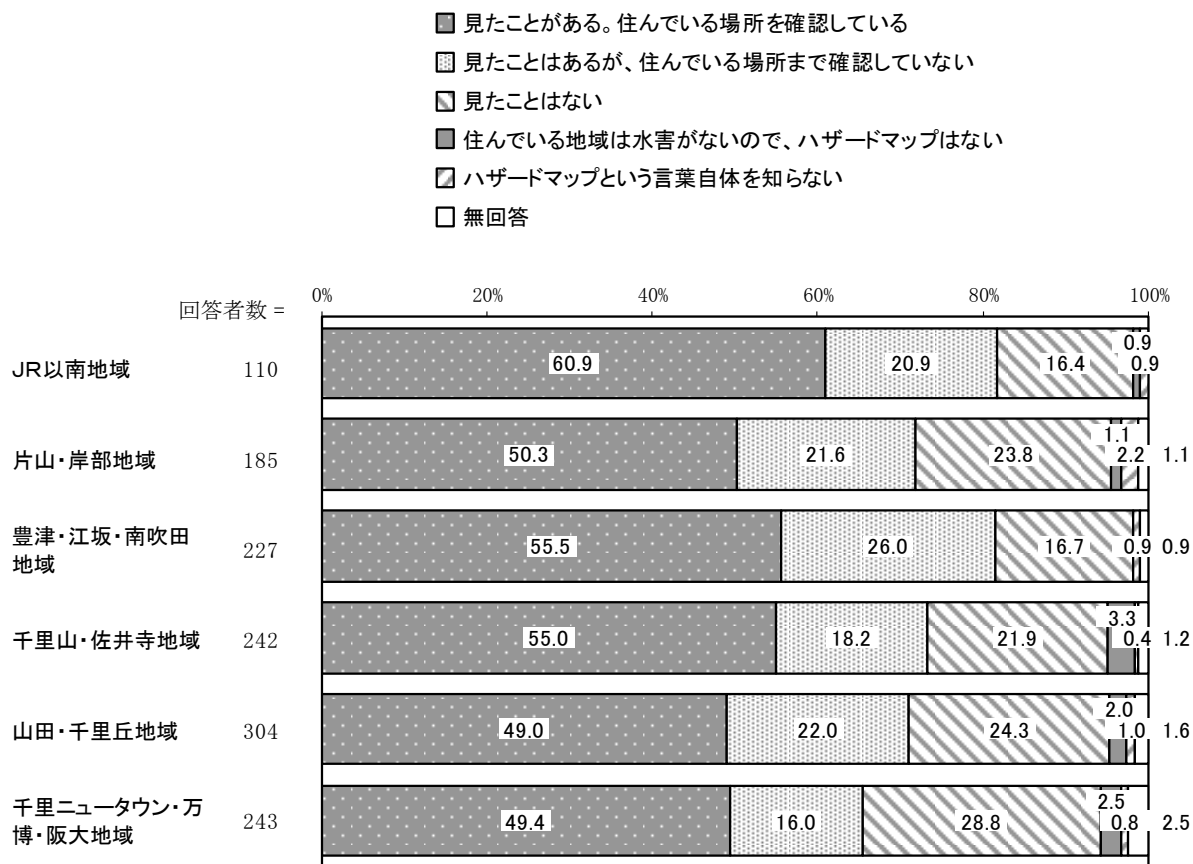
居住形態別で見ると、他に比べ、持ち家（一戸建て、タウンハウス）、持ち家（マンション）で「見たことがある。住んでいる場所を確認している」の割合が高くなっています。また、民間賃貸（一戸建て）で「見たことはない」の割合が高くなっています。

図表 1 - 5 地域の洪水ハザードマップの認知度（居住形態別）



居住地域別で見ると、他に比べ、JR以南地域で「見たことがある。住んでいる場所を確認している」の割合が高くなっています。また、千里ニュータウン・万博・阪大地域で「見たことはない」の割合が高くなっています。

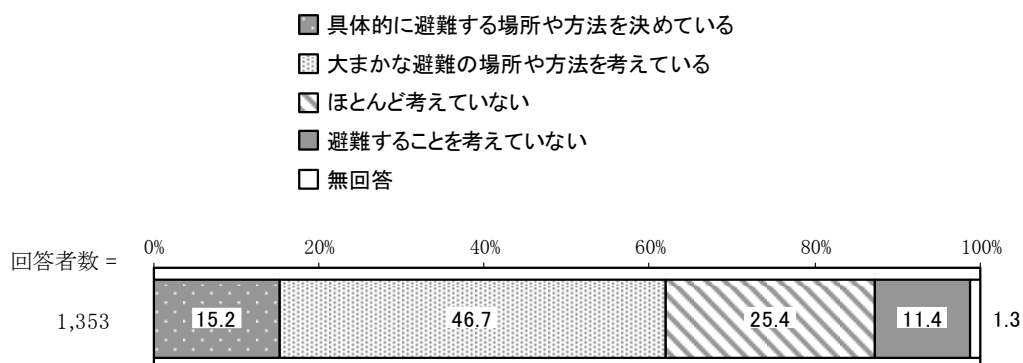
図表1-6 地域の洪水ハザードマップの認知度（居住地域別）



問 17 あなたは、風水害の際に避難する場所や方法を決めていますか。
 (最もあてはまるものに1つだけ○印)

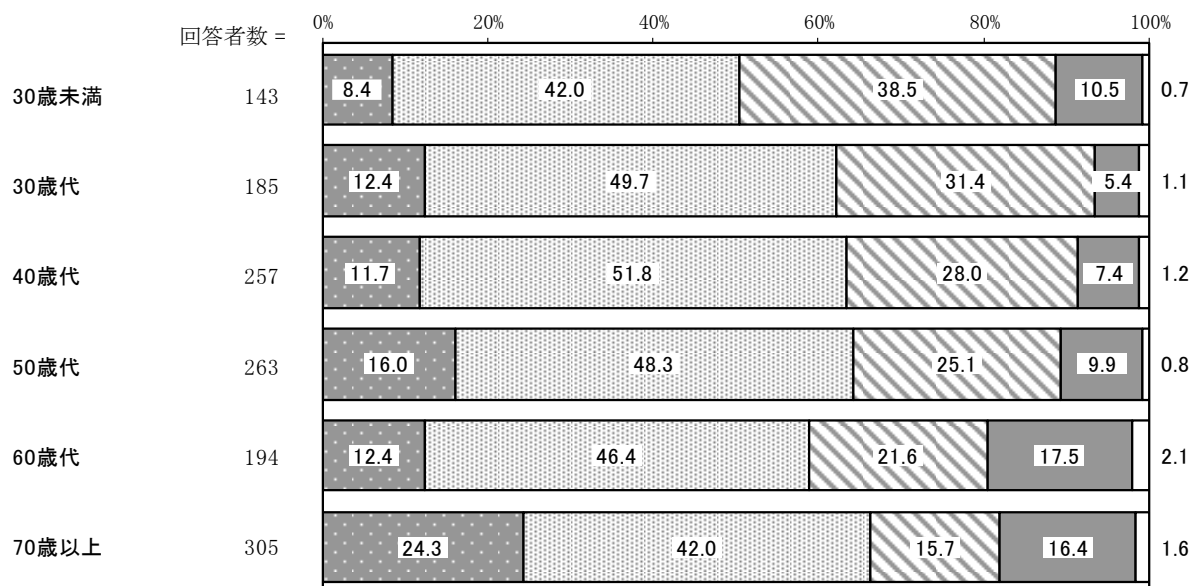
「大まかな避難の場所や方法を考えている」の割合が46.7%と最も高く、次いで「ほとんど考えていない」の割合が25.4%、「具体的に避難する場所や方法を決めている」の割合が15.2%となっています。

図表 1 - 7 風水害の際に避難する場所や方法 (単純回答)



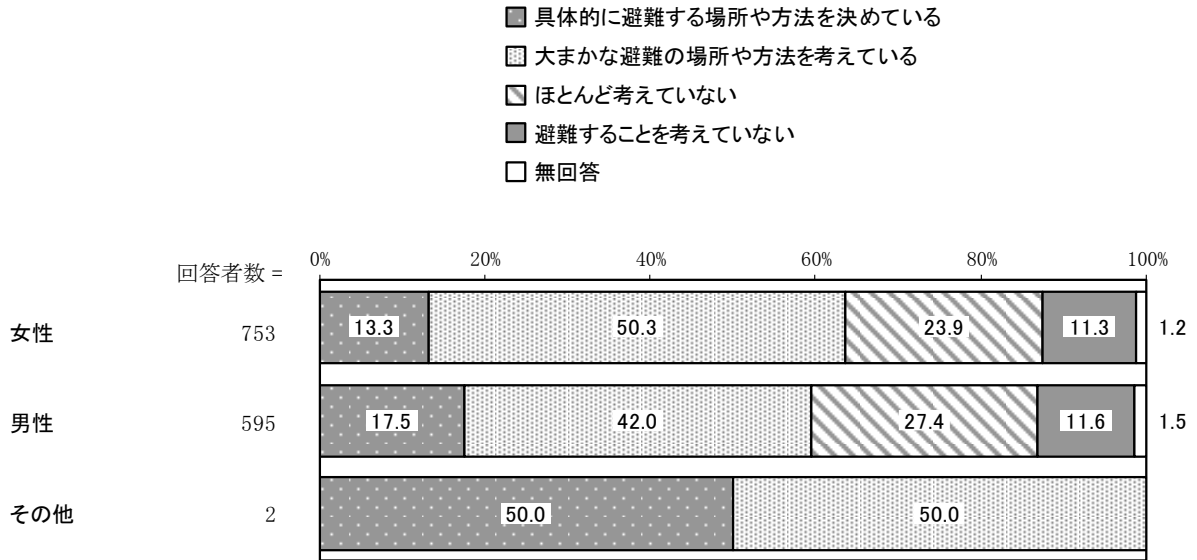
年齢別でみると、年齢が低くなるにつれ「ほとんど考えていない」の割合が高くなっています。

図表 1 - 8 風水害の際に避難する場所や方法 (年齢別)



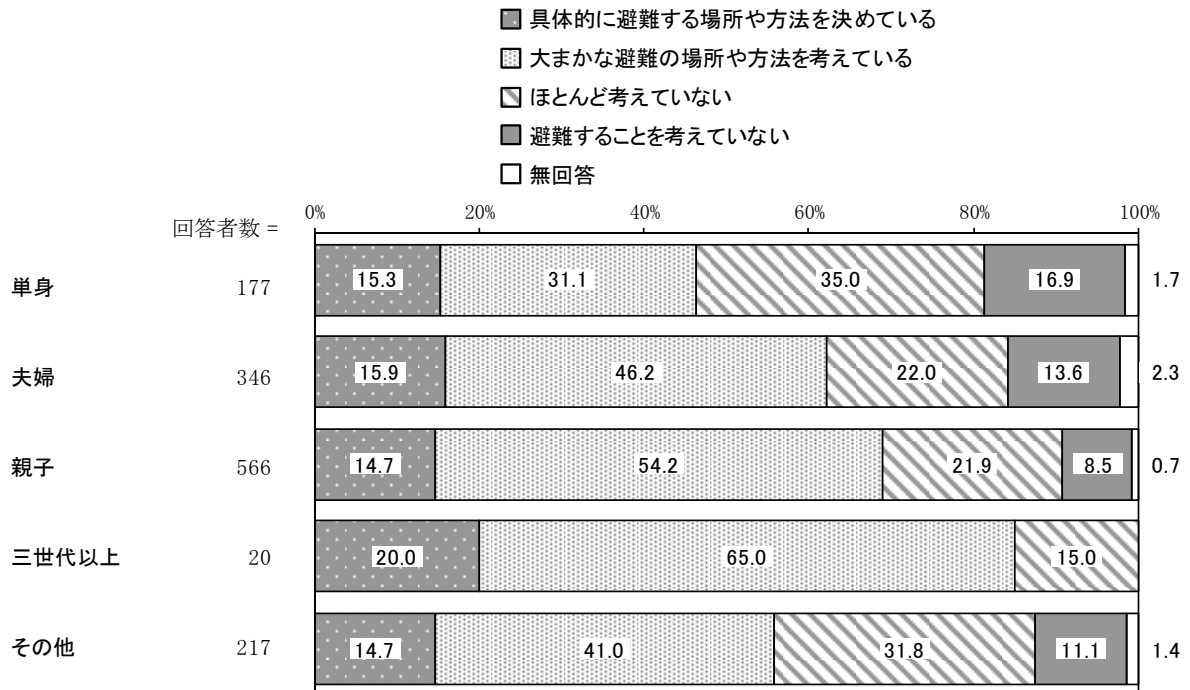
性別でみると、男性に比べ、女性で「大まかな避難の場所や方法を考えている」の割合が高くなっています。

図表 1-9 風水害の際に避難する場所や方法（性別）



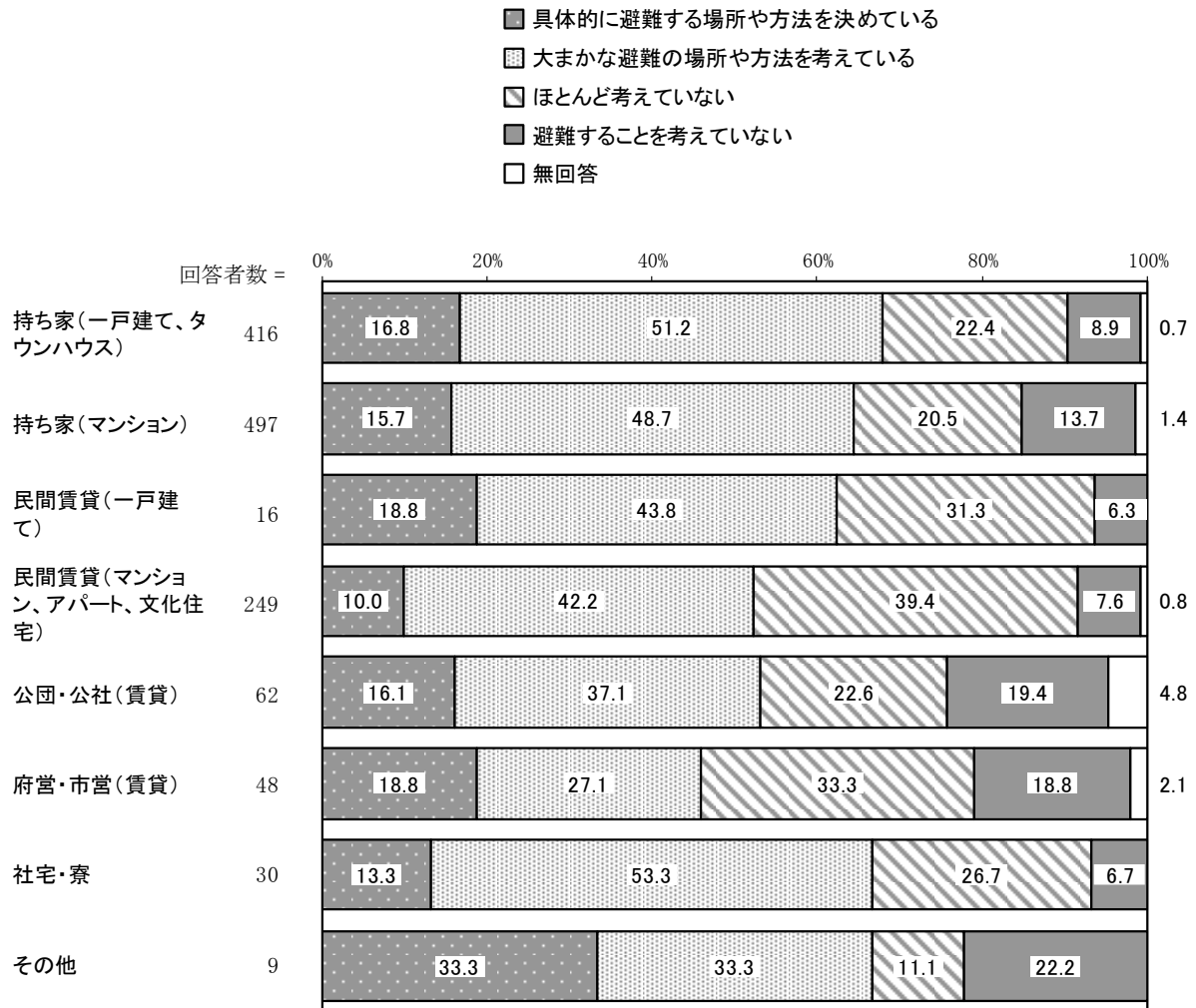
家族構成別でみると、他に比べ、三世代以上で「大まかな避難の場所や方法を考えている」の割合が高くなっています。

図表 1-10 風水害の際に避難する場所や方法（家族構成別）



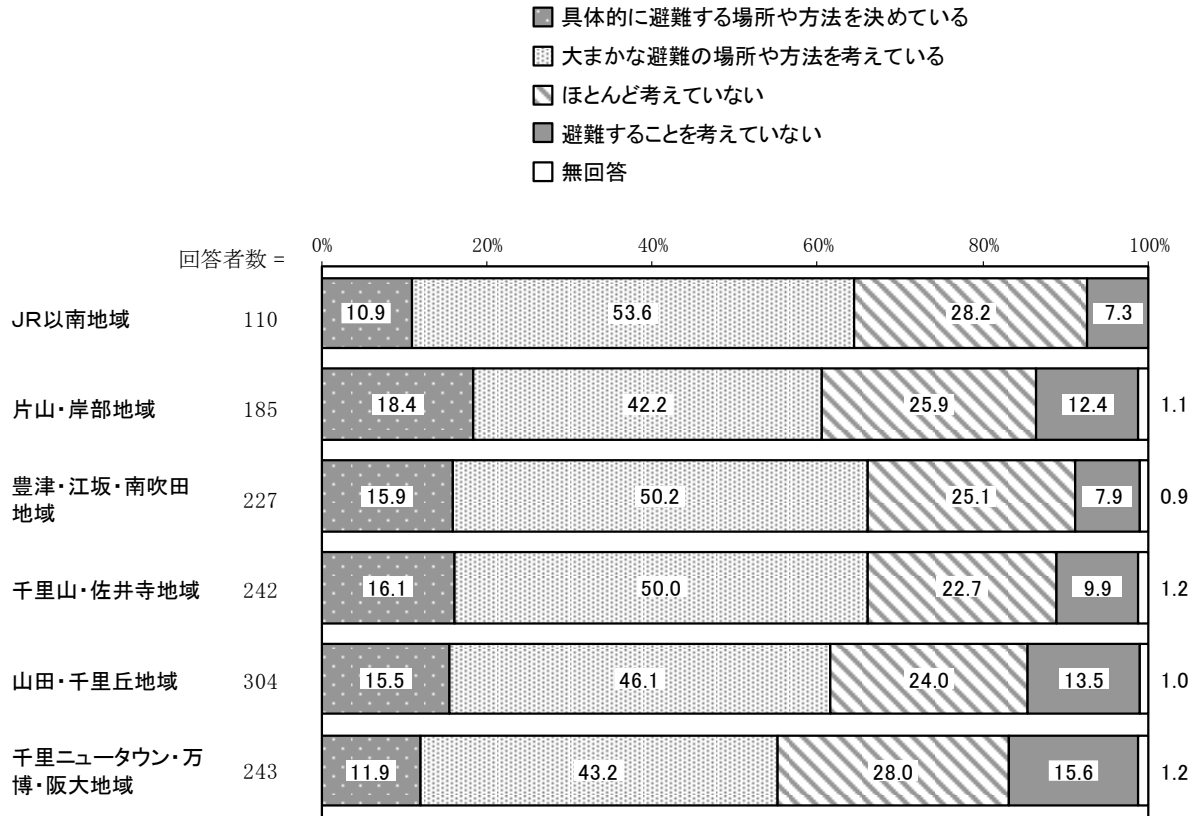
居住形態別で見ると、他に比べ、持ち家（一戸建て、タウンハウス）、持ち家（マンション）、社宅・寮で「大まかな避難の場所や方法を考えている」の割合が高くなっています。また、民間賃貸（マンション、アパート、文化住宅）で「ほとんど考えていない」の割合が高くなっています。

図表 1-11 風水害の際に避難する場所や方法（居住形態別）



居住地域別で見ると、他に比べ、JR以南地域、千里ニュータウン・万博・阪大地域で「ほとんど考えていない」の割合が高くなっています。

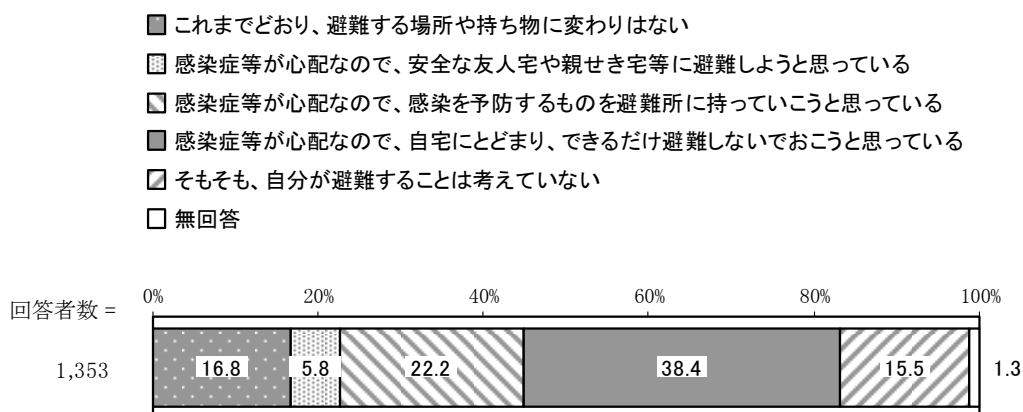
図表 1-12 風水害の際に避難する場所や方法（居住地域別）



問 18 あなたは、新型コロナウイルス感染症が収束しない中であって、風水害時に避難する場所や持ち物に関して意識していることはありますか。
(最もあてはまるものに1つだけ○印)

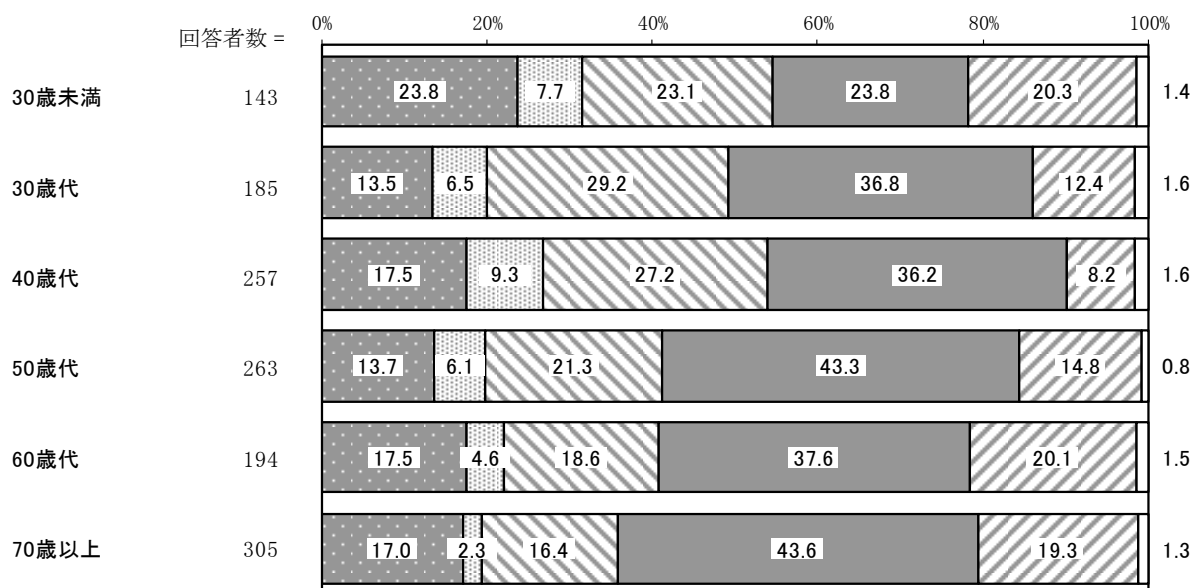
「感染症等が心配なので、自宅にとどまり、できるだけ避難しないでおこうと思っている」の割合が38.4%と最も高く、次いで「感染症等が心配なので、感染を予防するものを避難所に持っていこうと思っている」の割合が22.2%、「これまでどおり、避難する場所や持ち物に変わりはない」の割合が16.8%となっています。

図表 1-13 風水害時に避難する場所や持ち物に関して意識していること (単純回答)



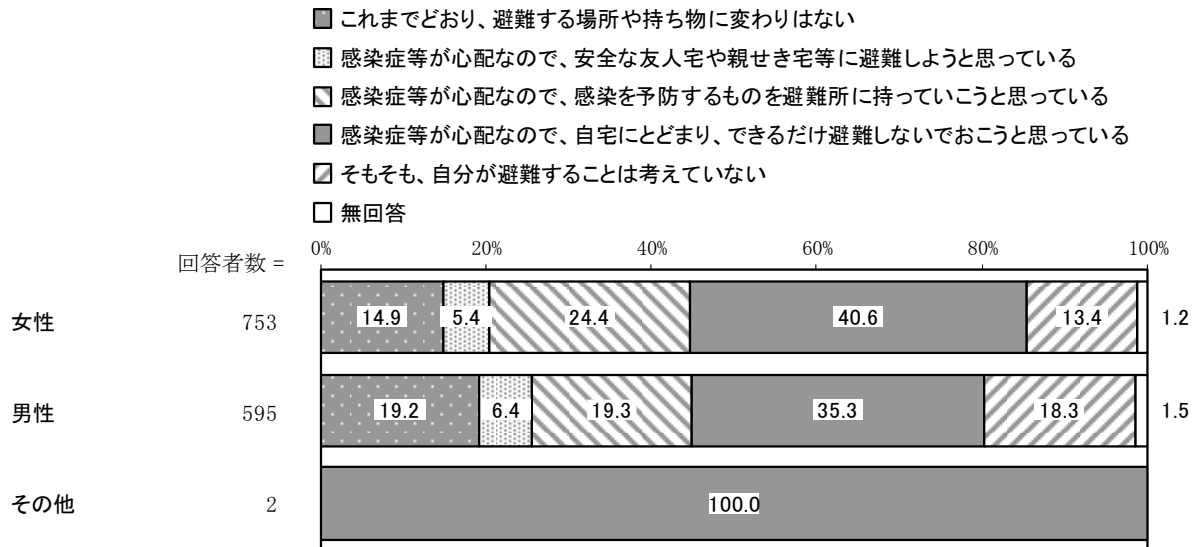
年齢別でみると、他に比べ、30歳未満で「これまでどおり、避難する場所や持ち物に変わりはない」の割合が高くなっています。また、50歳代、70歳以上で「感染症等が心配なので、自宅にとどまり、できるだけ避難しないでおこうと思っている」の割合が高くなっています。

図表 1-14 風水害時に避難する場所や持ち物に関して意識していること (年齢別)



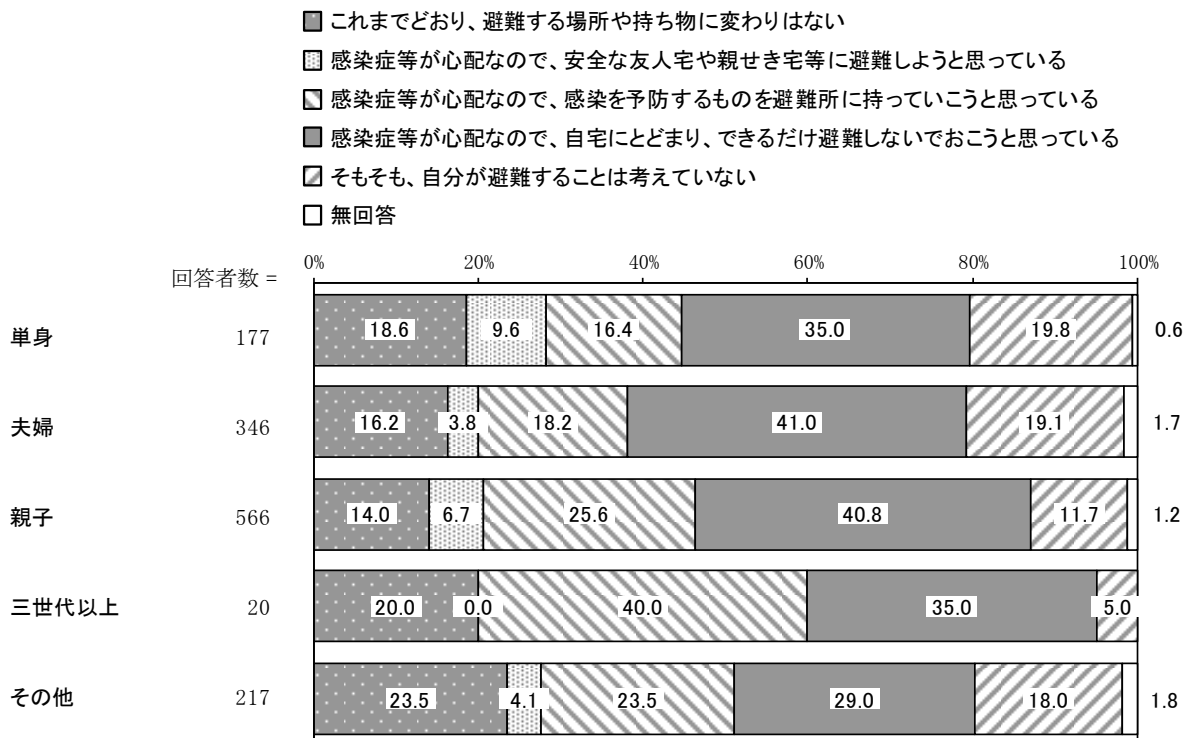
性別でみると、男性に比べ、女性で「感染症等が心配なので、感染を予防するものを避難所に持っていかうと思っている」「感染症等が心配なので、自宅にとどまり、できるだけ避難しないでかおうと思っている」の割合が高くなっています。

図表 1-15 風水害時に避難する場所や持ち物に関して意識していること（性別）



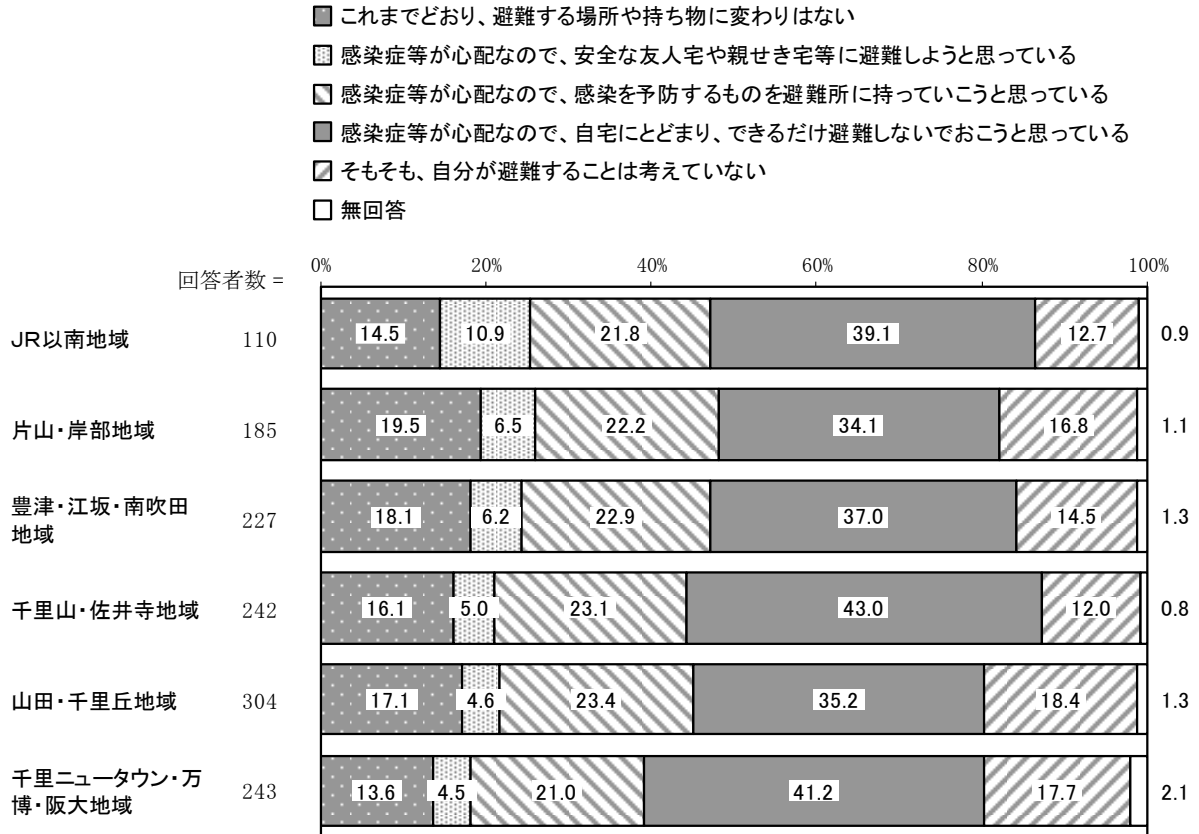
家族構成別でみると、他に比べ、三世代以上で「感染症等が心配なので、感染を予防するものを避難所に持っていかうと思っている」の割合が高くなっています。また、夫婦、親子で「感染症等が心配なので、自宅にとどまり、できるだけ避難しないでかおうと思っている」の割合が高くなっています。

図表 1-16 風水害時に避難する場所や持ち物に関して意識していること（家族構成別）



居住地域別で見ると、他に比べ、千里山・佐井寺地域、千里ニュータウン・万博・阪大地域で「感染症等が心配なので、自宅にとどまり、できるだけ避難しないでおこうと思っている」の割合が高くなっています。

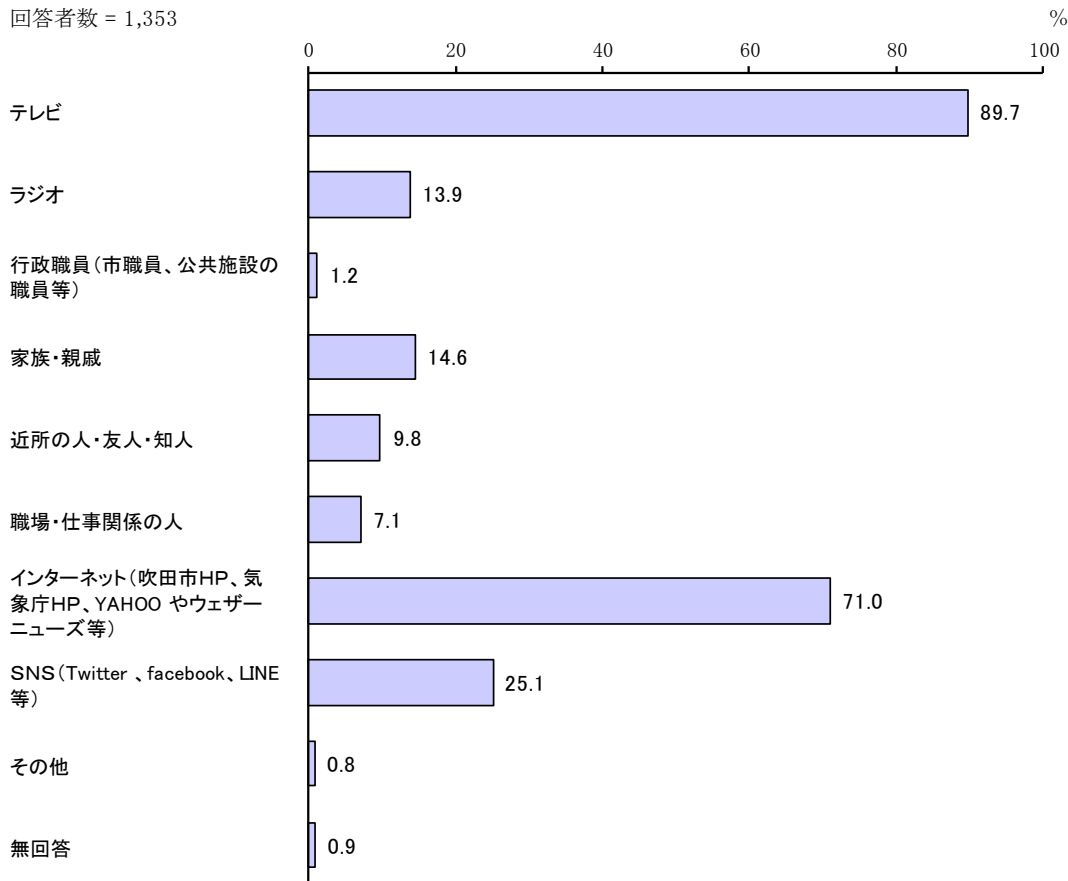
図表 1-17 風水害時に避難する場所や持ち物に関して意識していること（居住地域別）



問 19 あなたは台風や大雨の時、気象警報や避難情報などの情報をどこから入手しますか。(いくつでも○印)

「テレビ」の割合が 89.7%と最も高く、次いで「インターネット（吹田市HP、気象庁HP、YAHOO やウェザーニュース等）」の割合が 71.0%、「SNS（Twitter、facebook、LINE 等）」の割合が 25.1%となっています。

図表 1-18 気象警報や避難情報などの情報の入手方法（単純回答）



年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「テレビ」「ラジオ」の割合が高くなる傾向がみられます。また、年齢が低くなるにつれ「SNS (Twitter、facebook、LINE等)」の割合が高くなる傾向がみられます。

図表1-19 気象警報や避難情報などの情報の入手方法 (年齢別)

単位：%

区分	有効回答数(件)	テレビ	ラジオ	行政職員(市職員、公共施設の職員等)	家族・親戚	近所の人・友人・知人	職場・仕事関係の人	インターネット(吹田市HP、気象庁HP、YAHOOやウェザーニュース等)	SNS (Twitter、facebook、LINE等)	その他	無回答
30歳未満	143	76.9	1.4	—	18.2	7.0	9.1	76.9	64.3	1.4	0.7
30歳代	185	84.9	5.4	2.2	15.1	9.2	10.3	88.6	39.5	—	1.1
40歳代	257	89.1	10.9	1.2	11.3	10.1	8.6	86.4	26.1	1.2	0.8
50歳代	263	89.7	14.1	0.8	12.5	6.8	10.3	84.0	22.1	—	1.1
60歳代	194	95.9	16.5	—	12.4	5.7	6.2	70.1	11.3	—	0.5
70歳以上	305	95.4	25.2	2.3	17.7	16.4	1.0	34.1	8.5	2.0	1.0

性別でみると、男性に比べ、女性で「家族・親戚」「近所の人・友人・知人」「SNS (Twitter、facebook、LINE等)」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「インターネット(吹田市HP、気象庁HP、YAHOOやウェザーニュース等)」の割合が高くなっています。

図表1-20 気象警報や避難情報などの情報の入手方法 (性別)

単位：%

区分	有効回答数(件)	テレビ	ラジオ	行政職員(市職員、公共施設の職員等)	家族・親戚	近所の人・友人・知人	職場・仕事関係の人	インターネット(吹田市HP、気象庁HP、YAHOOやウェザーニュース等)	SNS (Twitter、facebook、LINE等)	その他	無回答
女性	753	91.1	13.0	0.9	18.1	12.4	7.2	68.0	27.4	0.7	0.7
男性	595	87.9	15.1	1.5	10.1	6.6	7.1	74.6	22.0	0.8	1.2
その他	2	100.0	—	—	—	—	—	100.0	100.0	50.0	—

家族構成別でみると、他に比べ、三世代以上で「インターネット（吹田市HP、気象庁HP、YAHOO やウェザーニュース等）」「SNS（Twitter、facebook、LINE等）」の割合が高くなっています。また、単身で「職場・仕事関係の人」の割合が高くなっています。

図表 1-21 気象警報や避難情報などの情報の入手方法（家族構成別）

単位：%

区分	有効回答数（件）	テレビ	ラジオ	行政職員（市職員、公共施設の職員等）	家族・親戚	近所の人・友人・知人	職場・仕事関係の人	インターネット（吹田市HP、気象庁HP、YAHOO やウェザーニュース等）	SNS（Twitter、facebook、LINE等）	その他	無回答
単身	177	83.6	21.5	2.3	14.1	16.4	11.9	60.5	22.6	3.4	0.6
夫婦	346	92.8	15.0	1.2	13.6	8.4	4.0	62.7	16.2	0.6	1.4
親子	566	91.3	12.7	1.2	13.3	10.2	6.5	81.3	25.6	0.4	0.7
三世代以上	20	90.0	5.0	—	15.0	—	5.0	90.0	40.0	—	—
その他	217	87.1	8.3	—	19.4	5.5	9.7	65.9	38.2	0.5	0.9

居住形態別でみると、他に比べ、持ち家（一戸建て、タウンハウス）、府営・市営（賃貸）で「テレビ」の割合が、社宅・寮で「インターネット（吹田市HP、気象庁HP、YAHOO やウェザーニュース等）」の割合が高くなっています。

図表 1-22 気象警報や避難情報などの情報の入手方法（居住形態別）

単位：%

区分	有効回答数（件）	テレビ	ラジオ	行政職員（市職員、公共施設の職員等）	家族・親戚	近所の人・友人・知人	職場・仕事関係の人	インターネット（吹田市HP、気象庁HP、YAHOO やウェザーニュース等）	SNS（Twitter、facebook、LINE等）	その他	無回答
持ち家（一戸建て、タウンハウス）	416	93.3	16.3	1.0	13.9	8.9	7.2	67.5	21.9	1.0	0.2
持ち家（マンション）	497	90.3	13.5	1.0	13.9	9.5	5.4	74.0	24.7	0.6	1.4
民間賃貸（一戸建て）	16	87.5	31.3	—	37.5	18.8	12.5	75.0	18.8	6.3	—
民間賃貸（マンション、アパート、文化住宅）	249	84.7	8.4	1.6	14.9	8.8	10.4	79.5	32.9	0.8	0.8
公団・公社（賃貸）	62	83.9	17.7	—	16.1	12.9	4.8	50.0	14.5	—	3.2
府営・市営（賃貸）	48	93.8	18.8	2.1	14.6	20.8	4.2	45.8	25.0	—	—
社宅・寮	30	86.7	3.3	3.3	16.7	10.0	16.7	93.3	43.3	3.3	—
その他	9	100.0	22.2	11.1	11.1	11.1	—	77.8	—	—	—

居住地域別でみると、他に比べ、千里山・佐井寺地域、山田・千里丘地域で「インターネット（吹田市HP、気象庁HP、YAHOO やウェザーニュース等）」の割合が高くなっています。

図表 1-23 気象警報や避難情報などの情報の入手方法（居住地域別）

単位：%

区分	有効回答数（件）	テレビ	ラジオ	行政職員（市職員、公共施設の職員等）	家族・親戚	近所の人・友人・知人	職場・仕事関係の人	インターネット（吹田市HP、気象庁HP、YAHOO やウェザーニュース等）	SNS（Twitter、facebook、LINE等）	その他	無回答
JR以南地域	110	90.0	15.5	1.8	21.8	10.9	3.6	62.7	22.7	—	—
片山・岸部地域	185	88.6	15.7	1.6	13.0	8.1	7.0	68.6	20.5	1.1	1.1
豊津・江坂・南吹田地域	227	87.2	14.5	1.8	14.5	9.3	10.6	71.8	28.6	1.3	0.9
千里山・佐井寺地域	242	91.3	12.0	0.8	12.8	7.9	9.1	75.6	28.9	—	0.8
山田・千里丘地域	304	91.1	13.8	1.3	13.2	11.8	6.3	74.0	23.0	0.7	0.3
千里ニュータウン・万博・阪大地域	243	89.7	12.8	0.4	14.8	9.5	4.1	69.5	25.5	1.6	1.6

自治会への加入別でみると、他に比べ、自治会加入者で「テレビ」の割合が高くなっています。また、自治会未加入者で「インターネット（吹田市HP、気象庁HP、YAHOO やウェザーニュース等）」、「SNS（Twitter、facebook、LINE等）」の割合が高くなっています。

図表 1-24 気象警報や避難情報などの情報の入手方法（自治会への加入別）

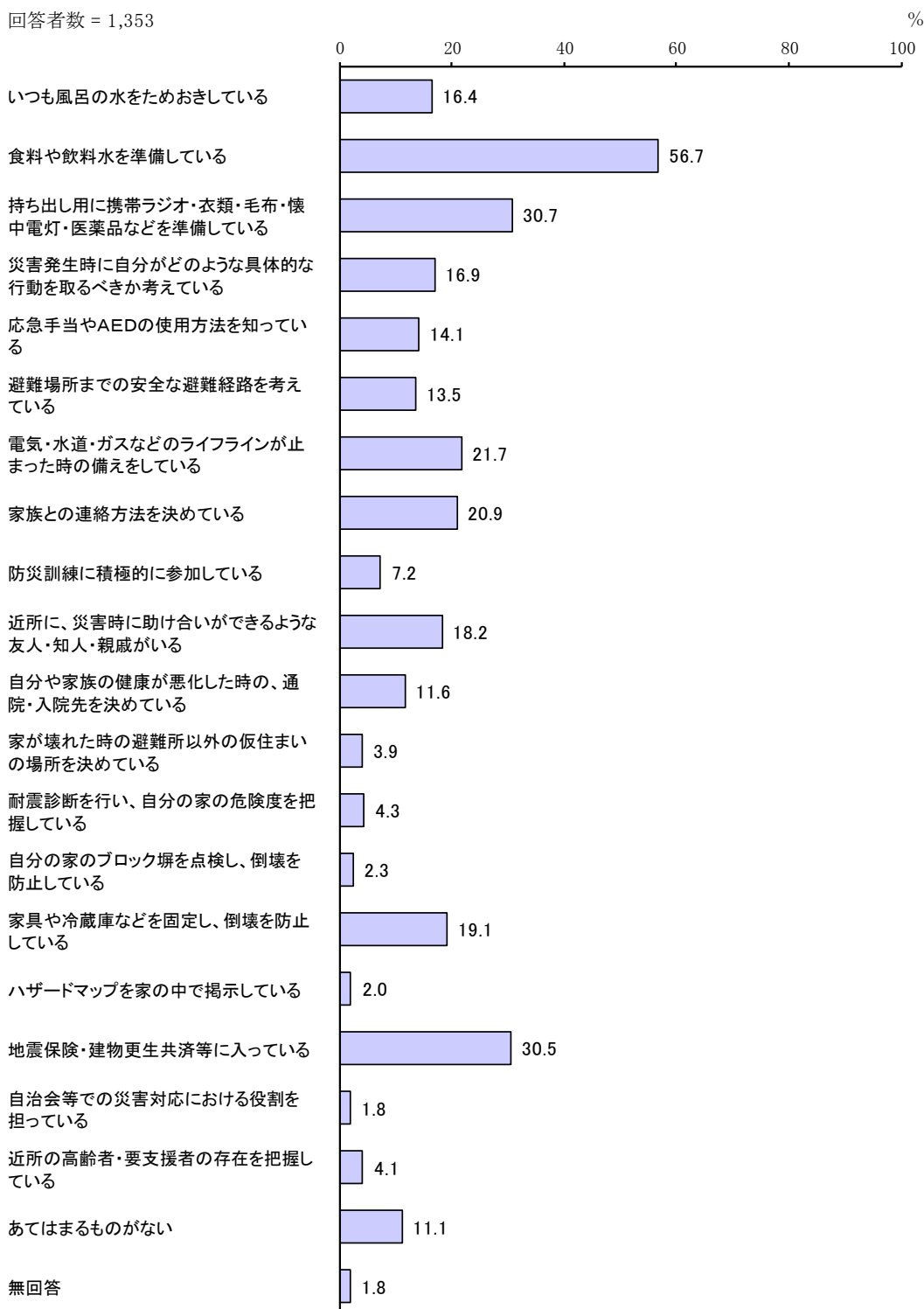
単位：%

区分	有効回答数（件）	テレビ	ラジオ	行政職員（市職員、公共施設の職員等）	家族・親戚	近所の人・友人・知人	職場・仕事関係の人	インターネット（吹田市HP、気象庁HP、YAHOO やウェザーニュース等）	SNS（Twitter、facebook、LINE等）	その他	無回答
加入している	690	92.2	17.4	1.2	15.1	11.7	5.8	67.4	19.3	0.6	0.7
加入していない	524	89.3	11.1	1.5	13.9	7.4	9.5	76.1	29.8	0.6	1.0
わからない	129	79.1	7.0	—	14.7	7.8	3.9	72.1	38.0	2.3	0.8

問 20 あなたは、地震や風水害などの災害に備えていることはありますか
(いくつでも○印)

「食料や飲料水を準備している」の割合が 56.7%と最も高く、次いで「持ち出し用に携帯ラジオ・衣類・毛布・懐中電灯・医薬品などを準備している」の割合が 30.7%、「地震保険・建物更生共済等に入っている」の割合が 30.5%となっています。

図表 1-25 地震や風水害などの災害に備えていること (単純回答)



年齢別でみると、他に比べ、30歳代、40歳代で「食料や飲料水を準備している」の割合が高くなっています。

図表1-26 地震や風水害などの災害に備えていること（年齢別）

単位：%

区分	有効回答数（件）	いつも風呂の水をためおきしている	食料や飲料水を準備している	品類・毛布・懐中電灯・医薬品などを準備している	持ち出し用に携帯ラジオ・衣類・毛布・懐中電灯・医薬品などを準備している	災害発生時に自分がどのような具体的な行動を取るべきかを考えている	応急手当やAEDの使用方法を知っている	避難場所までの安全な避難経路を考えている	電気・水道・ガスなどのライフラインが止まった時の備えをしている	家族との連絡方法を決めている	防災訓練に積極的に参加している	近所に、災害時に助け合いができるような友人・知人・親戚がいる
30歳未満	143	6.3	46.9	28.7	21.0	23.1	9.8	14.0	19.6	2.1	9.1	
30歳代	185	6.5	62.7	36.8	16.8	17.8	13.5	18.9	19.5	4.9	16.8	
40歳代	257	9.3	63.4	30.4	16.0	11.7	9.7	21.4	16.7	3.1	18.3	
50歳代	263	17.1	58.2	31.9	16.3	16.0	12.2	25.1	22.8	4.6	14.4	
60歳代	194	18.0	53.1	28.9	11.9	15.5	11.9	24.2	18.0	8.8	17.5	
70歳以上	305	31.1	52.1	28.2	19.7	7.5	20.3	22.3	25.9	15.7	27.2	

区分	自分や家族の健康が悪化した時の、通院・入院先を決めている	家が壊れた時の避難所以外の仮住まいの場所を決めている	耐震診断を行い、自分の家の危険度を把握している	自分の家のブロック塀を点検し、倒壊を防止している	家具や冷蔵庫などを固定し、倒壊を防止している	ハザードマップを家の中で掲示している	地震保険・建物更生共済等に入っている	自治会等での災害対応における役割を担っている	近所の高齢者・要支援者の存在を把握している	あてはまるものがない	無回答
30歳未満	2.1	2.8	1.4	0.7	18.9	1.4	16.8	—	0.7	13.3	2.1
30歳代	3.8	2.2	4.3	0.5	16.2	2.2	23.2	—	1.1	14.6	2.2
40歳代	5.8	2.7	3.5	2.3	18.7	1.2	29.6	0.4	1.6	14.0	1.9
50歳代	7.6	4.6	3.8	2.3	21.7	1.5	34.6	1.1	2.7	9.9	1.5
60歳代	14.4	3.1	5.7	1.5	19.6	0.5	30.9	3.1	7.2	12.9	2.6
70歳以上	27.2	6.6	5.6	4.6	18.7	4.3	37.7	4.6	9.2	5.6	1.3

性別で見ると、男性に比べ、女性で「いつも風呂の水をためおきしている」「食料や飲料水を準備している」「電気・水道・ガスなどのライフラインが止まった時の備えをしている」「近所に、災害時に助け合いができるような友人・知人・親戚がいる」の割合が高くなっています。

図表 1-27 地震や風水害などの災害に備えていること（性別）

単位：％

区分	有効回答数（件）	いつも風呂の水をためおきしている	食料や飲料水を準備している	持ち出し用に携帯ラジオ・衣類・毛布・懐中電灯・医薬品などを準備している	災害発生時に自分がどのような具体的な行動を取るべきか考えている	応急手当やAEDの使用方法を知っている	避難場所までの安全な避難経路を考えている	電気・水道・ガスなどのライフラインが止まった時の備えをしている	家族との連絡方法を決めている	防災訓練に積極的に参加している	近所に、災害時に助け合いができるような友人・知人・親戚がいる
女性	753	19.0	61.1	29.5	16.1	13.8	12.4	24.2	22.6	6.6	21.9
男性	595	12.8	50.9	31.9	17.8	14.5	14.8	18.5	18.5	7.7	13.6
その他	2	50.0	50.0	50.0	—	50.0	—	50.0	50.0	—	—

区分	自分や家族の健康が悪化した時の、通院・入院先を決めている	家が壊れた時の避難所以外の仮住まいの場所を決めている	耐震診断を行い、自分の家の危険度を把握している	自分の家のブロック塀を点検し、倒壊を防止している	家具や冷蔵庫などを固定し、倒壊を防止している	ハザードマップを家の中で掲示している	地震保険・建物更生共済等に入っている	自治会等での災害対応における役割を担っている	近所の高齢者・要支援者の存在を把握している	あてはまるものがない	無回答
女性	12.7	4.0	3.7	2.4	21.1	2.3	30.3	0.9	4.6	9.0	1.6
男性	10.1	3.9	4.9	2.2	16.1	1.7	30.4	2.9	3.4	13.8	2.2
その他	—	—	—	—	50.0	—	50.0	—	—	—	—

家族構成別でみると、どの世帯においても「食料や飲料水を準備している」の割合が高くなっています。

図表 1-28 地震や風水害などの災害に備えていること（家族構成別）

単位：%

区分	有効回答数（件）	いつも風呂の水をためおきしている	食料や飲料水を準備している	持ち出し用に携帯ラジオ・衣類・毛布・懐中電灯・医薬品などを準備している	災害発生時に自分がどのような具体的な行動を取るべきかを考えている	応急手当やAEDの使用方法を知っている	避難場所までの安全な避難経路を考えている	電気・水道・ガスなどのライフラインが止まった時の備えをしている	家族との連絡方法を決めている	防災訓練に積極的に参加している	近所に、災害時に助け合いができるような友人・知人・親戚がいる
単身	177	12.4	46.3	26.6	17.5	11.3	14.1	13.0	16.4	5.1	20.3
夫婦	346	21.1	54.0	29.5	16.2	13.9	14.5	22.8	23.4	12.1	20.8
親子	566	15.7	65.2	36.4	16.8	15.5	12.7	25.6	21.0	6.2	19.6
三世代以上	20	20.0	65.0	35.0	15.0	20.0	10.0	25.0	20.0	—	15.0
その他	217	12.4	47.5	22.1	18.9	12.9	12.4	18.0	21.7	4.6	9.2

区分	自分や家族の健康が悪化した時の、通院・入院先を決めている	家が壊れた時の避難所以外の仮住まいの場所を決めている	耐震診断を行い、自分の家の危険度を把握している	自分の家のブロック塀を点検し、倒壊を防止している	家具や冷蔵庫などを固定し、倒壊を防止している	ハザードマップを家の中で掲示している	地震保険・建物更生共済等に入っている	自治会等での災害対応における役割を担っている	近所の高齢者・要支援者の存在を把握している	あてはまるものがない	無回答
単身	8.5	4.5	1.7	0.6	13.0	4.0	21.5	—	2.3	13.6	1.7
夫婦	19.1	5.5	4.9	3.2	20.2	2.0	34.1	3.8	6.6	11.3	1.7
親子	9.2	3.2	4.4	1.8	20.7	1.1	34.1	1.2	3.2	8.7	1.2
三世代以上	10.0	—	10.0	10.0	25.0	5.0	25.0	5.0	5.0	15.0	5.0
その他	7.8	2.8	3.7	3.2	19.4	2.8	22.1	1.4	3.7	15.2	2.8

居住形態別で見ると、他に比べ、社宅・寮で「食料や飲料水を準備している」の割合が高くなっています。

図表 1-29 地震や風水害などの災害に備えていること（居住形態別）

単位：%

区分	有効回答数（件）	いつも風呂の水をためおきしている	食料や飲料水を準備している	衣類・毛布・懐中電灯・医薬品などを準備している	持ち出し用に携帯ラジオ・食料・毛布・懐中電灯・医薬品などを準備している	災害発生時に自分がどのような具体的な行動を取るべきか考えている	応急手当やAEDの使用方法を知っている	避難場所までの安全な避難経路を考えている	避難場所までの安全な避難経路を考えている	電気・水道・ガスなどのライフラインが止まった時の備えをしている	家族との連絡方法を決めている	防災訓練に積極的に参加している	近所に、災害時に助け合いができるような友人・知人・親戚がいる
持ち家（一戸建て、タウンハウス）	416	18.0	56.0	27.4	17.3	13.0	15.1	23.8	21.4	8.7	21.2		
持ち家（マンション）	497	14.5	60.8	33.4	15.9	16.3	12.9	23.9	20.3	8.9	19.5		
民間賃貸（一戸建て）	16	31.3	43.8	31.3	18.8	12.5	12.5	18.8	12.5	6.3	12.5		
民間賃貸（マンション、アパート、文化住宅）	249	8.4	54.2	34.1	20.1	14.5	10.8	14.5	18.5	1.6	11.2		
公団・公社（賃貸）	62	32.3	46.8	19.4	6.5	8.1	19.4	11.3	16.1	4.8	11.3		
府営・市営（賃貸）	48	31.3	47.9	22.9	14.6	8.3	8.3	25.0	29.2	8.3	25.0		
社宅・寮	30	16.7	73.3	53.3	30.0	26.7	23.3	33.3	33.3	3.3	16.7		
その他	9	11.1	22.2	33.3	11.1	—	11.1	11.1	22.2	22.2	11.1		

区分	自分や家族の健康が悪化した時の、通院・入院先を決めている	家が壊れた時の避難所以外の仮住まいの場所を決めている	耐震診断を行い、自分の家の危険度を把握している	自分の家のブロック塀を点検し、倒壊を防止している	家具や冷蔵庫などを固定し、倒壊を防止している	ハザードマップを家の中で掲示している	地震保険・建物更生共済等に入っている	自治会等での災害対応における役割を担っている	近所の高齢者・要支援者の存在を把握している	あてはまるものがない	無回答
持ち家（一戸建て、タウンハウス）	14.7	5.5	6.3	6.7	17.1	2.6	39.2	1.9	7.2	8.9	1.4
持ち家（マンション）	11.5	2.2	5.4	0.2	24.5	1.0	38.6	2.0	3.2	9.7	2.0
民間賃貸（一戸建て）	18.8	12.5	6.3	—	6.3	6.3	18.8	—	12.5	12.5	6.3
民間賃貸（マンション、アパート、文化住宅）	5.6	4.0	0.4	0.4	14.1	2.8	11.2	—	0.4	15.7	0.8
公団・公社（賃貸）	12.9	1.6	—	—	9.7	1.6	16.1	4.8	3.2	16.1	8.1
府営・市営（賃貸）	16.7	4.2	2.1	—	25.0	2.1	8.3	4.2	6.3	10.4	—
社宅・寮	10.0	3.3	—	—	13.3	—	13.3	—	—	10.0	3.3
その他	11.1	11.1	11.1	—	11.1	—	22.2	—	11.1	22.2	—

居住地域別でみると、他に比べ、豊津・江坂・南吹田地域で「災害発生時に自分がどのような具体的な行動を取るべきか考えている」「応急手当やAEDの使用方法を知っている」の割合が、千里山・佐井寺地域で「地震保険・建物更生共済等に入っている」の割合が、山田・千里丘地域で「家具や冷蔵庫などを固定し、倒壊を防止している」の割合が高くなっています。

図表 1-30 地震や風水害などの災害に備えていること（居住地域別）

単位：%

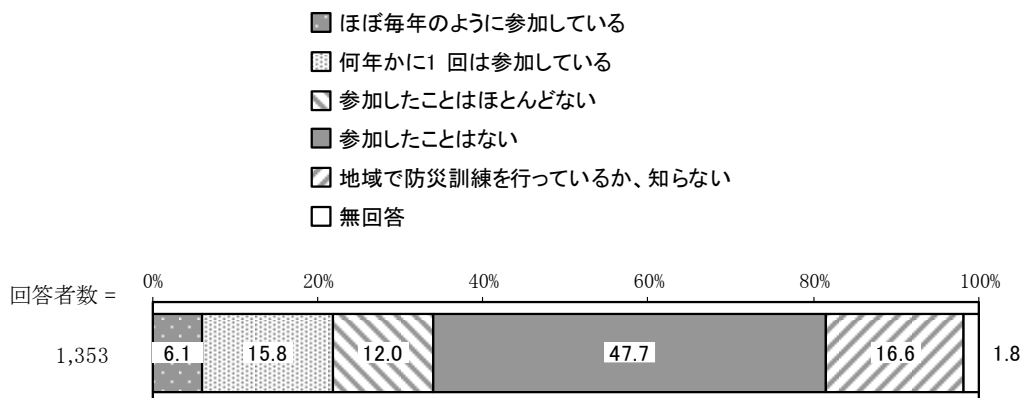
区分	有効回答数（件）	いつも風呂の水をためおきしている	食料や飲料水を準備している	持ち出し用に携帯ラジオ・衣類・毛布・懐中電灯・医薬品などを準備している	災害発生時に自分がどのような具体的な行動を取るべきか考えている	応急手当やAEDの使用方法を知っている	避難場所までの安全な避難経路を考えている	電気・水道・ガスなどのライフラインが止まった時の備えをしている	家族との連絡方法を決めている	防災訓練に積極的に参加している	近所に、災害時に助け合いができるような友人・知人・親戚がいる
JR以南地域	110	14.5	56.4	26.4	14.5	10.9	11.8	20.9	20.9	8.2	17.3
片山・岸部地域	185	18.4	56.2	30.8	13.0	10.3	13.5	20.5	16.2	7.6	17.3
豊津・江坂・南吹田地域	227	13.7	54.2	28.2	25.1	20.3	14.5	22.0	20.7	5.7	18.1
千里山・佐井寺地域	242	14.9	59.9	30.2	19.4	14.9	16.9	21.9	23.6	5.8	16.9
山田・千里丘地域	304	16.4	55.3	31.6	16.8	14.1	10.9	21.4	20.1	9.5	19.4
千里ニュータウン・万博・阪大地域	243	16.5	57.6	35.4	10.3	13.6	14.0	22.2	21.4	6.2	18.1

区分	自分や家族の健康が悪化した時の、通院・入院先を決めている	家が壊れた時の避難所以外の仮住まいの場所を決めている	耐震診断を行い、自分の家の危険度を把握している	自分の家のブロック塀を点検し、倒壊を防止している	家具や冷蔵庫などを固定し、倒壊を防止している	ハザードマップを家の中で掲示している	地震保険・建物更生共済等に入っている	自治会等での災害対応における役割を担っている	近所の高齢者・要支援者の存在を把握している	あてはまるものがない	無回答
JR以南地域	18.2	4.5	7.3	4.5	17.3	2.7	28.2	0.9	5.5	12.7	2.7
片山・岸部地域	10.3	3.8	1.1	2.7	11.4	2.2	30.3	1.6	1.6	12.4	1.6
豊津・江坂・南吹田地域	9.7	4.0	3.5	2.6	15.0	3.1	28.6	1.8	4.0	15.0	0.9
千里山・佐井寺地域	11.6	5.8	3.7	2.9	20.7	1.7	35.1	1.2	2.9	8.7	1.2
山田・千里丘地域	10.5	3.3	4.6	1.0	24.3	1.0	29.6	3.0	6.3	10.5	2.6
千里ニュータウン・万博・阪大地域	12.8	3.3	5.8	1.6	20.6	2.5	30.5	1.6	3.7	9.1	2.1

**問 21 あなたは、お住まいの地域の防災訓練に参加したことがありますか。
(最もあてはまるものに1つだけ○印)**

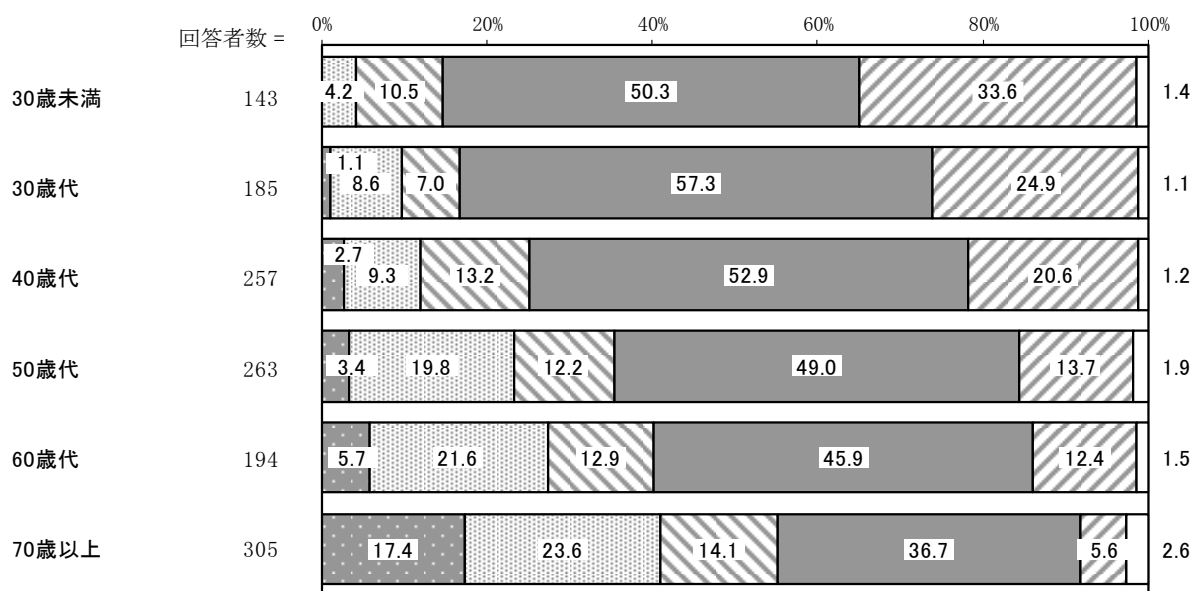
「参加したことはない」の割合が47.7%と最も高く、次いで「地域で防災訓練を行っているか、知らない」の割合が16.6%、「何年かに1回は参加している」の割合が15.8%となっています。

図表 1-31 地域の防災訓練への参加経験 (単純回答)



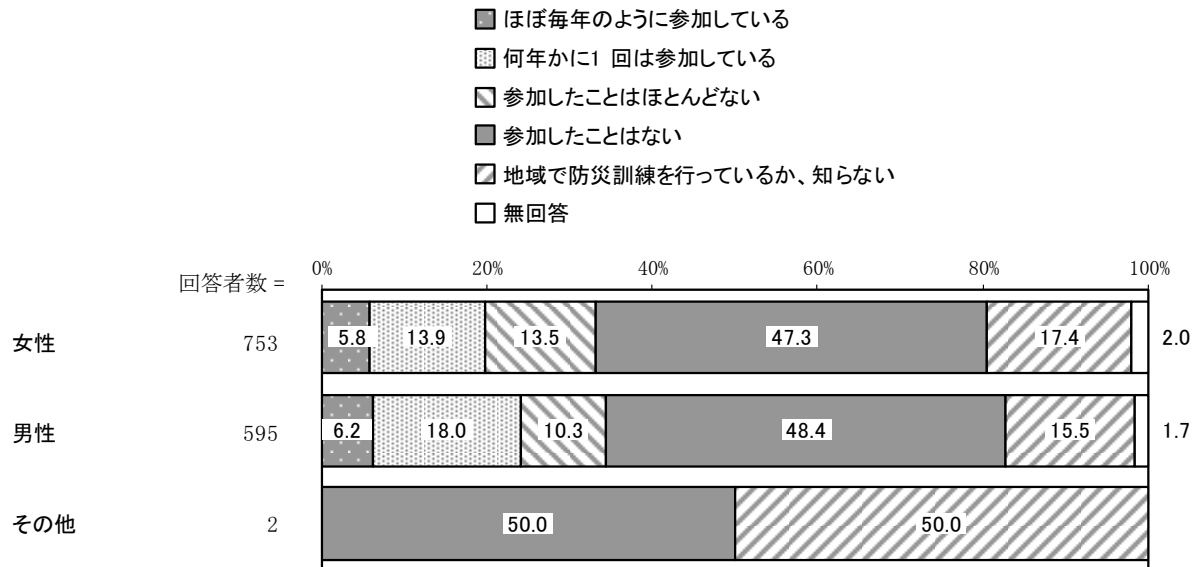
年齢別で見ると、他に比べ、30歳代で「参加したことはない」の割合が高くなっています。また、年齢が低くなるにつれ「地域で防災訓練を行っているか、知らない」の割合が高くなっています。

図表 1-32 地域の防災訓練への参加経験 (年齢別)



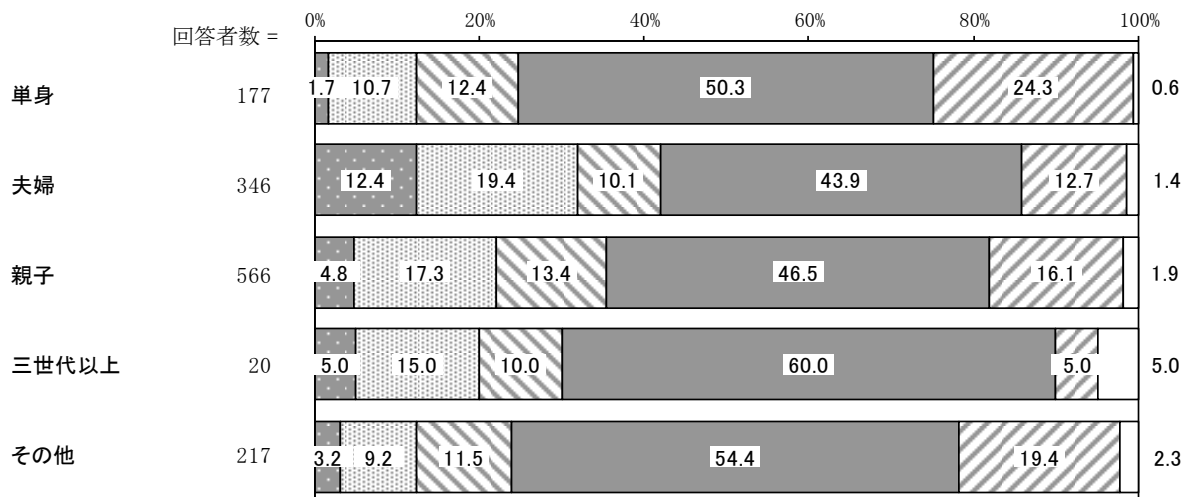
性別でみると、大きな差異はみられません。

図表 1-33 地域の防災訓練への参加経験（性別）



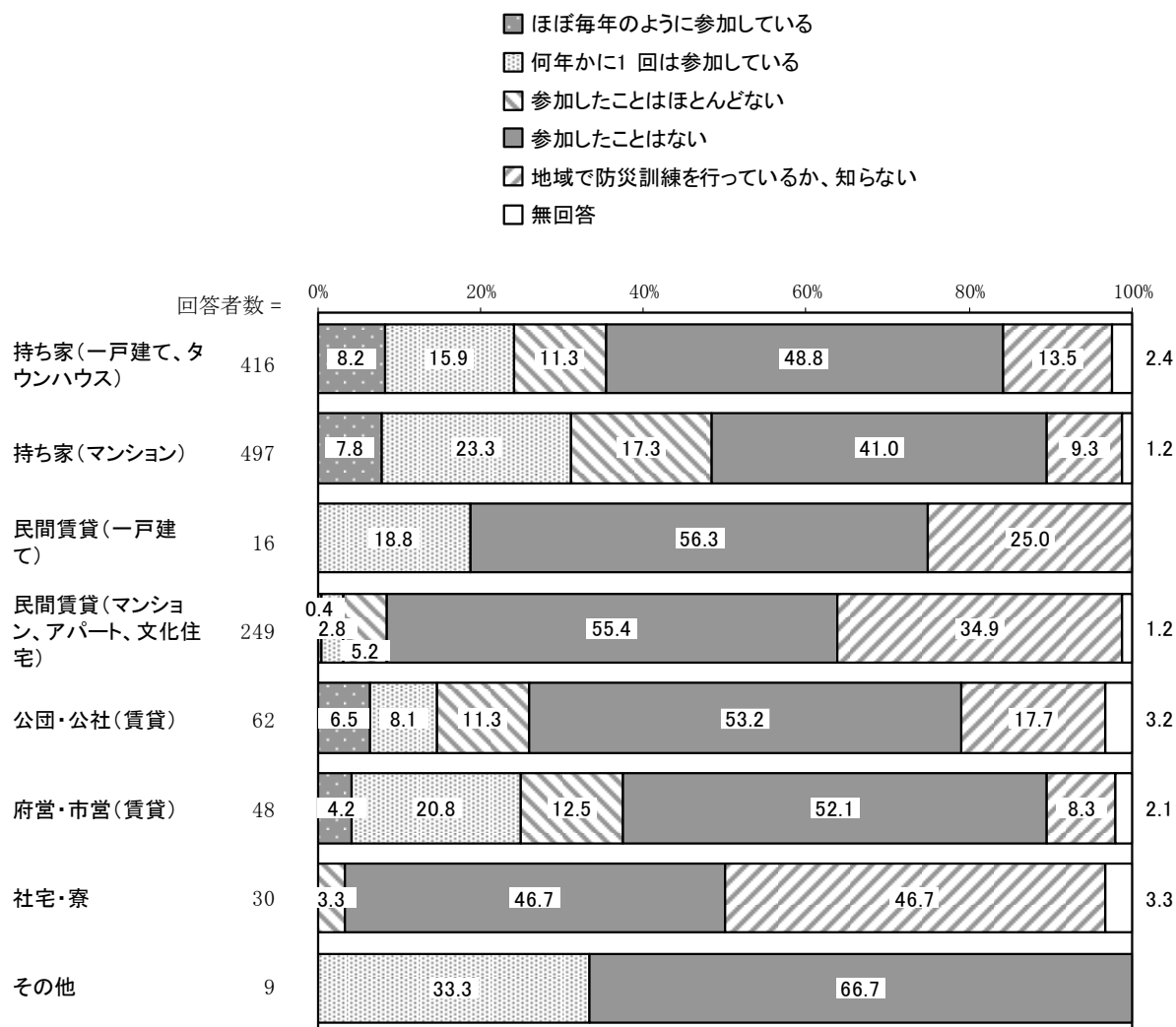
家族構成別でみると、他に比べ、三世代以上で「参加したことはない」の割合が高くなっています。また、単身で「地域で防災訓練を行っているか、知らない」の割合が高くなっています。

図表 1-34 地域の防災訓練への参加経験（家族構成別）



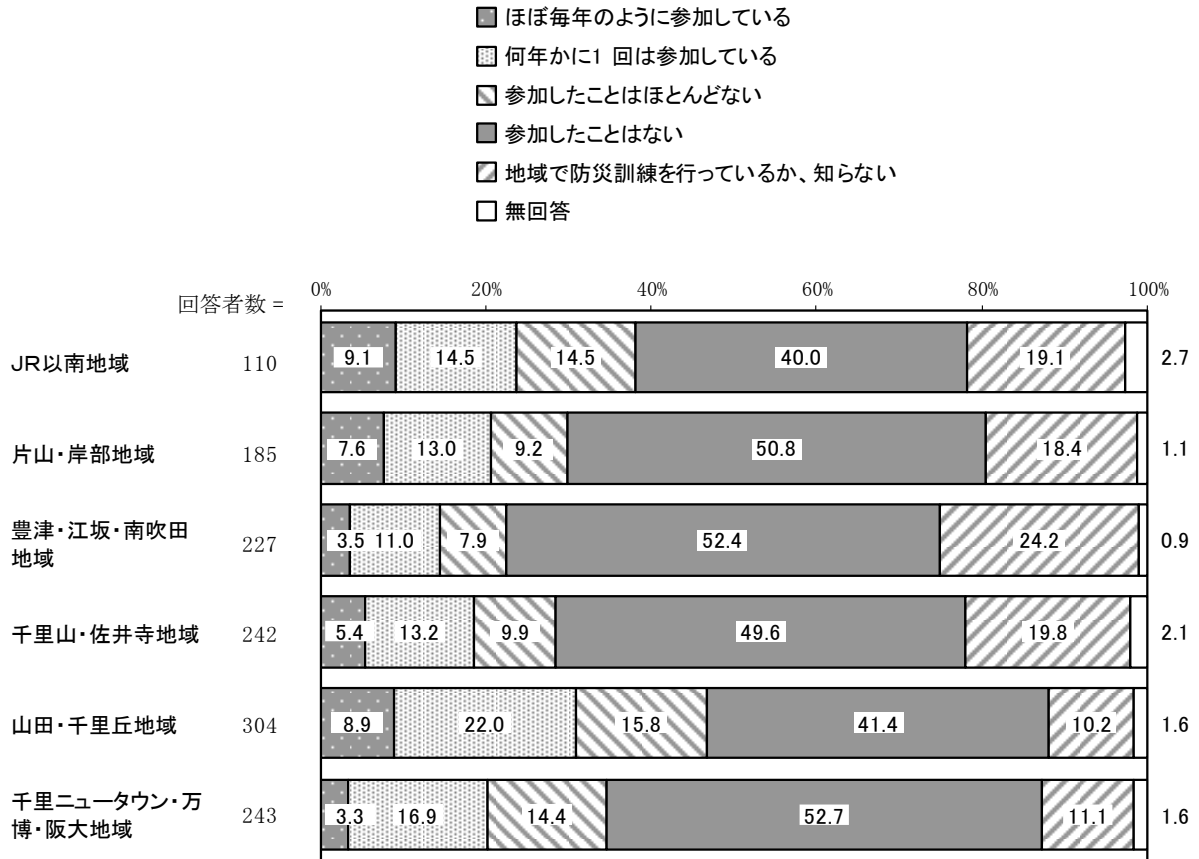
居住形態別で見ると、他に比べ、社宅・寮で「地域で防災訓練を行っているか、知らない」の割合が高くなっています。

図表 1-35 地域の防災訓練への参加経験（居住形態別）



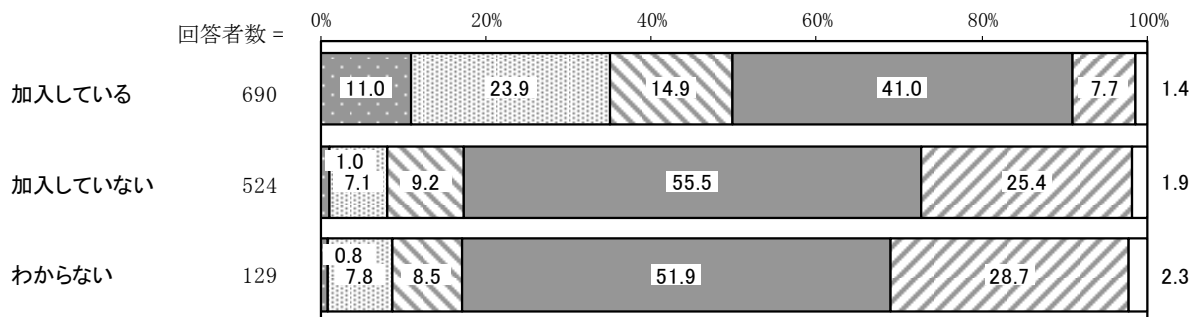
居住地域別でみると、他に比べ、豊津・江坂・南吹田地域で「地域で防災訓練を行っているか、知らない」の割合が高くなっています。

図表 1-36 地域の防災訓練への参加経験（居住地域別）



自治会への加入別でみると、他に比べ、自治会未加入者で「参加したことはない」の割合が、わからないで「地域で防災訓練を行っているか、知らない」の割合が高くなっています。

図表 1-37 地域の防災訓練への参加経験（自治会への加入別）

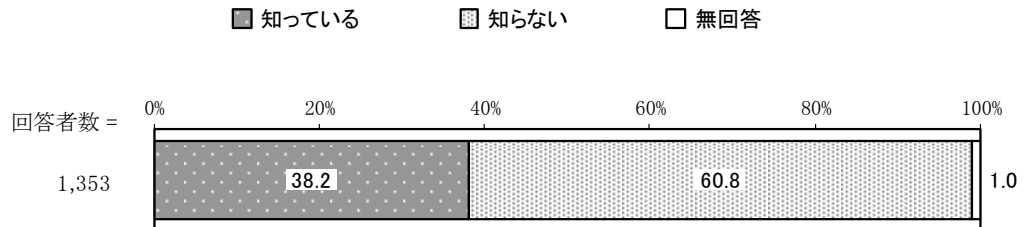


第2章 パスポートセンターについて

問22 あなたは吹田市にパスポートセンターがあることを知っていますか。
(1つだけ○印)

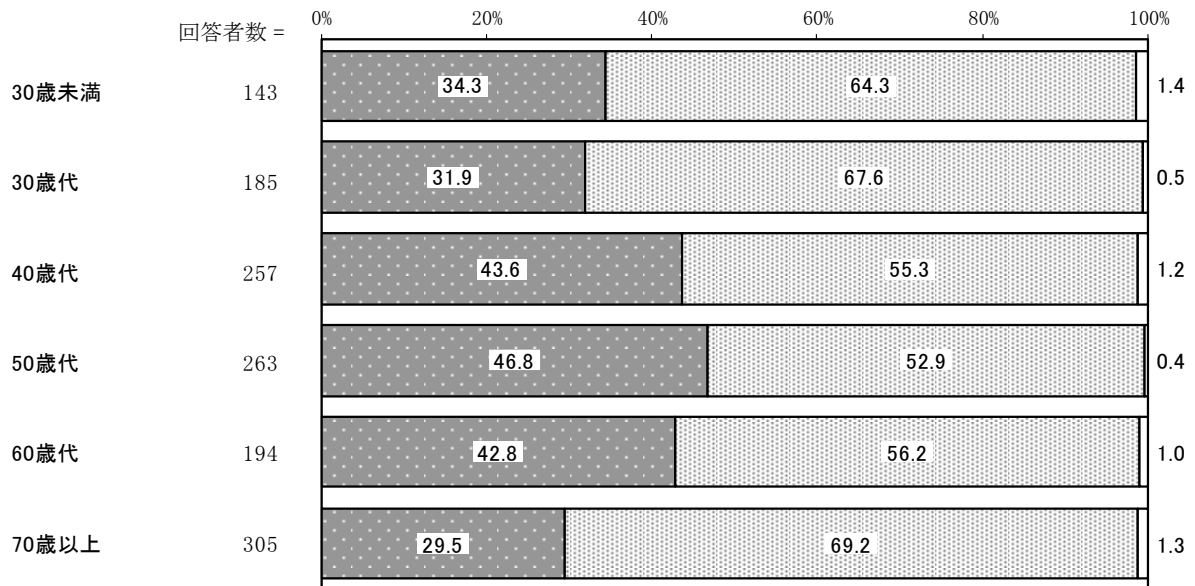
「知っている」の割合が38.2%、「知らない」の割合が60.8%となっています。

図表2-1 パスポートセンターの認知度（単純回答）



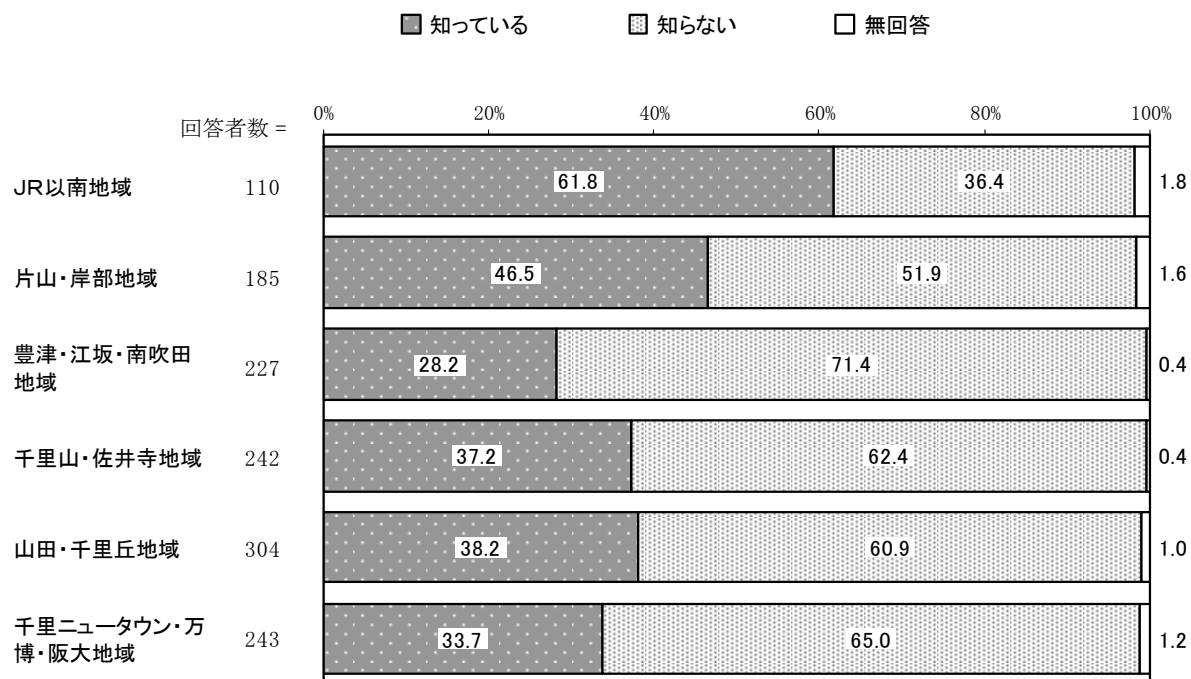
年齢別で見ると、他に比べ、70歳以上で「知らない」の割合が高くなっています。

図表2-2 パスポートセンターの認知度（年齢別）



居住地域別で見ると、他に比べ、豊津・江坂・南吹田地域で「知らない」の割合が高くなっています。

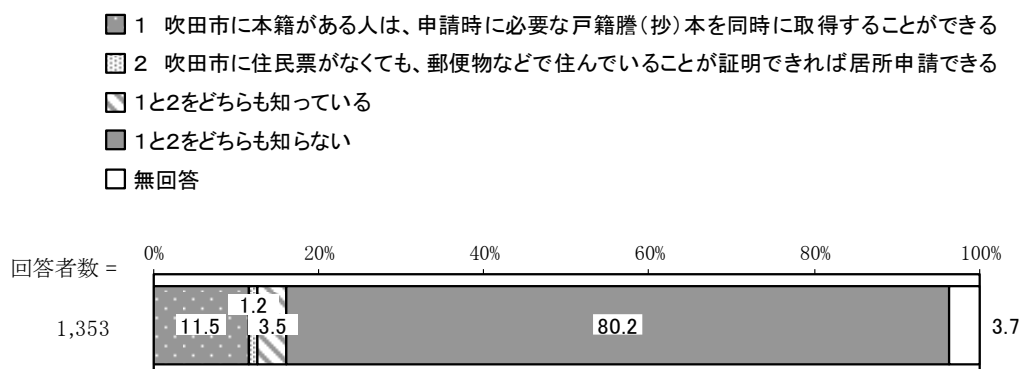
図表 2-3 パスポートセンターの認知度（居住地域別）



**問 23 あなたは吹田市パスポートセンターについて、次のことをご存知ですか。
(1つだけ○印)**

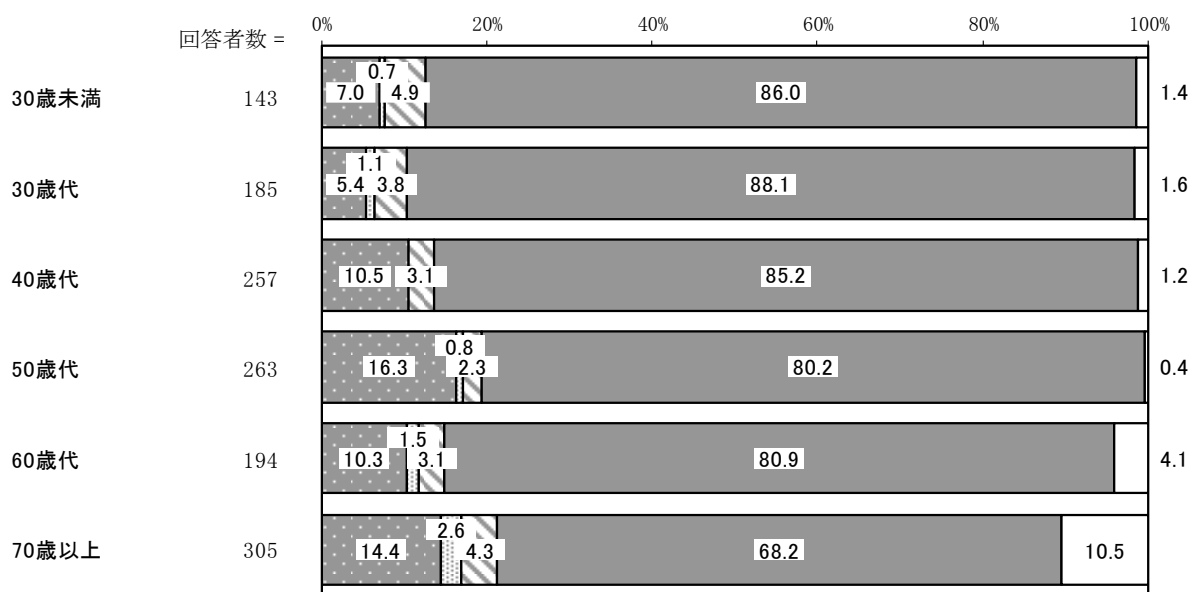
「1と2をどちらも知らない」の割合が80.2%と最も高く、次いで「1吹田市に本籍がある人は、申請時に必要な戸籍謄(抄)本を同時に取得することができる」の割合が11.5%となっています。

図表 2-4 パスポートセンターでできることの認知度 (居住地域別)



年齢別で見ると、他に比べ、30歳未満、30歳代、40歳代で「1と2をどちらも知らない」の割合が高くなっています。

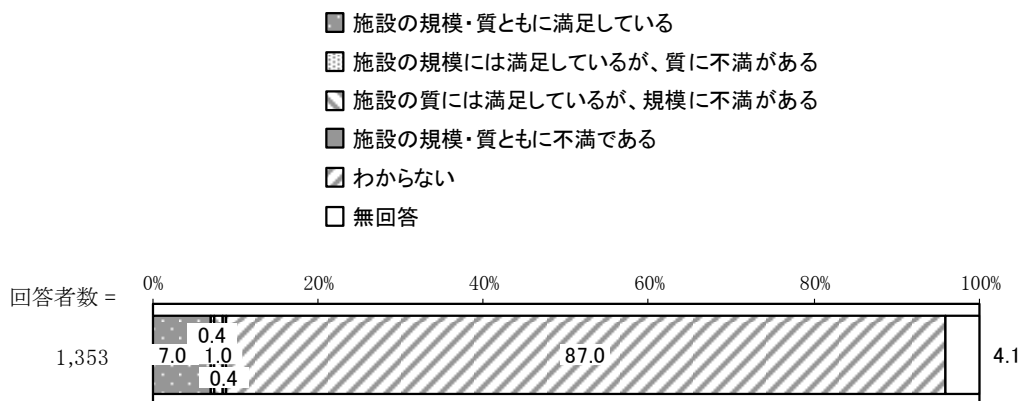
図表 2-5 パスポートセンターでできることの認知度 (年齢別)



問 24 あなたは吹田市パスポートセンターの施設について、どの程度満足していますか。(1つだけ○印)

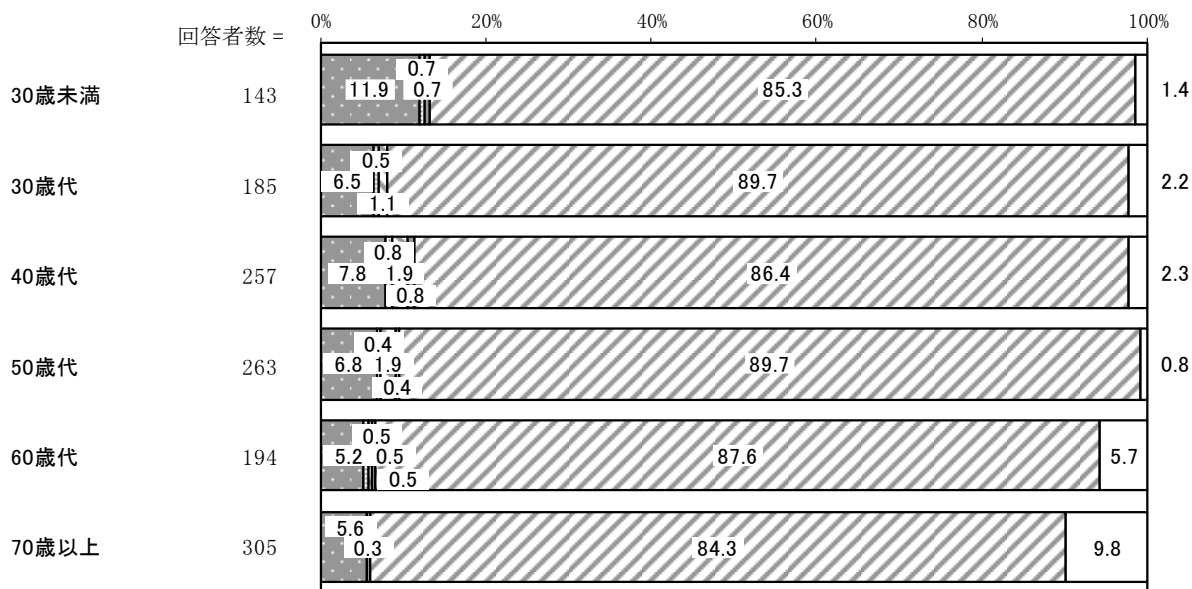
「わからない」の割合が87.0%と最も高くなっています。

図表 2-6 吹田市パスポートセンター施設の満足度 (単純回答)



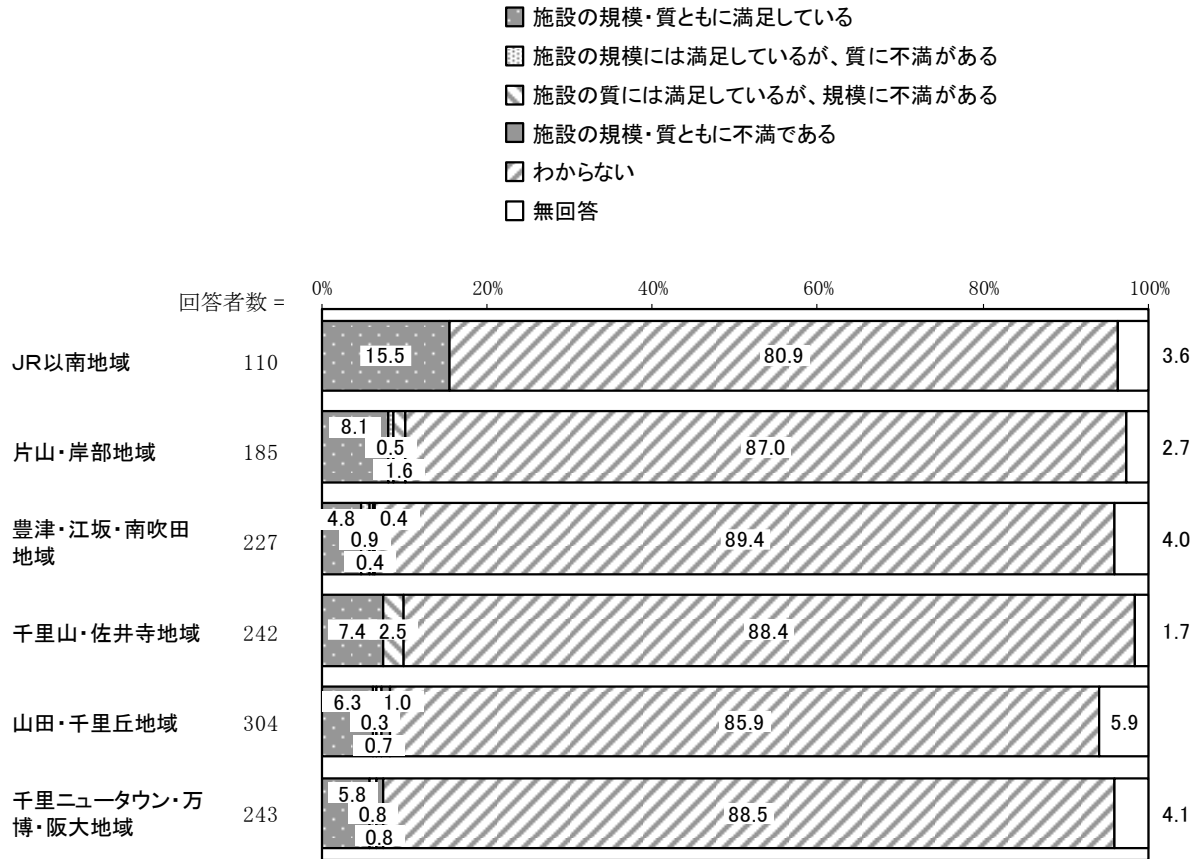
年齢別でみると、他に比べ、30歳未満で「施設の規模・質ともに満足している」の割合が高くなっています。

図表 2-7 吹田市パスポートセンター施設の満足度 (年齢別)



居住地域別で見ると、他に比べ、JR以南地域で「施設の規模・質ともに満足している」の割合が高くなっています。

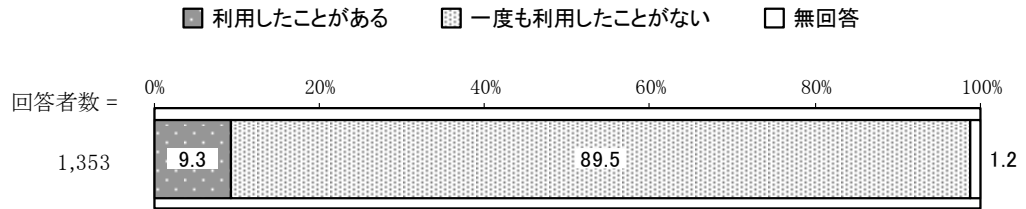
図表 2-8 吹田市パスポートセンター施設の満足度（居住地域別）



問 25 吹田市パスポートセンターを利用したことがありますか。(1つだけ○印)

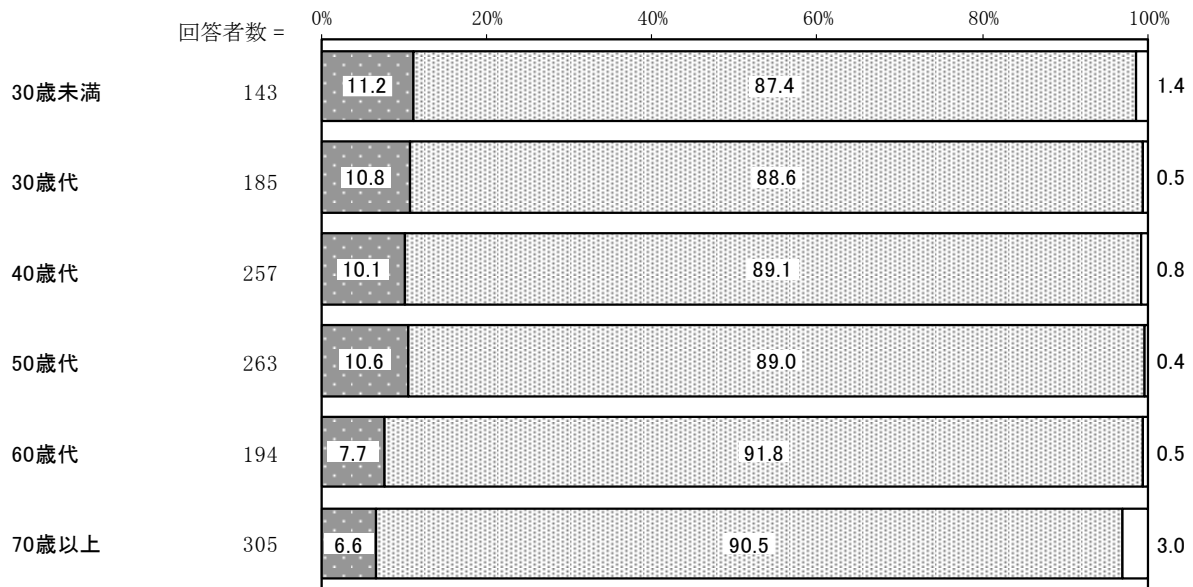
「利用したことがある」の割合が 9.3%、「一度も利用したことがない」の割合が 89.5%となっています。

図表 2-9 吹田市パスポートセンター施設の満足度 (居住地域別)



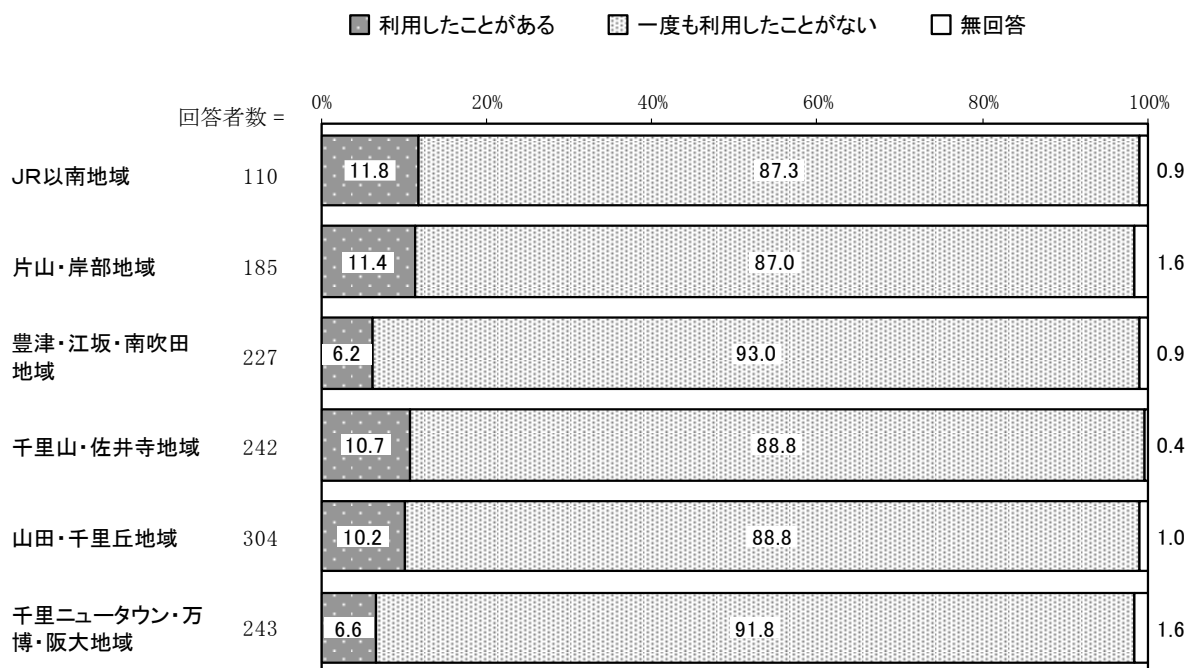
年齢別でみると、大きな差異はみられません。

図表 2-10 吹田市パスポートセンター施設の満足度 (年齢別)



居住地域別で見ると、豊津・江坂・南吹田地域で「一度も利用したことがない」の割合が最も高くなっています。

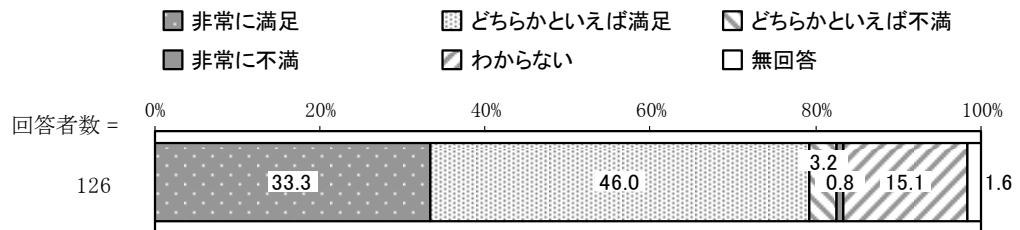
図表 2-11 吹田市パスポートセンター施設の満足度（居住地域別）



問 25-1 窓口対応は満足のいくものでしたか。(1つだけ○印)

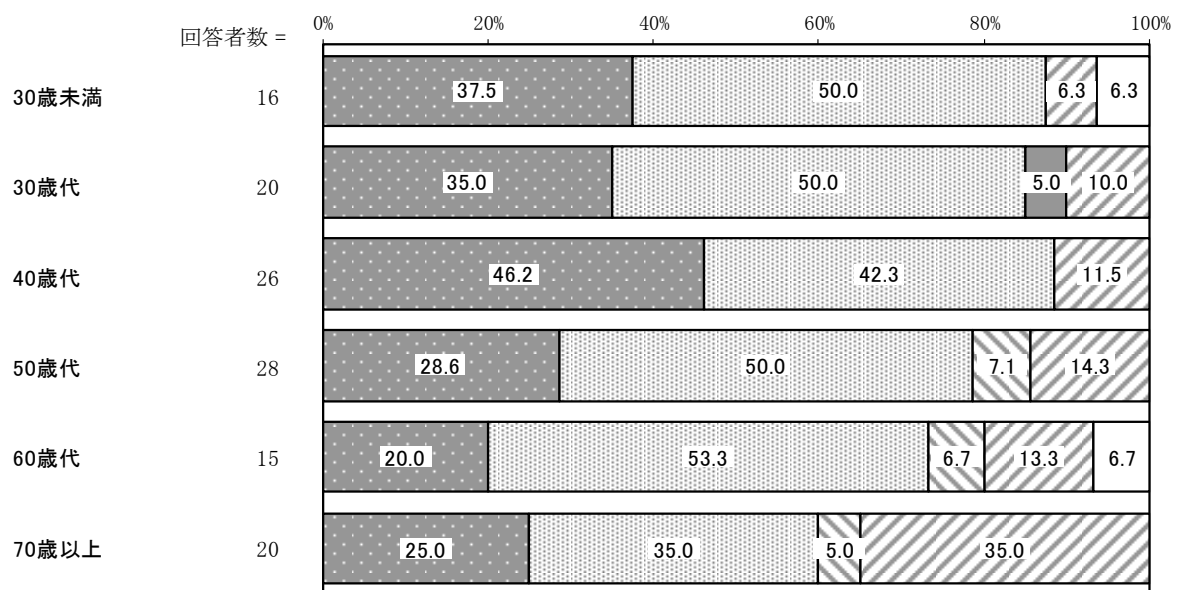
「非常に満足」と「どちらかといえば満足」をあわせた“満足”の割合が79.3%、「どちらかといえば不満」と「非常に不満」をあわせた“不満”の割合が4.0%となっています。

図表 2-12 窓口対応の満足度 (居住地域別)



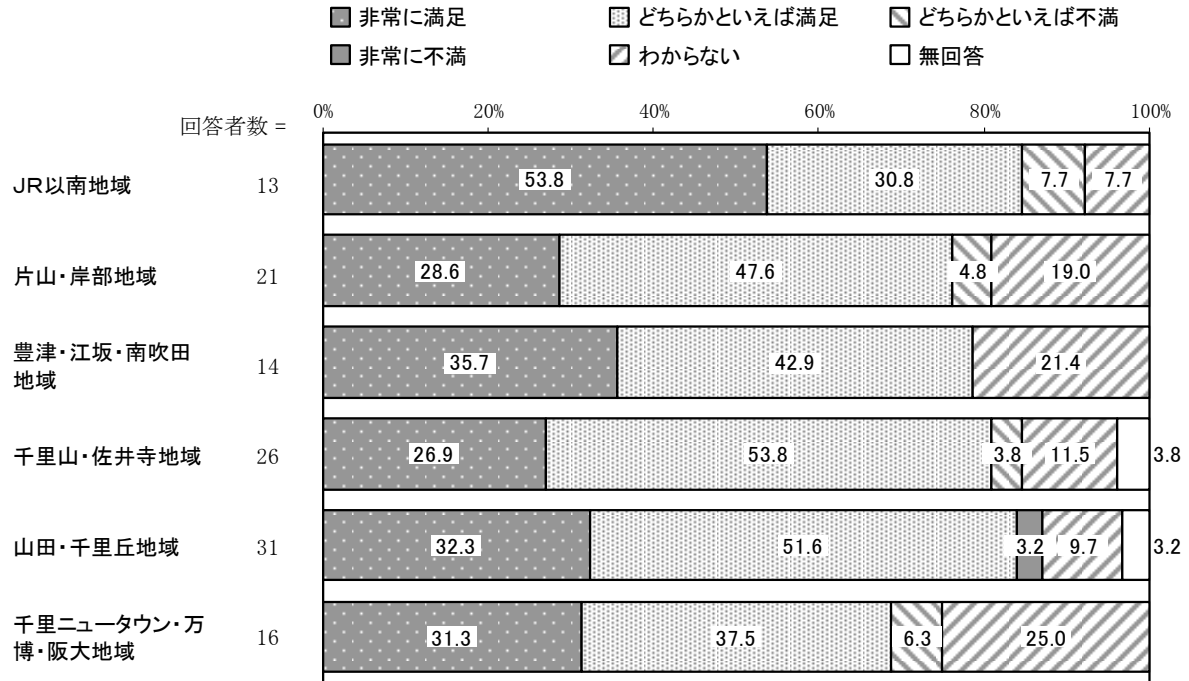
年齢別でみると、他に比べ、30歳未満、30歳代、40歳代で“満足”の割合が高くなっています。

図表 2-13 窓口対応の満足度 (年齢別)



居住地域別で見ると、他に比べ、JR以南地域、千里山・佐井寺地域、山田・千里丘地域で“満足”の割合が高くなっています。

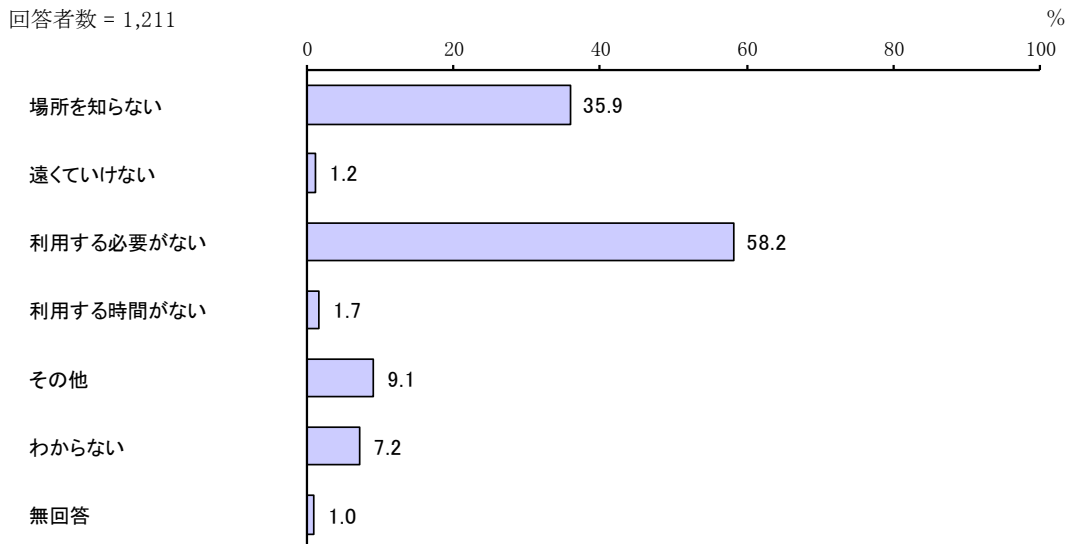
図表 2-14 窓口対応の満足度（居住地域別）



問 25-2 一度も利用したことがない理由を教えてください。(いくつでも○印)

「利用する必要がない」の割合が 58.2%と最も高く、次いで「場所を知らない」の割合が 35.9%となっています。

図表 2-15 一度も利用したことがない理由 (単純回答)



年齢別でみると、他に比べ、30歳代で「場所を知らない」の割合が、40歳代で「利用する必要がない」の割合が高くなっています。

図表 2-16 一度も利用したことがない理由 (年齢別)

単位：%

区分	有効回答数 (件)	場所を知らない	遠くていけない	利用する必要がない	利用する時間がない	その他	わからない	無回答
30歳未満	125	36.8	—	48.0	4.8	6.4	16.0	1.6
30歳代	164	40.2	—	57.9	1.2	11.6	4.3	—
40歳代	229	37.1	1.3	62.9	2.6	7.4	1.7	0.9
50歳代	234	31.6	1.3	60.3	0.9	10.3	7.3	—
60歳代	178	33.7	1.7	58.4	1.1	12.4	6.7	1.7
70歳以上	276	37.7	2.2	56.9	1.1	7.2	9.8	1.4

居住地域別で見ると、他に比べ、豊津・江坂・南吹田地域で「場所を知らない」の割合が、JR以南地域で「利用する必要がない」の割合が高くなっています。

図表 2-17 一度も利用したことがない理由（居住地域別）

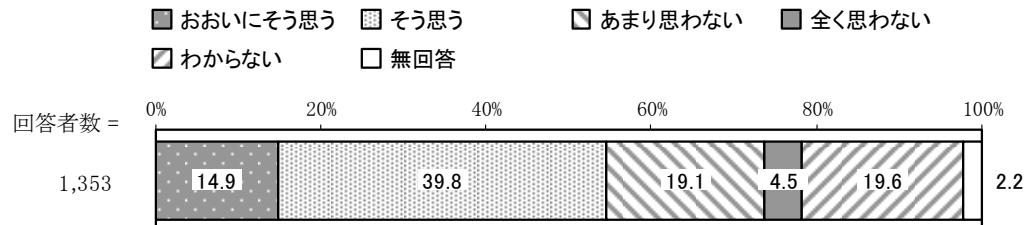
単位：％

区分	有効回答数 (件)	場所を知らない	遠くていけない	利用する必要がない	利用する時間がない	その他	わからない	無回答
JR以南地域	96	20.8	1.0	66.7	1.0	10.4	5.2	1.0
片山・岸部地域	161	34.2	2.5	63.4	2.5	5.0	7.5	1.2
豊津・江坂・南吹田地域	211	43.1	0.5	53.1	3.3	8.5	7.6	0.9
千里山・佐井寺地域	215	38.6	—	53.5	0.9	11.2	7.4	1.4
山田・千里丘地域	270	37.0	0.7	59.6	1.1	8.5	8.5	0.4
千里ニュータウン・万博・ 阪大地域	223	35.0	3.1	61.0	1.3	10.8	3.1	0.4

問 26 吹田市パスポートセンターの場所についてお聞きします。JR 吹田駅前にあるのは便利だと思いますか。(1つだけ○印)

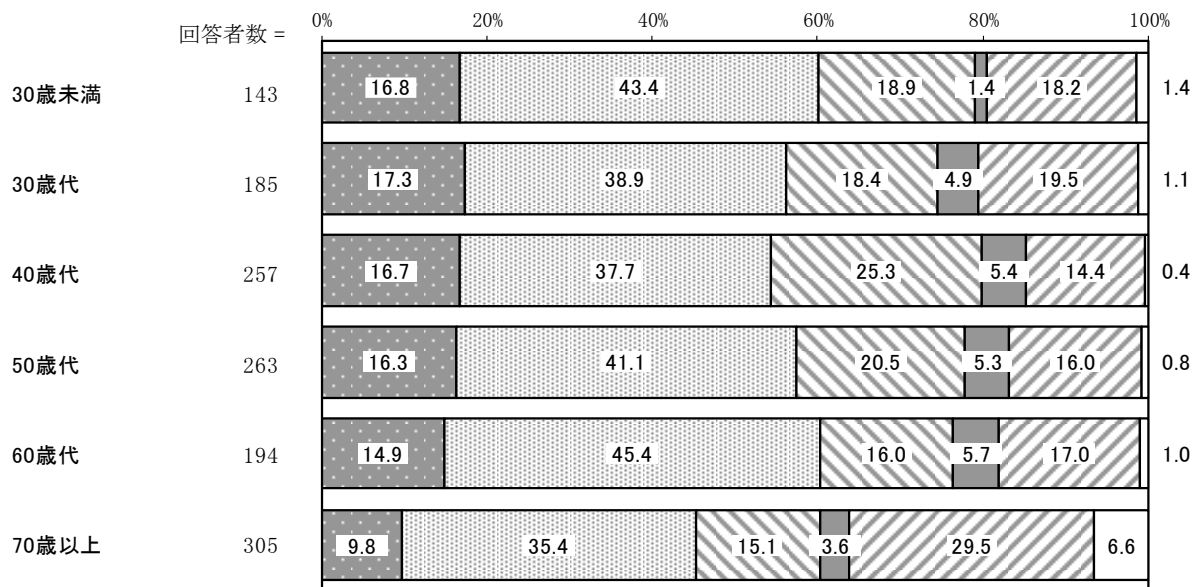
「おおいにそう思う」と「そう思う」をあわせた“そう思う”の割合が 54.7%、「あまり思わない」と「全く思わない」をあわせた“思わない”の割合が 23.6%となっています。

図表 2-18 吹田市パスポートセンターの場所の利便性 (単純回答)



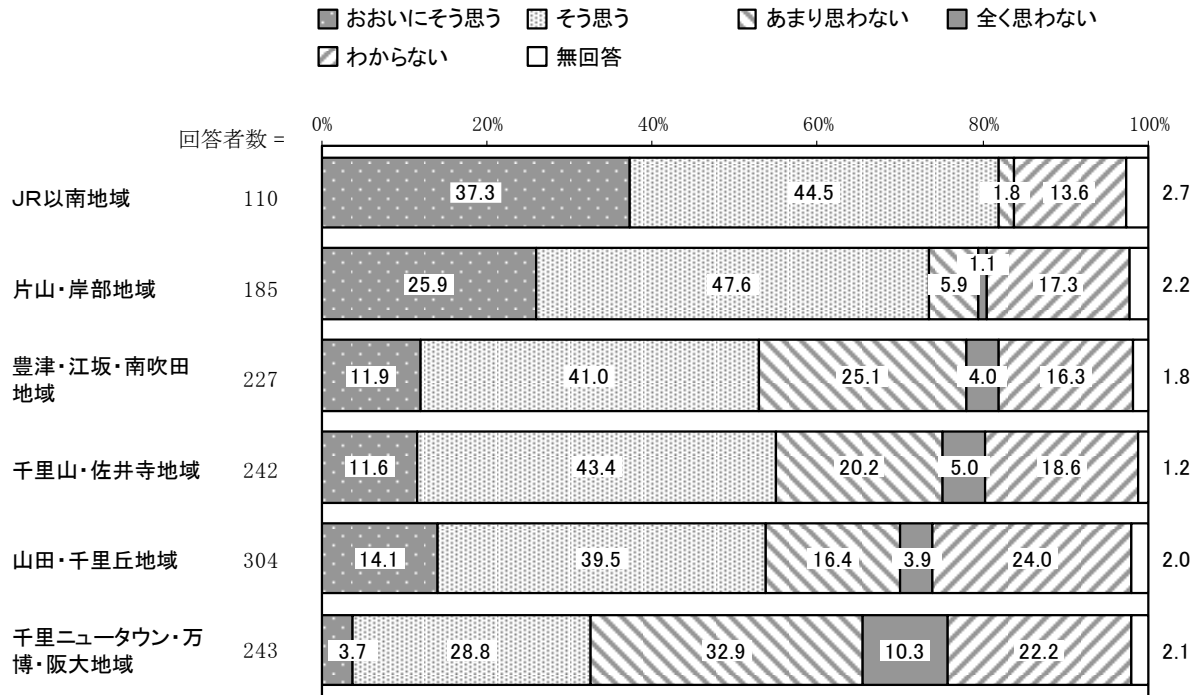
年齢別でみると、他に比べ、30歳未満、60歳代で“そう思う”の割合が高くなっています。

図表 2-19 吹田市パスポートセンターの場所の利便性 (年齢別)



居住地域別で見ると、他に比べ、JR以南地域、片山・岸部地域で“そう思う”の割合が高くなっています。また、千里ニュータウン・万博・阪大地域で“思わない”の割合が高くなっています。

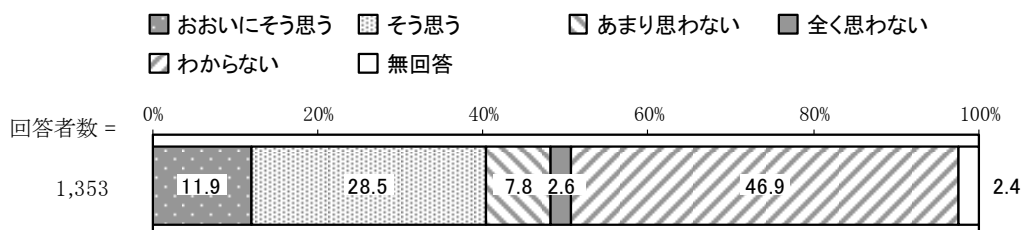
図表 2-20 吹田市パスポートセンターの場所の利便性（居住地域別）



問 27 吹田市パスポートセンターが開設して、便利になったと思いますか。
(1つだけ○印)

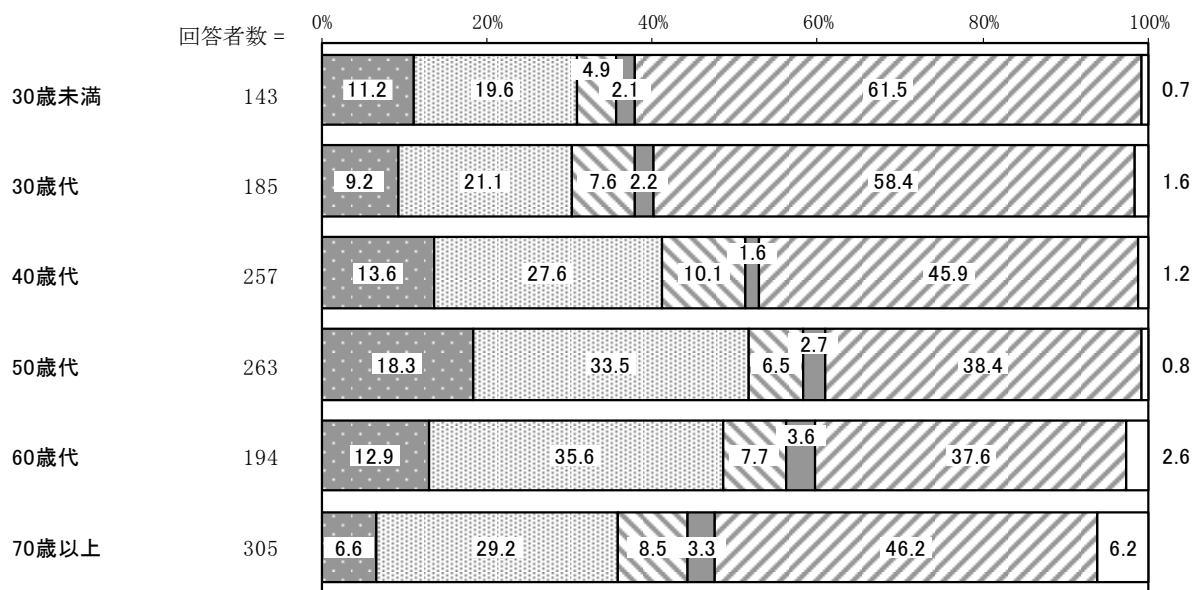
「おおいにそう思う」と「そう思う」をあわせた“そう思う”の割合が40.4%、「あまり思わない」と「全く思わない」をあわせた“思わない”の割合が10.4%となっています。

図表 2-21 吹田市パスポートセンターの利便性 (居住地域別)



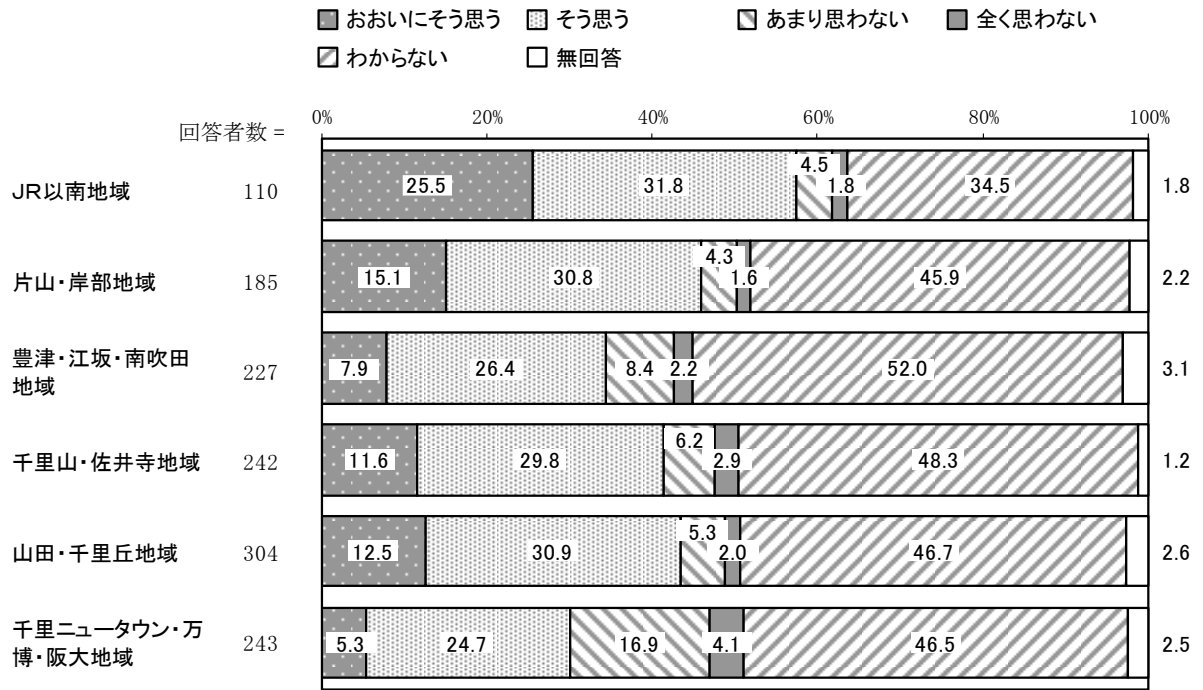
年齢別でみると、他に比べ、50歳代で“そう思う”の割合が高くなっています。

図表 2-22 吹田市パスポートセンターの利便性 (年齢別)



居住地域別で見ると、他に比べ、JR以南地域で“そう思う”割合が高くなっています。また、千里ニュータウン・万博・阪大地域で“思わない”の割合が高くなっています。

図表 2-23 吹田市パスポートセンターの利便性（居住地域別）

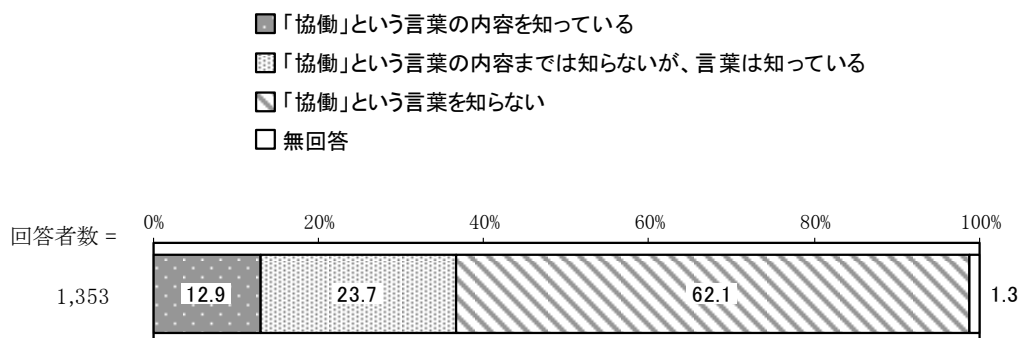


第3章 市民自治について

問 28 吹田市では、市民との協働を進めています。「協働」とは、市民及び市が、共通の目的を実現するため、それぞれの役割と責任を自覚しながら、お互いの立場を尊重し、協力することをいいます。この「協働」という言葉について、あなたはご存知でしたか。(1つだけ○印)

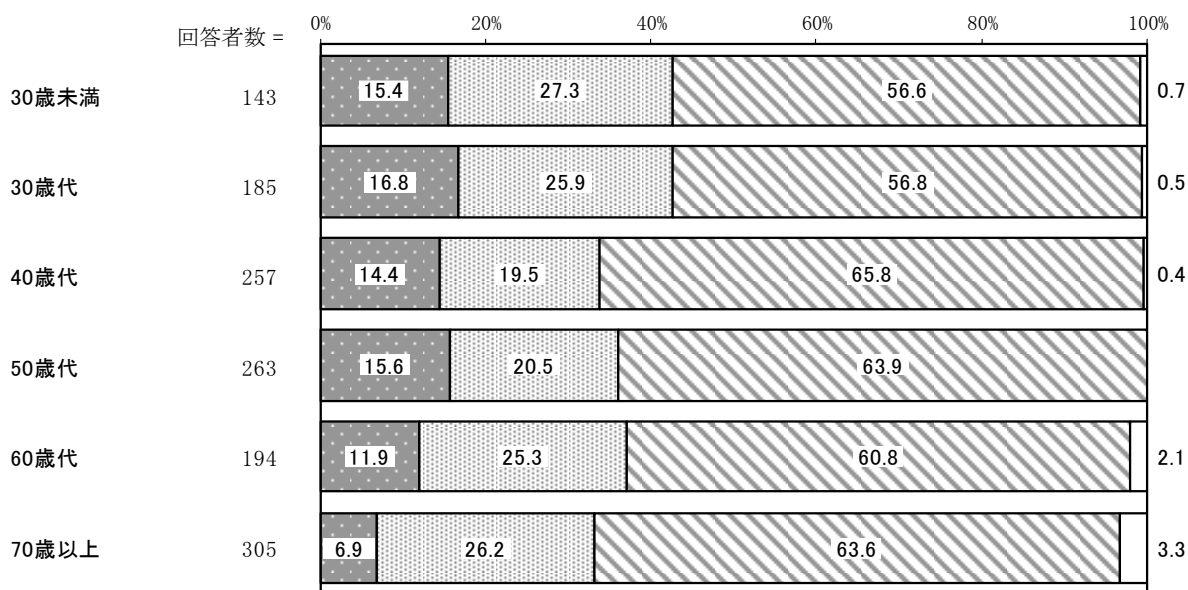
「協働」という言葉を知らない」の割合が62.1%と最も高く、次いで「協働」という言葉の内容までは知らないが、言葉は知っている」の割合が23.7%、「協働」という言葉の内容を知っている」の割合が12.9%となっています。

図表 3-1 「協働」という言葉の認知度 (単純回答)



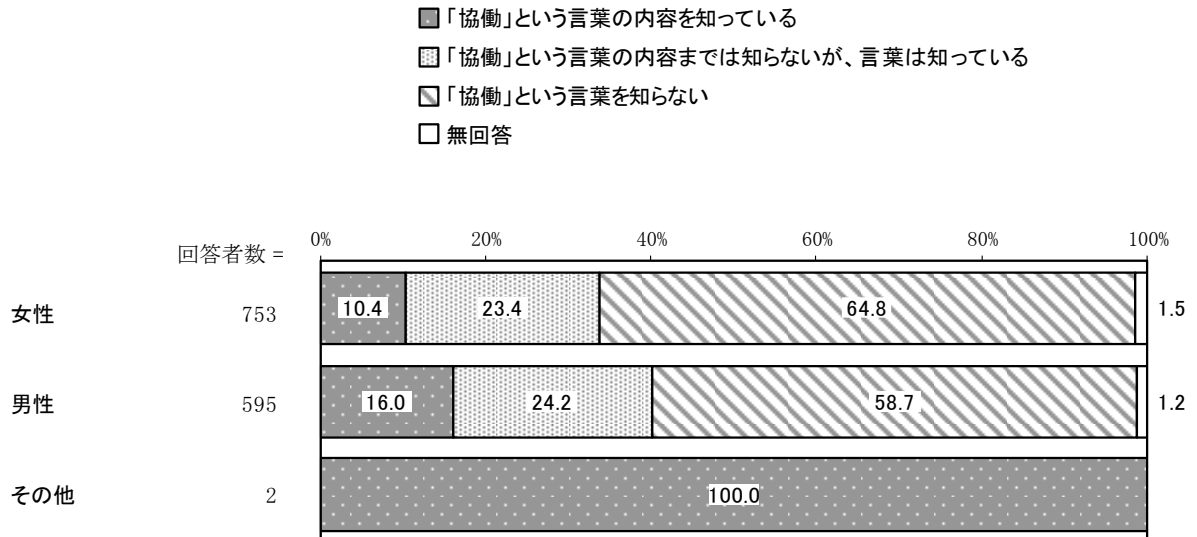
年齢別で見ると、他に比べ、40歳代、50歳代、70歳以上で「協働」という言葉を知らない」の割合が高くなっています。

図表 3-2 「協働」という言葉の認知度 (年齢別)



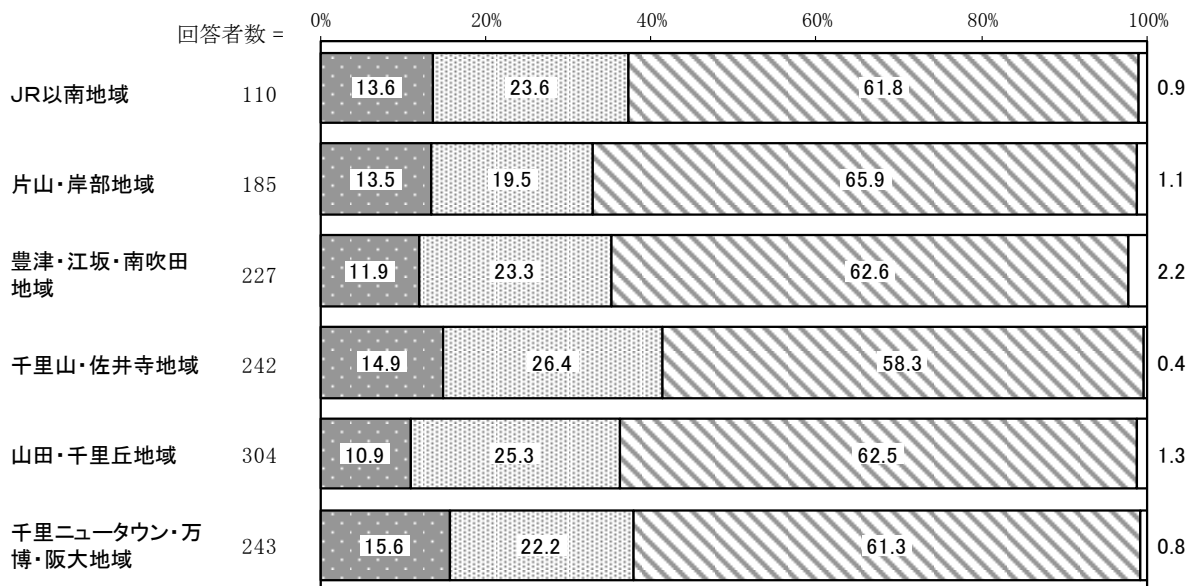
性別でみると、男性に比べ、女性で「協働」という言葉を知らない」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「協働」という言葉の内容を知っている」の割合が高くなっています。

図表 3-3 「協働」という言葉の認知度（性別）



居住地域別でみると、他に比べ、片山・岸部地域で「協働」という言葉を知らない」の割合が高くなっています。

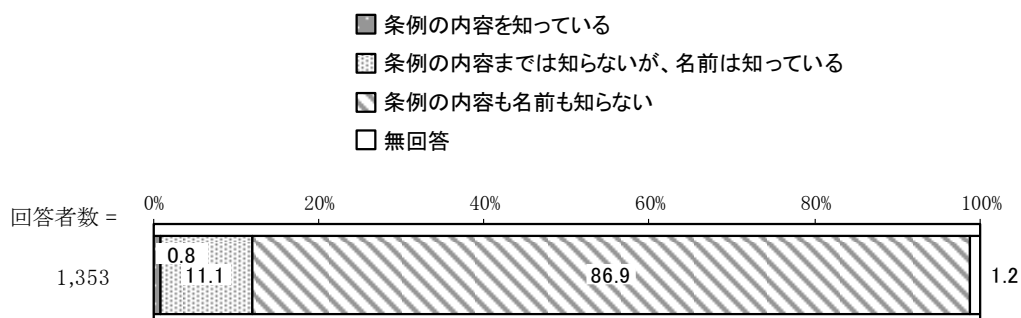
図表 3-4 「協働」という言葉の認知度（居住地域別）



問 29 吹田市は平成 19 年 1 月に「協働」の理念などを定めた吹田市自治基本条例を施行しました。この条例についてご存知ですか。（1 つだけ〇印）

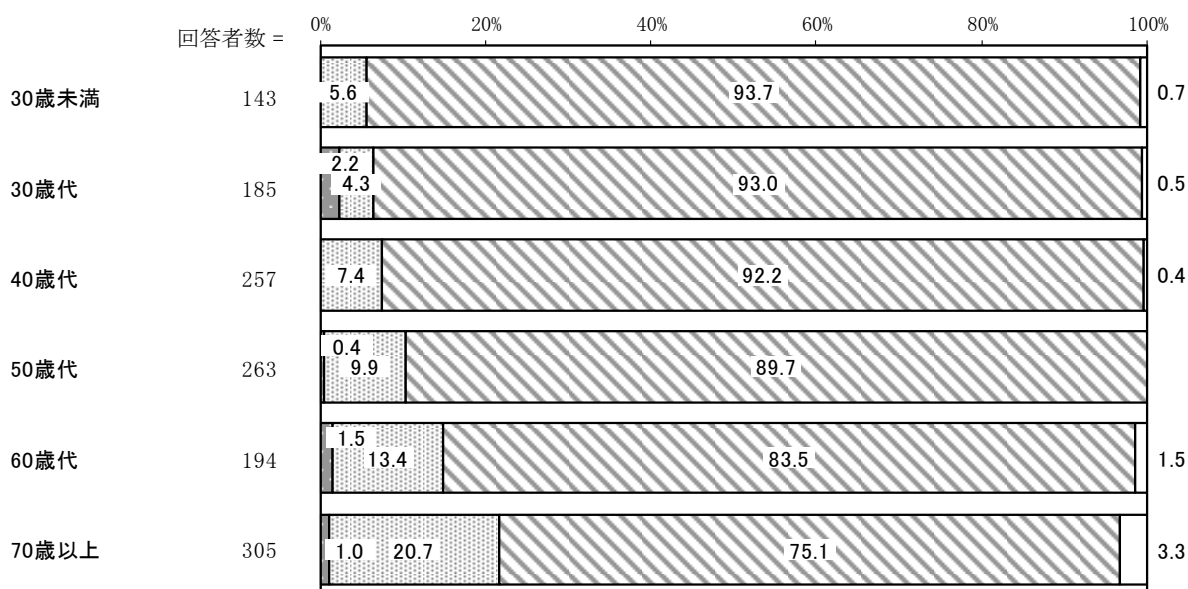
「条例の内容も名前も知らない」の割合が 86.9% と最も高く、次いで「条例の内容までは知らないが、名前は知っている」の割合が 11.1% となっています。

図表 3-5 吹田市自治基本条例の認知度（単純回答）



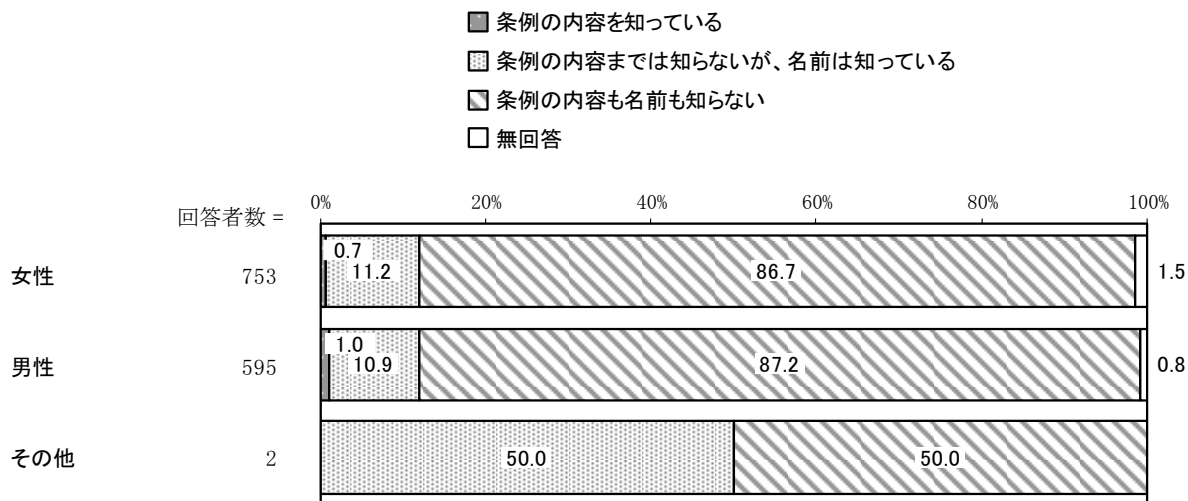
年齢別でみると、他に比べ、30 歳未満、30 歳代、40 歳代で「条例の内容も名前も知らない」の割合が高くなっています。また、年齢が高くなるにつれ「条例の内容までは知らないが、名前は知っている」の割合が高くなる傾向がみられます。

図表 3-6 吹田市自治基本条例の認知度（年齢別）



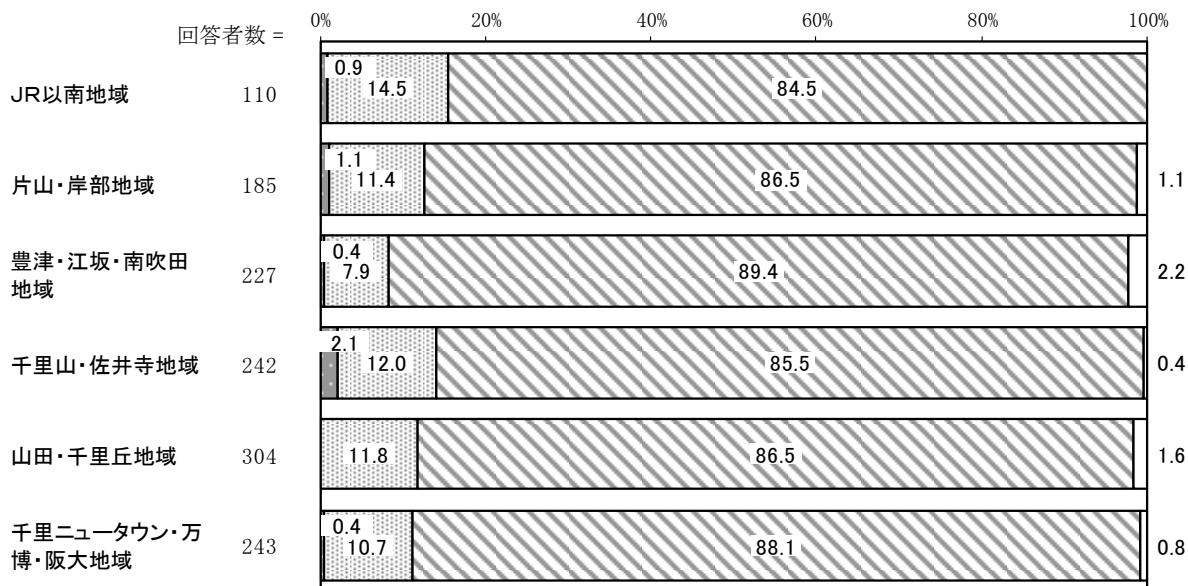
性別でみると、大きな差異はみられません。

図表 3-7 吹田市自治基本条例の認知度（性別）



居住地域別でみると、他に比べ、JR以南地域で「条例の内容までは知らないが、名前は知っている」の割合が高くなっています。

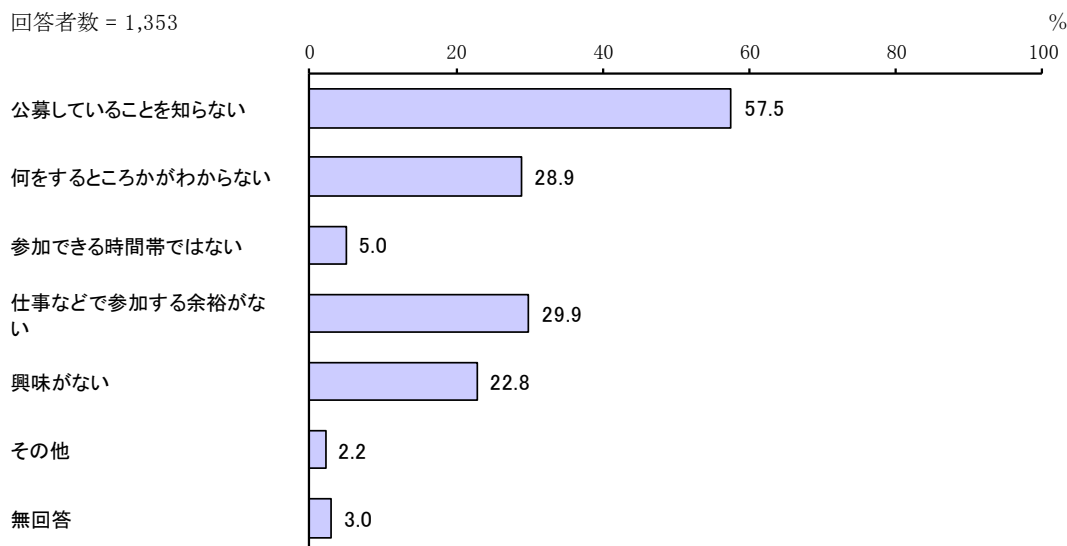
図表 3-8 吹田市自治基本条例の認知度（居住地域別）



問 30 多くの審議会では委員を市民から公募していますが、市民からの応募が少ないのが現状です。それはどういう理由からだと思いませんか。（2つまで〇印）

「公募していることを知らない」の割合が57.5%と最も高く、次いで「仕事などで参加する余裕がない」の割合が29.9%、「何をするとところかがわからない」の割合が28.9%となっています。

図表 3-9 審議会委員の市民からの応募が少ない理由（単純回答）



年齢別で見ると、30歳未満、30歳代、40歳代、50歳代で「仕事などで参加する余裕がない」の割合が高くなっています。

図表 3-10 審議会委員の市民からの応募が少ない理由（年齢別）

単位：%

区分	有効回答数（件）	公募していることを知らない	何をするとところかがわからない	参加できる時間帯ではない	仕事などで参加する余裕がない	興味がない	その他	無回答
30歳未満	143	45.5	23.8	4.2	38.5	37.1	2.1	3.5
30歳代	185	58.4	23.8	2.7	40.5	28.6	1.1	1.1
40歳代	257	57.2	28.0	7.4	38.9	21.4	2.7	1.9
50歳代	263	60.5	28.9	5.7	37.3	17.1	1.9	2.3
60歳代	194	59.3	34.5	6.7	24.7	20.6	1.0	3.1
70歳以上	305	59.3	31.8	3.0	9.2	20.3	3.6	5.6

性別でみると、男性に比べ、女性で「何をするとところかがわからない」の割合が高くなっています。

図表 3-11 審議会委員の市民からの応募が少ない理由（性別）

単位：％

区分	有効回答数（件）	公募していることを知らない	何をするとところかがわからない	参加できる時間帯ではない	仕事などで参加する余裕がない	興味がない	その他	無回答
女性	753	56.6	32.9	5.2	29.5	22.2	2.1	3.1
男性	595	58.5	23.9	4.9	30.4	23.7	2.4	3.0
その他	2	100.0	—	—	50.0	50.0	—	—

居住地域別でみると、他に比べ、千里山・佐井寺地域で「仕事などで参加する余裕がない」の割合が、山田・千里丘地域で「公募していることを知らない」の割合が高くなっています。

図表 3-12 審議会委員の市民からの応募が少ない理由（居住地域別）

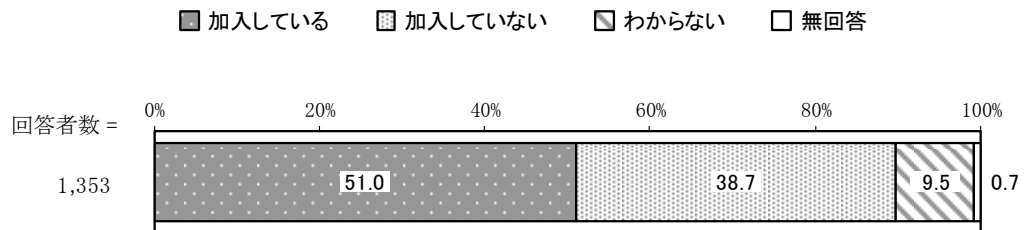
単位：％

区分	有効回答数（件）	公募していることを知らない	何をするとところかがわからない	参加できる時間帯ではない	仕事などで参加する余裕がない	興味がない	その他	無回答
JR以南地域	110	59.1	28.2	7.3	29.1	26.4	2.7	1.8
片山・岸部地域	185	54.1	25.9	3.2	28.1	28.6	1.1	4.9
豊津・江坂・南吹田地域	227	53.7	31.3	4.0	30.4	24.2	1.8	4.0
千里山・佐井寺地域	242	55.8	29.3	5.4	34.7	21.1	2.1	3.7
山田・千里丘地域	304	62.8	28.3	4.3	28.9	23.0	2.0	2.0
千里ニュータウン・万博・阪大地域	243	60.5	29.6	6.2	28.4	18.5	3.7	1.2

問 31 あなたは、自治会に加入していますか。(1つだけ○印)

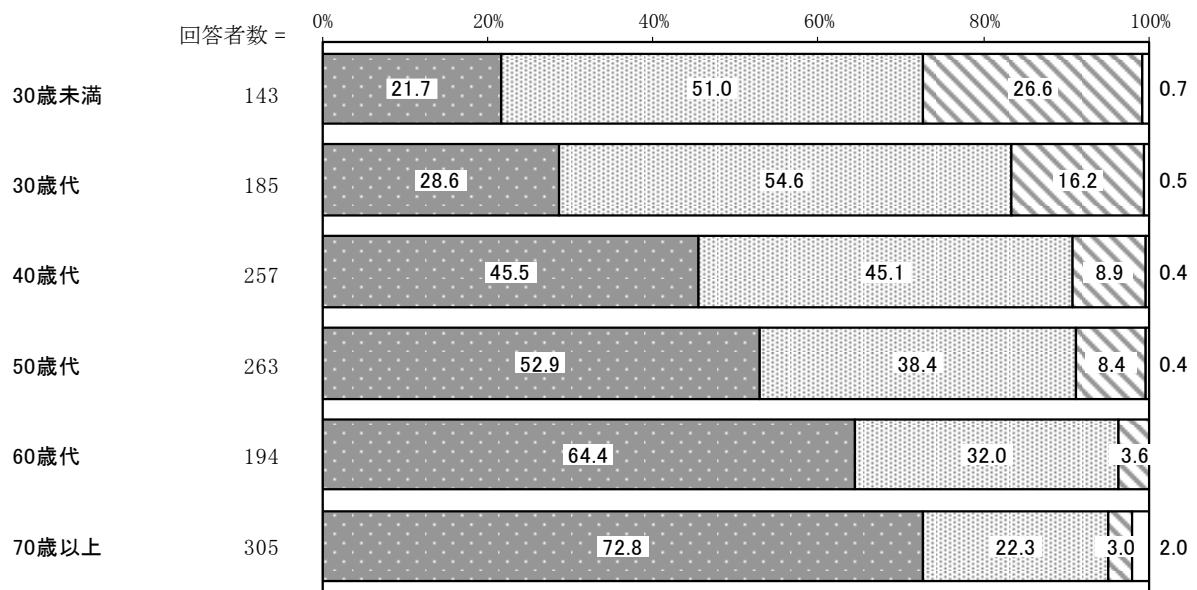
「加入している」の割合が 51.0%と最も高く、次いで「加入していない」の割合が 38.7%となっています。

図表 3-13 自治会への加入状況 (単純回答)



年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ自治会に加入している割合が高くなる傾向がみられます。

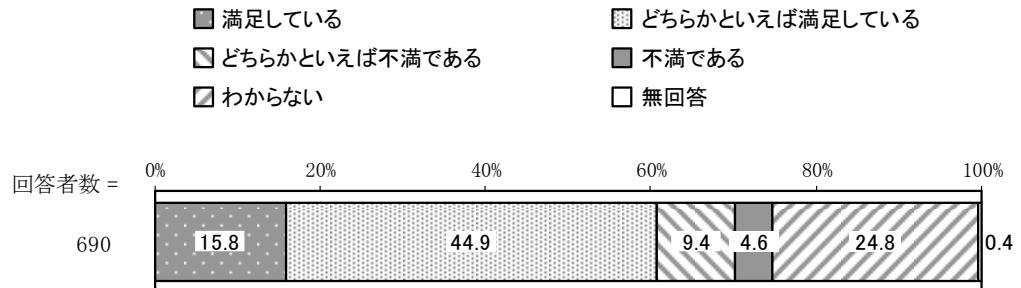
図表 3-14 自治会への加入状況 (年齢別)



問 31-1 あなたは、自治会の活動に満足していますか。(1つだけ○印)

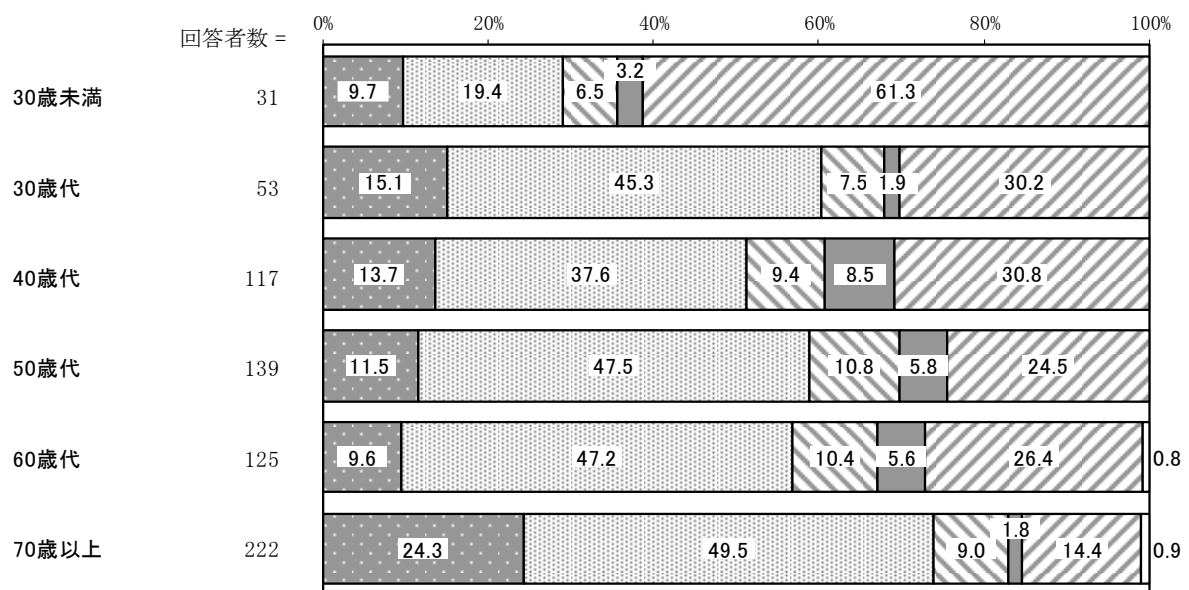
「満足している」と「どちらかといえば満足している」をあわせた“満足している”の割合が60.7%、「どちらかといえば不満である」と「不満である」をあわせた“不満である”の割合が14.0%となっています。

図表 3-15 自治会活動の満足度 (単純回答)



年齢別でみると、他に比べ、70歳以上で“満足している”の割合が高くなっています。

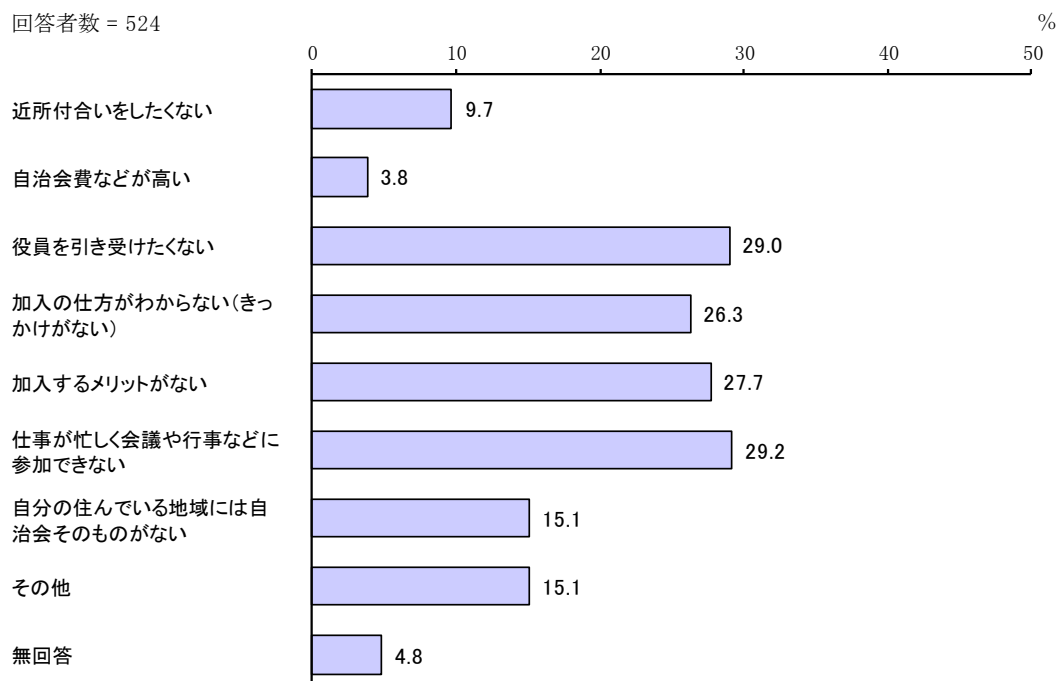
図表 3-16 自治会活動の満足度 (年齢別)



問 31-3 自治会へ加入していない理由は何ですか。(いくつでも○印)

「仕事が忙しく会議や行事などに参加できない」の割合が 29.2%と最も高く、次いで「役員を引き受けたくない」の割合が 29.0%、「加入するメリットがない」の割合が 27.7%となっています。

図表 3-17 自治会へ加入していない理由（単純回答）



年齢別でみると、他に比べ、30歳代で「加入の仕方がわからない(きっかけがない)」の割合が、60歳代で「役員を引き受けたくない」の割合が高くなっています。

図表 3-18 自治会へ加入していない理由（年齢別）

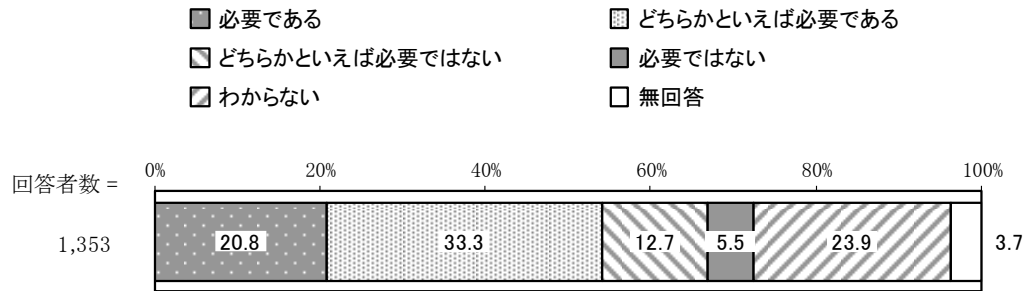
単位：%

区分	有効回答数(件)	近所付き合いをしたくない	自治会費などが高い	役員を引き受けたくない	加入の仕方がわからない(きっかけがない)	加入するメリットがない	仕事が忙しく会議や行事などに参加できない	自分の住んでいる地域には自治会そのものがない	その他	無回答
30歳未満	73	4.1	2.7	16.4	32.9	31.5	37.0	2.7	17.8	6.8
30歳代	101	10.9	5.9	34.7	45.5	30.7	38.6	8.9	10.9	2.0
40歳代	116	10.3	4.3	27.6	25.9	27.6	33.6	19.8	13.8	2.6
50歳代	101	9.9	4.0	24.8	24.8	25.7	26.7	22.8	14.9	3.0
60歳代	62	9.7	4.8	40.3	6.5	33.9	24.2	19.4	14.5	4.8
70歳以上	68	11.8	—	30.9	11.8	17.6	5.9	14.7	20.6	13.2

問 32 あなたは、自治会の必要性を感じていますか。(1つだけ○印)

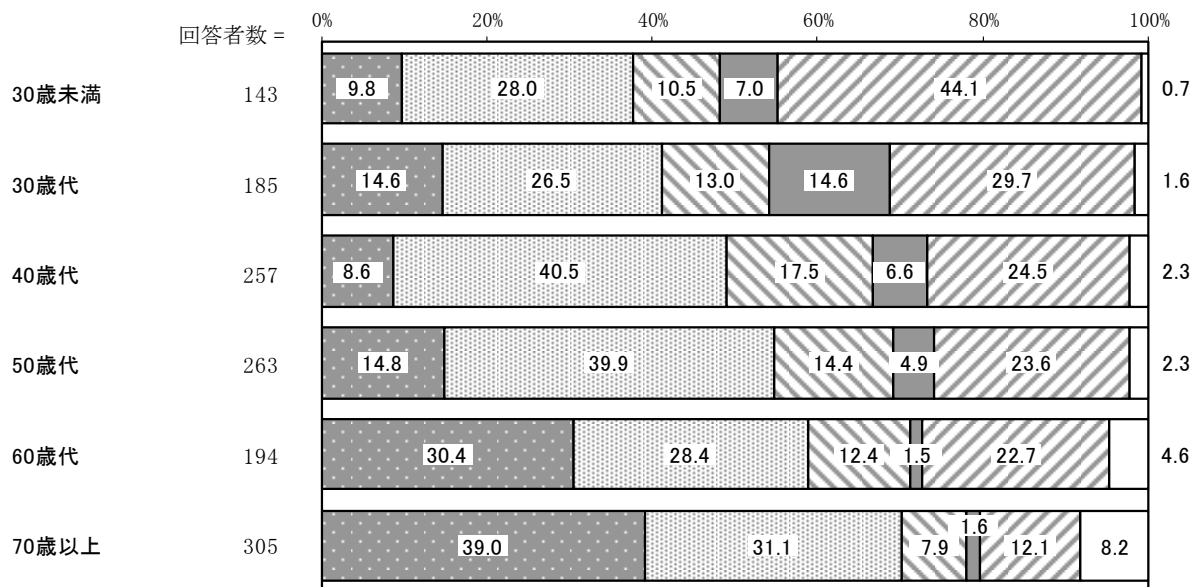
「必要である」と「どちらかといえば必要である」をあわせた“必要である”の割合が 54.1%、「どちらかといえば必要ではない」と「必要ではない」をあわせた“必要ではない”の割合が 18.2% となっています。

図表 3-19 自治会の必要性 (単純回答)



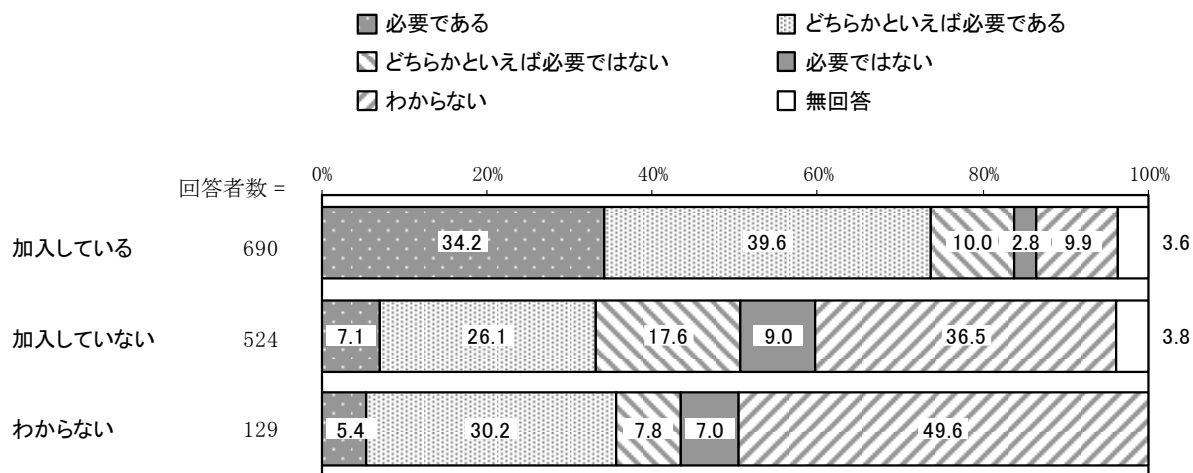
年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ“必要である”の割合が高くなっています。

図表 3-20 自治会の必要性 (年齢別)



自治会への加入別でみると、他に比べ、自治会加入者で“必要である”の割合が高くなっています。

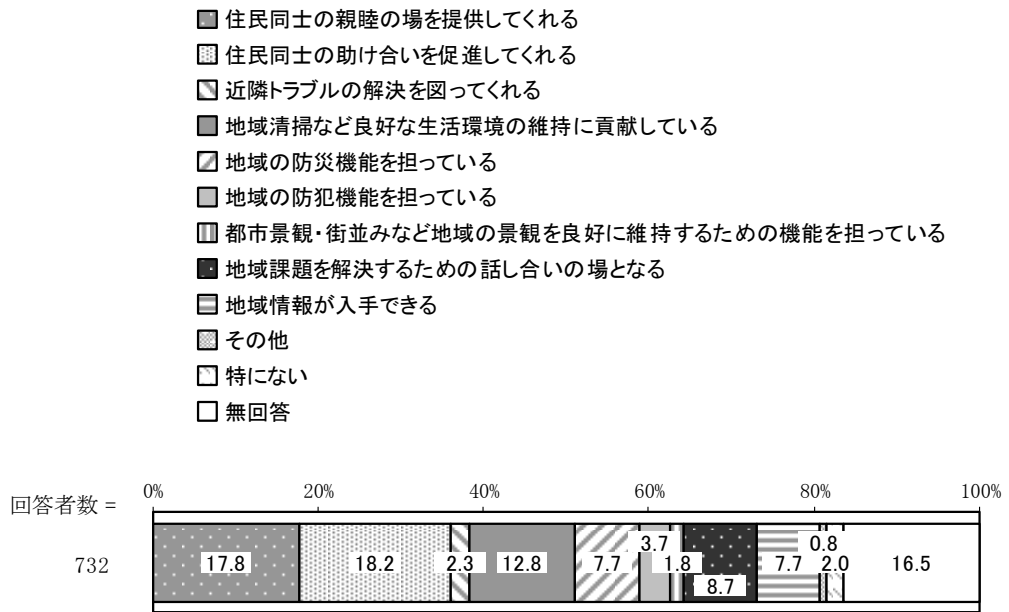
図表 3-21 自治会の必要性（自治会への加入別）



問 32-1 あなたは、自治会の必要性をどのようなところに感じていますか。最も大切だと思うものを教えてください。（1つだけ○印）

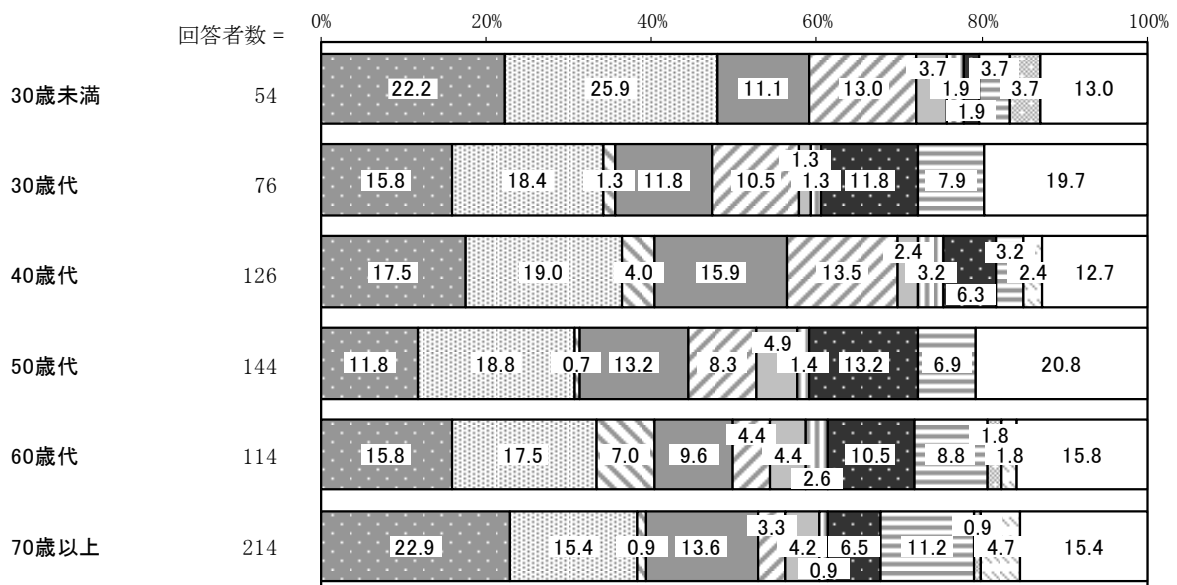
「住民同士の助け合いを促進してくれる」の割合が 18.2%と最も高く、次いで「住民同士の親睦の場を提供してくれる」の割合が 17.8%、「地域清掃など良好な生活環境の維持に貢献している」の割合が 12.8%となっています。

図表 3-22 自治会の必要性を感じる要因（単純回答）



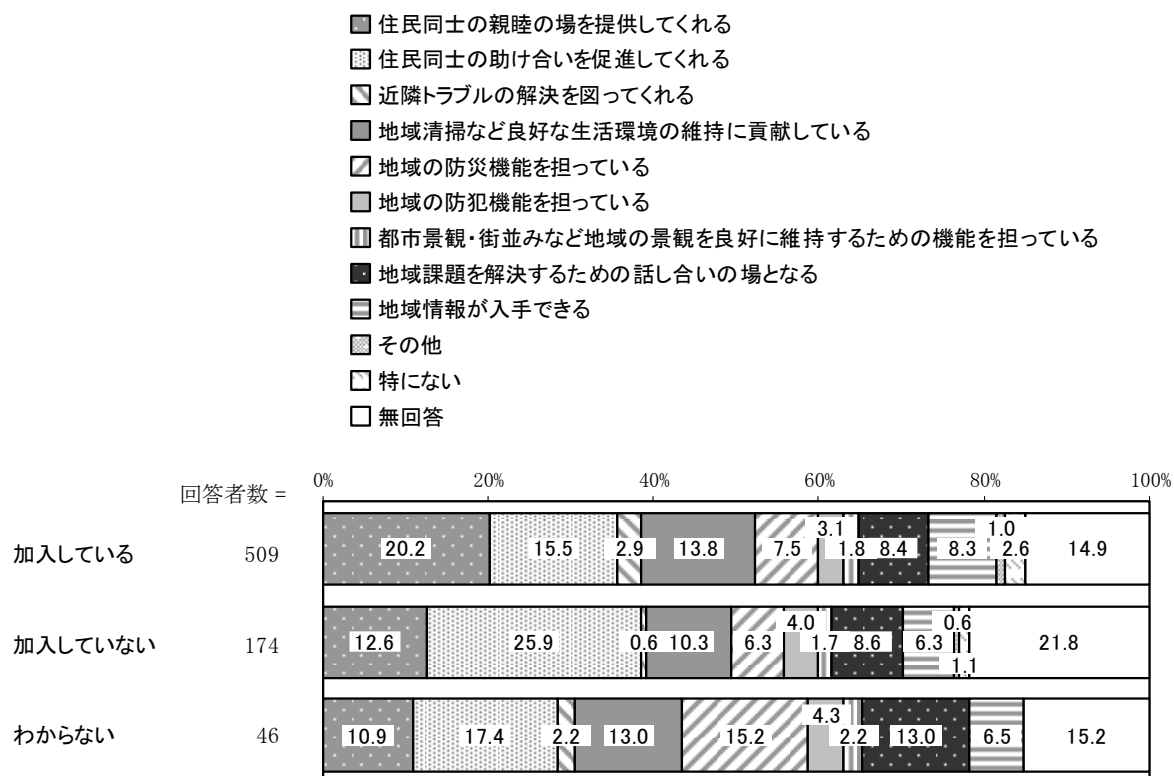
年齢別で見ると、他に比べ、30歳未満で「住民同士の助け合いを促進してくれる」の割合が高くなっています。

図表 3-23 自治会の必要性を感じる要因（年齢別）



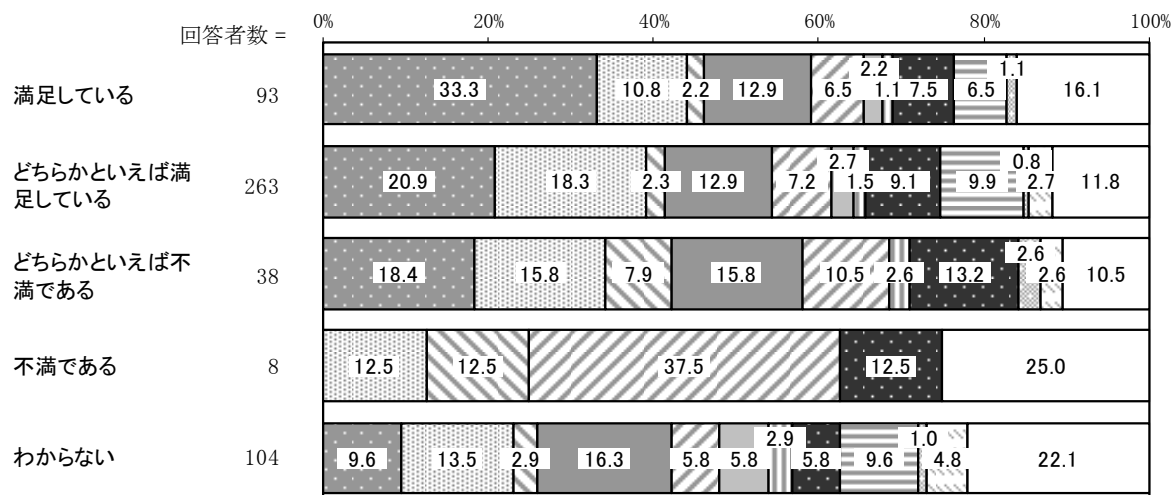
自治会への加入別でみると、他に比べ、自治会加入者で「住民同士の親睦の場を提供してくれる」の割合が、自治会未加入者で「住民同士の助け合いを促進してくれる」の割合が高くなっています。

図表 3-24 自治会の必要性を感じる要因（自治会への加入別）



自治会活動の満足度別でみると、満足している人ほど「住民同士の親睦の場を提供してくれる」の割合が高くなっています。

図表 3-25 自治会の必要性を感じる要因（自治会活動の満足度別）



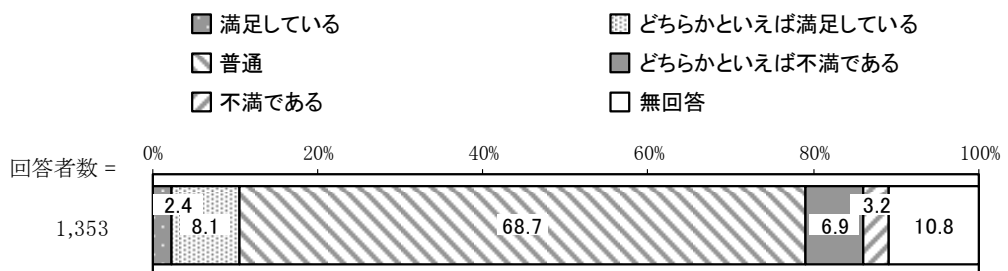
問 33 あなたは、次の項目について、どの程度満足していますか。また、今後の市民自治を進めるにあたってどの程度重要だと思いますか。
 (「満足度」と「重要度」からそれぞれ1つずつ○印)

満足度

①地域課題や社会的な課題の解決のための市民、事業者、行政の協働

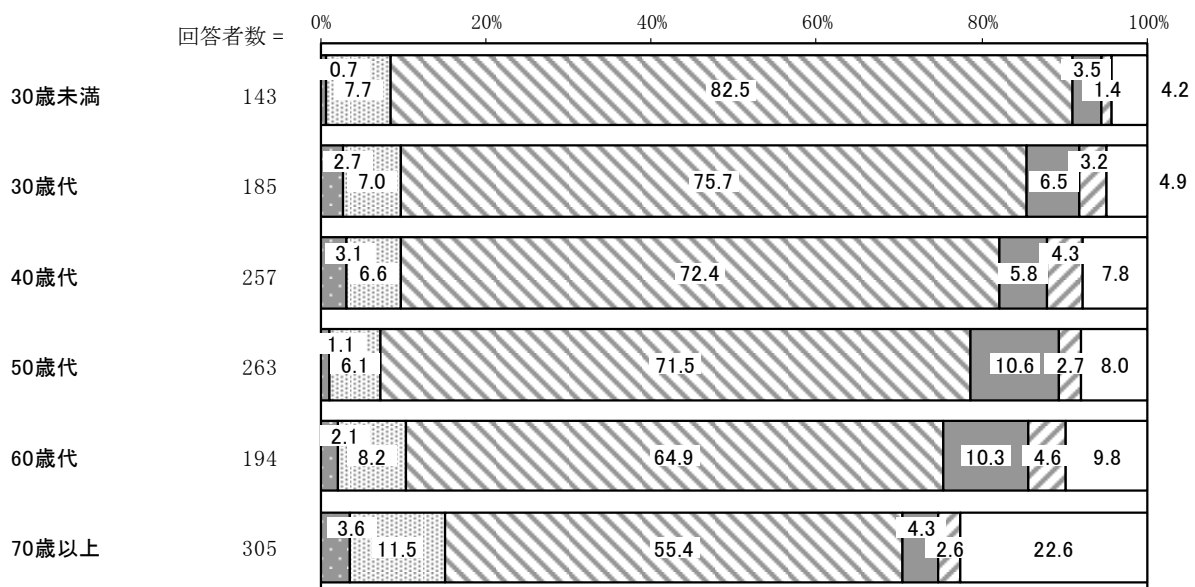
「満足している」と「どちらかといえば満足している」をあわせた“満足している”の割合が10.5%、「どちらかといえば不満である」と「不満である」をあわせた“不満である”の割合が10.1%となっています。

図表 3-26 課題の解決のための市民、事業者、行政の協働（単純回答）



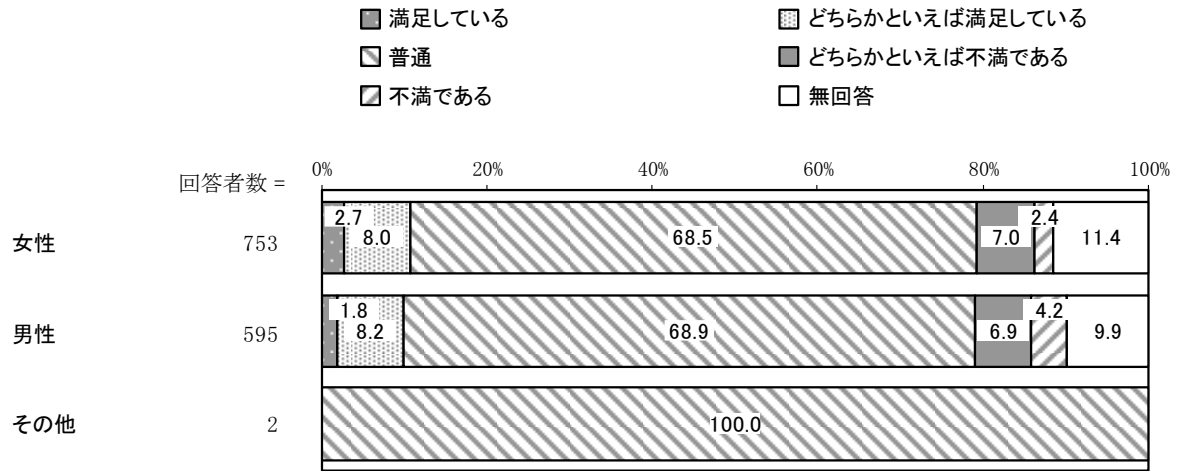
年齢別でみると、他に比べ、70歳以上で“満足している”の割合が高くなっています。また、50歳代、60歳代で“不満である”の割合が高くなっています。

図表 3-27 課題の解決のための市民、事業者、行政の協働（年齢別）



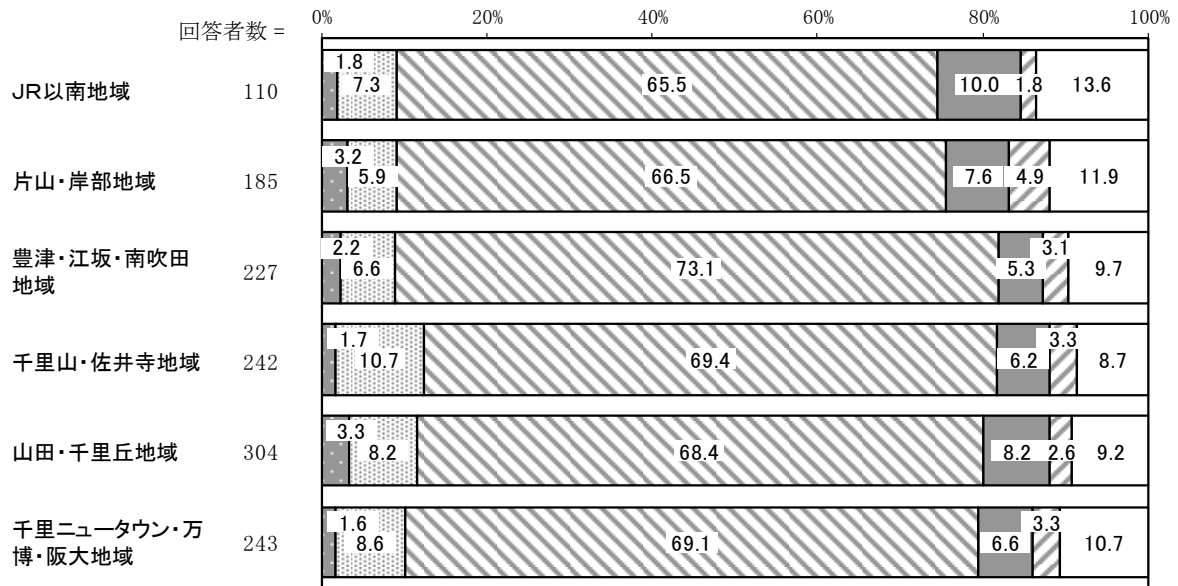
性別でみると、大きな差異はみられません。

図表 3-28 課題の解決のための市民、事業者、行政の協働（性別）



居住地域別でみると、他に比べ、豊津・江坂・南吹田地域で「普通」の割合が高くなっています。

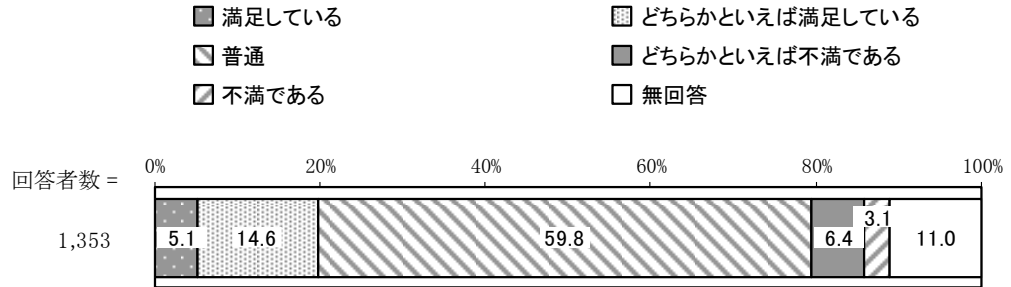
図表 3-29 課題の解決のための市民、事業者、行政の協働（居住地域別）



②市からの情報提供・公表

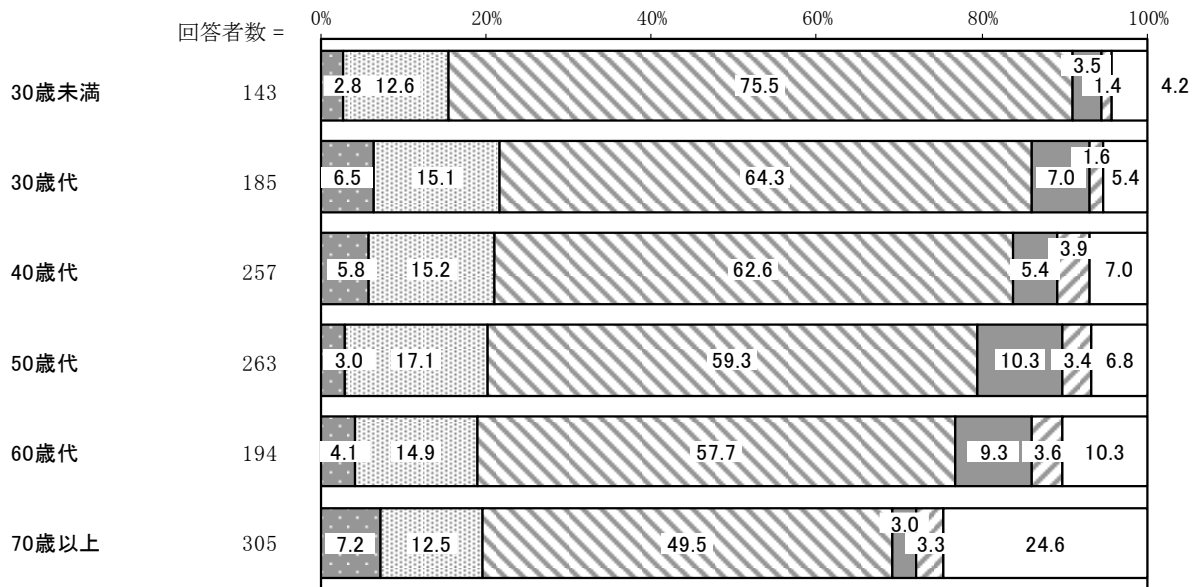
「満足している」と「どちらかといえば満足している」をあわせた“満足している”の割合が19.7%、「どちらかといえば不満である」と「不満である」をあわせた“不満である”の割合が9.5%となっています。

図表 3-30 市からの情報提供・公表（単純回答）



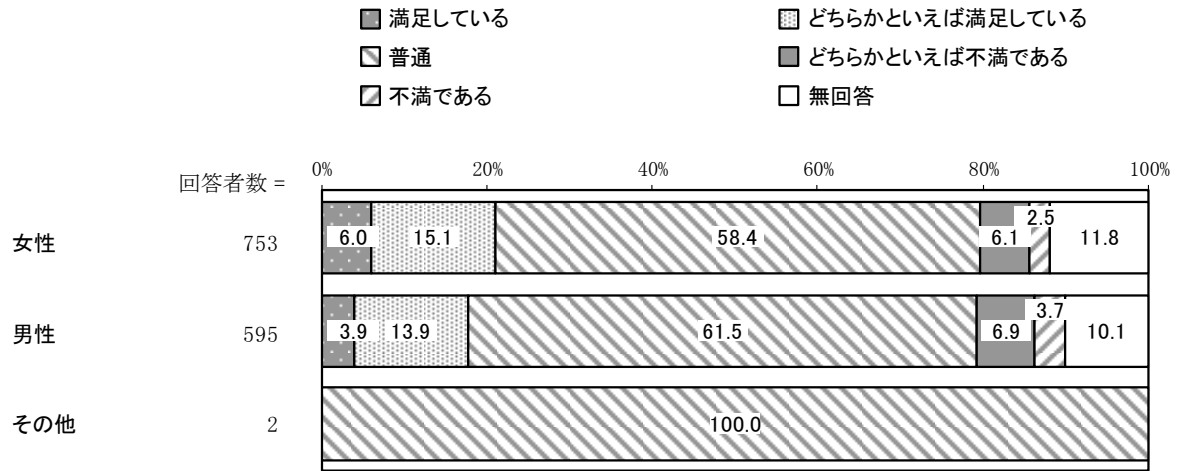
年齢別でみると、他に比べ、30歳未満で“満足している”の割合が低くなっています。

図表 3-31 市からの情報提供・公表（年齢別）



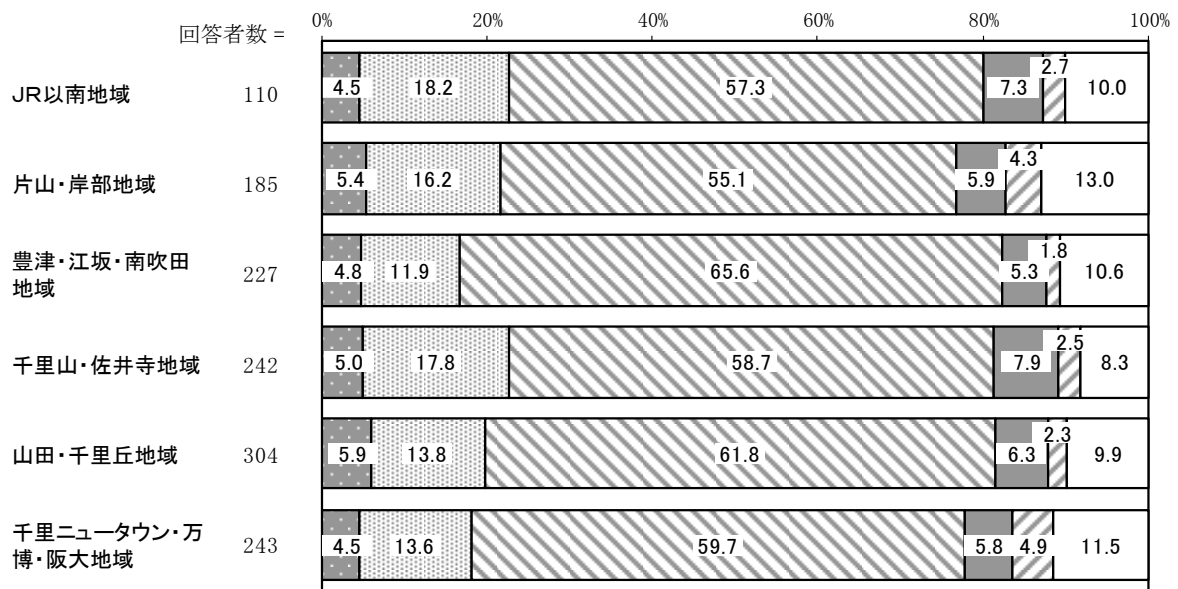
性別でみると、大きな差異はみられません。

図表 3-32 市からの情報提供・公表（性別）



居住地域別でみると、他に比べ、JR以南地域、千里山・佐井寺地域で“満足している”の割合が高くなっています。

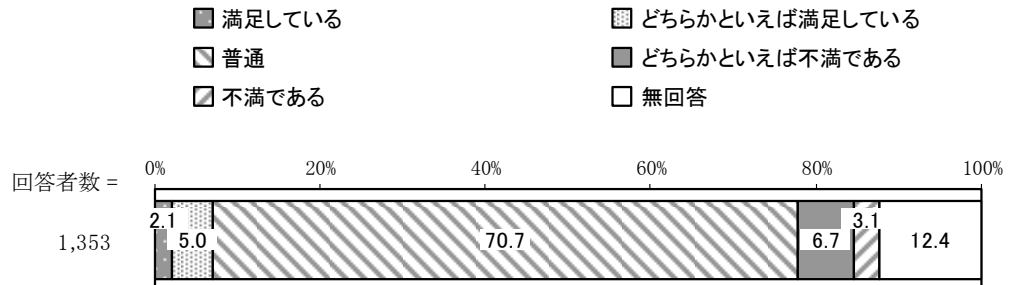
図表 3-33 市からの情報提供・公表（居住地域別）



③市民参画の推進

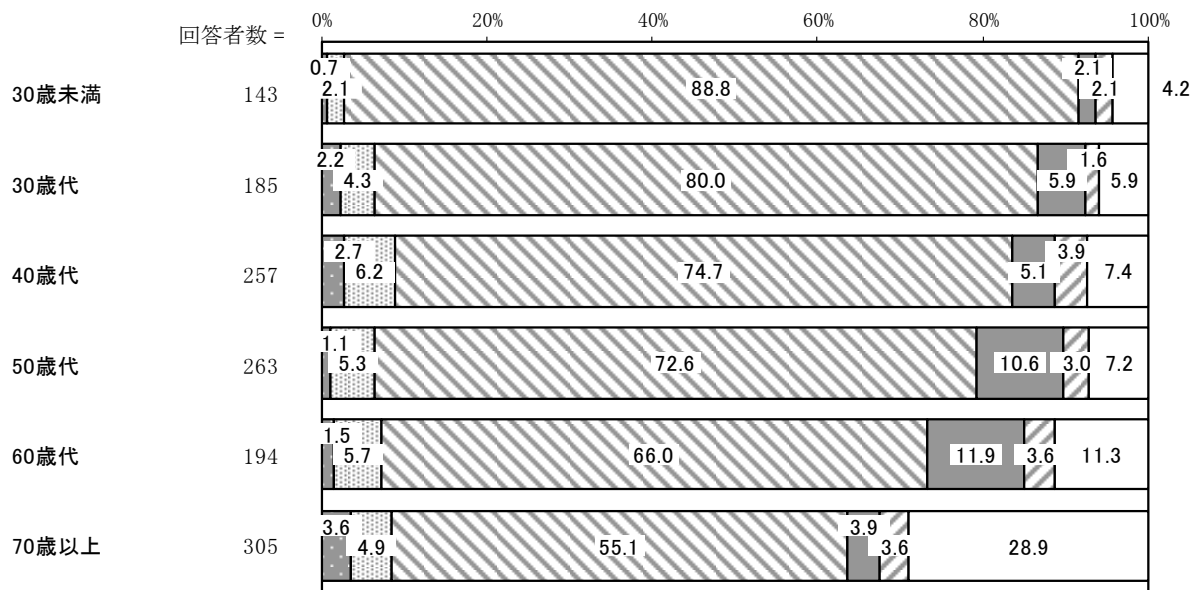
「満足している」と「どちらかといえば満足している」をあわせた“満足している”の割合が7.1%、「どちらかといえば不満である」と「不満である」をあわせた“不満である”の割合が9.8%となっています。

図表3-34 市民参画の推進（市民参画の推進）



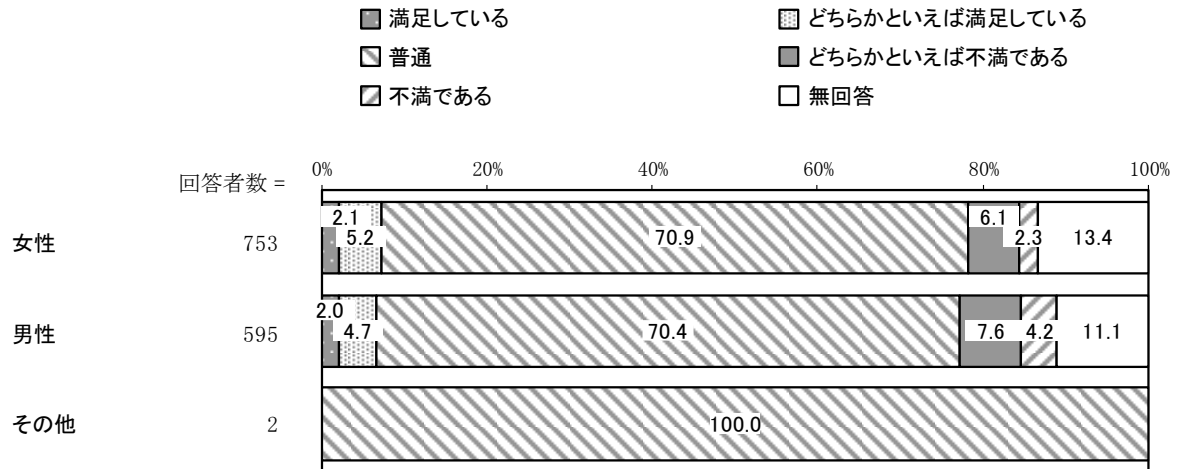
年齢別でみると、他に比べ、50歳代、60歳代で“不満である”の割合が高くなっています。

図表3-35 市民参画の推進（年齢別）



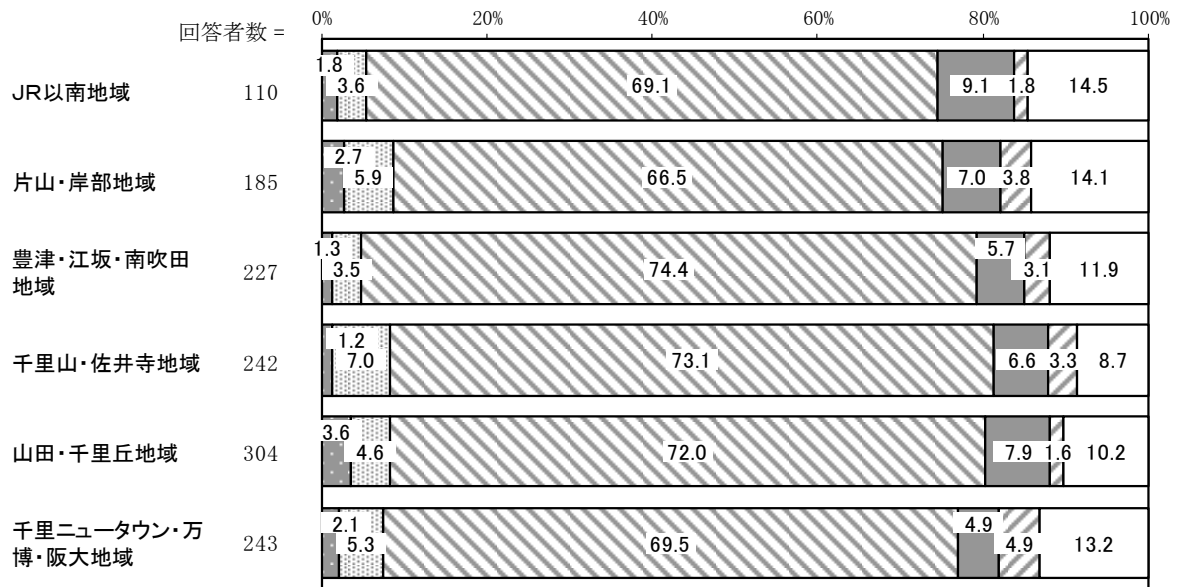
性別でみると、大きな差異はみられません。

図表 3-36 市民参画の推進（性別）



居住地域別でみると、他に比べ、豊津・江坂・南吹田地域、千里山・佐井寺地域、山田・千里丘地域で「普通」の割合が高くなっています。

図表 3-37 市民参画の推進（居住地域別）

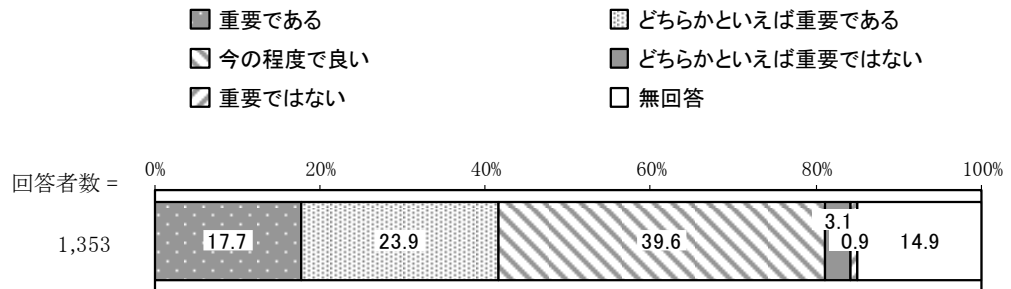


重要度

①地域課題や社会的な課題の解決のための市民、事業者、行政の協働

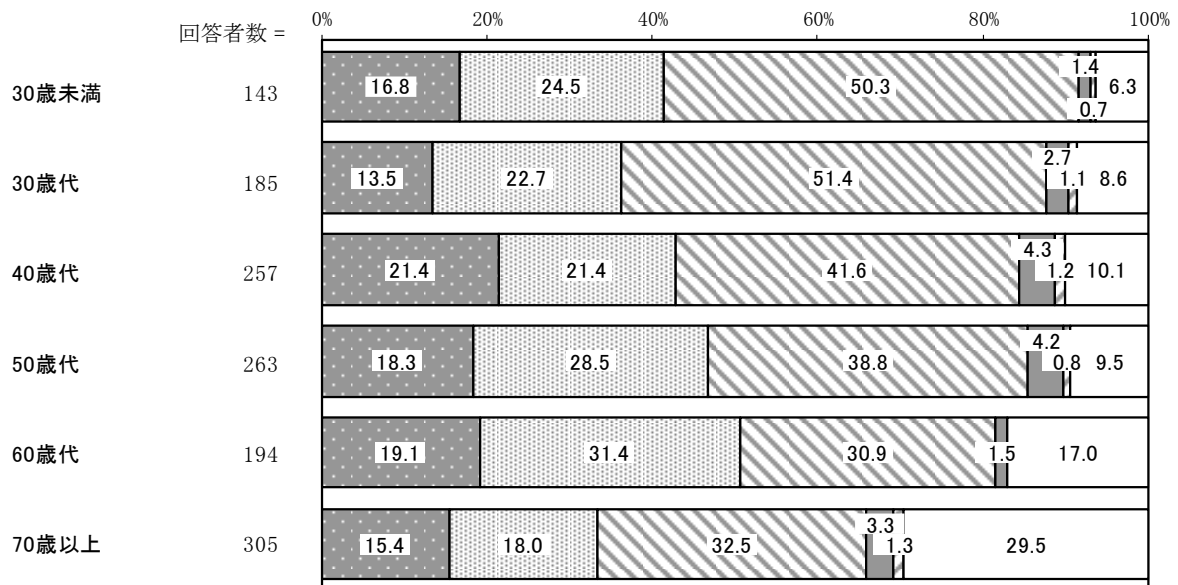
「重要である」と「どちらかといえば重要である」をあわせた“重要である”の割合が41.6%、「どちらかといえば重要ではない」と「重要ではない」をあわせた“重要ではない”の割合が4.0%となっています。

図表 3-38 課題の解決のための市民、事業者、行政の協働（単純回答）



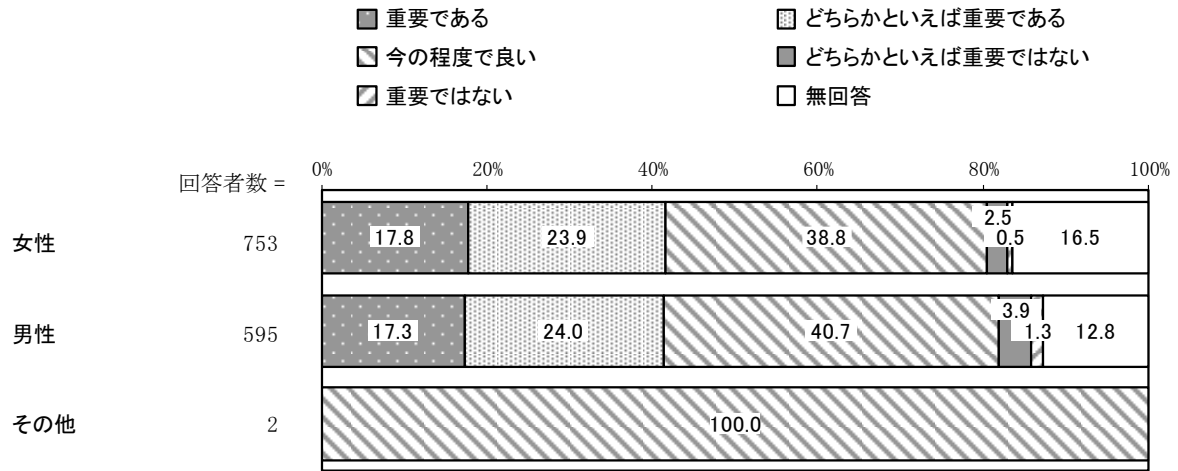
年齢別で見ると、他に比べ、60歳代で“重要である”の割合が高くなっています。

図表 3-39 課題の解決のための市民、事業者、行政の協働（年齢別）



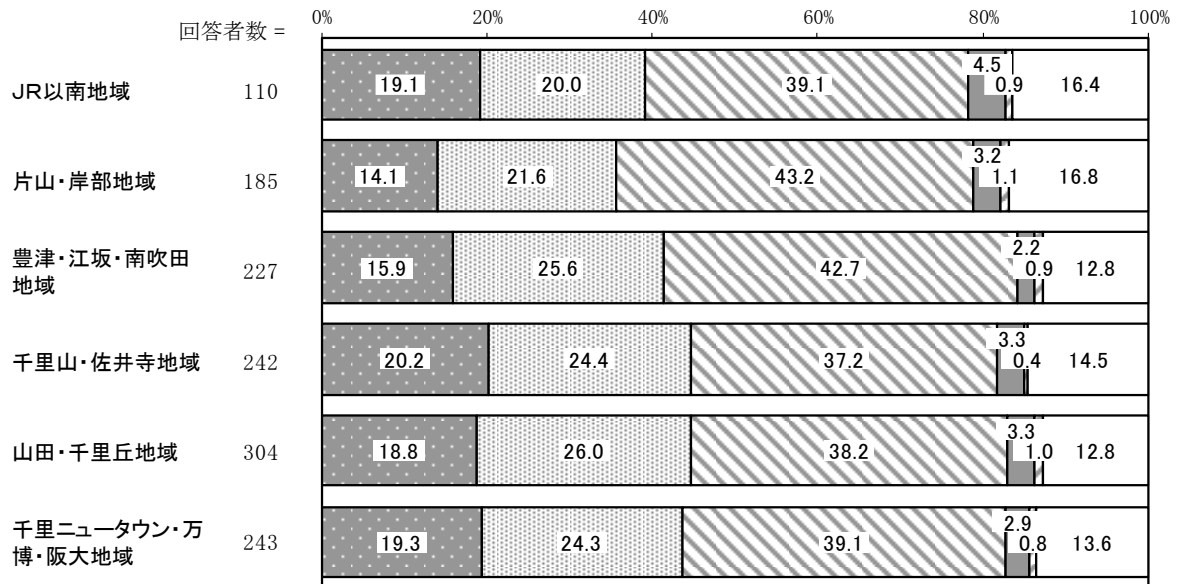
性別でみると、大きな差異はみられません。

図表 3-40 課題の解決のための市民、事業者、行政の協働（性別）



居住地域別でみると、他に比べ、片山・岸部地域で“重要である”の割合が低くなっています。

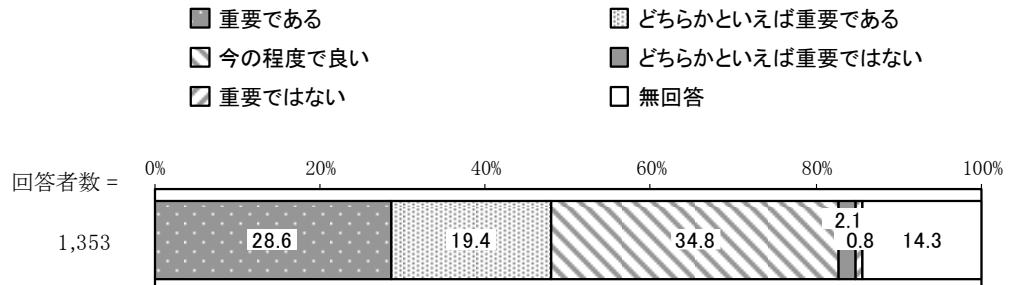
図表 3-41 課題の解決のための市民、事業者、行政の協働（居住地域別）



②市からの情報提供・公表

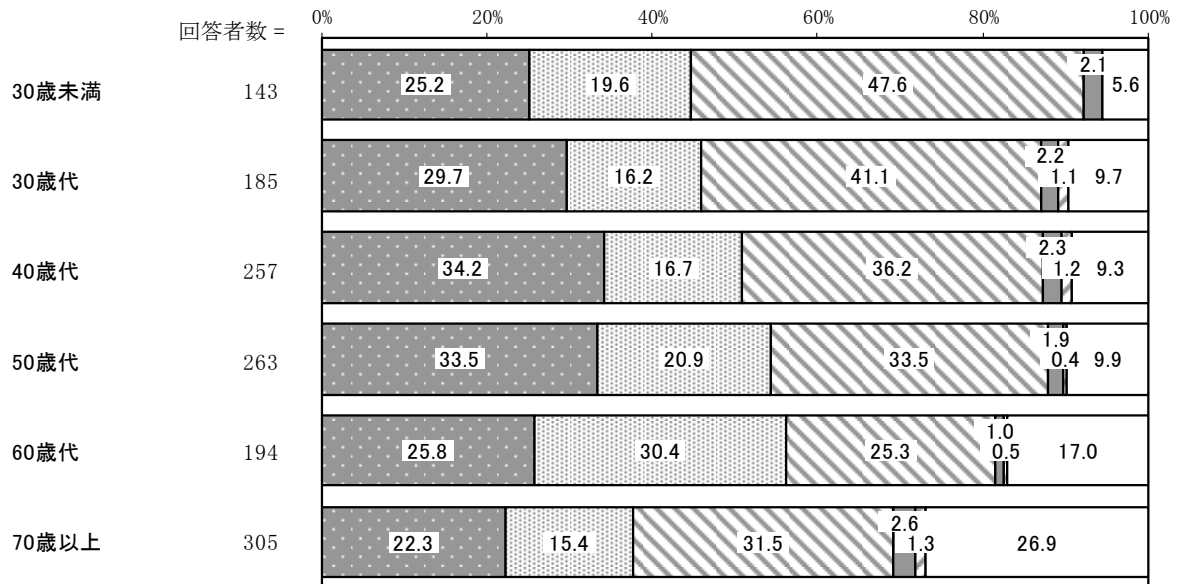
「重要である」と「どちらかといえば重要である」をあわせた“重要である”の割合が48.0%、「どちらかといえば重要ではない」と「重要ではない」をあわせた“重要ではない”の割合が2.9%となっています。

図表3-42 市からの情報提供・公表（単純回答）



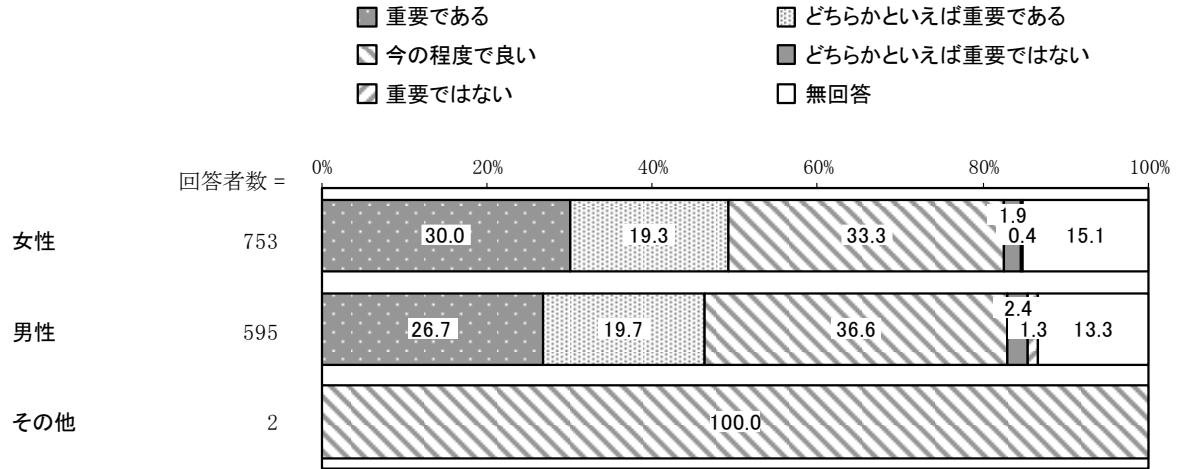
年齢別でみると、他に比べ、50歳代、60歳代で“重要である”の割合が高くなっています。

図表3-43 市からの情報提供・公表（年齢別）



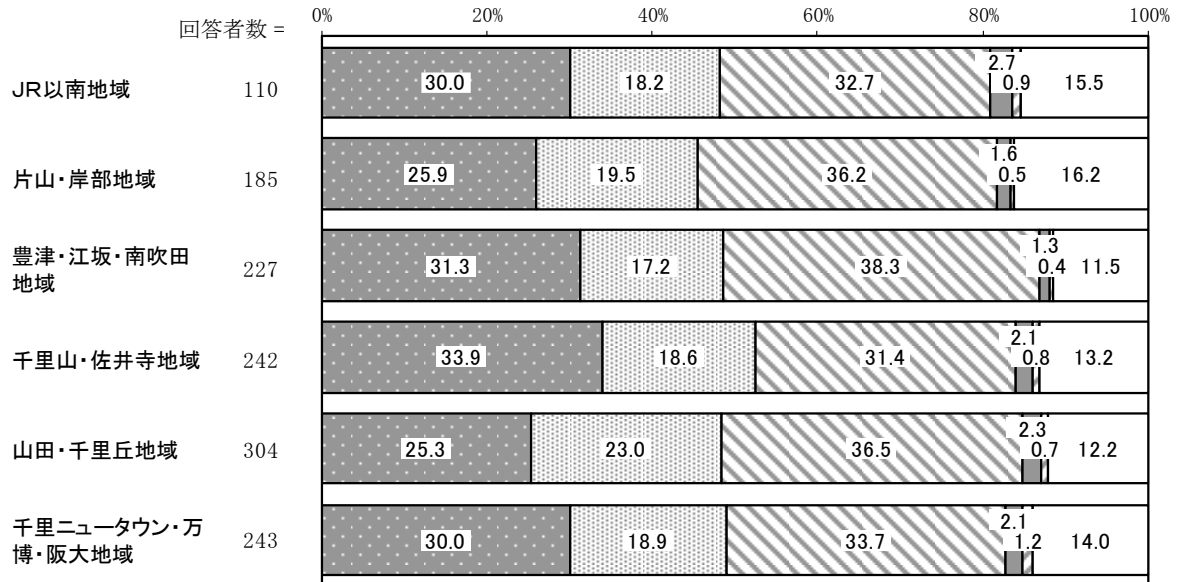
性別でみると、大きな差異はみられません。

図表 3-44 市からの情報提供・公表（性別）



居住地域別でみると、他に比べ、千里山・佐井寺地域で“重要である”の割合が最も高くなっています。

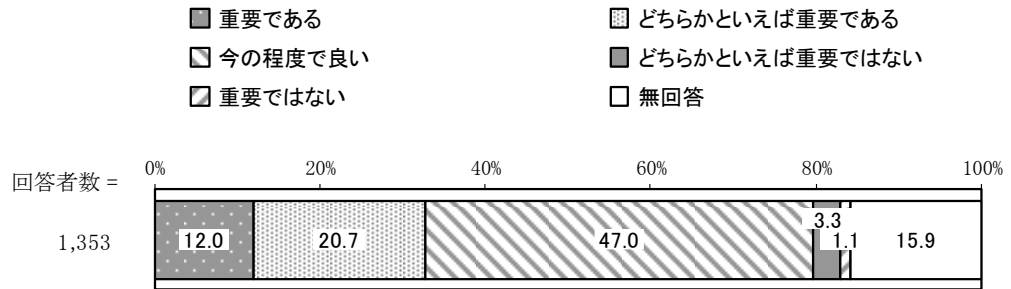
図表 3-45 市からの情報提供・公表（居住地域別）



③市民参画の推進

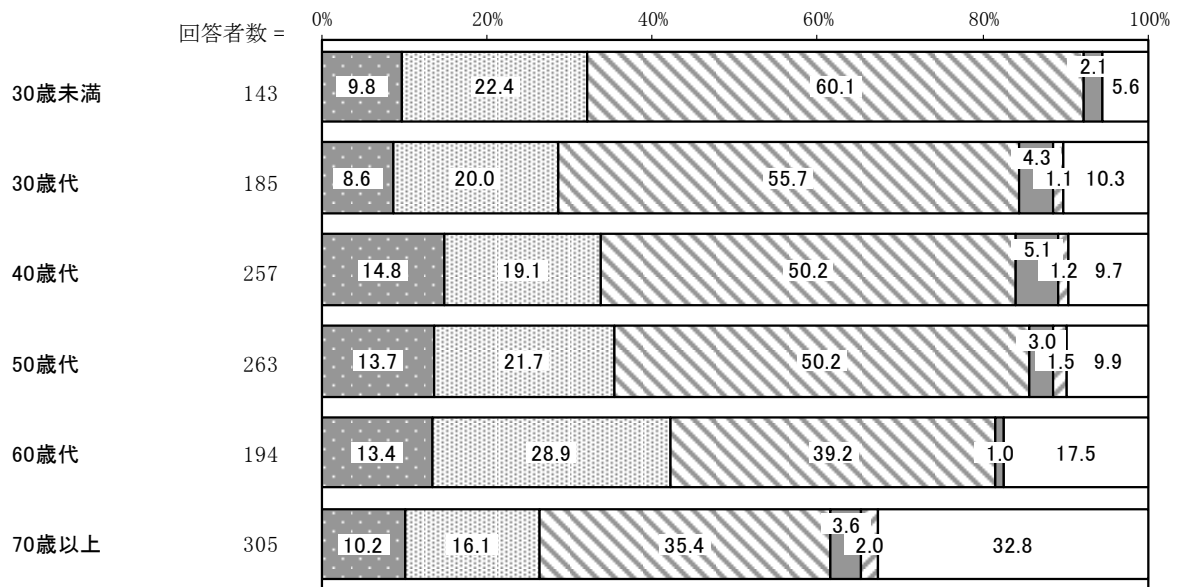
「重要である」と「どちらかといえば重要である」をあわせた“重要である”の割合が32.7%、「どちらかといえば重要ではない」と「重要ではない」をあわせた“重要ではない”の割合が4.4%となっています。

図表3-46 市民参画の推進（市民参画の推進）



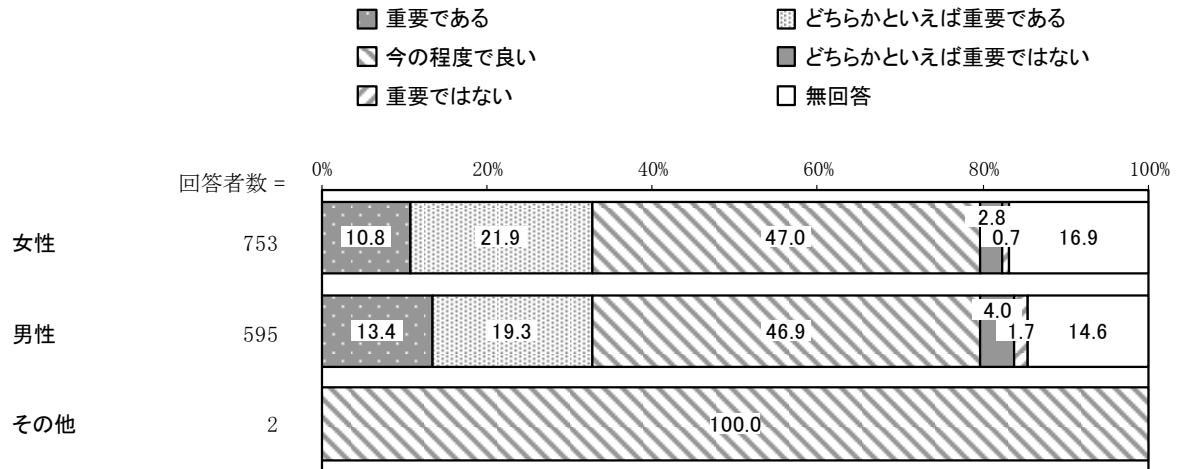
年齢別で見ると、他に比べ、60歳代で“重要である”の割合が高くなっています。

図表3-47 市民参画の推進（年齢別）



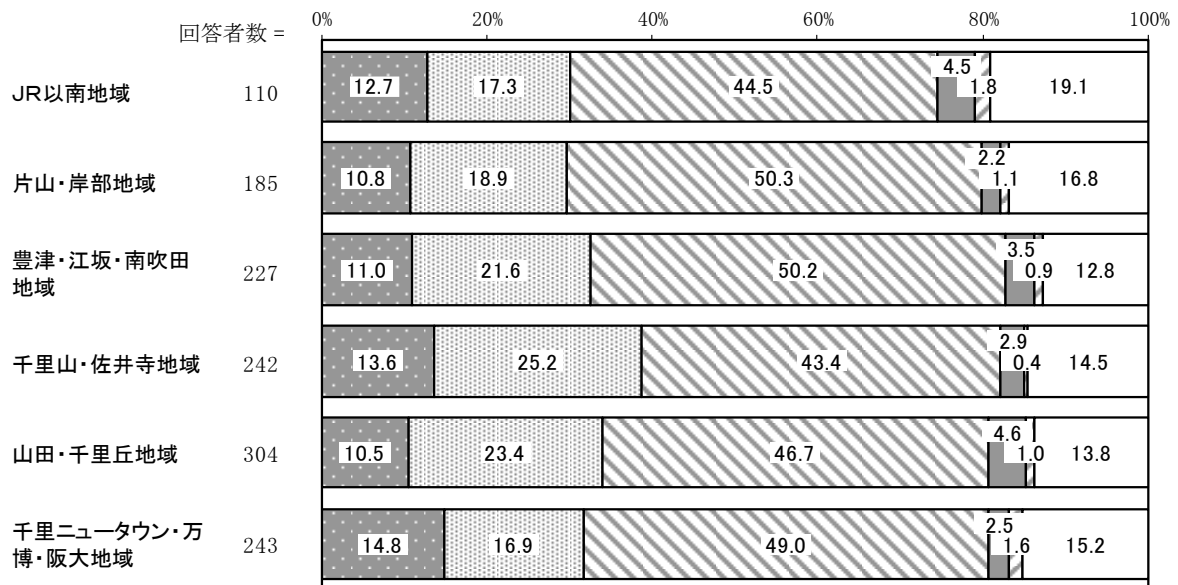
性別でみると、大きな差異はみられません。

図表 3-48 市民参画の推進（性別）



居住地域別でみると、他に比べ、千里山・佐井寺地域で“重要である”の割合が高くなっています。

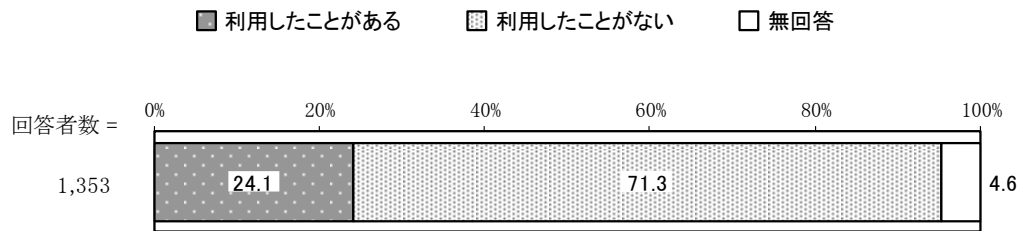
図表 3-49 市民参画の推進（居住地域別）



問 34 吹田市には市民が相互に交流し、多様なコミュニティ活動を行う施設として、コミュニティセンターや市民センター、山田ふれあい文化センター、市民ホールといった「コミュニティ施設」を整備し、多目的ホールや会議室などの貸室の運営を行っています。あなたはこれまで、「コミュニティ施設」の貸室を利用したことがありますか。(1つだけ○印)

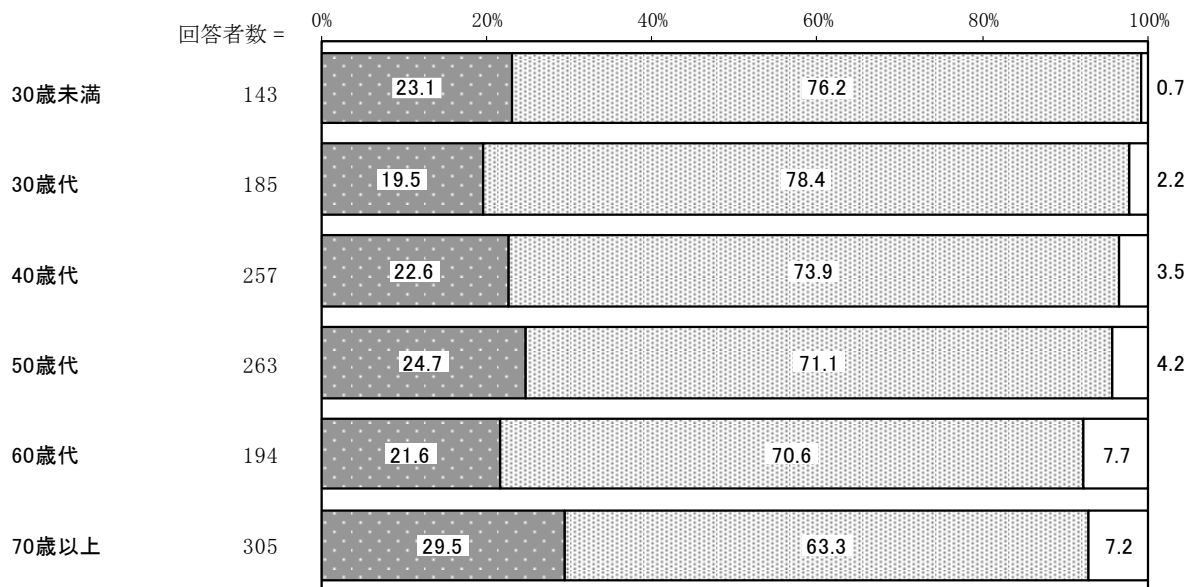
「利用したことがある」の割合が24.1%、「利用したことがない」の割合が71.3%となっています。

図表 3-50 「コミュニティ施設」の利用経験（単純回答）



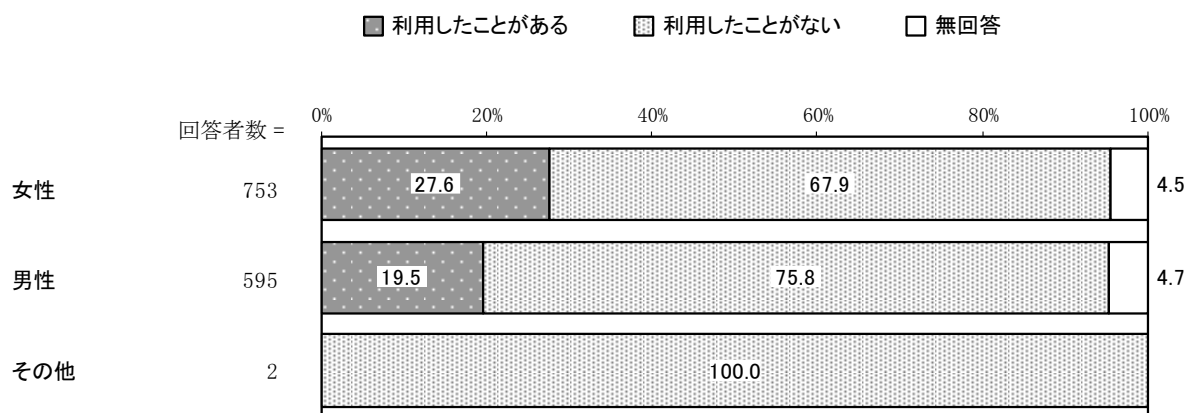
年齢別でみると、他に比べ、70歳以上以外で「利用したことがない」の割合が高くなっています。

図表 3-51 「コミュニティ施設」の利用経験（年齢別）



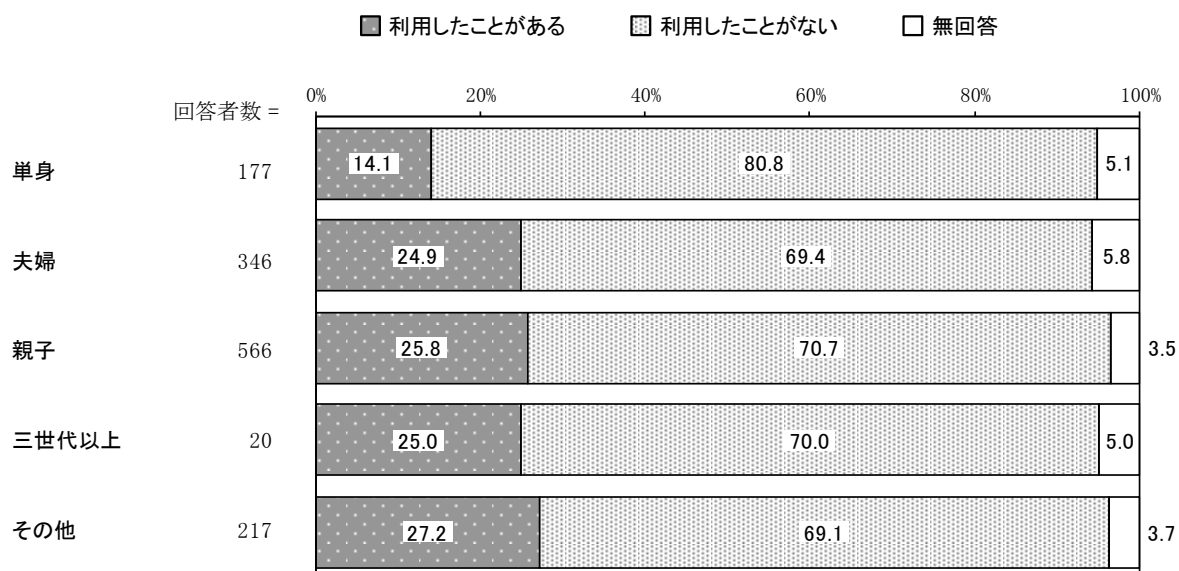
性別でみると、男性に比べ、女性で「利用したことがある」の割合が高くなっています。

図表 3-52 「コミュニティ施設」の利用経験（性別）



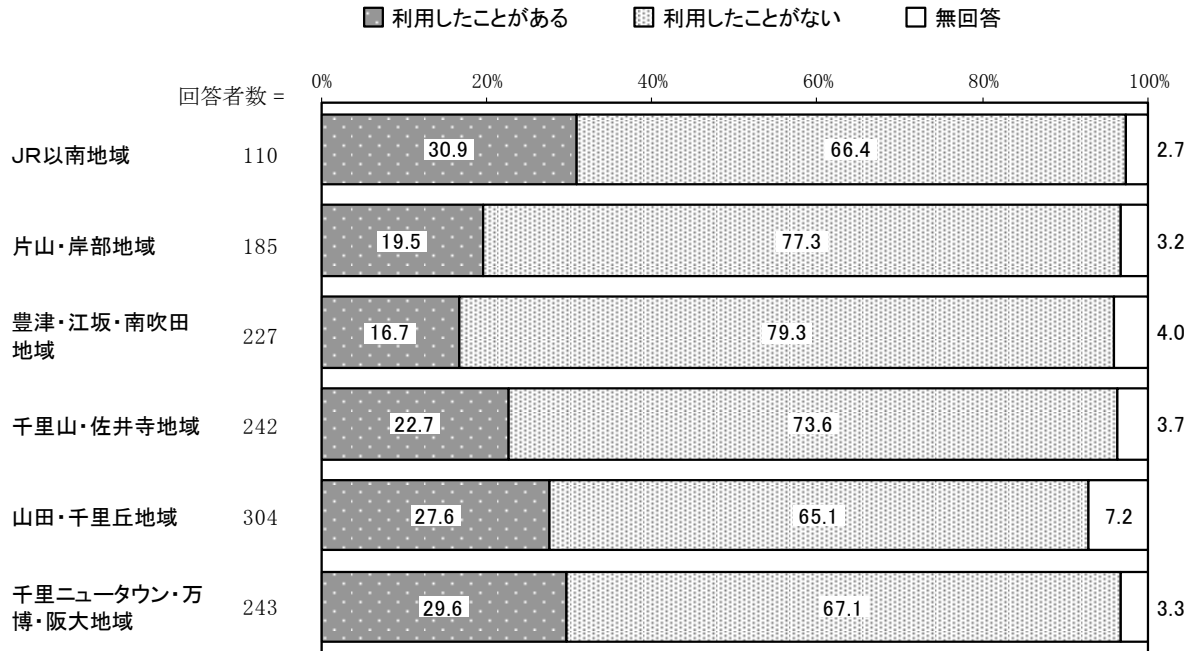
家族構成別でみると、他に比べ、単身で「利用したことがない」の割合が高くなっています。

図表 3-53 「コミュニティ施設」の利用経験（家族構成別）



居住地域別で見ると、他に比べ、片山・岸部地域、豊津・江坂・南吹田地域、千里山・佐井寺地域で「利用したことがない」の割合が高くなっています。

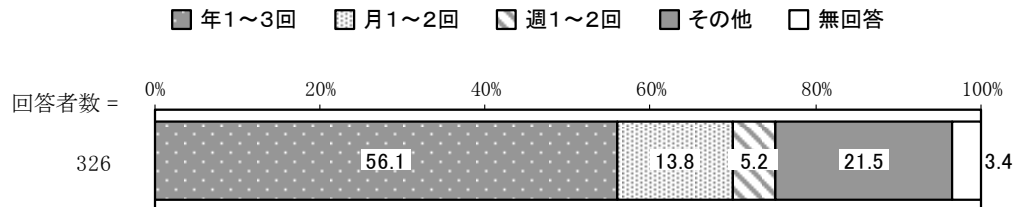
図表 3-54 「コミュニティ施設」の利用経験（居住地域別）



問 34-1 あなたは、コミュニティ施設をどのくらいの頻度で利用していますか。最も近いものをお答えください。（1つだけ〇印）

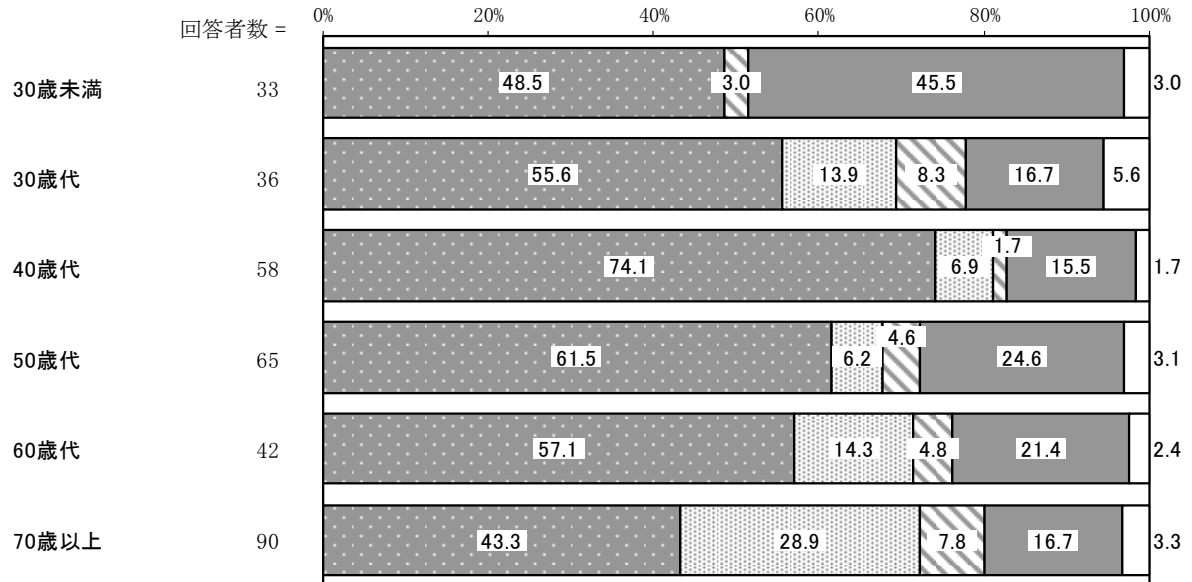
「年1～3回」の割合が56.1%と最も高く、次いで「月1～2回」の割合が13.8%となっています。

図表 3-55 「コミュニティ施設」の利用頻度（単純回答）



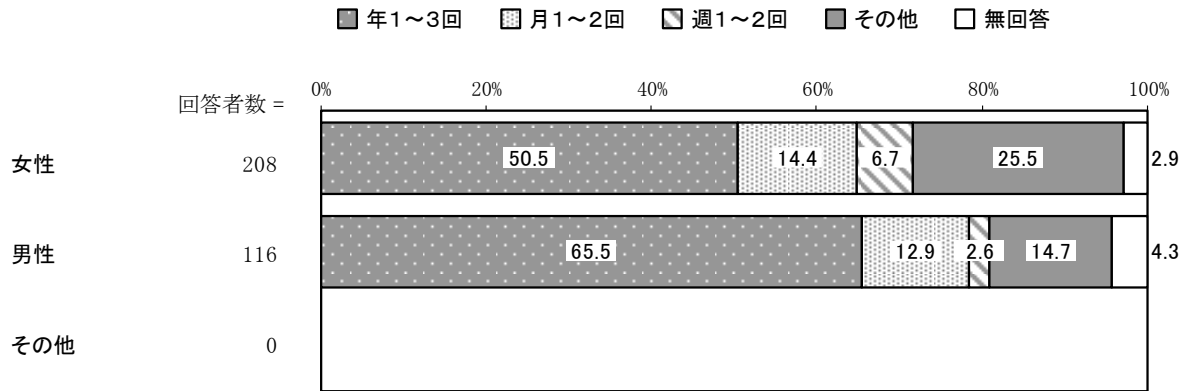
年齢別でみると、他に比べ、40歳代で「年1～3回」の割合が高くなっています。

図表 3-56 「コミュニティ施設」の利用頻度（年齢別）



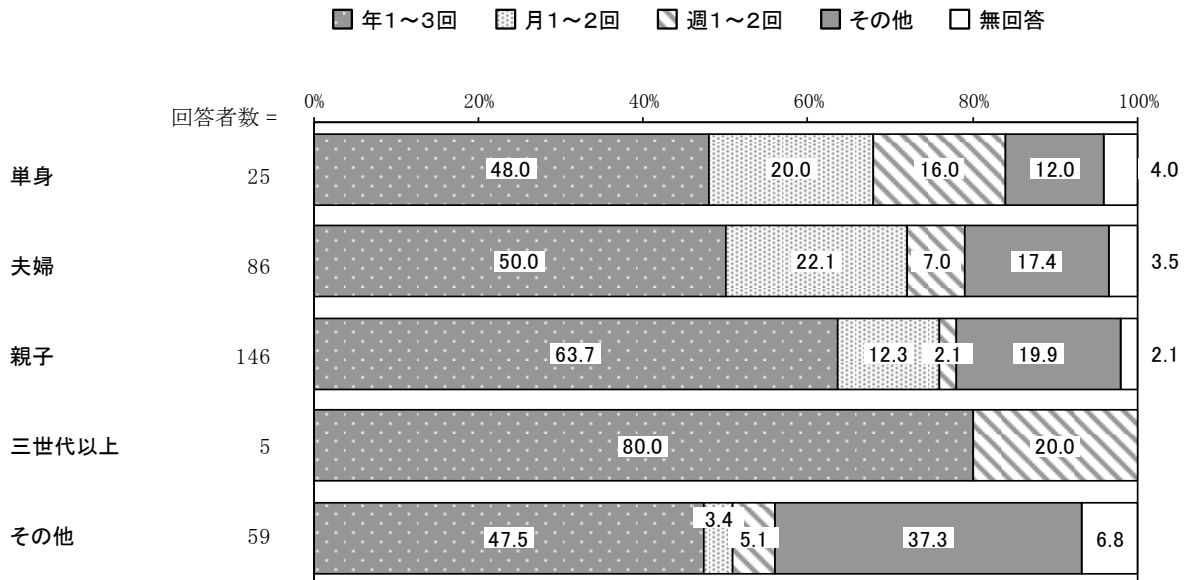
性別でみると、女性に比べ、男性で「年1～3回」の割合が高くなっています。

図表3-57 「コミュニティ施設」の利用頻度（性別）



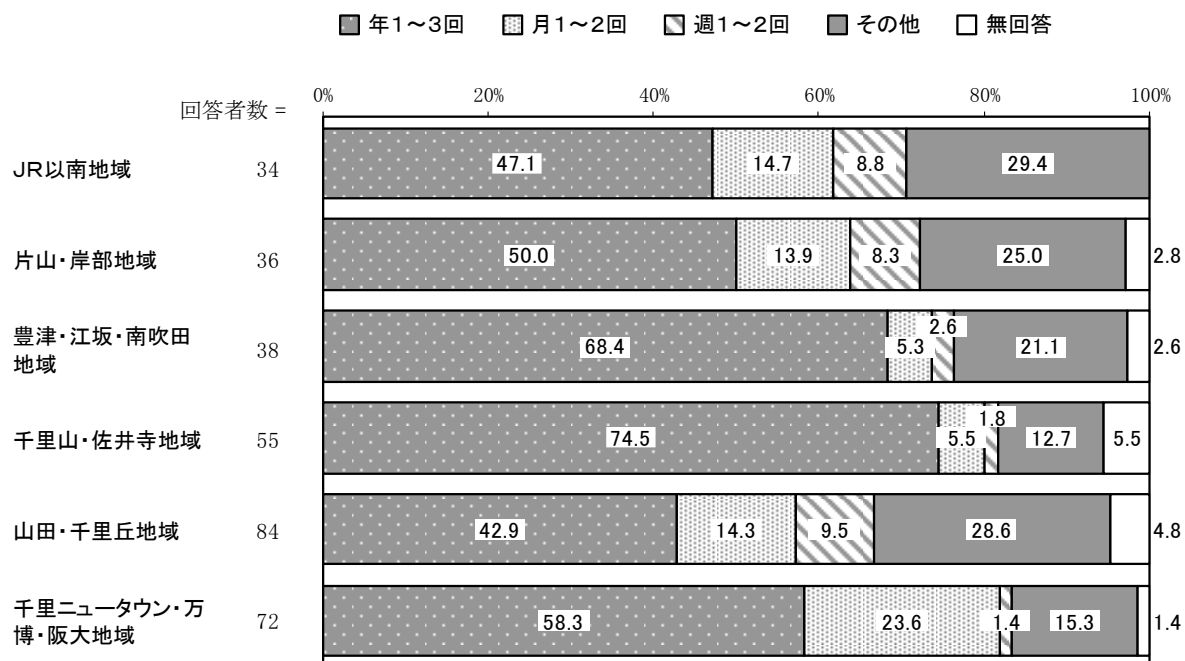
家族構成別でみると、他に比べ、三世代以上で「年1～3回」の割合が高くなっています。

図表3-58 「コミュニティ施設」の利用頻度（家族構成別）



居住地域別で見ると、他に比べ、千里山・佐井寺地域で「年1～3回」の割合が高くなっています。

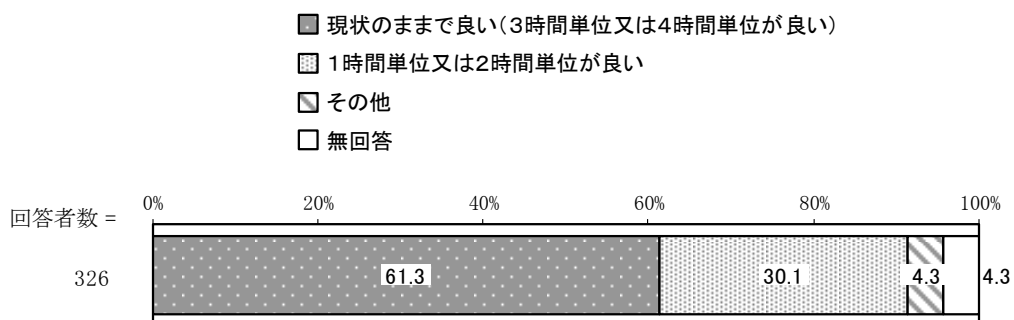
図表3-59 「コミュニティ施設」の利用頻度（居住地域別）



問 34-2 コミュニティ施設では、「午前」、「午後」、「夜間」の使用時間区分を基本とし、3時間単位又は4時間単位で使用の申込みを受け付けています。この使用時間区分を今後、1時間単位又は2時間単位に見直すことについて、あなたの考えに最も近い選択肢を選んでください。(1つだけ○印)

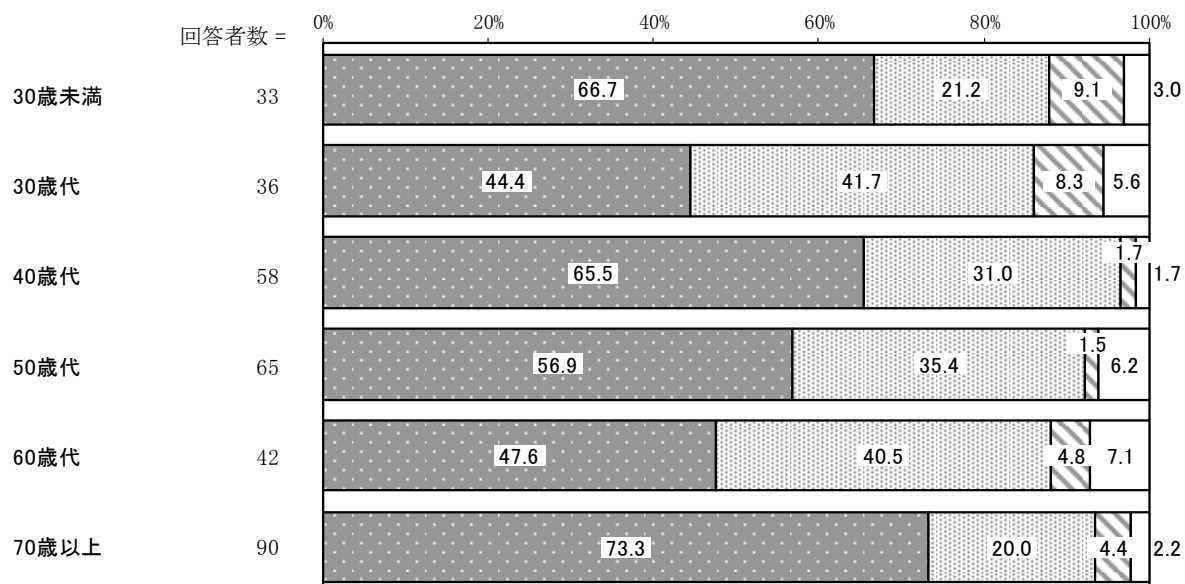
「現状のままで良い(3時間単位又は4時間単位が良い)」の割合が61.3%、「1時間単位又は2時間単位が良い」の割合が30.1%となっています。

図表 3-60 「コミュニティ施設」の使用時間区分(単純回答)



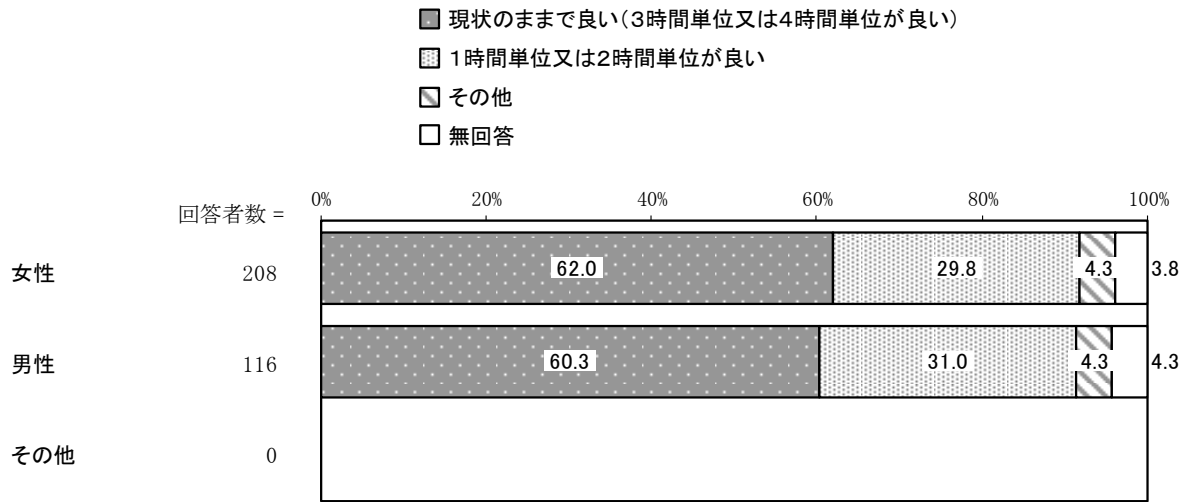
年齢別でみると、他に比べ、30歳代、60歳代で「1時間単位又は2時間単位が良い」の割合が高くなっています。

図表 3-61 「コミュニティ施設」の使用時間区分(年齢別)



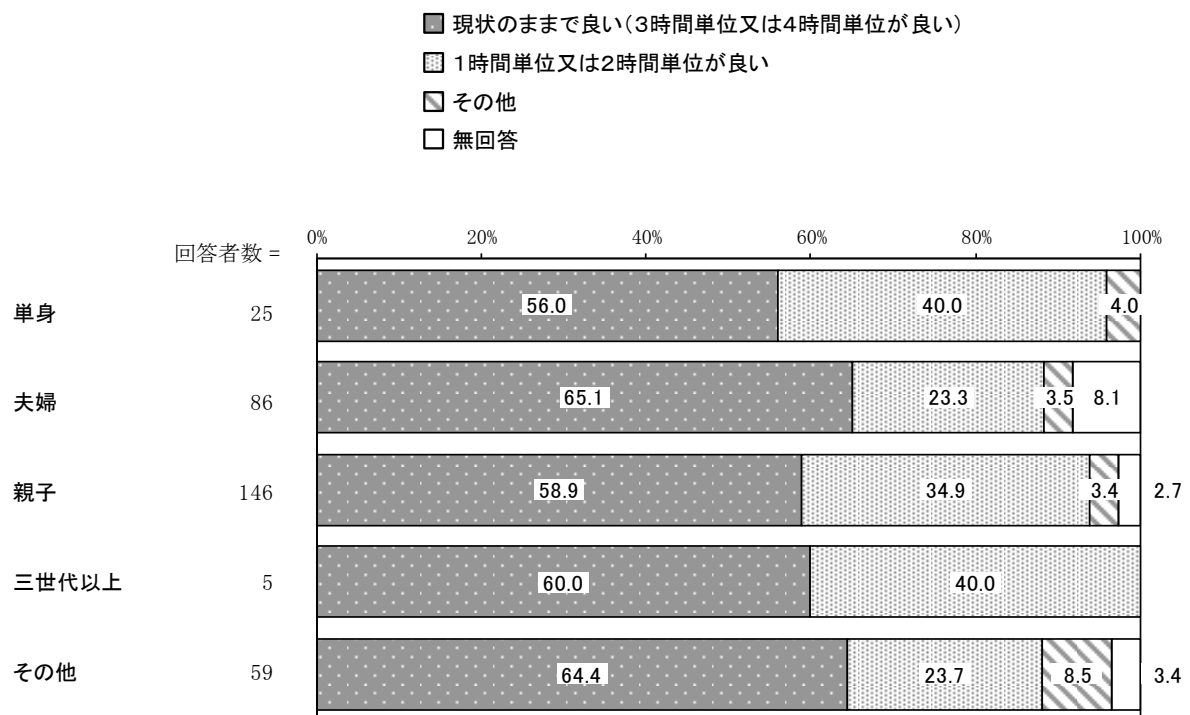
性別でみると、大きな差異はみられません。

図表 3-62 「コミュニティ施設」の使用時間区分（性別）



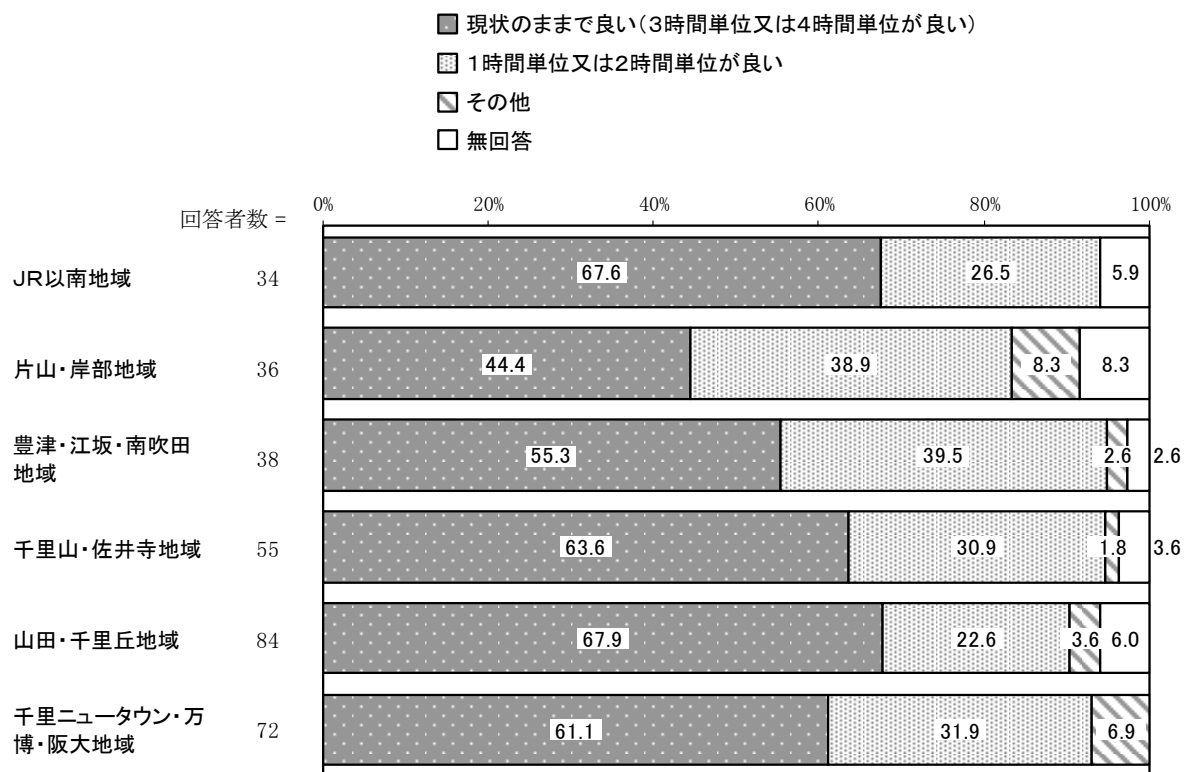
家族構成別でみると、他に比べ、単身、三世代以上で「1時間単位又は2時間単位が良い」の割合が高くなっています。

図表 3-63 「コミュニティ施設」の使用時間区分（家族構成別）



居住地域別で見ると、他に比べ、片山・岸部地域、豊津・江坂・南吹田地域で「1時間単位又は2時間単位が良い」の割合が高くなっています。

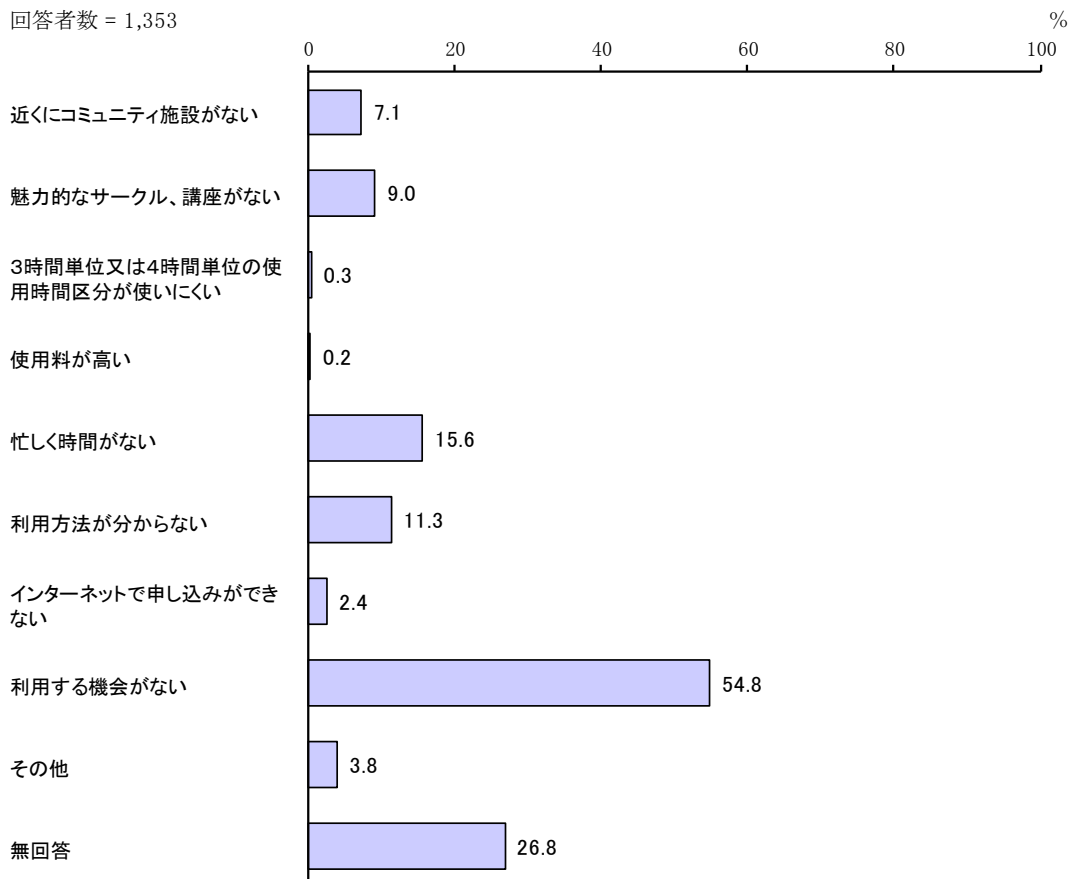
図表3-64 「コミュニティ施設」の使用時間区分（居住地域別）



問 34-3 あなたがコミュニティ施設を利用したことがない理由として当てはまるもの全てに○をつけてください。(いくつでも○印)

「利用する機会がない」の割合が 54.8%と最も高く、次いで「忙しく時間がない」の割合が 15.6%、「利用方法が分からない」の割合が 11.3%となっています。

図表 3-65 「コミュニティ施設」を利用したことがない理由（単純回答）



年齢別でみると、他に比べ、30歳代で「利用する機会がない」の割合が高くなっています。

図表3-66 「コミュニティ施設」を利用したことがない理由（年齢別）

単位：%

区分	有効回答数 (件)	近くにコミュニティ施設がない	魅力的なサークル、講座がない	3時間単位又は4時間単位の使用時間区分が使いにくい	使用料が高い	忙しく時間がない	利用方法が分からない	インターネットで申し込みができない	利用する機会がない	その他	無回答
30歳未満	143	8.4	6.3	0.7	—	15.4	16.8	2.8	54.5	5.6	24.5
30歳代	185	6.5	8.6	—	0.5	18.4	14.6	1.1	65.4	3.8	20.5
40歳代	257	8.2	9.7	0.8	0.4	18.3	12.5	3.9	52.9	3.5	25.7
50歳代	263	6.8	6.8	—	—	20.9	10.3	1.5	53.6	2.3	25.5
60歳代	194	5.7	10.3	0.5	—	18.0	9.3	3.1	59.8	3.1	24.7
70歳以上	305	7.2	10.8	—	0.3	4.9	8.2	2.0	48.5	5.2	35.1

性別でみると、女性に比べ、男性で「利用する機会がない」の割合が高くなっています。

図表3-67 「コミュニティ施設」を利用したことがない理由（性別）

単位：%

区分	有効回答数 (件)	近くにコミュニティ施設がない	魅力的なサークル、講座がない	3時間単位又は4時間単位の使用時間区分が使いにくい	使用料が高い	忙しく時間がない	利用方法が分からない	インターネットで申し込みができない	利用する機会がない	その他	無回答
女性	753	8.5	9.6	0.3	0.1	14.2	10.9	2.5	51.0	3.6	30.4
男性	595	5.4	8.4	0.3	0.3	17.3	11.9	2.2	59.7	4.2	22.2
その他	2	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—	—

家族構成別でみると、単身で「利用する機会がない」の割合が最も高くなっています。

図表 3-68 「コミュニティ施設」を利用したことがない理由（家族構成別）

単位：%

区分	有効回答数 (件)	近くにコミュニティ施設がない	魅力的なサークル、講座がない	3時間単位又は4時間単位の使用時間区分が使いにくい	使用料が高い	忙しく時間がない	利用方法が分からない	インターネットで申し込みができない	利用する機会がない	その他	無回答
単身	177	7.9	4.5	—	—	16.9	16.9	2.3	59.9	4.5	19.8
夫婦	346	6.4	11.3	0.3	0.3	10.7	8.7	1.7	55.5	4.0	27.2
親子	566	7.6	9.7	0.4	0.2	18.9	10.1	2.7	53.2	3.2	27.9
三世代以上	20	5.0	5.0	—	—	20.0	5.0	—	55.0	—	25.0
その他	217	6.5	8.3	0.5	0.5	12.9	13.8	2.8	55.3	4.1	29.5

居住地域別でみると、千里ニュータウン・万博・阪大地域以外の地域で「利用する機会がない」の割合が高くなっています。

図表 3-69 「コミュニティ施設」を利用したことがない理由（居住地域別）

単位：%

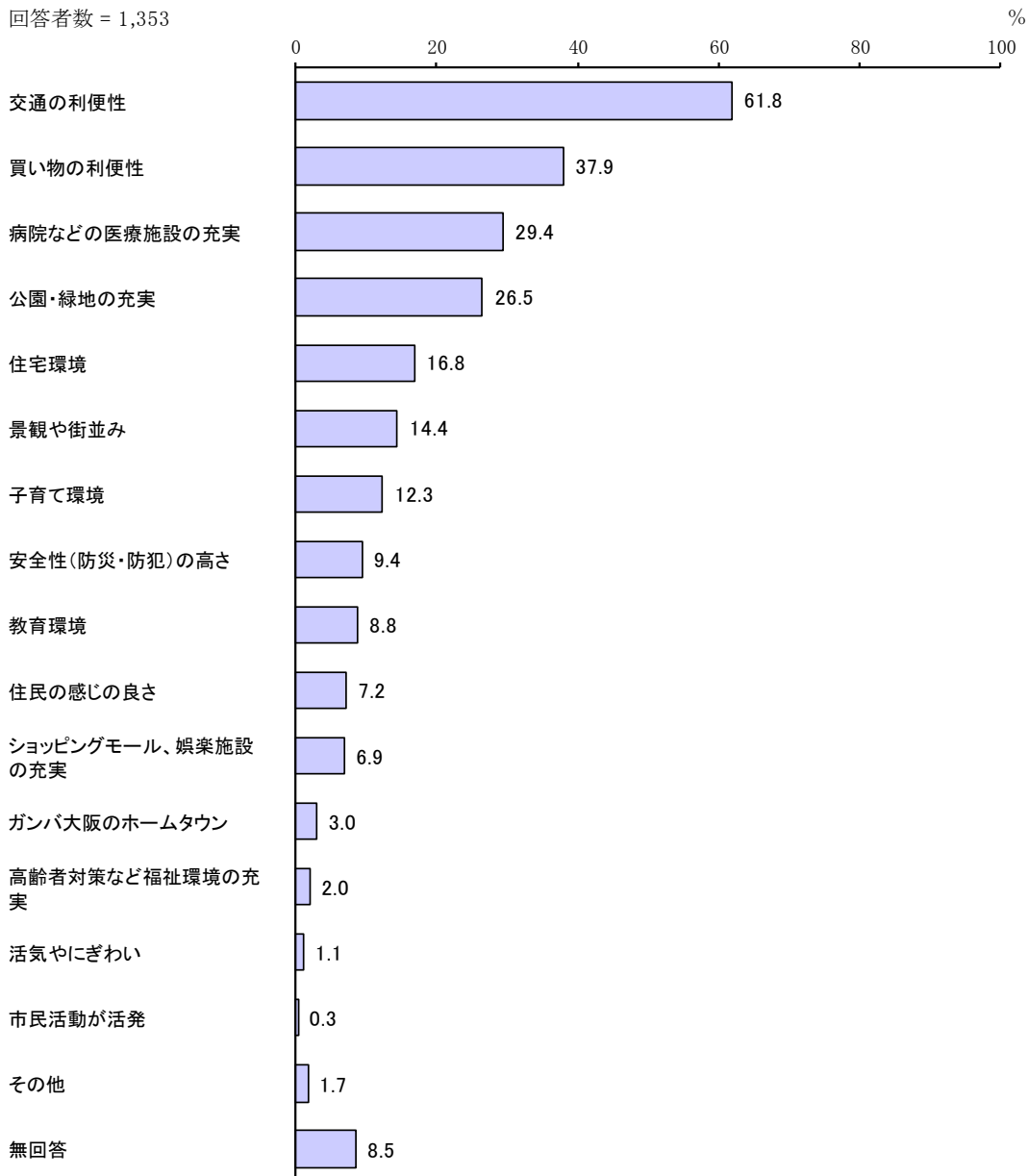
区分	有効回答数 (件)	近くにコミュニティ施設がない	魅力的なサークル、講座がない	3時間単位又は4時間単位の使用時間区分が使いにくい	使用料が高い	忙しく時間がない	利用方法が分からない	インターネットで申し込みができない	利用する機会がない	その他	無回答
JR以南地域	110	5.5	6.4	0.9	—	12.7	12.7	2.7	52.7	1.8	30.9
片山・岸部地域	185	9.7	10.3	—	0.5	18.4	8.6	1.6	58.9	4.3	23.2
豊津・江坂・南吹田地域	227	12.3	5.3	—	—	15.4	16.7	3.5	61.7	3.1	20.7
千里山・佐井寺地域	242	8.3	9.9	0.8	—	17.8	8.7	0.8	56.2	3.7	24.4
山田・千里丘地域	304	4.6	11.2	0.3	0.7	14.5	10.2	1.6	53.6	4.3	30.3
千里ニュータウン・万博・阪大地域	243	3.7	7.8	—	—	14.0	10.3	3.3	47.7	4.9	31.3

第4章 住みやすさについて

問35 吹田市に暮らしていて、良いと思うところを聞かせてください。
(3つまで○印)

「交通の利便性」の割合が61.8%と最も高く、次いで「買い物の利便性」の割合が37.9%、「病院などの医療施設の充実」の割合が29.4%となっています。

図表4-1 吹田市に暮らしていて、良いと思うところ（単純回答）



年齢別で見ると、他に比べ、30歳未満、70歳以上で「買い物の利便性」の割合が、60歳代で「交通の利便性」の割合が高くなっています。

図表4-2 吹田市に暮らしていて、良いと思うところ（年齢別）

単位：％

区分	有効回答数 (件)	交通の 利便性	買い物の 利便性	子育て 環境	教育環 境	シヨッピン グモ―ル、 娯楽施設 の充実	活気やに ぎわい	景観や街 並み	公園・緑 地の充 実
30歳未満	143	60.8	45.5	7.0	9.1	14.0	3.5	13.3	23.1
30歳代	185	57.3	31.4	27.0	9.7	10.3	1.1	13.5	29.7
40歳代	257	53.7	32.7	21.0	13.6	10.1	1.6	14.8	26.1
50歳代	263	65.0	35.4	10.6	11.4	6.1	0.4	14.8	28.9
60歳代	194	69.6	36.1	6.2	4.6	1.0	1.0	16.5	27.8
70歳以上	305	64.6	46.2	3.6	4.6	3.3	0.3	12.5	23.6

区分	病院など の医療施 設の充実	高齢者 対策など 福祉環 境の充 実	安全 性(防 災・防 犯) の高 さ	住民 の感 じの 良 さ	ガン バ大 阪の ホ― ム タ ウ ン	住 宅 環 境	市 民 活 動 が 活 発	そ の 他	無 回 答
30歳未満	17.5	—	14.7	14.7	3.5	17.5	—	2.8	5.6
30歳代	15.7	—	9.7	9.2	3.8	14.1	—	1.1	10.8
40歳代	21.8	—	11.3	10.1	3.9	15.6	—	2.3	8.2
50歳代	26.6	2.7	9.1	4.6	4.9	15.6	—	1.1	10.3
60歳代	42.3	2.1	10.3	4.1	0.5	22.7	—	3.1	5.7
70歳以上	43.9	4.9	4.9	4.3	1.3	16.4	1.3	0.7	8.9

性別でみると、大きな差異はみられません。

図表4-3 吹田市に暮らしていて、良いと思うところ（性別）

単位：％

区分	有効回答数 (件)	交通の 利便性	買い物の 利便性	子育て 環境	教育 環境	ショッピング モール、 娯楽施設 の充実	活気やに ぎわい	景観や 街並み	公園・ 緑地の 充実
女性	753	60.6	38.6	13.3	8.8	7.4	1.1	13.8	26.8
男性	595	63.4	37.3	11.1	8.9	6.2	1.2	14.8	26.1
その他	2	50.0	—	—	—	—	—	50.0	50.0

区分	病院などの 医療施設 の充実	高齢者 対策など 福祉 環境の 充実	安全性 (防災・ 防犯) の高さ	住民の 感じの 良さ	ガンバ 大阪の ホーム タウン	住宅 環境	市民 活動が 活発	その他	無 回答
女性	30.0	2.0	8.6	8.1	2.1	15.5	0.4	1.3	8.5
男性	28.6	2.0	10.3	5.9	4.0	18.2	0.2	2.2	8.6
その他	—	—	—	50.0	—	50.0	—	—	—

職業別でみると、他に比べ、派遣社員で「公園・緑地の充実」の割合が、家族従業者で「交通の利便性」の割合が高くなっています。また、家族従業者、無職（学生、専業主婦・主夫を除く）で「買い物の利便性」の割合が高くなっています。

図表4-4 吹田市に暮らしていて、良いと思うところ（職業別）

単位：％

区分	有効回答数 (件)	交通の 利便性	買い物の 利便性	子育て 環境	教育 環境	ショッピング モールの 充実	活気やにぎわい	景観や街並み	公園・ 緑地の 充実
常時雇用されている 一般従業者	467	60.4	36.8	16.7	10.7	10.5	2.1	16.7	27.8
臨時雇用、パート、 アルバイト、契約社員	232	61.6	36.2	13.4	7.3	6.9	0.9	14.2	24.1
派遣社員	14	64.3	21.4	14.3	14.3	—	7.1	—	42.9
内職	1	100.0	—	—	—	—	—	—	—
自営業主、自由業者	60	66.7	25.0	6.7	6.7	3.3	—	11.7	26.7
家族従業者	10	80.0	50.0	10.0	—	10.0	—	10.0	10.0
経営者、重役、役員	48	66.7	37.5	6.3	12.5	2.1	—	14.6	22.9
学生	58	62.1	41.4	8.6	15.5	8.6	1.7	17.2	24.1
専業主婦・主夫	262	59.9	37.8	13.4	8.0	5.7	0.4	12.6	28.2
無職（学生、専業主 婦・主夫を除く）	188	64.9	46.3	3.7	4.8	2.1	—	11.7	26.1

区分	病院などの医療施 設の充実	高齢者対策など福 祉環境の充実	安全性（防災・防犯） の高さ	住民の感じの良さ	ガンバ大阪のホー ムタウン	住宅 環境	市民活動が活発	その他	無回 答
常時雇用されている 一般従業者	21.0	0.9	9.0	9.2	4.1	16.7	—	1.5	9.0
臨時雇用、パート、 アルバイト、契約社員	34.9	3.0	8.2	7.8	2.2	19.0	—	3.0	7.3
派遣社員	21.4	—	7.1	—	—	7.1	—	—	7.1
内職	—	—	—	—	—	—	—	—	—
自営業主、自由業者	35.0	—	16.7	5.0	1.7	26.7	—	1.7	8.3
家族従業者	60.0	—	10.0	10.0	—	20.0	—	—	—
経営者、重役、役員	18.8	—	6.3	10.4	4.2	16.7	—	—	18.8
学生	19.0	—	19.0	13.8	1.7	13.8	—	3.4	6.9
専業主婦・主夫	33.6	2.3	8.4	5.3	2.3	15.6	0.8	0.4	9.9
無職（学生、専業主 婦・主夫を除く）	39.9	4.8	9.0	2.7	3.2	14.9	1.1	2.7	5.3

家族構成別でみると、他に比べ、どの世帯においても世帯で「交通の利便性」の割合が、夫婦、三世代以上で「病院などの医療施設の充実」の割合が高くなっています。また、三世代以上以外の世帯で「買い物の利便性」の割合が高くなっています。

図表4-5 吹田市に暮らしていて、良いと思うところ（家族構成別）

単位：%

区分	有効回答数 (件)	交通の 利便性	買い物の 利便性	子育て 環境	教育環境	ショッピング モール、 娯楽施設の 充実	活気やにぎわい	景観や街並み	公園・緑地 の充実
単身	177	66.7	42.9	2.8	4.5	8.5	2.3	14.1	29.4
夫婦	346	66.8	39.6	4.3	2.9	4.9	1.2	18.2	26.9
親子	566	57.6	33.9	22.4	13.1	8.3	0.7	12.9	26.5
三世代以上	20	60.0	20.0	25.0	10.0	10.0	—	15.0	10.0
その他	217	60.4	42.4	6.0	11.1	5.5	1.4	11.5	25.3

区分	病院などの 医療施設 の充実	高齢者 対策など 福祉 環境の 充実	安全性 (防災・ 防犯) の高さ	住民の 感じの 良さ	ガンバ 大阪の ホーム タウン	住宅 環境	市民 活動が 活発	その他	無 回答
単身	23.7	1.7	10.2	6.8	2.8	16.4	0.6	1.7	6.8
夫婦	39.0	2.3	9.2	3.8	1.7	19.1	0.6	1.4	7.5
親子	25.6	1.4	8.5	8.7	3.7	16.3	0.2	1.4	9.5
三世代以上	30.0	—	10.0	10.0	—	10.0	—	—	20.0
その他	27.2	2.8	12.0	9.7	3.7	16.1	—	3.2	7.4

居住形態別で見ると、他に比べ、社宅・寮、民間賃貸（一戸建て）以外の居住形態で「交通の利便性」の割合が高くなっています。また、持ち家（一戸建て、タウンハウス）、府営・市営（賃貸）で「病院などの医療施設の充実」の割合が高くなっています。

図表4-6 吹田市に暮らしていて、良いと思うところ（居住形態別）

単位：%

区分	有効回答数 (件)	交通の 利便性	買い物の 利便性	子育て環境	教育環境	ショッピングモ ール、娯楽施設の充実	活気やにぎわい	景観や街並み	公園・緑地の充実
持ち家(一戸建て、タウンハウス)	416	66.1	41.1	10.1	8.4	3.8	0.2	12.0	20.9
持ち家(マンション)	497	59.4	32.8	14.3	12.1	8.2	1.8	17.1	28.8
民間賃貸(一戸建て)	16	43.8	18.8	6.3	6.3	—	—	6.3	18.8
民間賃貸(マンション、アパート、文化住宅)	249	62.2	43.4	13.3	5.6	11.2	1.6	10.8	28.1
公団・公社(賃貸)	62	64.5	38.7	9.7	3.2	3.2	—	22.6	33.9
府営・市営(賃貸)	48	66.7	43.8	4.2	4.2	—	—	20.8	31.3
社宅・寮	30	43.3	36.7	23.3	3.3	13.3	3.3	13.3	36.7
その他	9	66.7	11.1	22.2	22.2	—	—	—	22.2

区分	病院などの医療施設 の充実	高齢者対策など福祉 環境の充実	安全性(防災・防犯) の高さ	住民の感じの良さ	ガンバ大阪のホーム タウン	住宅環境	市民活動が活発	その他	無回答
持ち家(一戸建て、タウンハウス)	35.8	2.2	9.9	3.8	2.6	17.3	0.5	1.7	9.4
持ち家(マンション)	28.8	1.4	7.8	8.5	3.6	17.1	0.4	1.2	8.9
民間賃貸(一戸建て)	25.0	6.3	31.3	12.5	6.3	18.8	—	—	12.5
民間賃貸(マンション、アパート、文化住宅)	20.1	1.2	11.2	7.2	3.2	15.7	—	3.2	6.4
公団・公社(賃貸)	29.0	1.6	8.1	12.9	—	17.7	—	1.6	8.1
府営・市営(賃貸)	45.8	6.3	10.4	6.3	—	10.4	—	2.1	2.1
社宅・寮	16.7	—	10.0	10.0	6.7	13.3	—	—	13.3
その他	33.3	11.1	11.1	11.1	—	33.3	—	—	—

居住地域別でみると、他に比べ、JR以南地域で「交通の利便性」「買い物の利便性」の割合が、JR以南地域、片山・岸部地域で「病院などの医療施設の充実」の割合が高くなっています。また、千里山・佐井寺地域、山田・千里丘地域、千里ニュータウン・万博・阪大地域で「公園・緑地の充実」の割合が高くなっています。

図表4-7 吹田市に暮らしていて、良いと思うところ（居住地域別）

単位：％

区分	有効回答数 (件)	交通の利便性	買い物の利便性	子育て環境	教育環境	ショッピングモ ール、娯楽施設の充実	活気やにぎわい	景観や街並み	公園・緑地の充実
JR以南地域	110	80.9	55.5	3.6	3.6	2.7	—	4.5	10.9
片山・岸部地域	185	63.2	44.9	13.5	5.4	3.2	1.6	8.1	19.5
豊津・江坂・南吹 田地域	227	75.3	49.8	7.5	6.2	5.3	2.6	4.0	18.5
千里山・佐井寺地 域	242	55.0	26.0	18.2	14.0	3.7	0.8	20.2	30.2
山田・千里丘地域	304	53.3	35.2	13.8	11.5	15.5	1.3	15.1	26.3
千里ニュータウン・ 万博・阪大地域	243	58.0	28.0	13.2	7.4	5.3	—	25.5	44.9

区分	病院などの医療施 設の充実	高齢者対策など福 祉環境の充実	安全性(防災・防犯) の高さ	住民の感じの良さ	ガンバ大阪のホ ムタウン	住宅環境	市民活動が活発	その他	無回答
JR以南地域	42.7	3.6	6.4	7.3	2.7	10.9	1.8	2.7	1.8
片山・岸部地域	45.9	3.2	5.9	3.8	3.2	15.1	—	0.5	8.1
豊津・江坂・南吹 田地域	17.2	1.8	7.9	7.0	1.3	12.8	—	1.8	11.9
千里山・佐井寺地 域	28.9	0.8	12.8	5.0	3.3	23.1	—	2.1	8.7
山田・千里丘地域	30.6	2.3	11.8	11.2	3.9	16.4	0.3	2.0	8.2
千里ニュータウン・ 万博・阪大地域	22.6	0.4	8.6	6.6	2.9	19.3	0.4	1.6	7.8

居住年数別でみると、他に比べ、50年以上で「交通の利便性」「買い物の利便性」の割合が高くなっています。

図表4-8 吹田市に暮らしていて、良いと思うところ（居住年数別）

単位：%

区分	有効回答数 (件)	交通の 利便性	買い物の 利便性	子育て 環境	教育環 境	シヨッ ピング モ― ル、 娯楽 施設 の充 実	活気 やに ぎわ い	景観 や街 並み	公園 ・緑 地の 充 実
1年未満	52	55.8	46.2	15.4	5.8	15.4	1.9	13.5	30.8
1～5年未満	151	55.0	40.4	18.5	3.3	13.9	2.0	17.2	31.1
5～10年未満	144	53.5	28.5	16.7	14.6	9.7	1.4	11.8	25.0
10～20年未満	250	60.8	35.2	15.2	13.2	6.4	1.6	14.8	30.4
20～30年未満	209	62.2	34.4	12.0	9.1	6.2	1.0	15.8	27.3
30～40年未満	181	61.3	37.6	11.6	11.0	5.0	1.1	16.6	27.1
40～50年未満	193	68.9	38.3	5.7	5.2	5.7	0.5	14.0	23.8
50年以上	159	72.3	50.9	6.9	5.0	0.6	—	9.4	17.0

区分	病院 など の医 療施 設の 充実	高 齢者 対策 など 福 祉環 境の 充実	安全 性(防 災・ 防犯) の高 さ	住 民の 感じ の良 さ	ガ ンバ 大阪 のホ ム タウ ン	住 宅環 境	市 民活 動が 活発	そ の他	無 回 答
1年未満	9.6	—	7.7	11.5	1.9	26.9	—	—	7.7
1～5年未満	13.2	0.7	10.6	13.2	2.6	17.2	—	2.6	4.0
5～10年未満	18.1	0.7	8.3	6.9	2.8	12.5	0.7	2.1	15.3
10～20年未満	24.8	1.2	11.2	6.4	3.2	16.8	—	3.2	8.0
20～30年未満	31.6	2.9	9.1	7.7	3.3	18.7	—	—	7.7
30～40年未満	33.1	1.1	10.5	7.7	2.2	19.9	—	2.8	6.6
40～50年未満	43.0	2.6	8.8	6.7	4.7	18.1	0.5	1.0	8.8
50年以上	44.7	5.7	7.5	0.6	1.9	10.1	1.3	0.6	8.8

永住意識別でみると、他に比べ、“今住んでいるところが気に入っているので、住み続けようと思っている”、“できれば引っ越したいが、たぶんこのまま住み続けることになると思う”で「病院などの医療施設の充実」の割合が、“できれば引っ越したいが、たぶんこのまま住み続けることになると思う”、“できれば住み続けたいが、たぶん引っ越すことになると思う”で「買い物の利便性」の割合が高くなっています。また、“できれば住み続けたいが、たぶん引っ越すことになると思う”で「公園・緑地の充実」の割合が高くなっています。

図表4-9 吹田市に暮らしていて、良いと思うところ（永住意識別）

単位：%

区分	有効回答数 (件)	交通の 利便性	買い物の 利便性	子育て 環境	教育環境	ショッピングモ ール、娯楽施設の充実	活気やにぎわい	景観や街並み	公園・緑地の充実
今住んでいるところが気に入っている ので、住み続けようと思っている	835	63.0	36.6	13.3	10.2	6.6	1.0	14.9	26.8
できれば引っ越したいが、たぶんこの まま住み続けることになると思う	146	58.2	41.8	11.0	8.9	4.8	0.7	15.8	22.6
できれば住み続けたいが、たぶん引 越すことになると思う	131	63.4	43.5	15.3	6.9	11.5	2.3	15.3	31.3
よそへ移りたいので、引っ越すことを 考えている	53	58.5	30.2	11.3	7.5	13.2	—	11.3	24.5
わからない	175	60.6	38.9	7.4	4.6	5.1	1.7	10.9	25.7

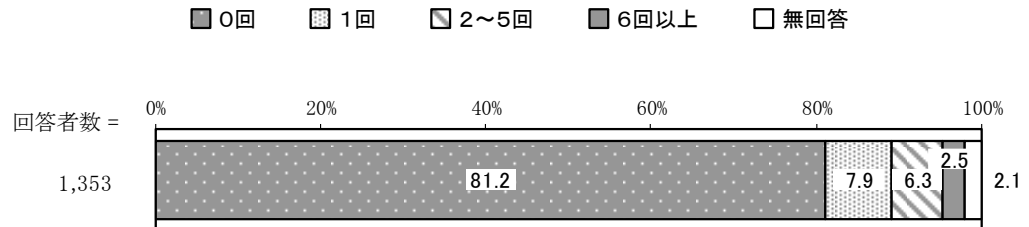
区分	病院などの医療施 設の充実	高齢者対策など福 祉環境の充実	安全性(防災・防犯) の高さ	住民の感じの良さ	ガンバ大阪のホー ムタウン	住宅環境	市民活動が活発	その他	無回答
今住んでいるところが気に入っている ので、住み続けようと思っている	31.5	2.2	8.6	6.3	3.2	18.7	0.2	1.1	9.8
できれば引っ越したいが、たぶんこの まま住み続けることになると思う	34.2	3.4	6.2	6.2	2.7	9.6	0.7	2.7	7.5
できれば住み続けたいが、たぶん引 越すことになると思う	20.6	0.8	14.5	16.8	1.5	15.3	0.8	0.8	3.1
よそへ移りたいので、引っ越すことを 考えている	24.5	—	11.3	3.8	7.5	22.6	—	3.8	3.8
わからない	22.3	0.6	12.0	5.7	1.7	13.1	—	4.0	6.9

第5章 吹田市情報発信プラザ（Inforest すいた）について

問 36 本施設は、ららぽーと EXPOCITY の1階にある吹田市の情報発信拠点です。これまで訪問したことがありますか？（1つだけ○）

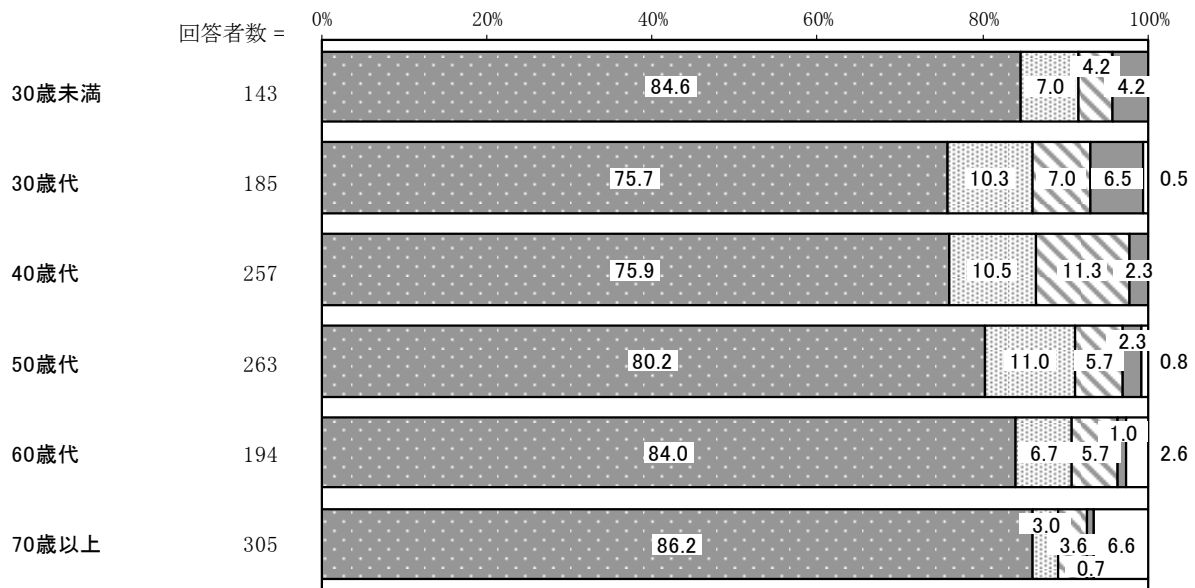
「0回」の割合が81.2%と最も高くなっています。

図表5-1 吹田市情報発信プラザの訪問回数（単純回答）



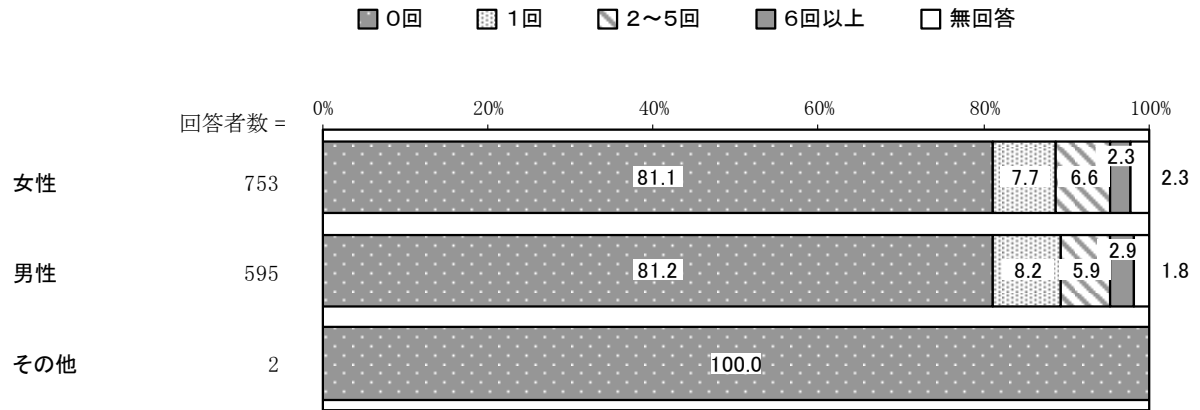
年齢別でみると、他に比べ、30歳未満、60歳代、70歳以上で「0回」の割合が高くなっています。

図表5-2 吹田市情報発信プラザの訪問回数（年齢別）



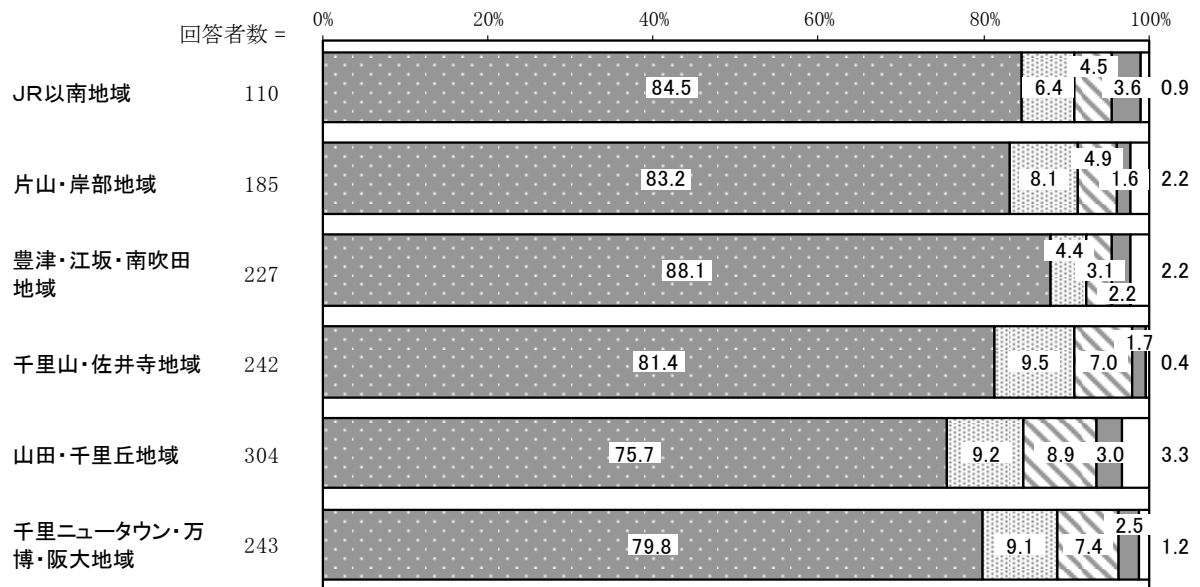
性別でみると、大きな差異はみられません。

図表 5 - 3 吹田市情報発信プラザの訪問回数（性別）



居住地域別でみると、他に比べ、豊津・江坂・南吹田地域で「0回」の割合が高くなっています。

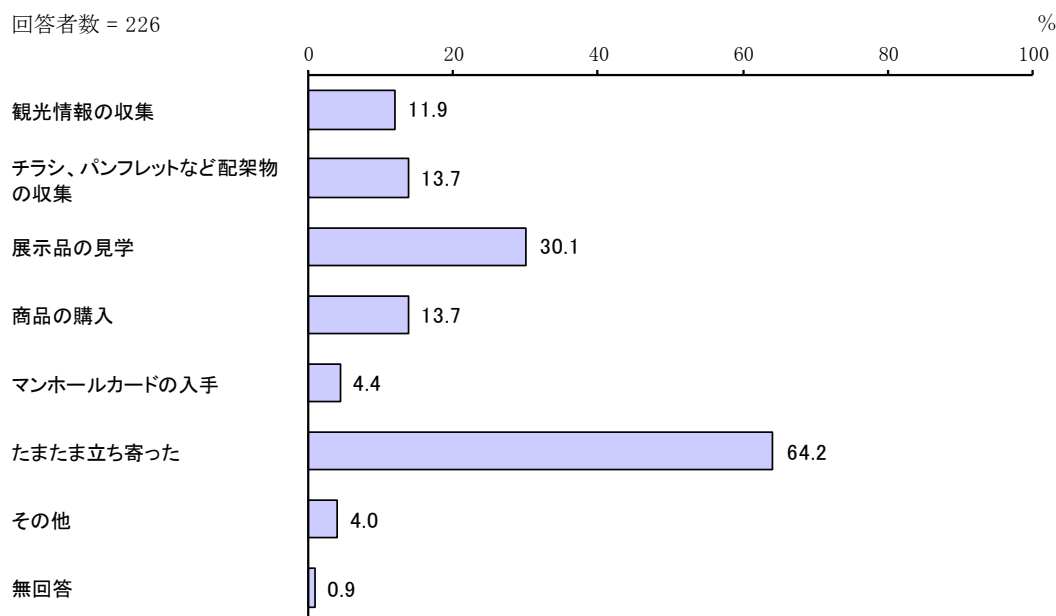
図表 5 - 4 吹田市情報発信プラザの訪問回数（居住地域別）



問 36-1 どのような目的で訪問されましたか。(いくつでも○印)

「たまたま立ち寄った」の割合が 64.2%と最も高く、次いで「展示品の見学」の割合が 30.1%、「チラシ、パンフレットなど配架物の収集」、「商品の購入」の割合が 13.7%となっています。

図表 5-5 吹田市情報発信プラザの訪問目的 (単純回答)



年齢別でみると、30 歳代、50 歳代で「たまたま立ち寄った」の割合が高くなっています。また、40 歳代、60 歳代で「展示品の見学」の割合が高くなっています。

図表 5-6 吹田市情報発信プラザの訪問目的 (年齢別)

単位：%

区分	有効回答数 (件)	観光情報の収集	チラシ、パンフレットなど配架物の収集	展示品の見学	商品の購入	マンホールカードの入手	たまたま立ち寄った	その他	無回答
30 歳未満	22	4.5	4.5	27.3	22.7	—	63.6	13.6	—
30 歳代	44	6.8	13.6	29.5	4.5	9.1	77.3	—	2.3
40 歳代	62	11.3	12.9	37.1	9.7	3.2	58.1	3.2	1.6
50 歳代	50	10.0	8.0	24.0	16.0	6.0	76.0	2.0	—
60 歳代	26	19.2	26.9	34.6	11.5	3.8	53.8	7.7	—
70 歳以上	22	27.3	22.7	22.7	31.8	—	40.9	4.5	—

性別でみると、男性で「たまたま立ち寄った」「展示品の見学」の割合が高くなっています。

図表 5-7 吹田市情報発信プラザの訪問目的（性別）

単位：％

区分	有効回答数 (件)	観光情報の収集	チラシ、パンフレット など配架物の収集	展示品の見学	商品の購入	マンホールカードの 入手	たまたま立ち寄った	その他	無回答
女性	125	9.6	16.0	27.2	14.4	4.0	61.6	4.8	1.6
男性	101	14.9	10.9	33.7	12.9	5.0	67.3	3.0	—
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—

居住地域別でみると、他に比べ、豊津・江坂・南吹田地域、千里ニュータウン・万博・阪大地域で「たまたま立ち寄った」の割合が高くなっています。また、片山・岸部地域で「展示品の見学」の割合が高くなっています。

図表 5-8 吹田市情報発信プラザの訪問目的（居住地域別）

単位：％

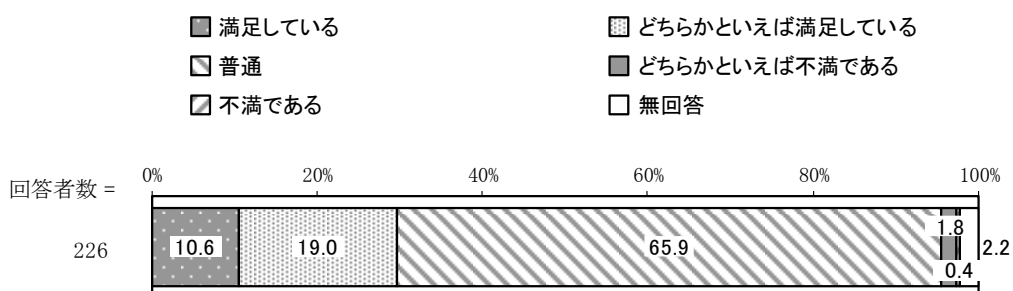
区分	有効回答数 (件)	観光情報の収集	チラシ、パンフレット など配架物の収集	展示品の見学	商品の購入	マンホールカードの 入手	たまたま立ち寄った	その他	無回答
JR以南地域	16	31.3	37.5	37.5	31.3	—	56.3	6.3	—
片山・岸部地域	27	14.8	18.5	51.9	22.2	3.7	59.3	3.7	—
豊津・江坂・南吹田 地域	22	—	—	22.7	9.1	—	72.7	9.1	—
千里山・佐井寺地域	44	11.4	13.6	29.5	13.6	13.6	59.1	2.3	2.3
山田・千里丘地域	64	10.9	12.5	20.3	9.4	3.1	65.6	4.7	1.6
千里ニュータウン・万 博・阪大地域	46	10.9	10.9	28.3	6.5	2.2	73.9	2.2	—

問 36-2 どのような感想をもたれましたか。(1つだけ○印)

1. チラシ、冊子など配架物

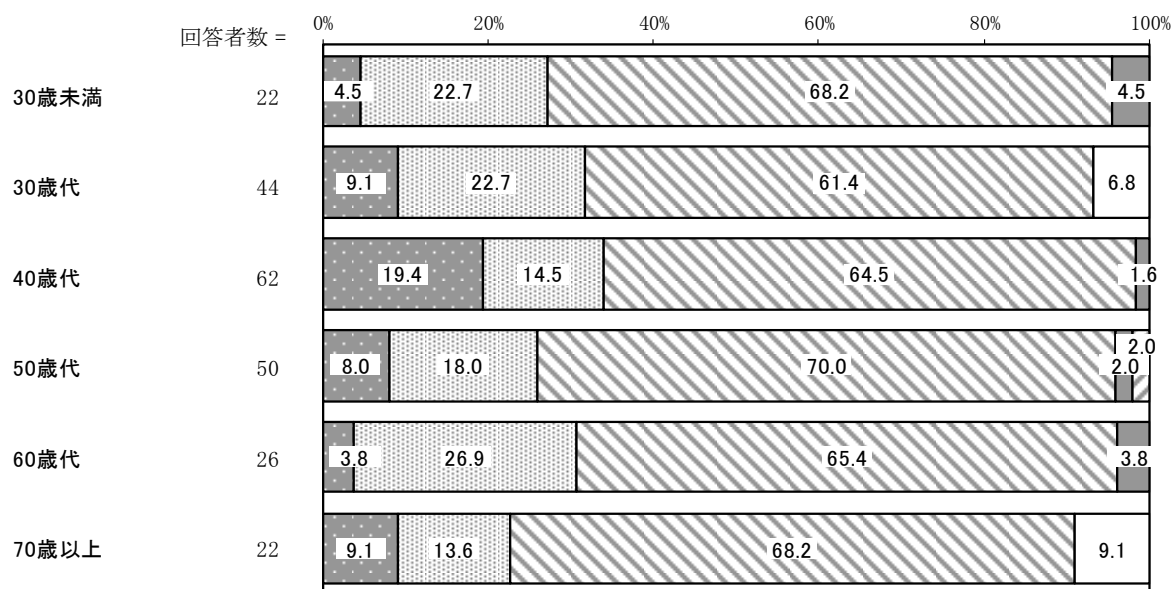
「満足している」と「どちらかといえば満足している」をあわせた“満足している”の割合が29.6%、「どちらかといえば不満である」と「不満である」をあわせた“不満である”の割合が2.2%となっています。

図表 5-9 チラシ、冊子など配架物の感想 (単純回答)



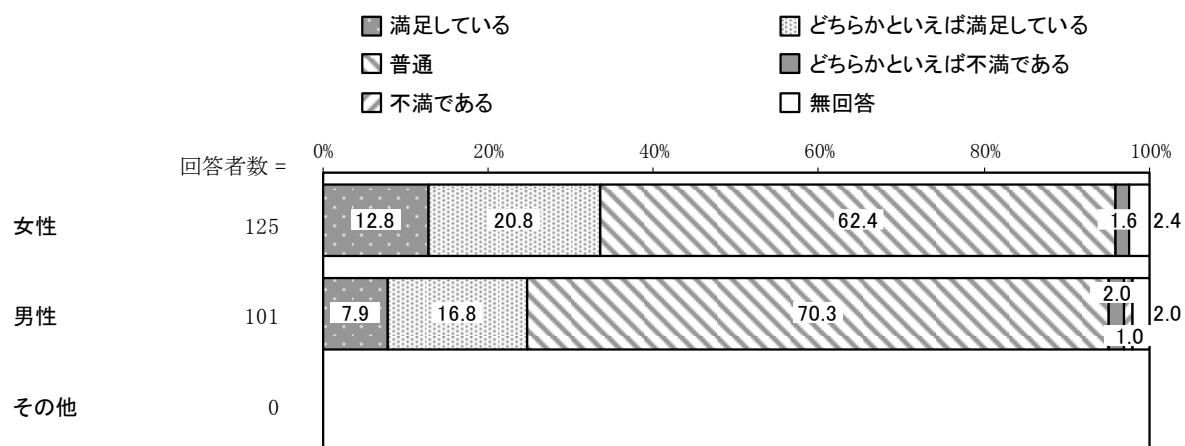
年齢別でみると、他に比べ、30歳代、40歳代、60歳代で“満足している”の割合が高くなっています。

図表 5-10 チラシ、冊子など配架物の感想 (年齢別)



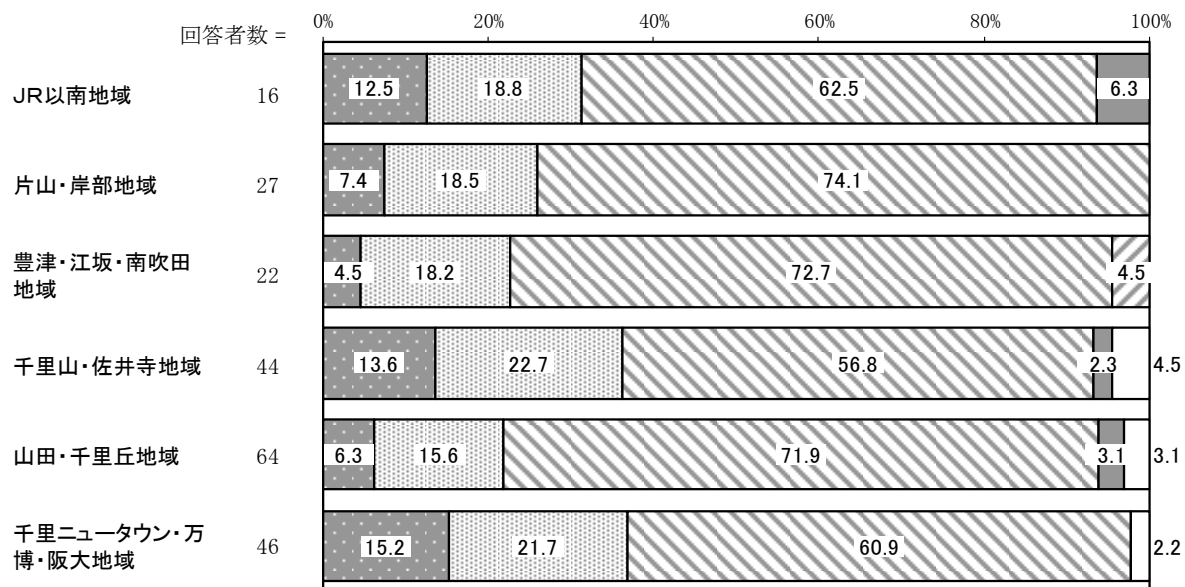
性別でみると、男性に比べ、女性で“満足している”の割合が高くなっています。

図表 5-11 チラシ、冊子など配架物の感想（性別）



居住地域別でみると、他に比べ、千里山・佐井寺地域、千里ニュータウン・万博・阪大地域で“満足している”の割合が高くなっています。

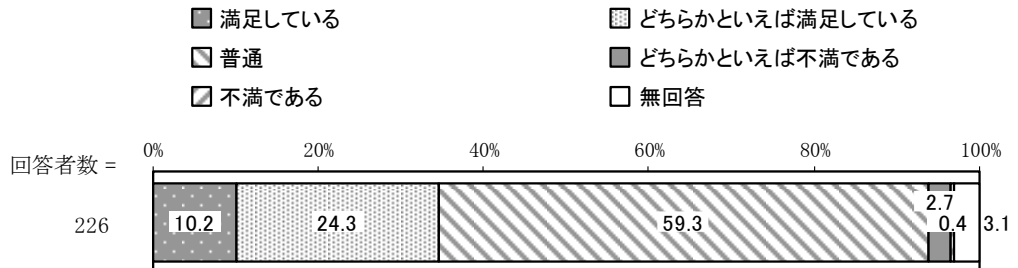
図表 5-12 チラシ、冊子など配架物の感想（居住地域別）



2. 展示品

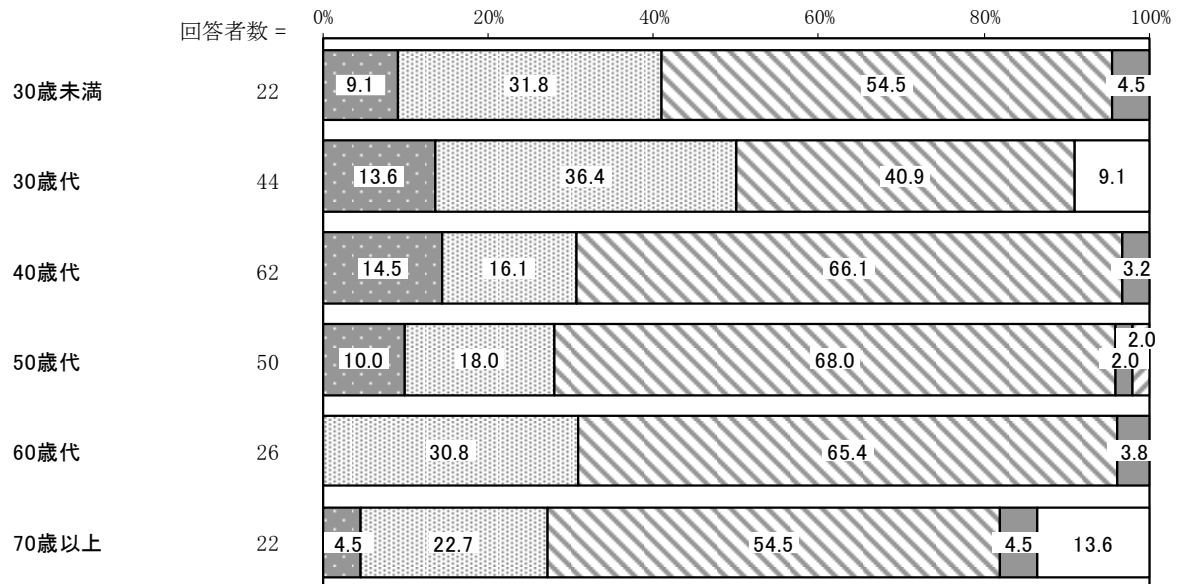
「満足している」と「どちらかといえば満足している」をあわせた“満足している”の割合が34.5%、「どちらかといえば不満である」と「不満である」をあわせた“不満である”の割合が3.1%となっています。

図表 5-13 展示品の感想（単純回答）



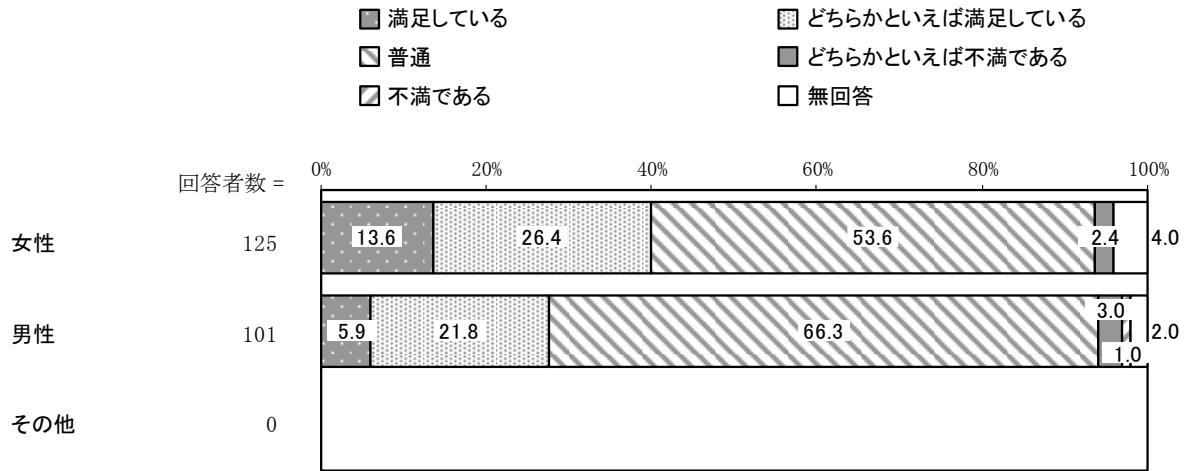
年齢別でみると、他に比べ、30歳代で“満足している”の割合が高くなっています。

図表 5-14 展示品の感想（年齢別）



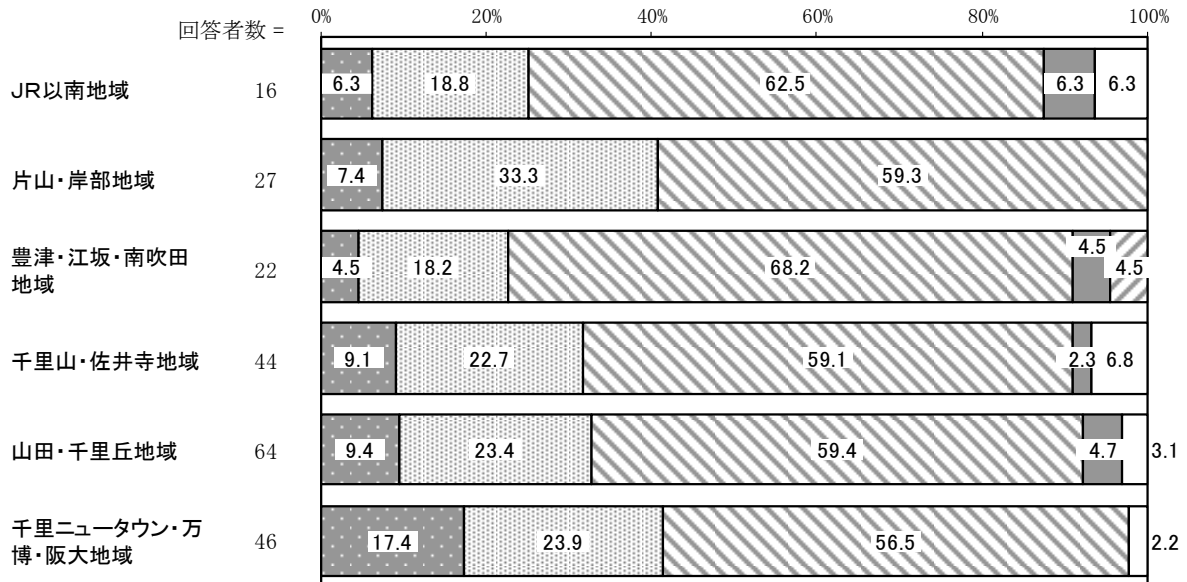
性別でみると、男性に比べ、女性で“満足している”の割合が高くなっています。

図表 5-15 展示品の感想（性別）



居住地域別でみると、他に比べ、片山・岸部地域、千里ニュータウン・万博・阪大地域で“満足している”の割合が高くなっています。

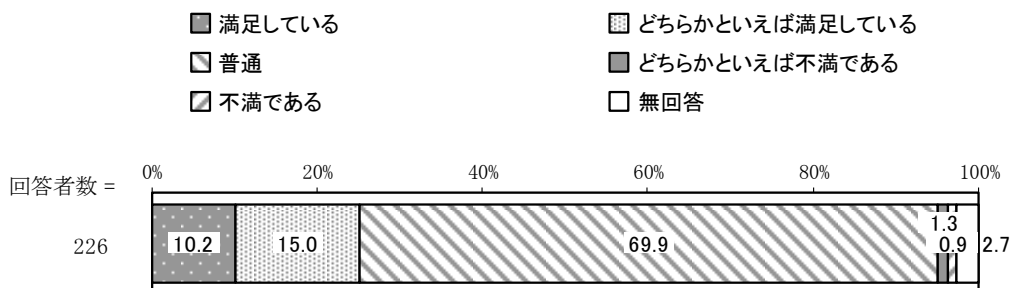
図表 5-16 展示品の感想（居住地域別）



3. スタッフの応対

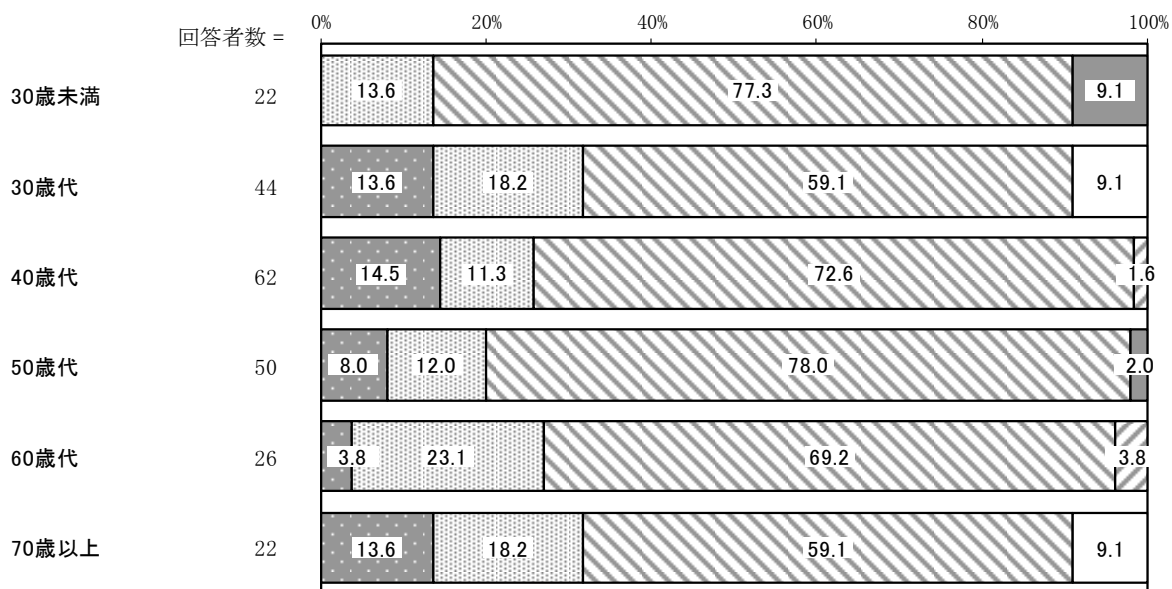
「満足している」と「どちらかといえば満足している」をあわせた“満足している”の割合が25.2%、「どちらかといえば不満である」と「不満である」をあわせた“不満である”の割合が2.2%となっています。

図表 5-17 スタッフの応対の感想（単純回答）



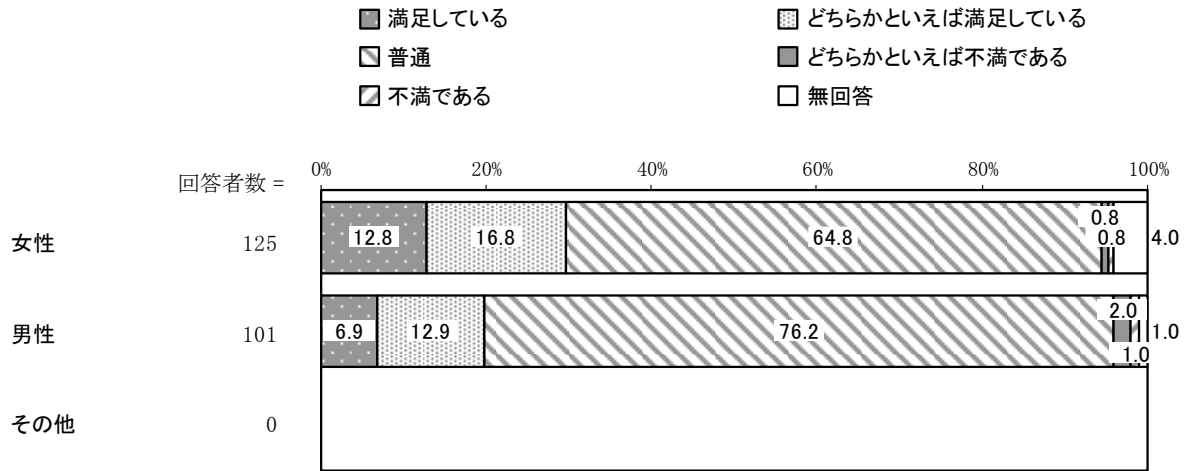
年齢別でみると、他に比べ、30歳代、70歳以上で“満足している”の割合が高くなっています。

図表 5-18 スタッフの応対の感想（年齢別）



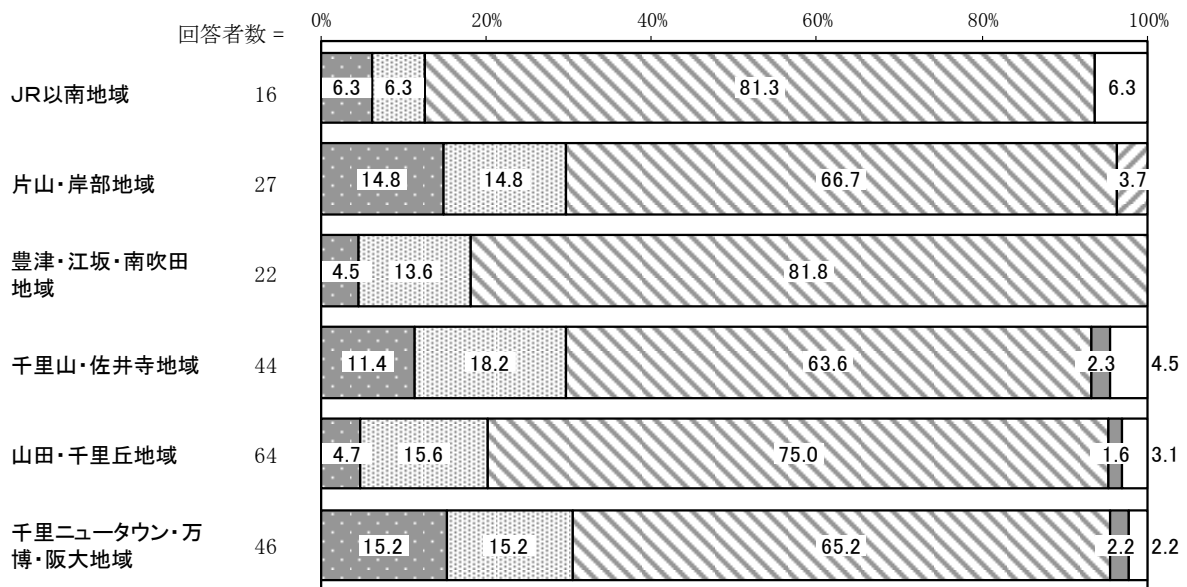
性別でみると、男性に比べ、女性で“満足している”の割合が高くなっています。

図表 5-19 スタッフの応対の感想（性別）



居住地域別でみると、他に比べ、片山・岸部地域、千里山・佐井寺地域、千里ニュータウン・万博・阪大地域で“満足している”の割合が高くなっています。

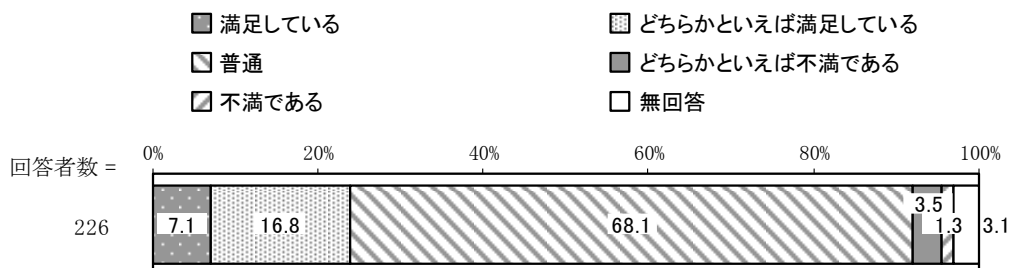
図表 5-20 スタッフの応対の感想（居住地域別）



4. 紹介している市内の魅力情報

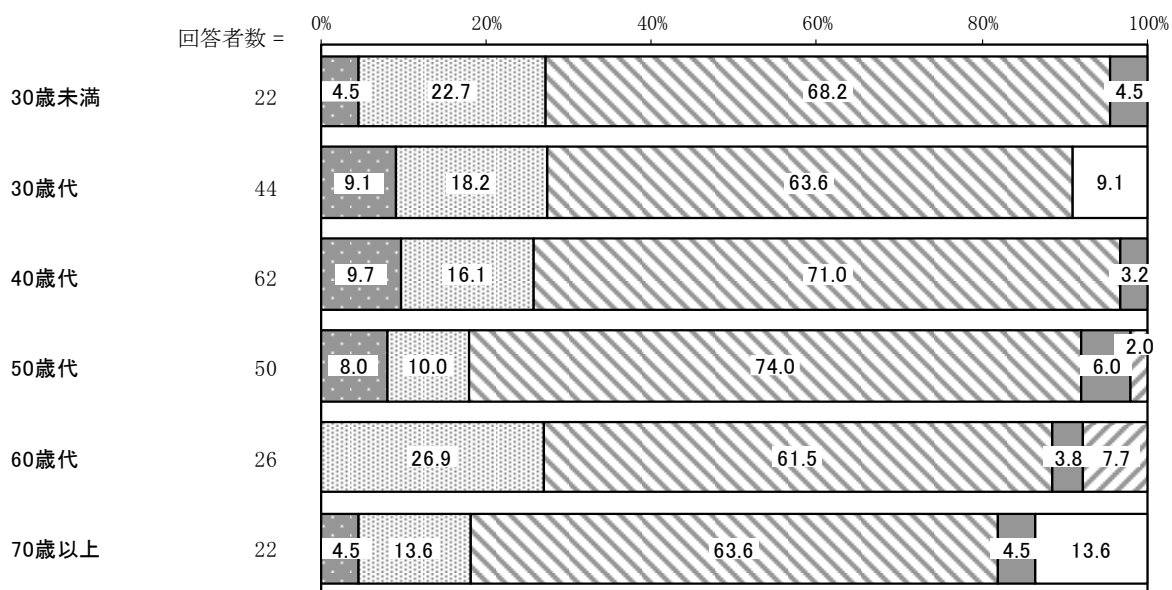
「満足している」と「どちらかといえば満足している」をあわせた“満足している”の割合が23.9%、「どちらかといえば不満である」と「不満である」をあわせた“不満である”の割合が4.8%となっています。

図表5-21 紹介している市内の魅力情報の感想（単純回答）



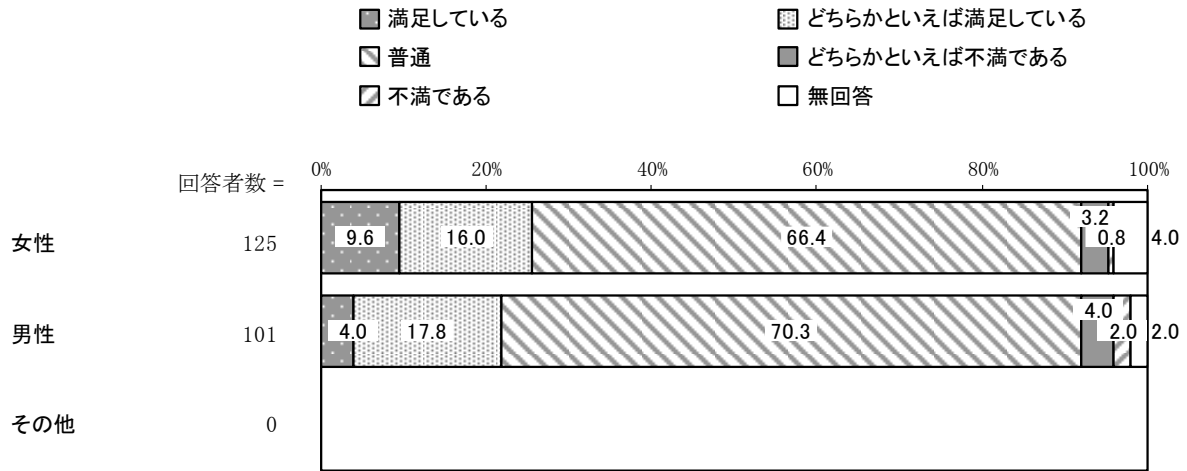
年齢別で見ると、他に比べ、30歳未満、30歳代、40歳代、60歳代で“満足している”の割合が高くなっています。

図表5-22 紹介している市内の魅力情報の感想（年齢別）



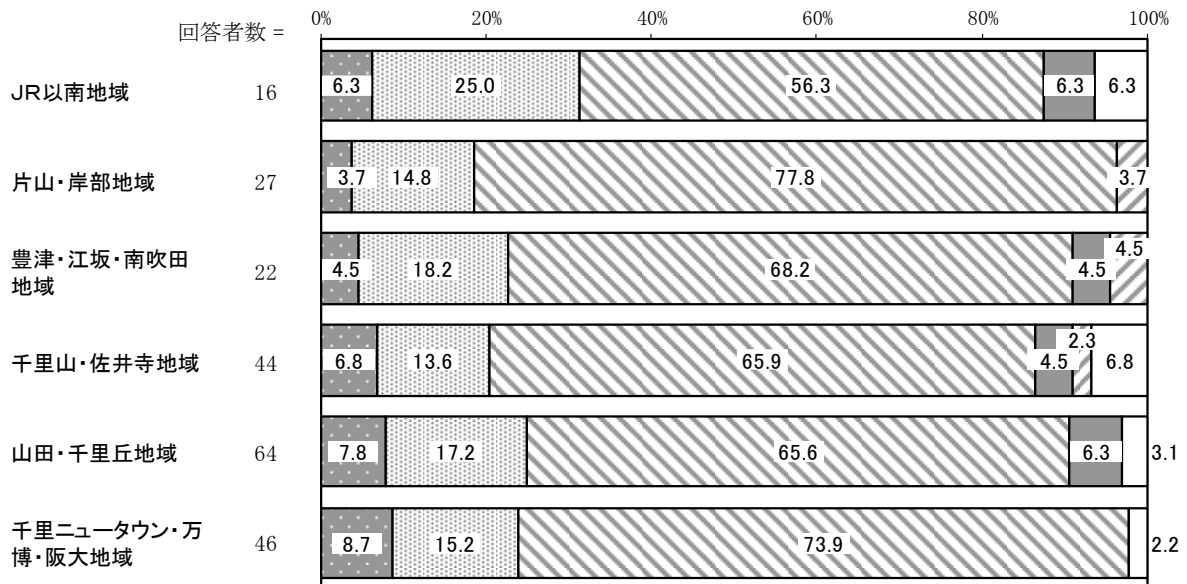
性別でみると、大きな差異はみられません。

図表 5-23 紹介している市内の魅力情報の感想（性別）



居住地域別でみると、他に比べ、JR以南地域で“満足している”の割合が高くなっています。

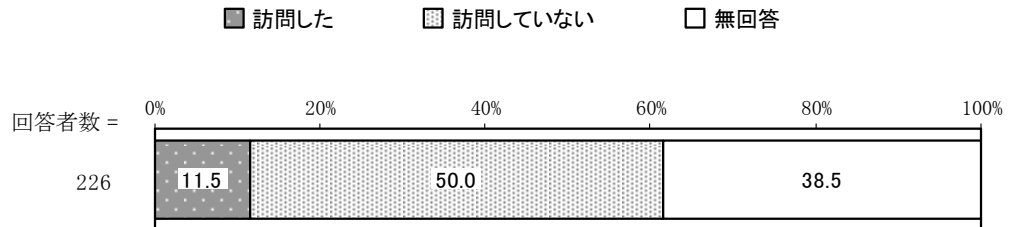
図表 5-24 紹介している市内の魅力情報の感想（居住地域別）



問 36-4 本施設の情報をもとに、市内の観光スポット等を訪問されましたか。
(1つだけ○印)

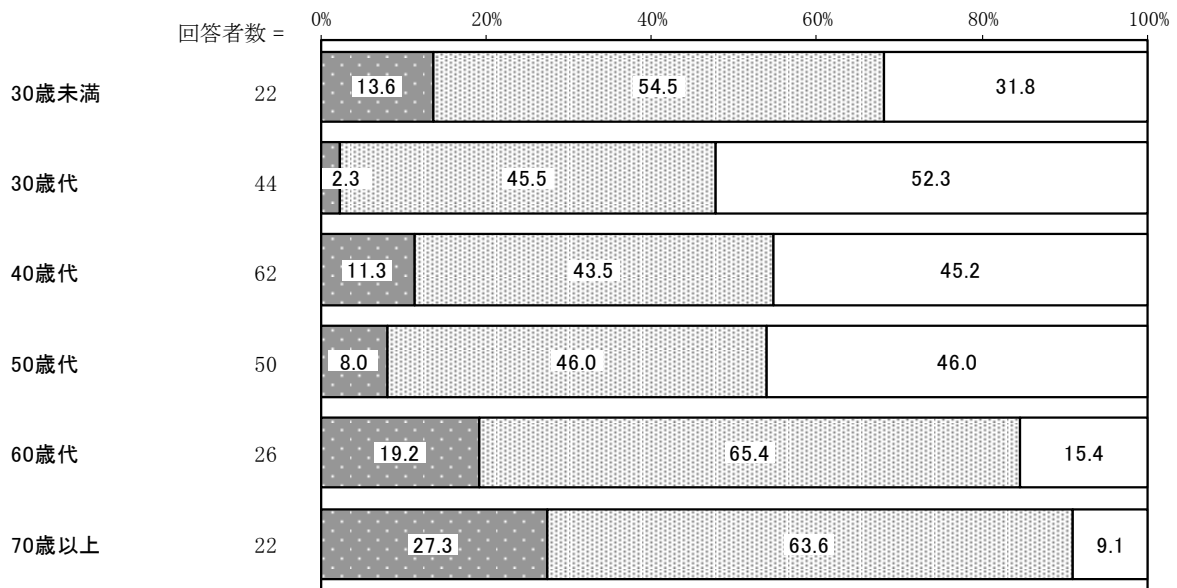
「訪問した」の割合が 11.5%、「訪問していない」の割合が 50.0%となっています。

図表 5-25 紹介している市内の魅力情報の感想 (単純回答)



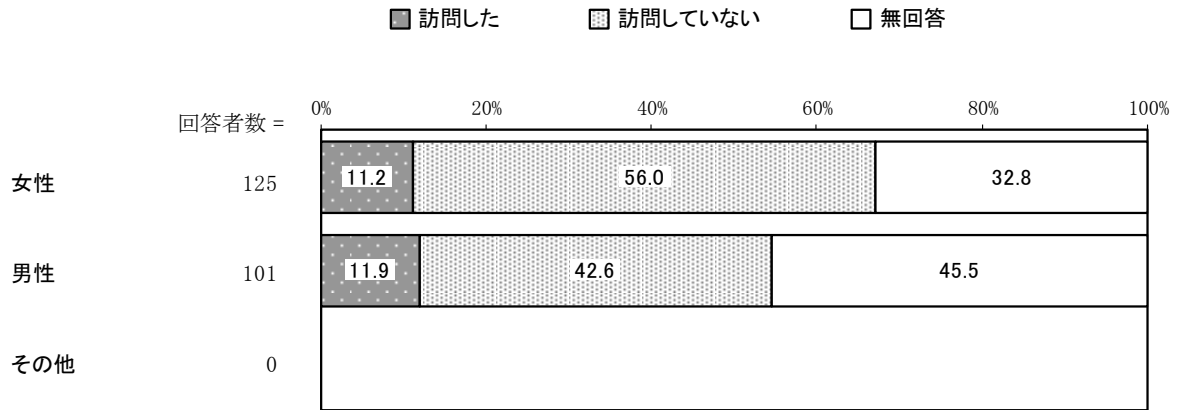
年齢別で見ると、他に比べ、60歳代、70歳以上で「訪問していない」の割合が高くなっています。

図表 5-26 紹介している市内の魅力情報の感想 (年齢別)



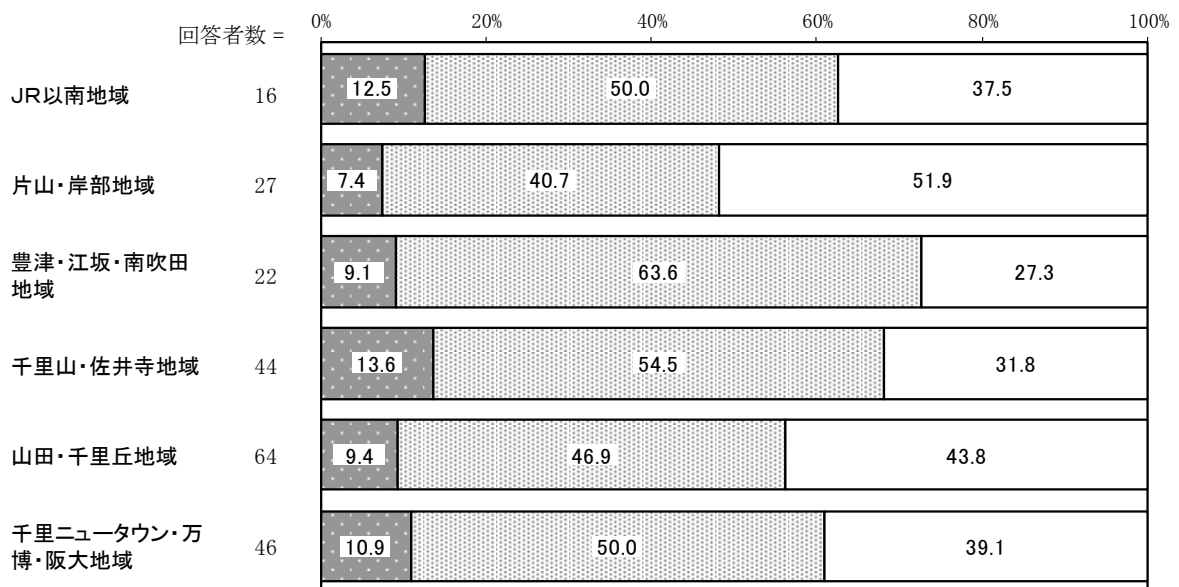
性別でみると、男性に比べ、女性で「訪問していない」の割合が高くなっています。

図表 5-27 紹介している市内の魅力情報の感想（性別）



居住地域別でみると、他に比べ、豊津・江坂・南吹田地域で「訪問していない」の割合が高くなっています。

図表 5-28 紹介している市内の魅力情報の感想（居住地域別）

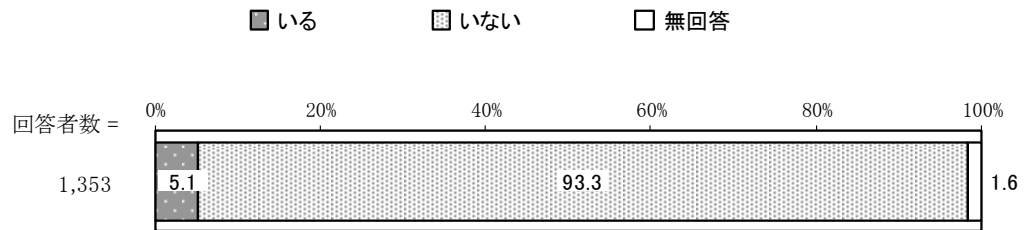


第6章 ひきこもりについて

問37 あなたの家族（あなたご自身が対象者である場合も含まれます。）に「ひきこもり」（過去6か月の間、外出していても家族以外の人とのコミュニケーションがほとんどない状態）の方がいますか。（1つだけ○印）

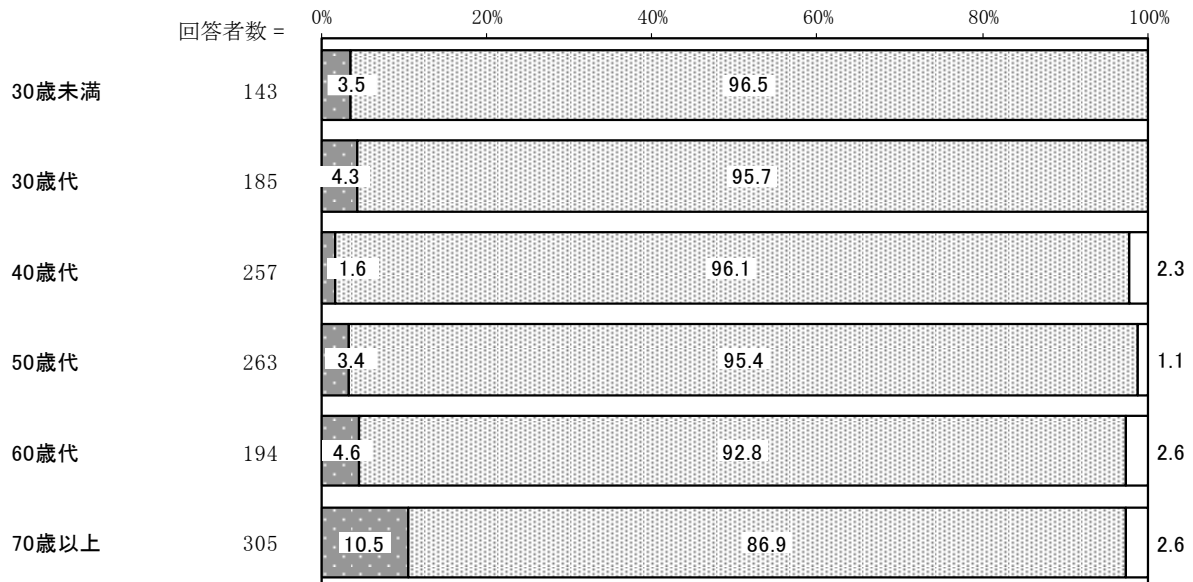
「いる」の割合が5.1%、「いない」の割合が93.3%となっています。

図表6-1 「ひきこもり」の人の有無（単純回答）

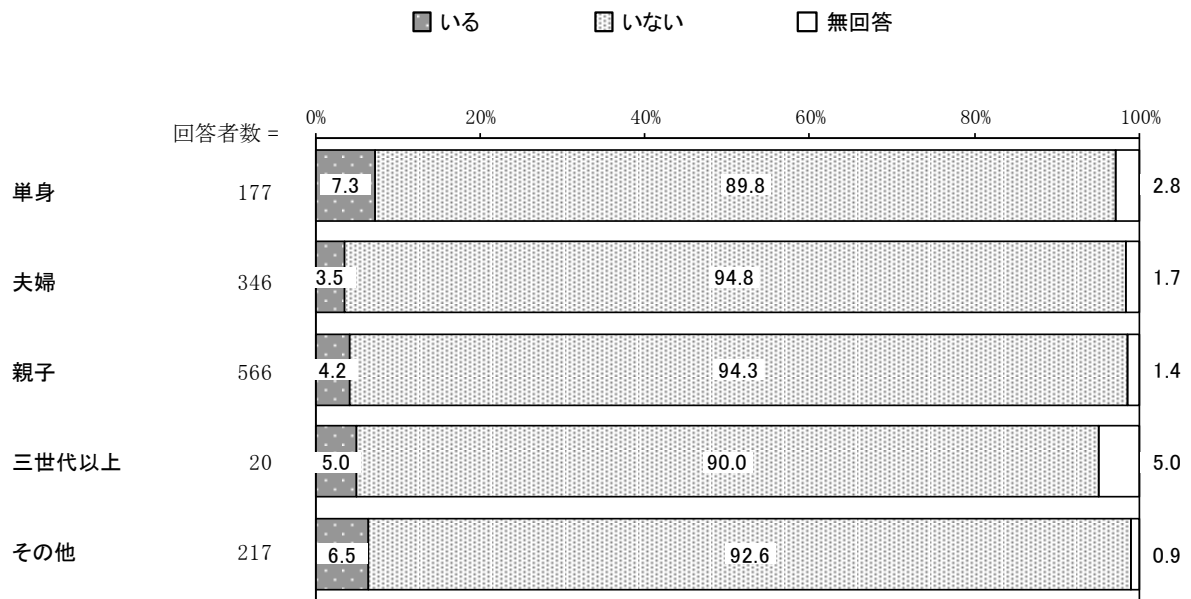


年齢別でみると、他に比べ、70歳以上の方の家族にひきこもりの方が「いる」割合が高くなっています。

図表6-2 「ひきこもり」の人の有無（年齢別）

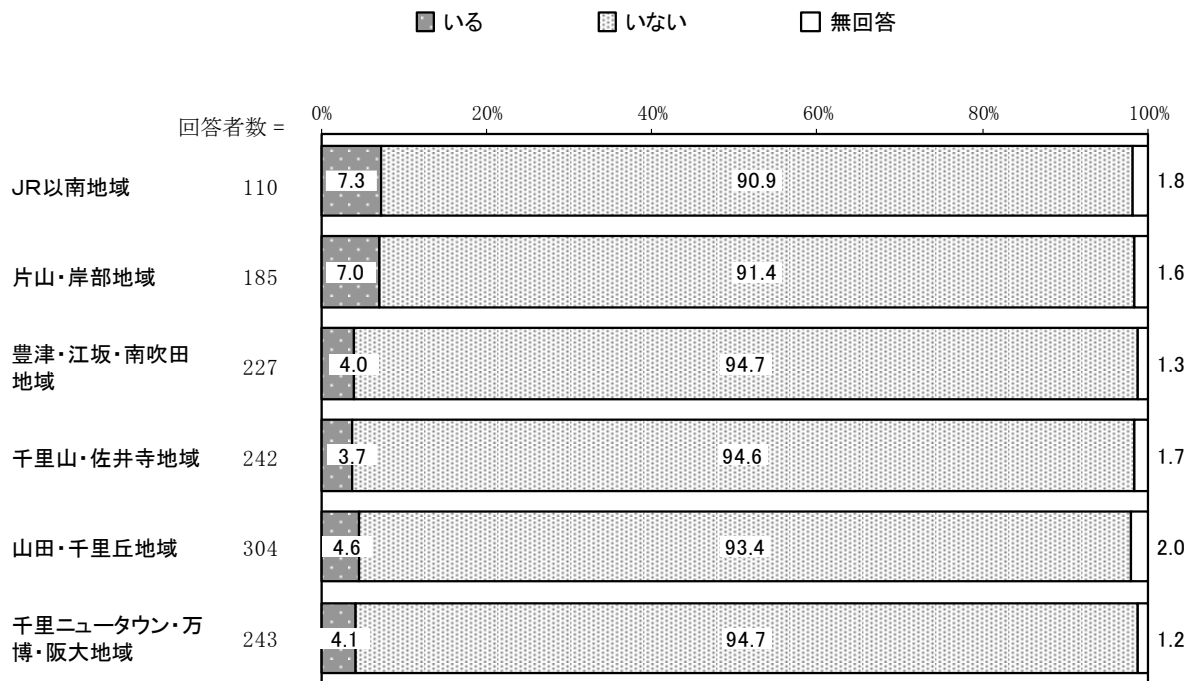


図表 6-3 「ひきこもり」の人の有無（家族構成別）



居住地域別でみると、大きな差異はみられません。

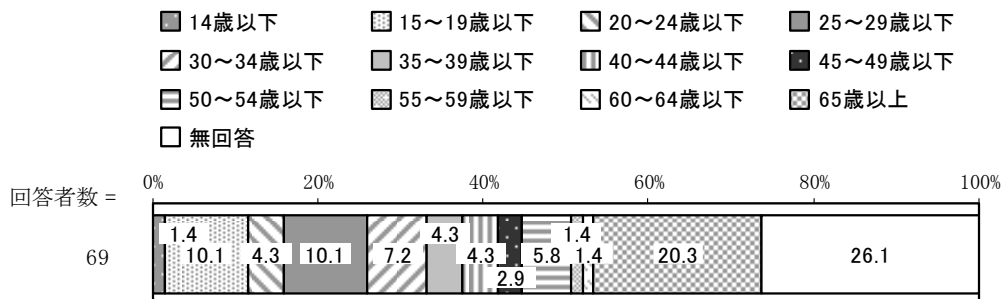
図表 6-4 「ひきこもり」の人の有無（居住地域別）



問 37-1 対象者の方はいくつですか。(1つだけ○印)

「65歳以上」の割合が20.3%と最も高く、次いで「15～19歳以下」、「25～29歳以下」の割合が10.1%となっています。

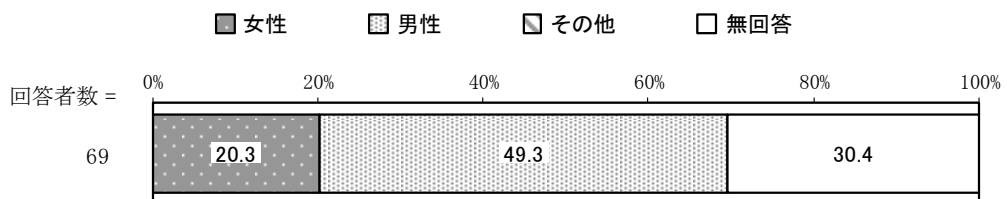
図表 6-5 「ひきこもり」の人の年齢 (単純回答)



問 37-2 性別はどちらですか。(1つだけ○印)

「女性」の割合が20.3%、「男性」の割合が49.3%となっています。

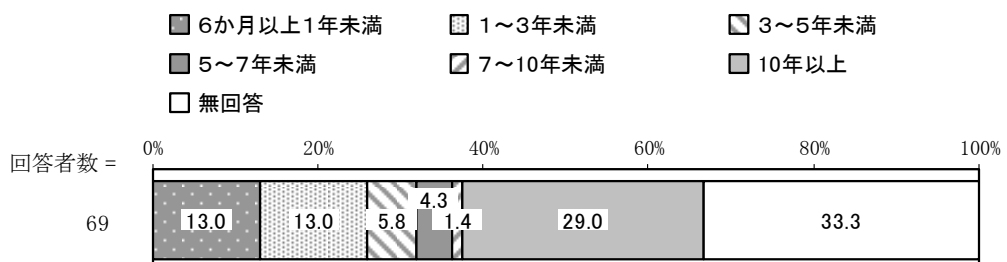
図表 6-6 「ひきこもり」の人の性別 (単純回答)



問 37-3 現在の状態になってからどのくらいの期間を経過していますか。(1つだけ○印)

「10年以上」の割合が29.0%と最も高く、次いで「6か月以上1年未満」、「1～3年未満」の割合が13.0%となっています。

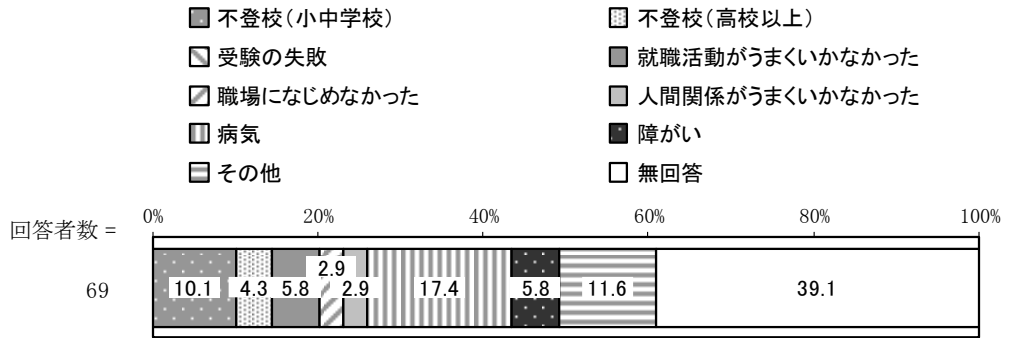
図表 6-7 「ひきこもり」期間 (単純回答)



問 37-4 どのようなきっかけで現在の状態になりましたか。(1つだけ○印)

「病気」の割合が17.4%と最も高く、次いで「不登校(小中学校)」の割合が10.1%となっています。

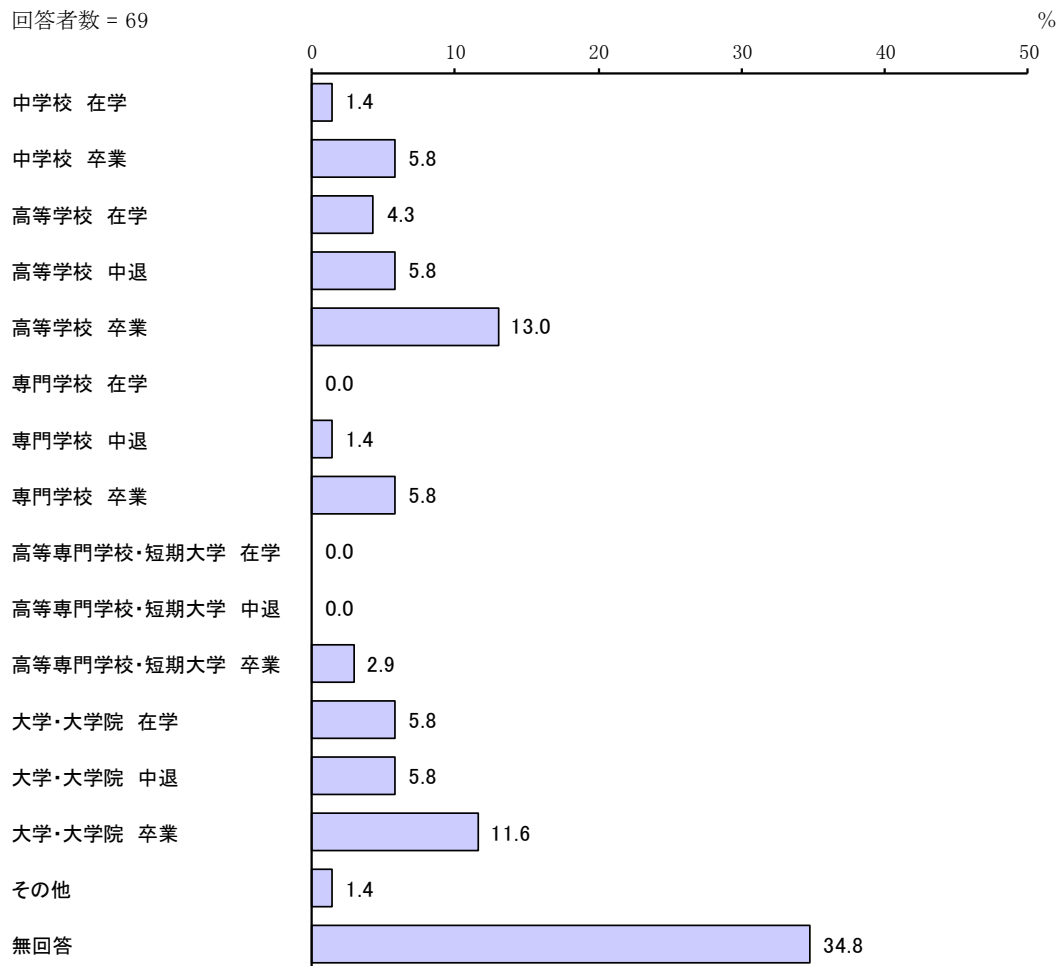
図表6-8 「ひきこもり」になったきっかけ(単純回答)



問 37-5 最後に卒業もしくは中退した、または現在、在学している学校はどれですか。(1つだけ○印)

「高等学校 卒業」の割合が13.0%と最も高く、次いで「大学・大学院 卒業」の割合が11.6%となっています。

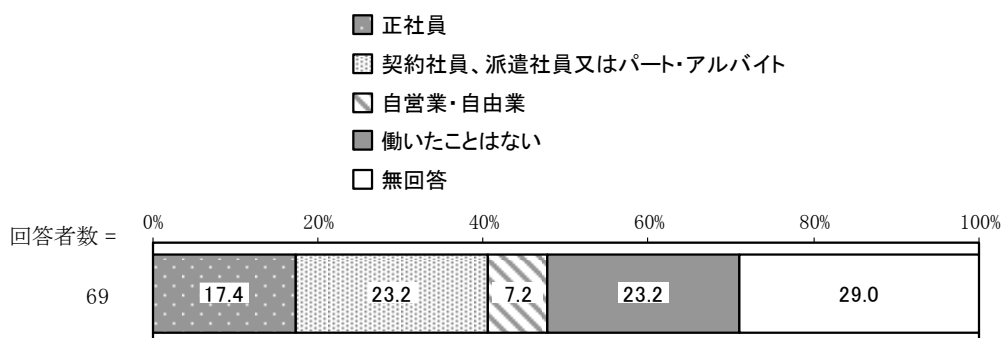
図表6-9 「ひきこもり」の人の最終学歴(単純回答)



問 37-6 最後に就労した状況についてお答えください。(1つだけ○印)

「契約社員、派遣社員又はパート・アルバイト」、「働いたことはない」の割合が 23.2%と最も高く、次いで「正社員」の割合が 17.4%となっています。

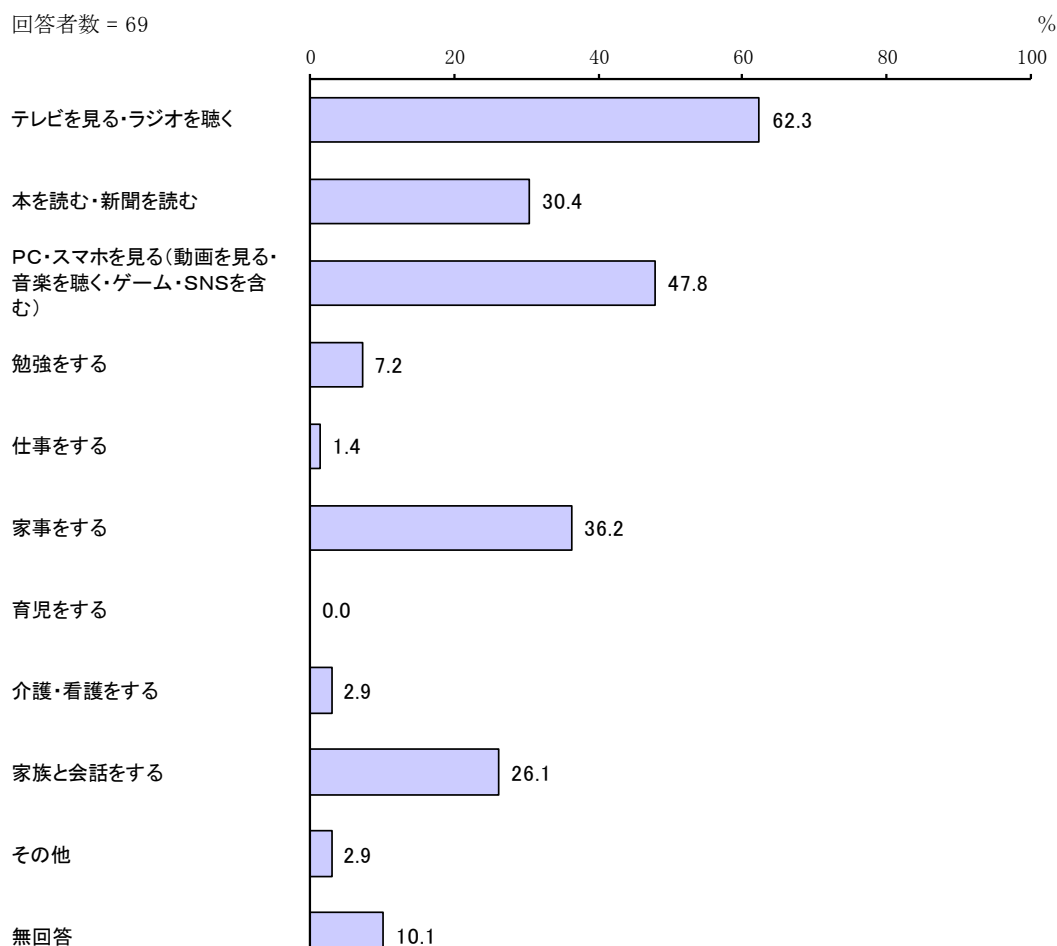
図表 6-10 「ひきこもり」の人の就労状況 (単純回答)



問 37-7 普段ご自宅にいるときに、よくしていることすべてに○をつけてください。(いくつでも○印)

「テレビを見る・ラジオを聴く」の割合が 62.3%と最も高く、次いで「PC・スマホを見る(動画を見る・音楽を聴く・ゲーム・SNSを含む)」の割合が 47.8%、「家事をする」の割合が 36.2%となっています。

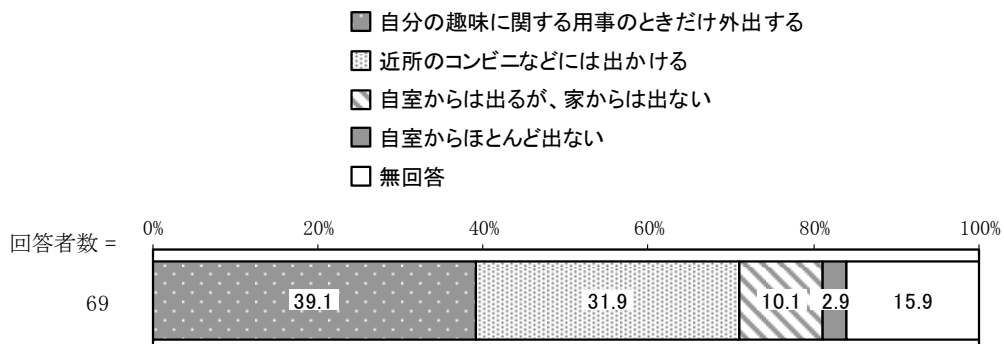
図表 6-11 「ひきこもり」の人のよくしていること (単純回答)



問 37-8 現在、普段どのくらい外出しますか。(1つだけ○印)

「自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」の割合が 39.1%と最も高く、次いで「近所のコンビニなどには出かける」の割合が 31.9%、「自室からは出るが、家からは出ない」の割合が 10.1%となっています。

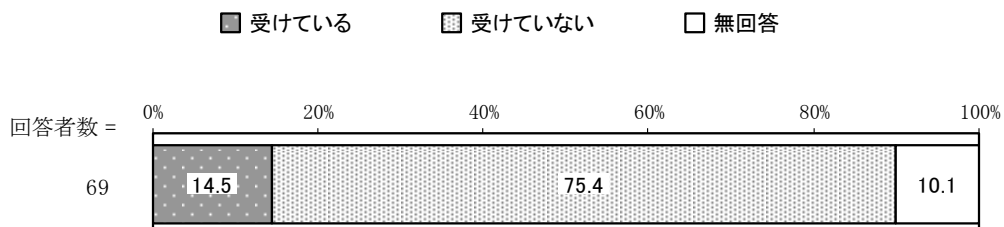
図表 6-12 「ひきこもり」の人の外出頻度 (単純回答)



問 37-9 現在、福祉サービス (介護・障がい等) を受けていますか。(1つだけ○印)

「受けている」の割合が 14.5%、「受けていない」の割合が 75.4%となっています。

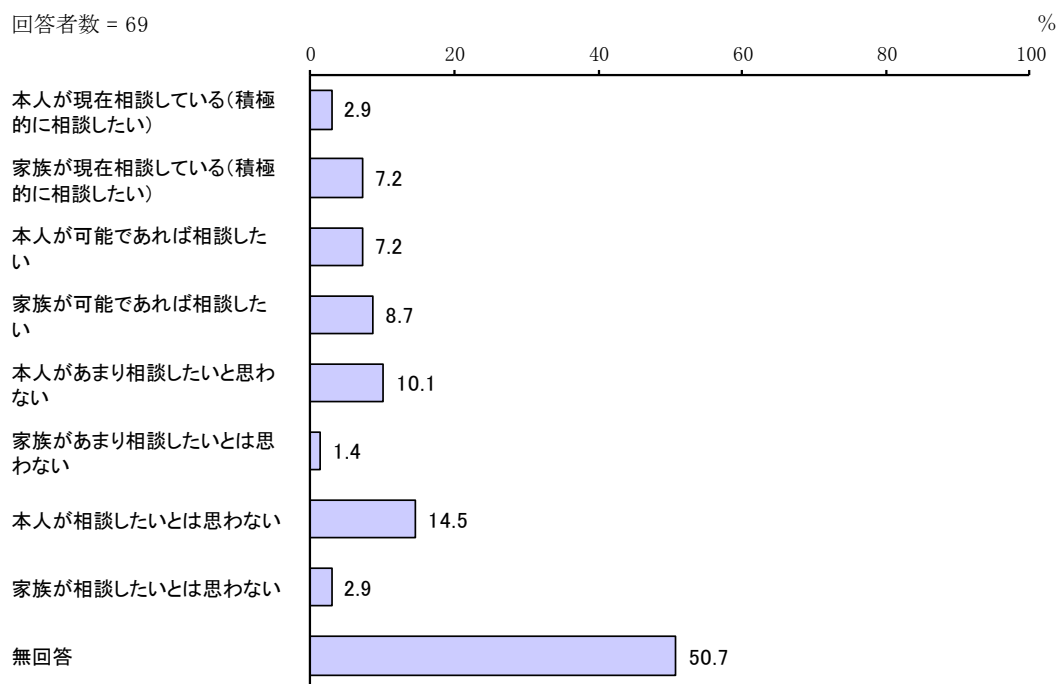
図表 6-13 「ひきこもり」の人の福祉サービス受給状況 (単純回答)



問 37-10 現在の状態について相談する意思がありますか。(いくつでも○印)

「本人が相談したいとは思わない」の割合が 14.5%と最も高く、次いで「本人があまり相談したいとは思わない」の割合が 10.1%となっています。

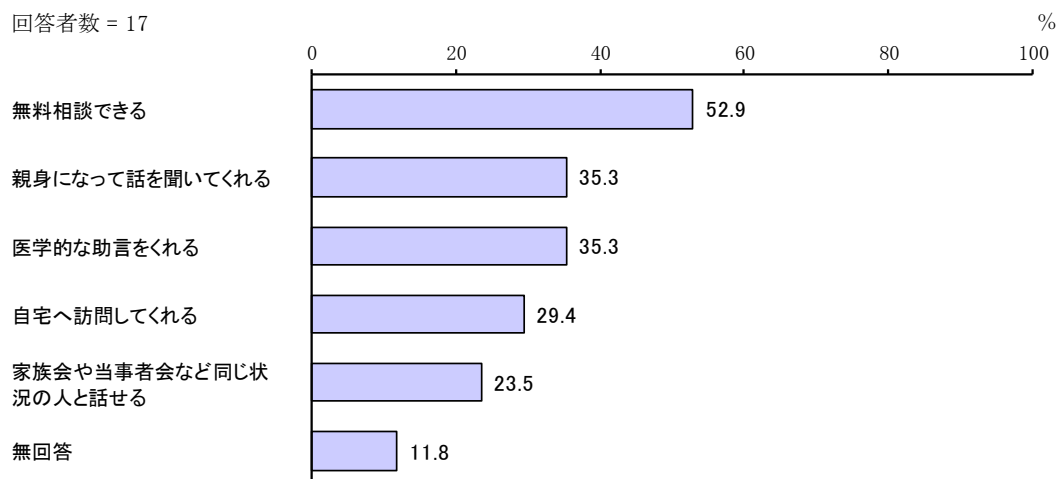
図表 6-14 「ひきこもり」の人の相談する意思 (単純回答)



問 37-11 相談機関への希望はありますか。(いくつでも○印)

「無料相談できる」の割合が 52.9%と最も高く、次いで「親身になって話を聞いてくれる」、「医学的な助言をくれる」の割合が 35.3%となっています。

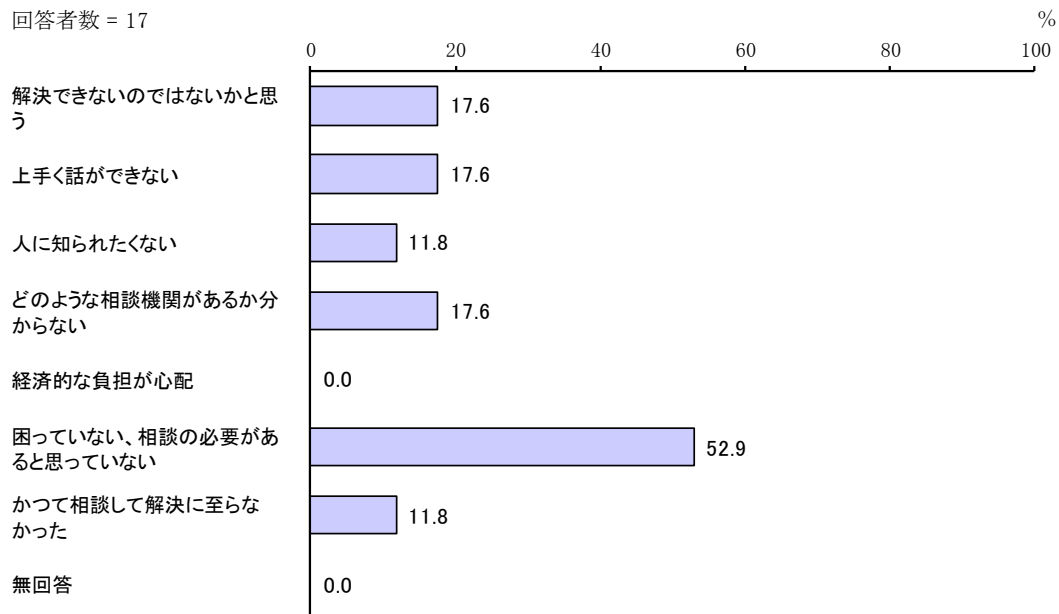
図表 6-15 「ひきこもり」の人の相談機関への希望 (単純回答)



問 37-12 相談したくない理由は何ですか。(いくつでも○印)

「困っていない、相談の必要があると思っていない」の割合が 52.9%と最も高く、次いで「解決できないのではないかと思います」、「上手く話ができない」、「どのような相談機関があるか分からない」の割合が 17.6%となっています。

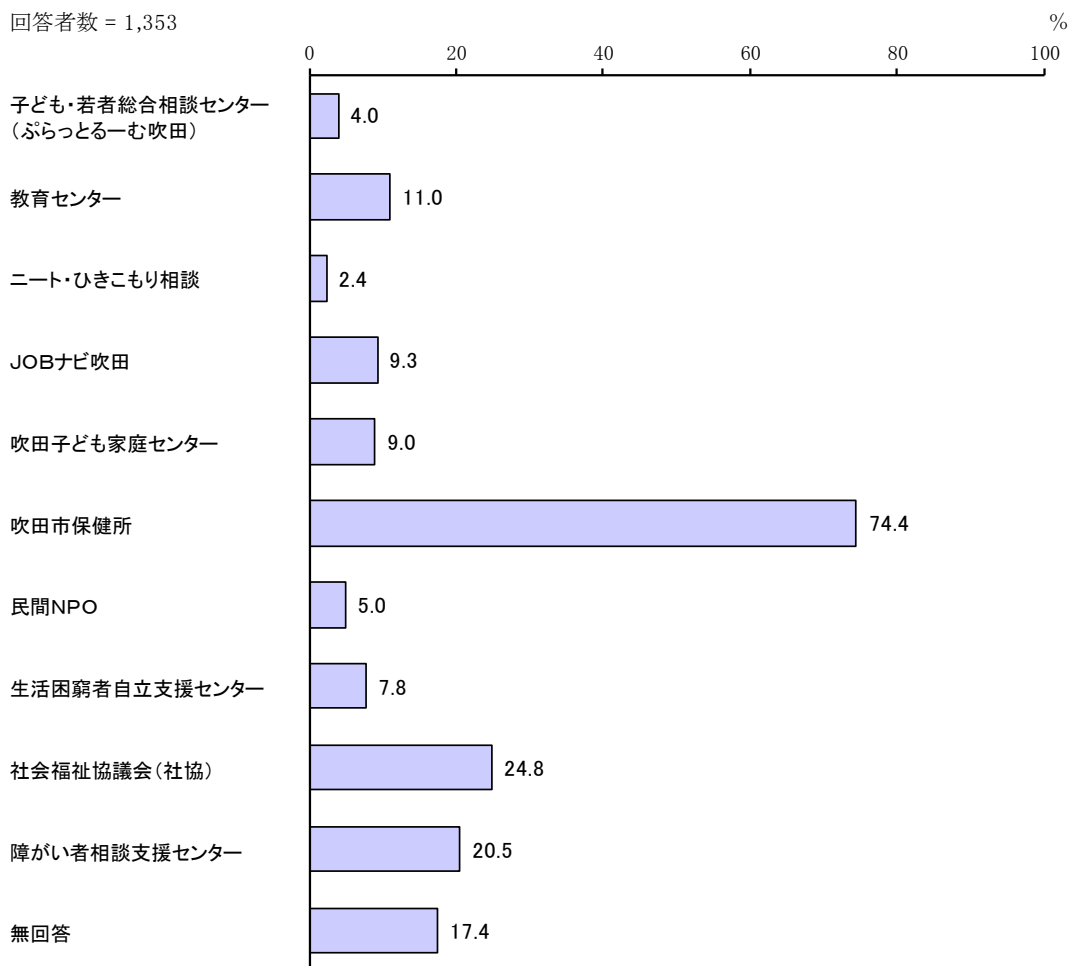
図表 6-16 「ひきこもり」の人の相談したくない理由（単純回答）



問 38 あなたが、次の相談機関のうち知っているものはどれですか。
(いくつでも○印)

「吹田市保健所」の割合が 74.4%と最も高く、次いで「社会福祉協議会(社協)」の割合が 24.8%、「障がい者相談支援センター」の割合が 20.5%となっています。

図表 6-17 相談機関の認知度 (単純回答)



年齢別でみると、どの世代においても「吹田市保健所」の割合が高くなっています。

図表 6-18 相談機関の認知度（年齢別）

単位：％

区分	有効回答数（件）	子ども・若者総合相談センター （ぶらっとるーむ吹田）	教育センター	ニート・ひきこもり相談	JOBナビ吹田	吹田子ども家庭センター	吹田市保健所	民間NPO	生活困窮者自立支援センター	社会福祉協議会（社協）	障がい者相談支援センター	無回答
30歳未満	143	4.9	9.8	4.2	4.2	6.3	63.6	13.3	11.9	8.4	23.8	23.8
30歳代	185	5.9	10.3	2.7	11.9	16.2	67.0	4.9	4.3	13.0	19.5	20.5
40歳代	257	3.9	12.8	1.9	14.0	12.5	75.1	5.4	8.2	20.6	21.0	17.5
50歳代	263	3.0	10.3	1.9	14.1	11.0	81.7	5.7	6.8	29.3	21.3	11.4
60歳代	194	4.1	12.9	0.5	8.8	7.2	78.9	3.1	9.3	33.0	23.2	14.9
70歳以上	305	3.3	10.2	3.3	2.6	2.3	74.8	1.3	7.9	34.1	17.0	19.0

居住地域別でみると、どの地域においても「吹田市保健所」の割合が高くなっています。

図表 6-19 相談機関の認知度（居住地域別）

単位：％

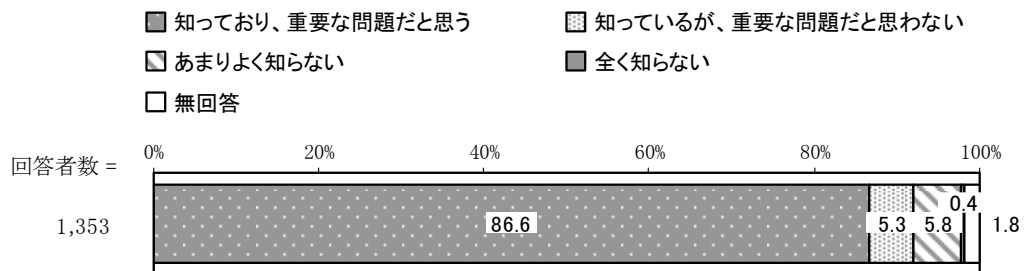
区分	有効回答数（件）	子ども・若者総合相談センター （ぶらっとるーむ吹田）	教育センター	ニート・ひきこもり相談	JOBナビ吹田	吹田子ども家庭センター	吹田市保健所	民間NPO	生活困窮者自立支援センター	社会福祉協議会（社協）	障がい者相談支援センター	無回答
JR以南地域	110	1.8	14.5	4.5	16.4	10.9	79.1	5.5	5.5	30.0	19.1	11.8
片山・岸部地域	185	5.9	13.0	2.2	20.0	9.2	76.2	5.9	10.3	21.1	18.4	16.2
豊津・江坂・南吹田地域	227	2.6	7.0	2.6	7.5	7.9	72.7	3.5	9.7	22.5	19.4	21.1
千里山・佐井寺地域	242	4.5	10.3	2.5	8.3	10.3	74.4	5.8	7.0	26.0	21.9	16.5
山田・千里丘地域	304	3.6	12.2	1.0	5.6	9.9	78.0	4.6	6.3	26.3	20.1	16.1
千里ニュータウン・万博・阪大地域	243	4.5	9.1	2.5	5.8	7.0	71.2	4.9	7.8	24.7	21.8	18.1

第7章 地球環境問題（地球温暖化、生物多様性等）について

問39 あなたは、地球温暖化についてご存知ですか。また、重要な問題だと思いますか。（1つだけ○印）

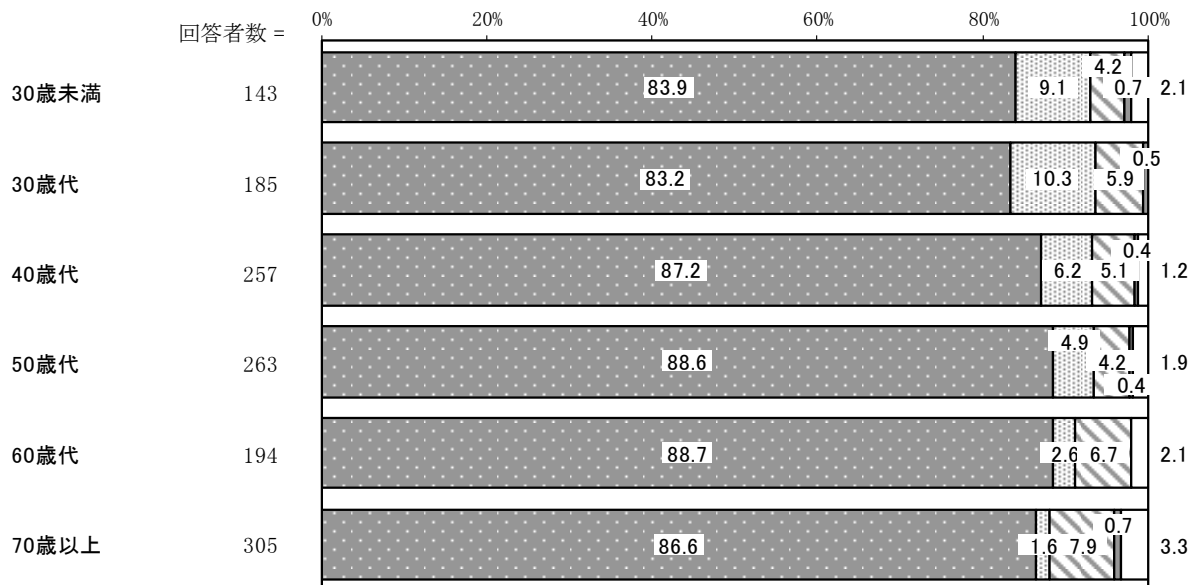
「知っており、重要な問題だと思う」の割合が86.6%と最も高くなっています。

図表7-1 地球温暖化の認知度（単純回答）



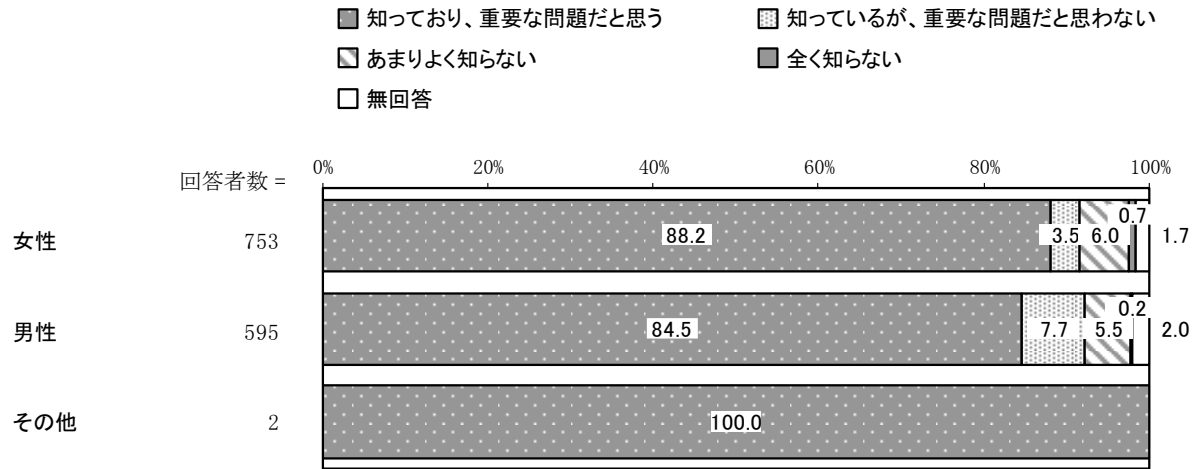
年齢別でみると、他に比べ、30歳未満、30歳代で「知っているが、重要な問題だと思わない」の割合が高くなっています。

図表7-2 地球温暖化の認知度（年齢別）



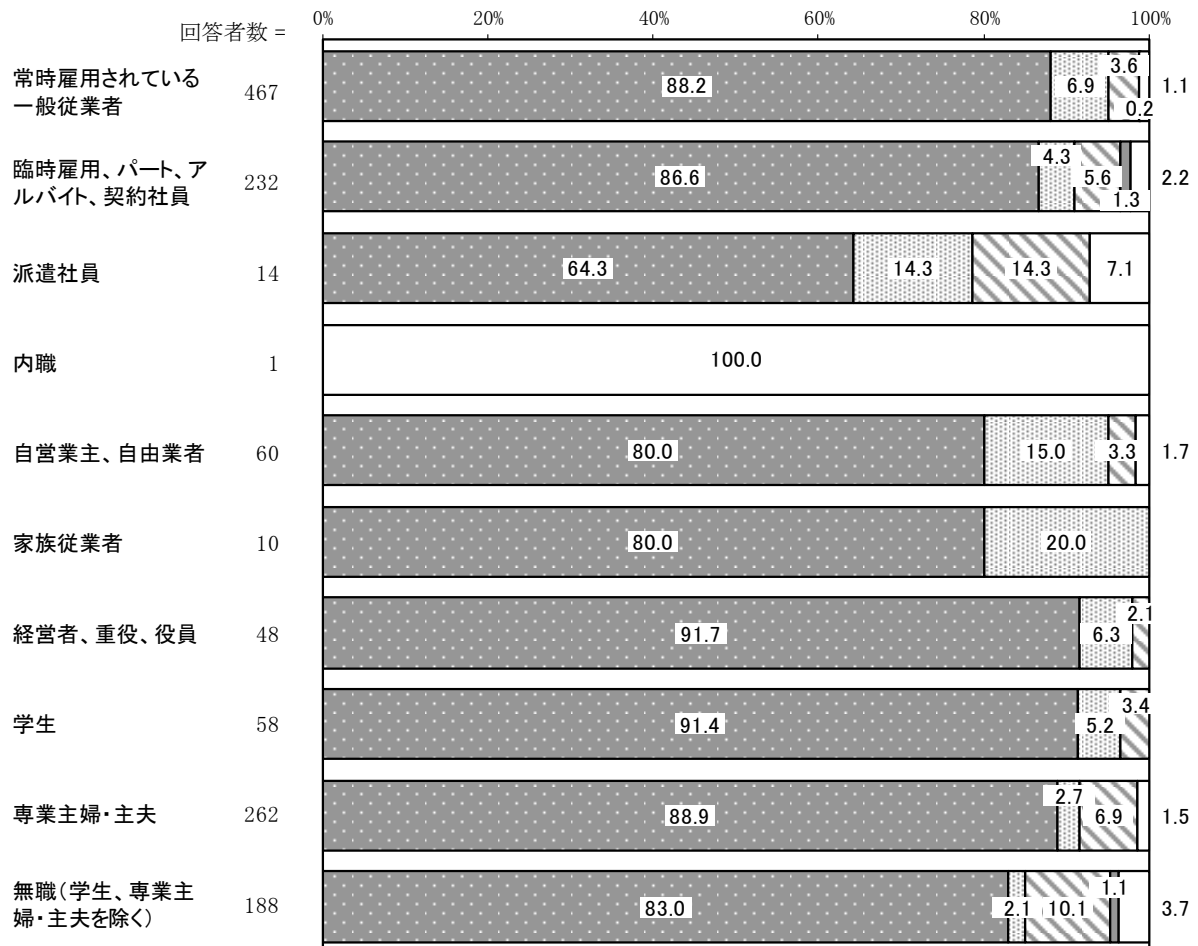
性別でみると、大きな差異はみられません。

図表 7-3 地球温暖化の認知度（性別）



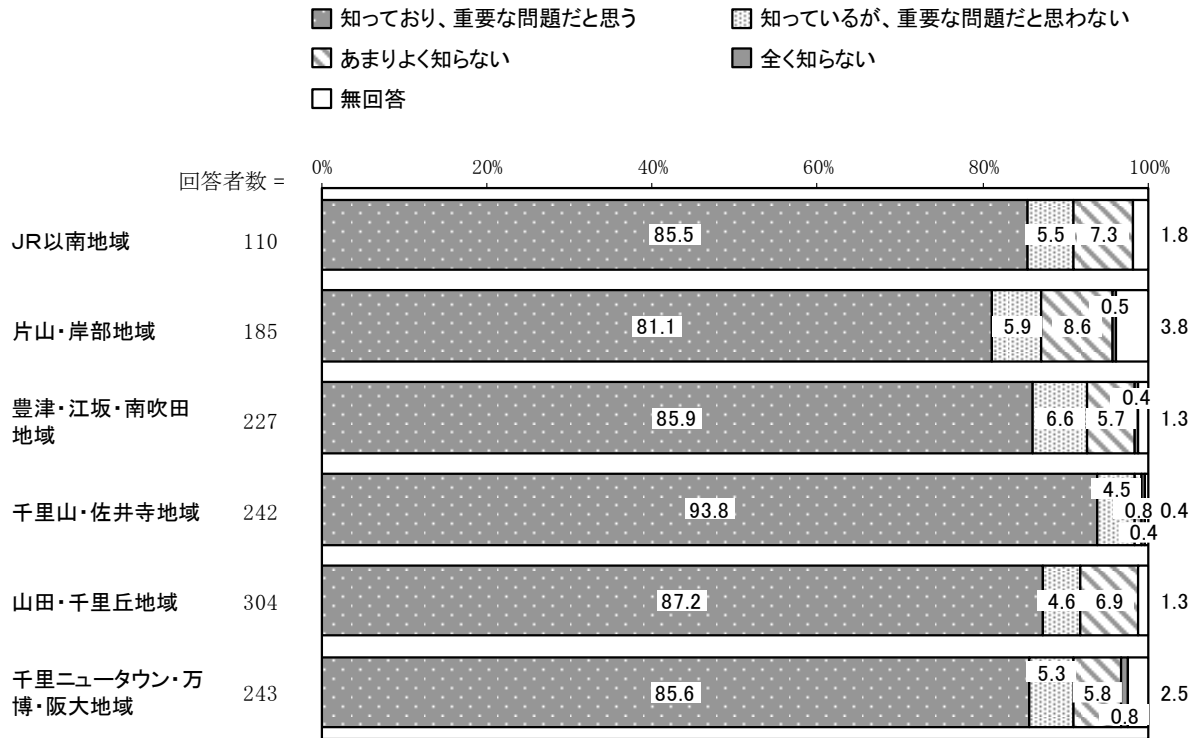
職業別でみると、他に比べ、家族従業者で「知っているが、重要な問題だと思わない」の割合が高くなっています。

図表 7-4 地球温暖化の認知度（職業別）



居住地域別で見ると、他に比べ、千里山・佐井寺地域で「知っており、重要な問題だと思う」の割合が高くなっています。

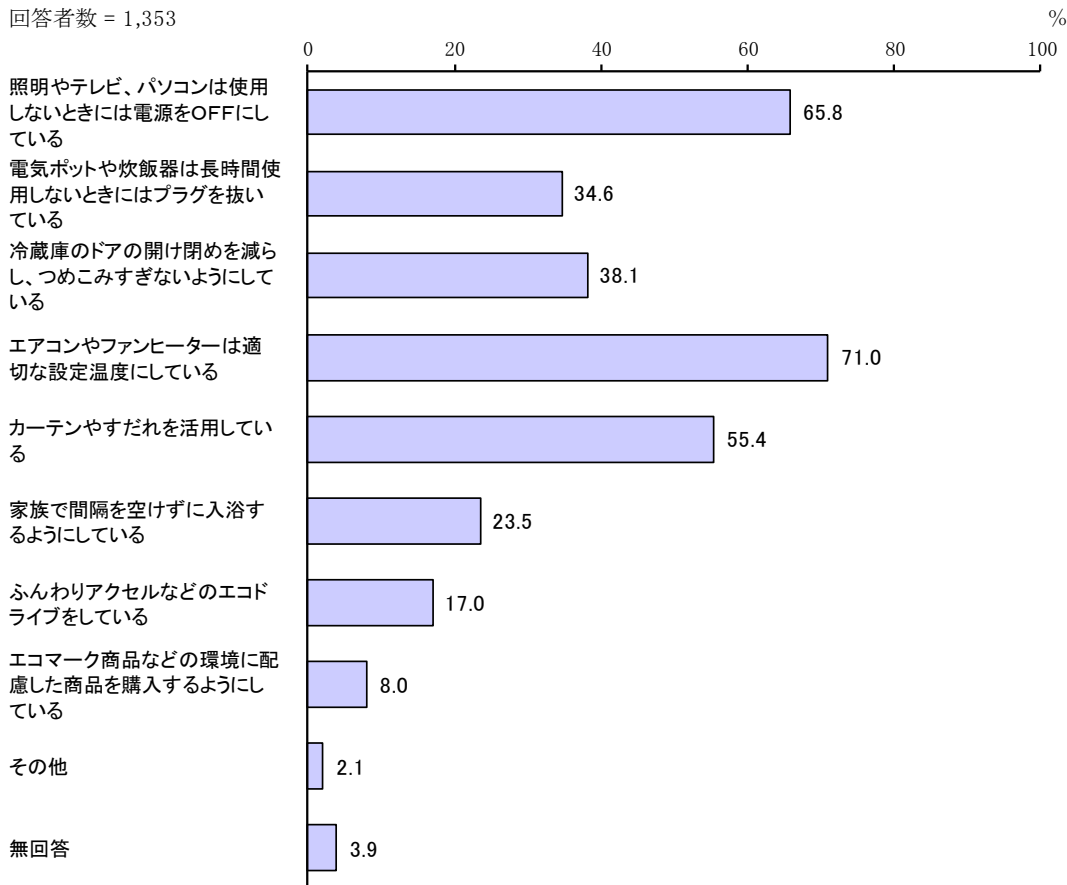
図表 7-5 地球温暖化の認知度（居住地域別）



問 40 あなたは、ご家庭でどのような省エネ行動を行っていますか。
(いくつでも○印)

「エアコンやファンヒーターは適切な設定温度にしている」の割合が71.0%と最も高く、次いで「照明やテレビ、パソコンは使用しないときには電源をOFFにしている」の割合が65.8%、「カーテンやすだれを活用している」の割合が55.4%となっています。

図表7-6 行っている省エネ行動（単純回答）



年齢別でみると、他に比べ、30歳代、40歳代、50歳代で「照明やテレビ、パソコンは使用しないときには電源をOFFにしている」の割合が、40歳代、60歳代、70歳以上で「エアコンやファンヒーターは適切な設定温度にしている」の割合が高くなっています。

図表7-7 行っている省エネ行動（年齢別）

単位：%

区分	有効回答数(件)	照明やテレビ、パソコンは使用しないときには電源をOFFにしている	電気ポットや炊飯器は長時間使用しないときにはプラグを抜いている	冷蔵庫のドアの開け閉めを減らし、つめこみすぎないようにしている	冷蔵庫のドアの開け閉めを減らし、つめこみすぎないようにしている	エアコンやファンヒーターは適切な設定温度にしている	カーテンやすだれを活用している
30歳未満	143	62.2	32.9	32.2	67.8	49.7	
30歳代	185	67.6	23.2	37.3	64.3	45.9	
40歳代	257	70.8	31.1	42.0	70.0	50.2	
50歳代	263	71.9	38.0	38.0	66.2	58.9	
60歳代	194	62.4	39.7	37.1	76.8	60.8	
70歳以上	305	58.7	38.7	38.7	78.0	61.6	

区分	家族で間隔を空けずに入浴するようになっている	ふんわりアクセラなどのエコドライブをしている	エコマーク商品などの環境に配慮した商品を購入するようになっている	その他	無回答
30歳未満	16.8	11.9	4.2	1.4	6.3
30歳代	27.6	23.8	4.9	1.6	4.9
40歳代	22.2	18.7	8.6	3.5	3.5
50歳代	25.5	21.7	8.7	2.7	3.4
60歳代	25.3	18.0	7.7	3.1	2.6
70歳以上	23.0	8.9	10.8	0.7	3.9

性別で見ると、男性に比べ、女性で「電気ポットや炊飯器は長時間使用しないときにはプラグを抜いている」「冷蔵庫のドアの開け閉めを減らし、つめこみすぎないようにしている」「エアコンやファンヒーターは適切な設定温度にしている」「カーテンやすだれを活用している」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「ふんわりアクセルなどのエコドライブをしている」の割合が高くなっています。

図表 7-8 行っている省エネ行動（性別）

単位：%

区分	有効回答数（件）	照明やテレビ、パソコンは使用しないときには電源をOFFにしている	電気ポットや炊飯器は長時間使用しないときにはプラグを抜いている	冷蔵庫のドアの開け閉めを減らし、つめこみすぎないようにしている	エアコンやファンヒーターは適切な設定温度にしている	カーテンやすだれを活用している	家族で間隔を空けずに入浴するようにしている	ふんわりアクセルなどのエコドライブをしている	エコマーク商品などの環境に配慮した商品を購入するようにしている	その他	無回答
女性	753	64.9	39.0	44.2	75.3	59.2	25.5	11.3	9.7	1.7	3.2
男性	595	66.6	28.9	30.3	65.4	50.6	21.2	23.9	5.9	2.7	4.9
その他	2	100.0	50.0	50.0	100.0	100.0	—	50.0	—	—	—

職業別でみると、他に比べ、常時雇用されている一般従業者、臨時雇用・パート・アルバイト、契約社員、学生、専業主婦・主夫で「照明やテレビ、パソコンは使用しないときには電源をOFFにしている」の割合が高くなっています。

図表7-9 行っている省エネ行動（職業別）

単位：％

区分	有効回答数（件）	照明やテレビ、パソコンは使用しないときには電源をOFFにしている	電気ポットや炊飯器は長時間使用しないときにはプラグを抜いている	冷蔵庫のドアの開け閉めを減らし、つめこみすぎないようにしている	冷蔵庫のドアの開け閉めを減らし、つめこみすぎないようにしている	エアコンやファンの設定温度にしている	カーテンやすだれを活用している
常時雇用されている一般従業者	467	70.2	31.5	35.3	66.2	49.5	
臨時雇用、パート、アルバイト、契約社員	232	65.9	32.8	40.9	74.1	58.6	
派遣社員	14	57.1	35.7	35.7	57.1	50.0	
内職	1	—	—	—	—	—	
自営業主、自由業者	60	58.3	35.0	30.0	71.7	53.3	
家族従業者	10	60.0	40.0	40.0	70.0	60.0	
経営者、重役、役員	48	62.5	29.2	35.4	77.1	47.9	
学生	58	70.7	39.7	32.8	62.1	50.0	
専業主婦・主夫	262	64.5	39.7	50.0	80.2	63.4	
無職（学生、専業主婦・主夫を除く）	188	58.5	35.6	30.9	69.7	59.0	

区分	家族で間隔を空けずに入浴するようになっている	ふんわりアクセルなどのエコドライブをしている	エコマーク商品などの環境に配慮した商品を購入するようにしている	その他	無回答
常時雇用されている一般従業者	21.6	25.9	6.4	1.9	3.4
臨時雇用、パート、アルバイト、契約社員	26.3	13.8	6.9	3.4	3.9
派遣社員	35.7	14.3	—	—	—
内職	—	—	—	—	100.0
自営業主、自由業者	18.3	26.7	10.0	1.7	8.3
家族従業者	40.0	—	10.0	—	10.0
経営者、重役、役員	25.0	22.9	16.7	8.3	2.1
学生	15.5	3.4	3.4	—	8.6
専業主婦・主夫	29.4	10.3	10.3	1.5	2.3
無職（学生、専業主婦・主夫を除く）	17.6	9.6	9.6	1.6	4.8

家族構成別で見ると、他に比べ、親子、三世代以上で「照明やテレビ、パソコンは使用しないときには電源をOFFにしている」の割合が、夫婦で「エアコンやファンヒーターは適切な設定温度にしている」の割合が高くなっています。

図表 7-10 行っている省エネ行動（家族構成別）

単位：%

区分	有効回答数（件）	照明やテレビ、パソコンは使用しないときには電源をOFFにしている	電気ポットや炊飯器は長時間使用しないときにはプラグを抜いている	冷蔵庫のドアの開け閉めを減らし、つめこみすぎないようにしている	冷蔵庫のドアの開け閉めを減らし、つめこみすぎないようにしている	エアコンやファンヒーターは適切な設定温度にしている	カーテンやすだれを活用している	家族で間隔を空けずに入浴するようにしている	ふんわりアクセルなどのエコドライブをしている	エコマーク商品などの環境に配慮した商品を購入するようにしている	その他	無回答
単身	177	61.0	45.2	41.2	67.2	53.1	5.6	11.9	9.6	1.7	5.1	
夫婦	346	63.9	34.1	38.4	76.6	55.2	28.9	19.9	12.1	1.4	2.0	
親子	566	68.0	32.0	41.0	71.4	56.7	26.0	18.6	5.7	3.0	3.4	
三世代以上	20	75.0	25.0	30.0	70.0	70.0	15.0	25.0	10.0	—	5.0	
その他	217	67.7	34.6	27.6	64.1	52.5	24.4	11.1	4.1	1.8	6.9	

居住形態別で見ると、他に比べ、持ち家（一戸建て、タウンハウス）で「エアコンやファンヒーターは適切な設定温度にしている」の割合が、府営・市営（賃貸）で「カーテンやすだれを活用している」の割合が高くなっています。

図表 7-11 行っている省エネ行動（居住形態別）

単位：%

区分	有効回答数（件）	照明やテレビ、パソコンは使用しないときは電源をOFFにしている	電気ポットや炊飯器は長時間使用しないときにはプラグを抜いている	冷蔵庫のドアの開け閉めを減らし、つめこみすぎないようにしている	エアコンやファンヒーターは適切な設定温度にしている	カーテンやすだれを活用している
持ち家（一戸建て、タウンハウス）	416	64.9	36.1	40.6	75.5	58.4
持ち家（マンション）	497	66.6	31.2	35.2	70.2	52.3
民間賃貸（一戸建て）	16	56.3	43.8	37.5	56.3	43.8
民間賃貸（マンション、アパート、文化住宅）	249	65.1	30.9	39.0	67.5	53.4
公団・公社（賃貸）	62	62.9	43.5	37.1	61.3	61.3
府営・市営（賃貸）	48	68.8	58.3	39.6	75.0	77.1
社宅・寮	30	70.0	33.3	43.3	73.3	50.0
その他	9	88.9	66.7	44.4	77.8	33.3

区分	家族で間隔を空けずに入浴するようしている	ふんわりアクセルなどのエコドライブをしている	エコマーク商品などの環境に配慮した商品を購入するようになっている	その他	無回答
持ち家（一戸建て、タウンハウス）	24.8	19.2	8.9	2.2	2.9
持ち家（マンション）	24.5	17.1	7.6	2.6	4.0
民間賃貸（一戸建て）	18.8	6.3	6.3	—	6.3
民間賃貸（マンション、アパート、文化住宅）	19.7	15.3	7.6	1.6	3.6
公団・公社（賃貸）	21.0	8.1	6.5	1.6	8.1
府営・市営（賃貸）	29.2	10.4	6.3	2.1	4.2
社宅・寮	23.3	26.7	6.7	3.3	10.0
その他	11.1	11.1	22.2	—	—

居住地域別で見ると、他に比べ、JR以南地域、千里山・佐井寺地域、山田・千里丘地域、千里ニュータウン・万博・阪大地域で「エアコンやファンヒーターは適切な設定温度にしている」の割合が高くなっています。

図表7-12 行っている省エネ行動（居住地域別）

単位：%

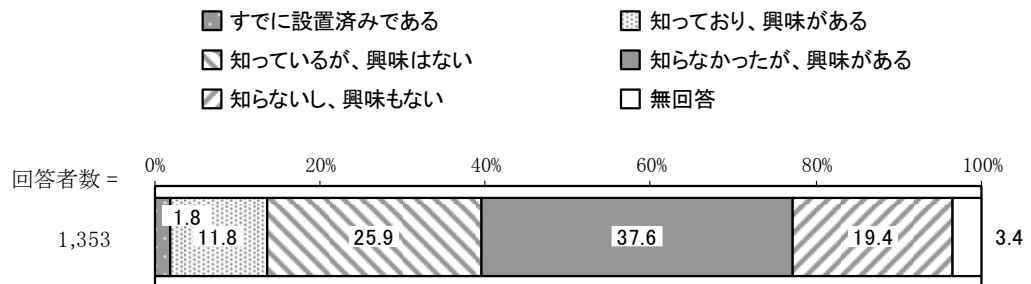
区分	有効回答数（件）	照明やテレビ、パソコンは使用しないときは電源をOFFにしている	電気ポットや炊飯器は長時間使用しないときにはプラグを抜いている	冷蔵庫のドアの開け閉めを減らし、つめこみすぎないようにしている	エアコンやファンヒーターは適切な設定温度にしている	カーテンやすだれを活用している
JR以南地域	110	65.5	30.9	48.2	75.5	58.2
片山・岸部地域	185	65.9	38.4	35.1	64.3	53.5
豊津・江坂・南吹田地域	227	66.5	33.5	41.4	67.0	52.4
千里山・佐井寺地域	242	65.7	33.1	42.6	71.9	58.3
山田・千里丘地域	304	67.8	32.2	37.2	72.4	56.6
千里ニュータウン・万博・阪大地域	243	65.8	39.1	31.3	77.0	55.6

区分	家族で間隔を空けずに入浴している	ふんわりアクセラなどのエコドライブをしている	エコマーク商品などの環境に配慮した商品を購入している	その他	無回答
JR以南地域	34.5	11.8	7.3	0.9	2.7
片山・岸部地域	21.1	20.5	3.8	2.2	3.8
豊津・江坂・南吹田地域	21.1	17.2	9.7	2.2	4.8
千里山・佐井寺地域	25.6	20.2	9.5	2.1	1.7
山田・千里丘地域	19.7	16.1	8.2	2.6	4.6
千里ニュータウン・万博・阪大地域	25.5	13.6	7.4	2.1	4.1

問 41 数万円程度で自宅のベランダ等にご自身で設置ができ、災害（停電）時にも役立つ、太陽光パネルを使用した家庭用発電装置についてお聞かせください。
（1つだけ〇印）

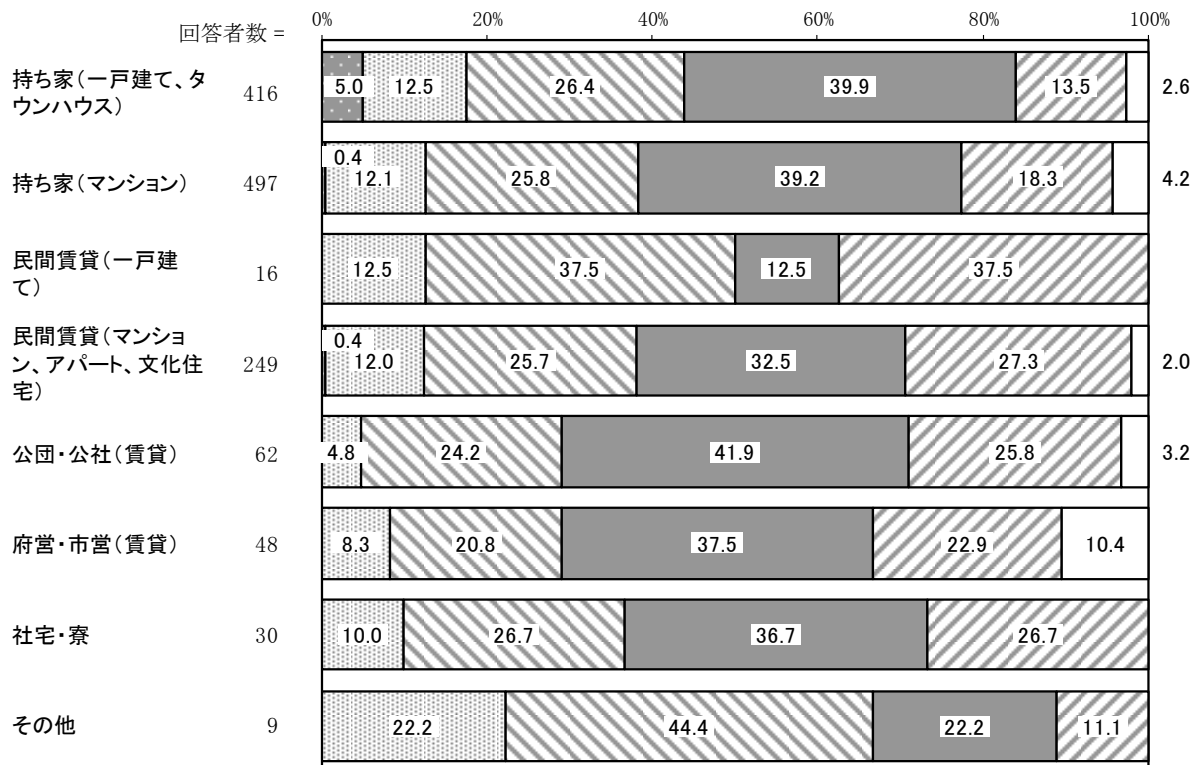
「知らなかったが、興味がある」の割合が37.6%と最も高く、次いで「知っているが、興味はない」の割合が25.9%、「知らないし、興味もない」の割合が19.4%となっています。

図表 7-13 太陽光パネルを使用した家庭用発電装置について（単純回答）



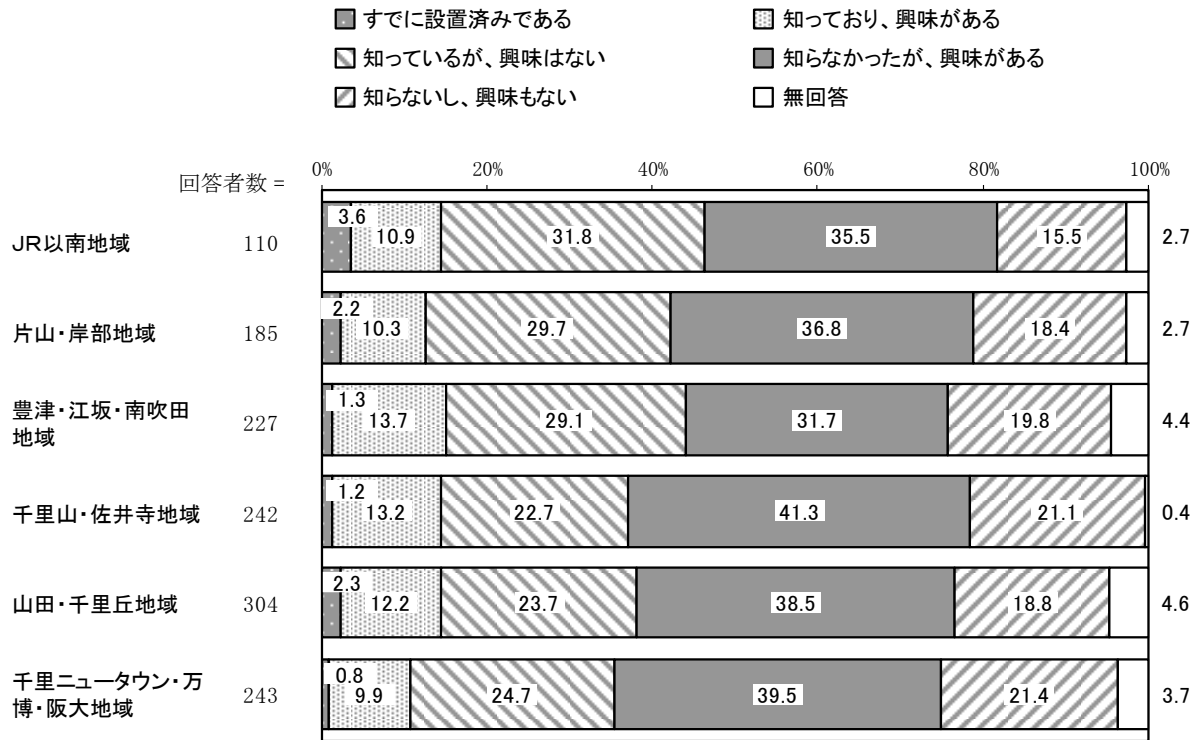
持ち家（一戸建て、タウンハウス）、持ち家（マンション）、その他以外の住居形態で「知らないし、興味もない」の割合が高くなっています。

図表 7-14 太陽光パネルを使用した家庭用発電装置について（居住形態別）



居住地域別で見ると、他に比べ、千里山・佐井寺地域で「知らなかったが、興味がある」の割合が高くなっています。

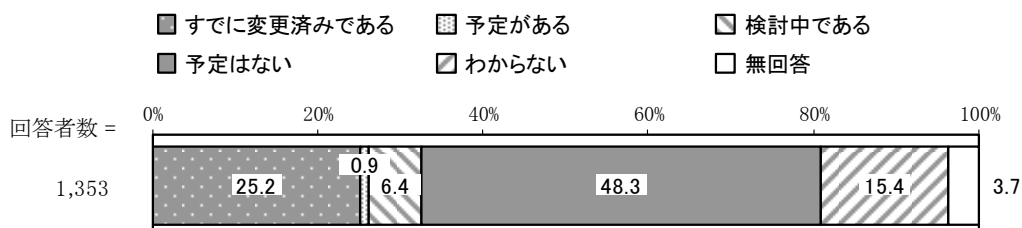
図表 7-15 太陽光パネルを使用した家庭用発電装置について（居住地域別）



問 42 電力の小売が全面自由化されました。電力の契約先を変更する予定はありますか。(1つだけ○印)

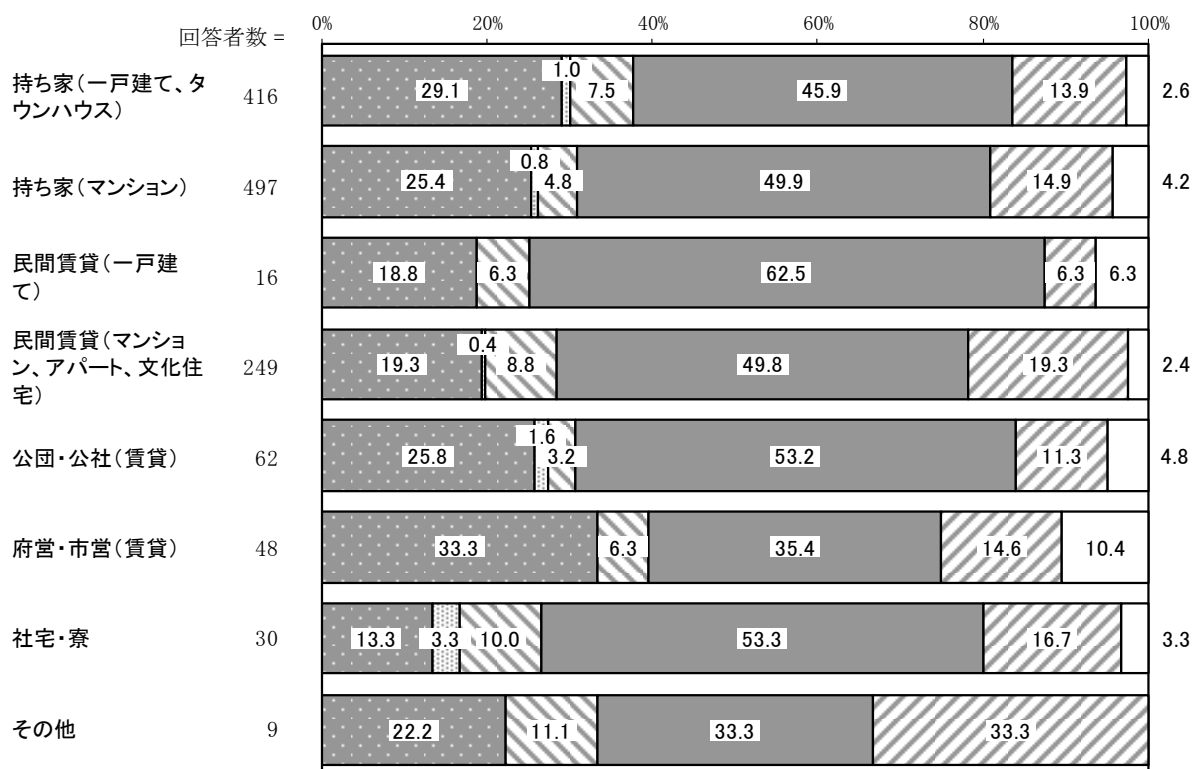
「予定はない」の割合が 48.3%と最も高く、次いで「すでに変更済みである」の割合が 25.2%、「わからない」の割合が 15.4%となっています。

図表 7-16 電力契約先の変更予定 (単純回答)



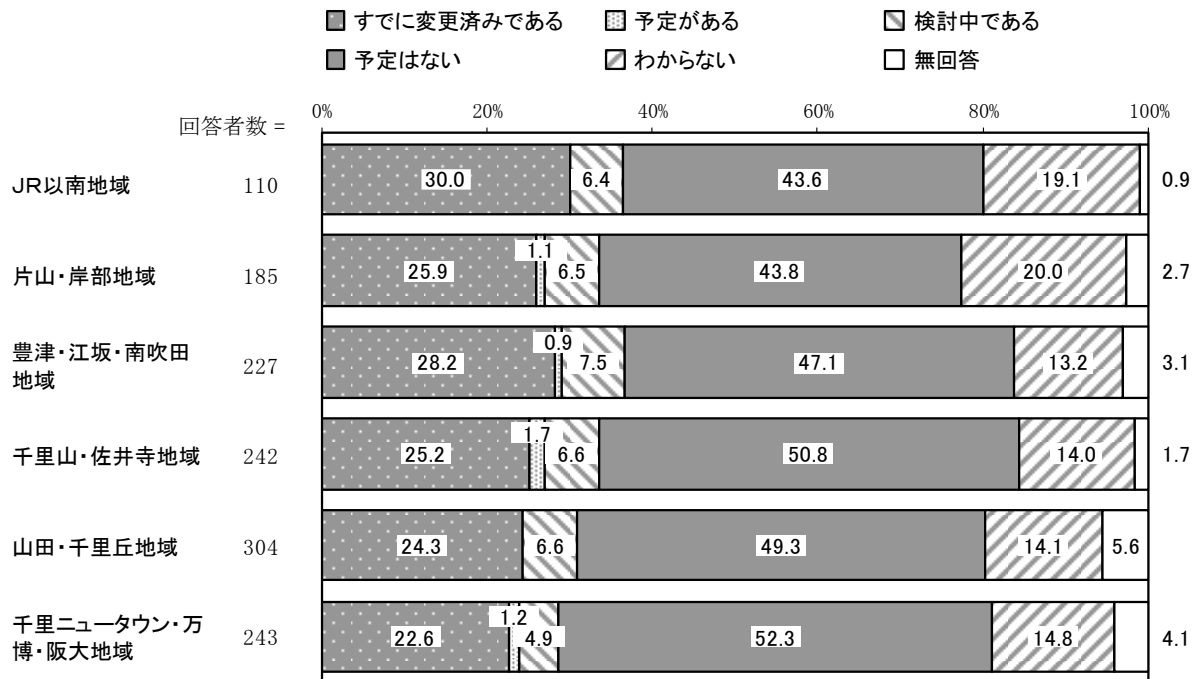
居住形態別で見ると、他に比べ、民間賃貸（一戸建て）で「予定はない」の割合が高くなっています。

図表 7-17 電力契約先の変更予定 (居住形態別)



居住地域別で見ると、他に比べ、千里山・佐井寺地域、山田・千里丘地域、千里ニュータウン・万博・阪大地域で「予定はない」の割合が高くなっています。

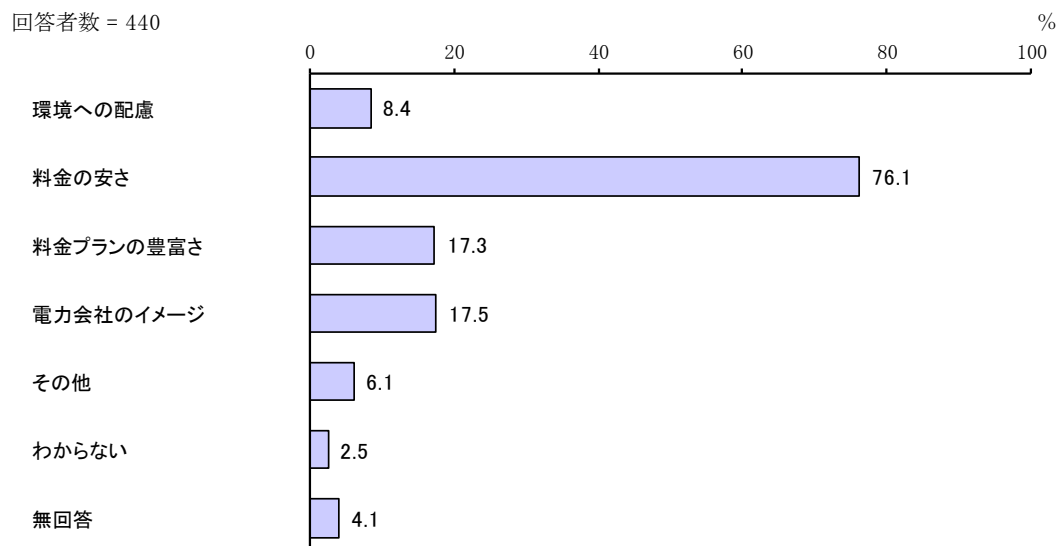
図表 7-18 電力契約先の変更予定（居住地域別）



問 42-1 電力の契約先を変更する場合、どのような基準で電力会社を選択しますか（選択しましたか）。（主なもの2つまで○印）

「料金の安さ」の割合が76.1%と最も高く、次いで「電力会社のイメージ」の割合が17.5%、「料金プランの豊富さ」の割合が17.3%となっています。

図表 7-19 電力会社を選択する基準（単純回答）



年齢別で見ると、他に比べ、30歳未満で「料金の安さ」の割合が、30歳代、70歳以上で「電力会社のイメージ」の割合が、60歳代で「環境への配慮」の割合が高くなっています。

図表 7-20 電力会社を選択する基準（年齢別）

単位：%

区分	有効回答数 (件)	環境への配慮	料金の安さ	料金プランの豊富さ	電力会社のイメージ	その他	わからない	無回答
30歳未満	23	4.3	87.0	21.7	13.0	4.3	4.3	—
30歳代	44	4.5	81.8	18.2	22.7	9.1	2.3	2.3
40歳代	89	3.4	73.0	19.1	15.7	5.6	2.2	3.4
50歳代	106	6.6	82.1	16.0	13.2	8.5	3.8	1.9
60歳代	73	17.8	75.3	11.0	16.4	5.5	—	8.2
70歳以上	103	9.7	68.0	19.4	23.3	3.9	2.9	5.8

性別でみると、女性に比べ、男性で「料金の安さ」の割合が高くなっています。

図表 7-21 電力会社を選択する基準（性別）

単位：％

区分	有効回答数 (件)	環境への配慮	料金の安さ	料金プランの豊富さ	電力会社のイメージ	その他	わからない	無回答
女性	244	7.8	72.5	18.9	18.4	6.1	3.7	5.3
男性	193	8.8	80.3	15.0	16.6	6.2	1.0	2.6
その他	—	—	—	—	—	—	—	—

居住形態別でみると、他に比べ、民間賃貸（マンション、アパート、文化住宅）で「料金の安さ」の割合が高くなっています。

図表 7-22 電力会社を選択する基準（居住形態別）

単位：％

区分	有効回答数 (件)	環境への配慮	料金の安さ	料金プランの豊富さ	電力会社のイメージ	その他	わからない	無回答
持ち家(一戸建て、タウンハウス)	156	7.7	75.6	25.0	15.4	4.5	1.9	3.2
持ち家(マンション)	154	11.0	70.8	9.7	20.1	9.1	3.9	5.8
民間賃貸(一戸建て)	4	—	100.0	25.0	25.0	—	—	—
民間賃貸(マンション、アパート、文化住宅)	71	5.6	91.5	15.5	15.5	2.8	—	1.4
公団・公社(賃貸)	19	—	68.4	10.5	15.8	10.5	—	5.3
府営・市営(賃貸)	19	5.3	68.4	10.5	26.3	5.3	5.3	10.5
社宅・寮	8	—	100.0	37.5	12.5	12.5	—	—
その他	3	66.7	66.7	33.3	33.3	—	—	—

居住地域別で見ると、他に比べ、片山・岸部地域で「料金の安さ」の割合が高くなっています。

図表 7-23 電力会社を選択する基準（居住地域別）

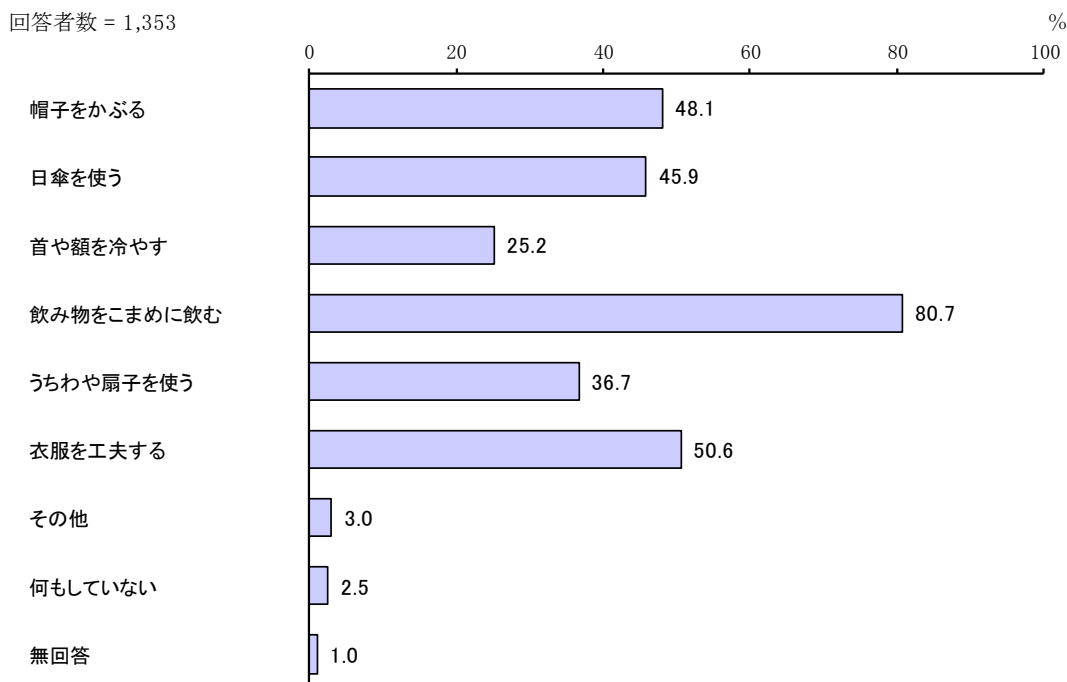
単位：％

区分	有効回答数 (件)	環境への配慮	料金の安さ	料金プランの豊富さ	電力会社のイメージ	その他	わからない	無回答
JR以南地域	40	5.0	70.0	25.0	15.0	2.5	7.5	2.5
片山・岸部地域	62	6.5	85.5	37.1	8.1	4.8	—	1.6
豊津・江坂・南吹田地域	83	6.0	79.5	13.3	19.3	7.2	4.8	3.6
千里山・佐井寺地域	81	9.9	75.3	13.6	17.3	6.2	—	6.2
山田・千里丘地域	94	16.0	72.3	14.9	18.1	6.4	2.1	3.2
千里ニュータウン・万博・ 阪大地域	70	2.9	72.9	8.6	25.7	8.6	1.4	7.1

問 43 夏の暑さをしのぐために、普段どのようなことをしていますか。
(いくつでも○印)

「飲み物をこまめに飲む」の割合が 80.7%と最も高く、次いで「衣服を工夫する」の割合が 50.6%、「帽子をかぶる」の割合が 48.1%となっています。

図表 7-24 夏の暑さをしのぐため方法 (単純回答)



年齢別で見ると、他に比べ、30歳未満、30歳代、60歳代、70歳以上で「飲み物をこまめに飲む」の割合が高くなっています。

図表 7-25 夏の暑さをしのぐため方法 (年齢別)

単位：%

区分	有効回答数 (件)	帽子をかぶる	日傘を使う	首や額を冷やす	飲み物をこまめに飲む	うちわや扇子を使う	衣服を工夫する	その他	何もしていない	無回答
30歳未満	143	28.0	38.5	18.9	80.4	28.7	47.6	5.6	2.1	—
30歳代	185	44.9	39.5	25.4	80.0	36.2	53.5	6.5	2.7	—
40歳代	257	47.5	50.2	23.3	77.0	34.6	48.6	0.8	3.9	0.8
50歳代	263	38.0	49.8	24.0	74.9	42.2	48.3	2.3	4.2	0.4
60歳代	194	47.9	44.8	26.8	88.1	36.6	56.2	3.1	1.0	1.5
70歳以上	305	68.9	47.5	29.8	84.9	37.7	50.5	2.3	1.0	2.3

性別でみると、「その他」「何もしていない」を除いた項目で、男性に比べ、女性の割合が高くなっています。

図表 7-26 夏の暑さをしのぐため方法（性別）

単位：％

区分	有効回答数 (件)	帽子をかぶる	日傘を使う	首や額を冷やす	飲み物をこまめに 飲む	うちわや扇子を使 う	衣服を工夫する	その他	何もしていない	無回答
女性	753	53.0	72.8	30.0	83.1	39.8	54.1	3.9	1.5	0.9
男性	595	42.2	12.3	19.3	77.6	32.4	45.9	2.0	3.9	1.0
その他	2	50.0	—	—	100.0	50.0	100.0	—	—	—

職業別でみると、他に比べ、家族従業者で「飲み物をこまめに飲む」の割合が、専業主婦・主夫で「日傘を使う」の割合が高くなっています。

図表 7-27 夏の暑さをしのぐため方法（職業別）

単位：％

区分	有効回答数 (件)	帽子をかぶる	日傘を使う	首や額を冷やす	飲み物をこまめに 飲む	うちわや扇子を使 う	衣服を工夫する	その他	何もしていない	無回答
常時雇用されている 一般従業者	467	34.9	36.8	19.5	77.7	37.7	49.0	2.4	3.2	0.4
臨時雇用、パート、ア ルバイト、契約社員	232	49.6	55.6	29.3	81.0	35.8	52.2	4.3	1.3	1.3
派遣社員	14	42.9	57.1	21.4	78.6	50.0	35.7	7.1	7.1	—
内職	1	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—
自営業主、自由業者	60	38.3	21.7	23.3	81.7	26.7	50.0	1.7	6.7	1.7
家族従業者	10	60.0	50.0	30.0	100.0	50.0	50.0	10.0	—	—
経営者、重役、役員	48	37.5	37.5	22.9	68.8	37.5	50.0	2.1	2.1	2.1
学生	58	37.9	43.1	19.0	77.6	32.8	44.8	6.9	3.4	—
専業主婦・主夫	262	65.3	72.9	33.6	88.9	40.1	57.6	2.3	0.4	1.1
無職(学生、専業主 婦・主夫を除く)	188	63.8	28.2	26.6	80.3	33.5	46.3	3.2	3.2	1.6

居住地域別で見ると、他に比べ、JR以南地域、片山・岸部地域、山田・千里丘地域で「帽子をかぶる」の割合が高くなっています。

図表7-28 夏の暑さをしのぐため方法（居住地域別）

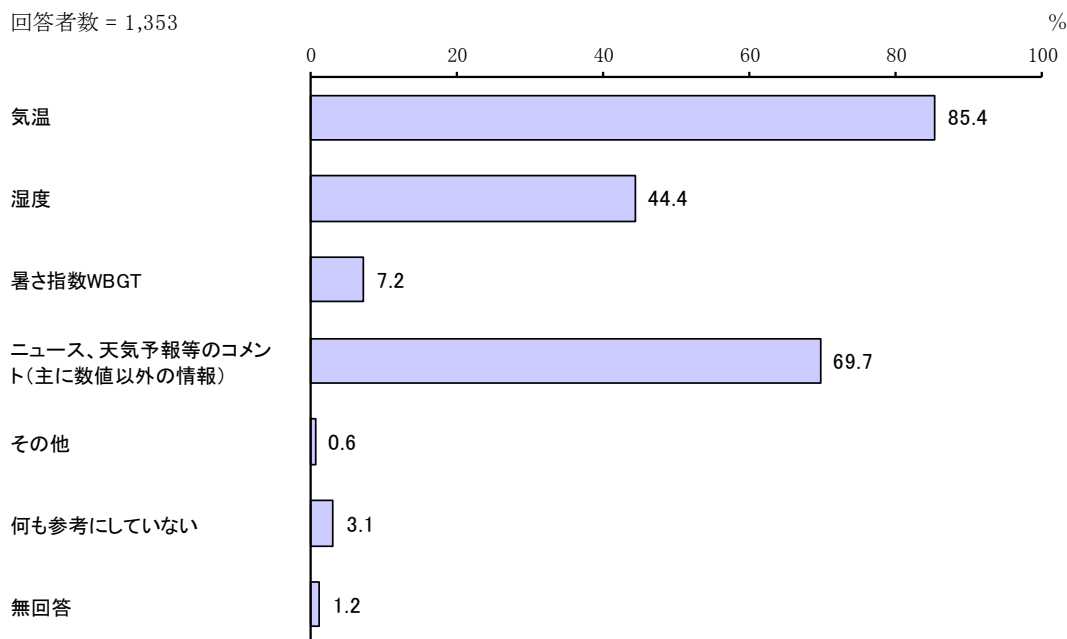
単位：％

区分	有効回答数 (件)	帽子をかぶる	日傘を使う	首や額を冷やす	飲む 飲み物をこまめに	うちわや扇子を使 う	衣服を工夫する	その他	何もしていない	無回答
JR以南地域	110	49.1	41.8	29.1	82.7	37.3	51.8	2.7	4.5	—
片山・岸部地域	185	50.8	43.8	21.1	78.4	34.6	43.8	2.2	3.2	1.6
豊津・江坂・南吹田 地域	227	42.3	46.3	26.0	80.6	36.1	50.2	3.1	3.1	0.9
千里山・佐井寺地 域	242	46.7	46.7	28.9	81.0	33.5	50.4	3.3	1.7	0.4
山田・千里丘地域	304	50.0	45.1	24.0	81.6	38.8	53.3	3.0	2.3	0.7
千里ニュータウン・ 万博・阪大地域	243	47.3	47.3	21.4	81.5	38.3	52.3	3.7	1.2	1.6

問 44 熱中症の危険度を把握するために、どのような情報を参考にしていますか。
(いくつでも○印)

「気温」の割合が 85.4%と最も高く、次いで「ニュース、天気予報等のコメント（主に数値以外の情報）」の割合が 69.7%、「湿度」の割合が 44.4%となっています。

図表 7-29 熱中症の危険度を把握するための情報ツール（単純回答）



年齢別で見ると、他に比べ、60歳代、70歳以上で「気温」の割合が、70歳以上で「ニュース、天気予報等のコメント（主に数値以外の情報）」の割合が高くなっています。

図表 7-30 熱中症の危険度を把握するための情報ツール（年齢別）

単位：%

区分	有効回答数(件)	気温	湿度	暑さ指数WBGT	ニュース、天気予報等のコメント(主に数値以外の情報)	その他	何も参考にしていない	無回答
30歳未満	143	81.1	34.3	6.3	55.2	0.7	7.0	1.4
30歳代	185	83.8	41.1	9.2	67.6	0.5	4.3	—
40歳代	257	84.0	42.0	8.2	70.4	0.4	4.7	0.4
50歳代	263	84.8	44.1	5.7	69.6	1.1	2.7	0.8
60歳代	194	90.2	50.0	7.7	73.7	1.0	1.0	1.0
70歳以上	305	86.9	49.8	6.2	75.1	—	1.0	3.0

性別でみると、男性に比べ、女性で「湿度」「ニュース、天気予報等のコメント（主に数値以外の情報）」の割合が高くなっています。

図表 7-31 熱中症の危険度を把握するための情報ツール（性別）

単位：％

区分	有効回答数 (件)	気温	湿度	暑さ指数 WBGT	ニュース、天気予報 等のコメント(主に 数値以外の情報)	その他	何も参考にして いない	無回答
女性	753	86.6	47.1	6.1	75.7	0.4	2.4	1.1
男性	595	83.9	41.0	8.4	62.4	0.8	4.0	1.3
その他	2	100.0	50.0	—	50.0	—	—	—

職業別でみると、他に比べ、家族従業者で「気温」の割合が、派遣社員で「ニュース、天気予報等のコメント（主に数値以外の情報）」の割合が高くなっています。

図表 7-32 熱中症の危険度を把握するための情報ツール（職業別）

単位：％

区分	有効回答数 (件)	気温	湿度	暑さ指数 WBGT	ニュース、天気予報 等のコメント(主に 数値以外の情報)	その他	何も参考にして いない	無回答
常時雇用されている一般従業者	467	85.7	41.5	9.4	64.5	0.6	2.6	0.4
臨時雇用、パート、アルバイト、契約社員	232	83.6	42.2	7.8	74.1	1.3	3.0	1.7
派遣社員	14	78.6	50.0	—	85.7	—	7.1	—
内職	1	—	—	—	—	—	—	100.0
自営業主、自由業者	60	85.0	35.0	—	50.0	1.7	6.7	—
家族従業者	10	100.0	50.0	—	80.0	—	—	—
経営者、重役、役員	48	83.3	39.6	8.3	68.8	—	6.3	—
学生	58	74.1	31.0	8.6	53.4	—	10.3	1.7
専業主婦・主夫	262	92.4	55.7	3.8	79.8	—	1.5	0.8
無職(学生、専業主婦・主夫を除く)	188	81.9	46.3	8.0	73.9	—	2.7	3.2

居住地域別で見ると、他に比べ、JR以南地域、千里ニュータウン・万博・阪大地域で「気温」の割合が、千里山・佐井寺地域、山田・千里丘地域で「ニュース、天気予報等のコメント（主に数値以外の情報）」の割合が高くなっています。

図表 7-33 熱中症の危険度を把握するための情報ツール（居住地域別）

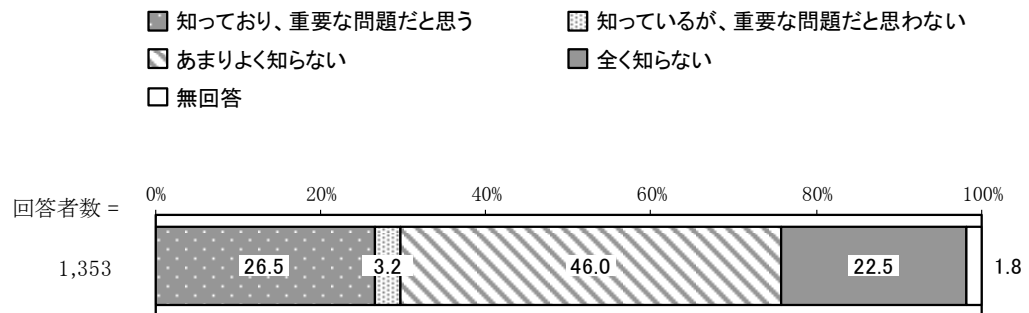
単位：%

区分	有効回答数 (件)	気温	湿度	暑さ指数 WBGT	ニュース、天気予報 等のコメント（主に 数値以外の情報）	その他	何も参考にして いない	無回答
JR以南地域	110	92.7	48.2	6.4	67.3	0.9	2.7	—
片山・岸部地域	185	82.7	41.6	4.9	69.2	1.1	2.2	2.7
豊津・江坂・南吹田地 域	227	83.3	45.8	9.3	64.8	0.4	6.2	1.3
千里山・佐井寺地域	242	85.1	46.7	6.2	72.7	1.2	2.5	—
山田・千里丘地域	304	84.9	45.1	7.2	73.0	0.3	3.0	1.6
千里ニュータウン・万 博・阪大地域	243	88.1	39.5	8.2	70.8	—	2.1	0.8

問 45 あなたは、生物多様性についてご存知ですか。また、重要な問題だと思いますか。（1つだけ○印）

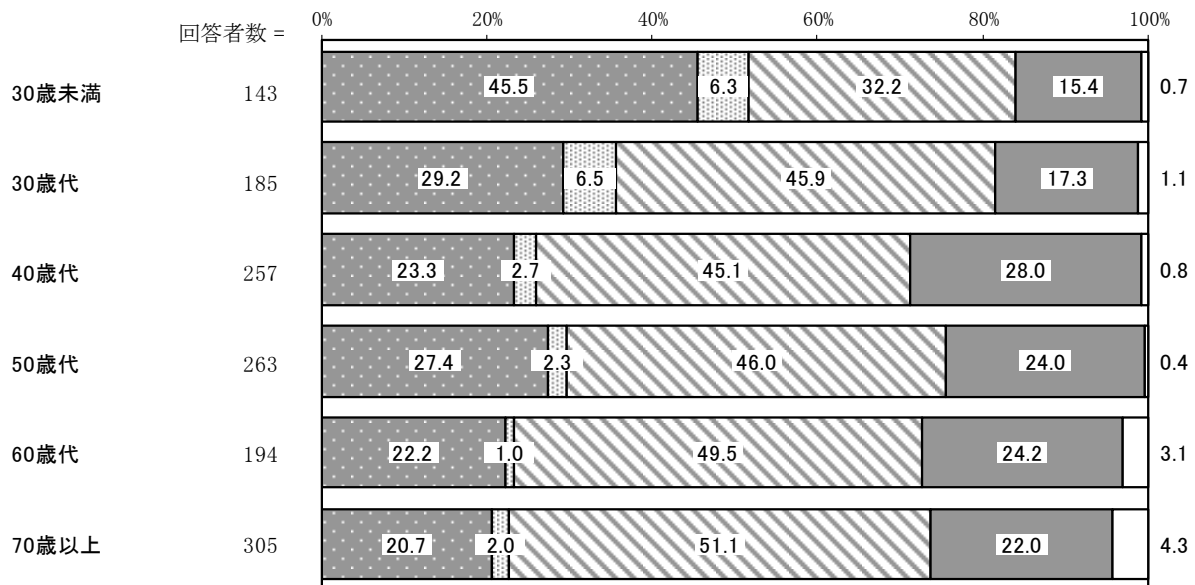
「あまりよく知らない」の割合が46.0%と最も高く、次いで「知っており、重要な問題だと思う」の割合が26.5%、「全く知らない」の割合が22.5%となっています。

図表 7-34 生物多様性の認知度（単純回答）



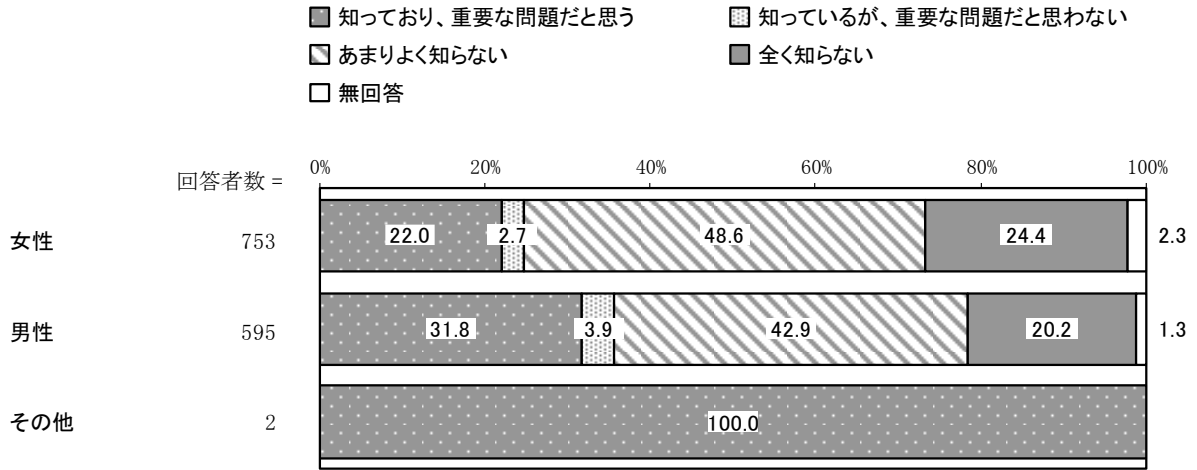
年齢別で見ると、他に比べ、30歳未満で「知っており、重要な問題だと思う」の割合が高くなっています。また、年齢が高くなるにつれ「あまりよく知らない」の割合が高くなる傾向がみられます。

図表 7-35 生物多様性の認知度（年齢別）



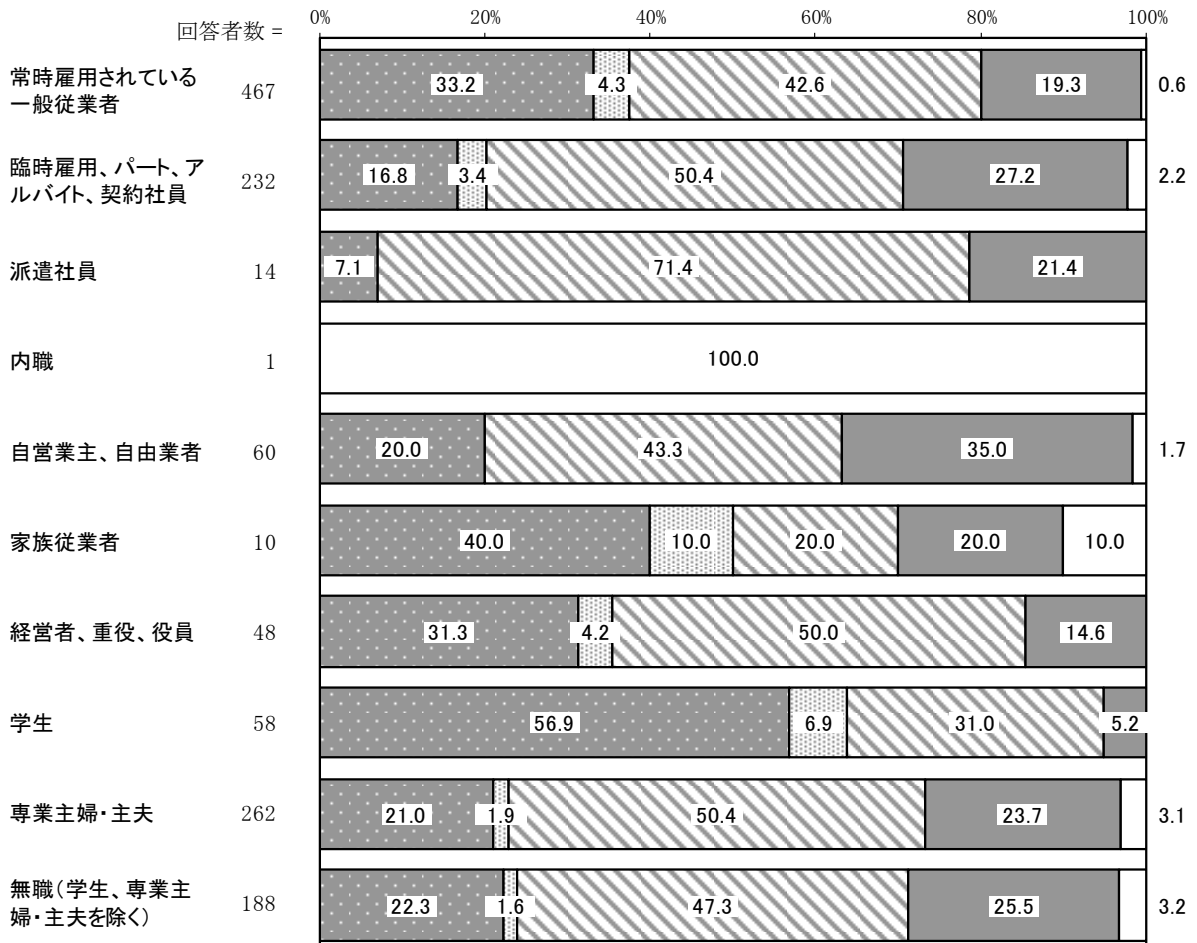
性別でみると、男性に比べ、女性で「あまりよく知らない」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「知っており、重要な問題だと思う」の割合が高くなっています。

図表 7-36 生物多様性の認知度（性別）



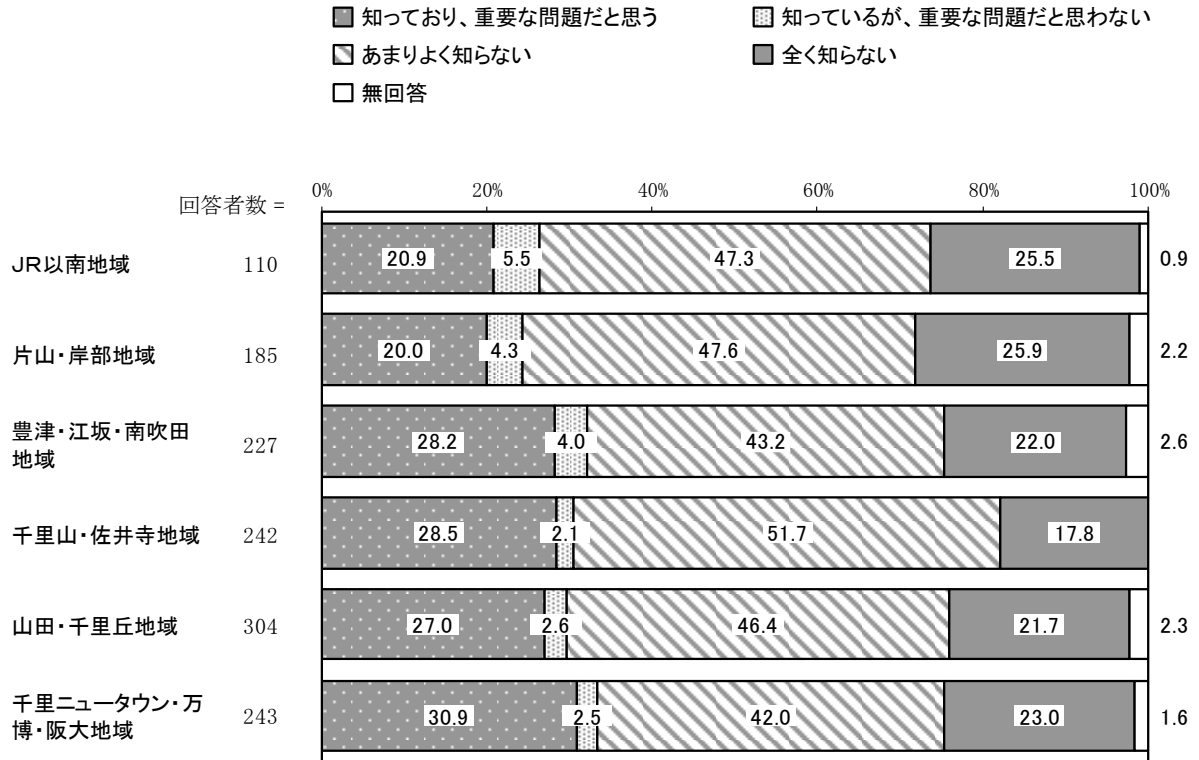
職業別でみると、他に比べ、学生で「知っており、重要な問題だと思う」の割合が高くなっています。また、派遣社員で「あまりよく知らない」の割合が高くなっています。

図表 7-37 生物多様性の認知度（職業別）



居住地域別で見ると、他に比べ、千里山・佐井寺地域で「あまりよく知らない」の割合が高くなっています。

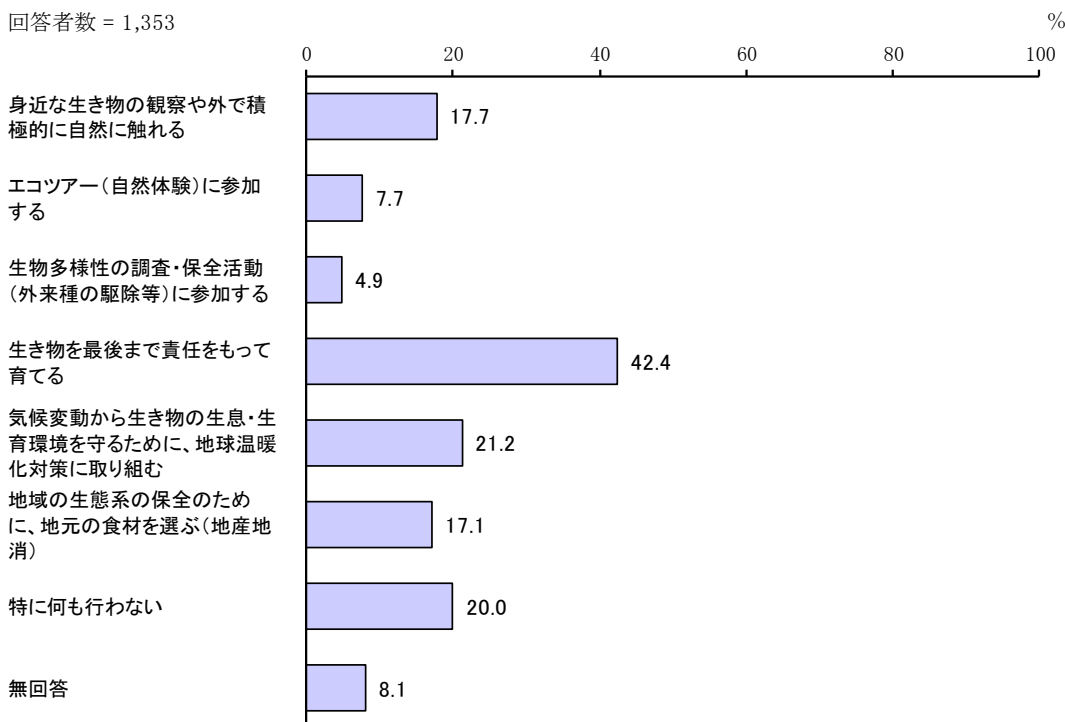
図表 7-38 生物多様性の認知度（居住地域別）



問 46 生物多様性に配慮した行動として、どのようなことであれば行いたいと思いますか。（主なもの2つまで○印）

「生き物を最後まで責任をもって育てる」の割合が42.4%と最も高く、次いで「気候変動から生き物の生息・生育環境を守るために、地球温暖化対策に取り組む」の割合が21.2%、「特に何も行わない」の割合が20.0%となっています。

図表 7-39 生物多様性に配慮した行動を起こすきっかけ（単純回答）



年齢別で見ると、他に比べ、30歳未満、40歳代、60歳代で「生き物を最後まで責任をもって育てる」の割合が高くなっています。

図表 7-40 生物多様性に配慮した行動を起こすきっかけ（年齢別）

単位：%

区分	有効回答数（件）	身近な生き物の観察や外で積極的に自然に触れる	エコツアー（自然体験）に参加する	生物多様性の調査・保全活動（外来種の駆除等）に参加する	生き物を最後まで責任をもって育てる	気候変動から生き物の生息・生育環境を守るために、地球温暖化対策に取り組む	地域の生態系の保全のために、地元の食材を選ぶ（地産地消）	特に何も行わない	無回答
30歳未満	143	16.8	4.9	4.2	47.6	28.0	14.0	21.7	3.5
30歳代	185	33.0	9.7	8.1	36.2	17.3	14.6	22.2	4.9
40歳代	257	18.3	10.9	6.6	47.1	22.2	17.9	16.3	6.2
50歳代	263	11.0	10.3	6.1	39.5	25.9	15.2	22.4	5.7
60歳代	194	13.4	3.6	3.6	49.0	25.3	16.5	15.5	9.3
70歳以上	305	16.7	5.2	1.6	38.4	13.1	21.3	22.0	14.8

性別でみると、女性に比べ、男性で「身近な生き物の観察や外で積極的に自然に触れる」の割合が高くなっています。

図表 7-41 生物多様性に配慮した行動を起こすきっかけ（性別）

単位：％

区分	有効回答数（件）	身近な生き物の観察や外で積極的に自然に触れる	エコツアー（自然体験）に参加する	生物多様性の調査・保全活動（外来種の駆除等）に参加する	生き物を最後まで責任をもって育てる	気候変動から生き物の生息・生育環境を守るために、地球温暖化対策に取り組む	地域の生態系の保全のために、地元の食材を選ぶ（地産地消）	特に何も行わない	無回答
女性	753	15.4	6.8	4.0	44.4	21.0	19.0	18.1	9.4
男性	595	20.7	8.7	6.1	39.7	21.5	14.3	22.7	6.4
その他	2	—	—	—	100.0	—	100.0	—	—

職業別でみると、他に比べ、家族従業者で「生き物を最後まで責任をもって育てる」の割合が高くなっています。

図表 7-42 生物多様性に配慮した行動を起こすきっかけ（職業別）

単位：％

区分	有効回答数（件）	身近な生き物の観察や外で積極的に自然に触れる	エコツアー（自然体験）に参加する	生物多様性の調査・保全活動（外来種の駆除等）に参加する	生き物を最後まで責任をもって育てる	気候変動から生き物の生息・生育環境を守るために、地球温暖化対策に取り組む	地域の生態系の保全のために、地元の食材を選ぶ（地産地消）	特に何も行わない	無回答
常時雇用されている一般従業者	467	21.0	11.8	6.9	38.5	23.8	15.8	21.4	4.1
臨時雇用、パート、アルバイト、契約社員	232	14.7	7.8	4.7	48.7	20.7	19.8	17.2	7.3
派遣社員	14	7.1	7.1	7.1	57.1	21.4	14.3	21.4	—
内職	1	—	—	—	—	—	—	—	100.0
自営業主、自由業者	60	11.7	3.3	1.7	55.0	21.7	13.3	18.3	11.7
家族従業者	10	10.0	—	—	70.0	30.0	—	10.0	10.0
経営者、重役、役員	48	16.7	4.2	2.1	41.7	27.1	20.8	16.7	10.4
学生	58	17.2	5.2	5.2	53.4	25.9	13.8	20.7	3.4
専業主婦・主夫	262	19.1	5.0	4.2	42.4	19.8	21.4	15.3	10.3
無職（学生、専業主婦・主夫を除く）	188	15.4	4.8	3.2	35.1	13.8	13.8	29.8	12.8

居住地域別で見ると、他に比べ、千里山・佐井寺地域で「生き物を最後まで責任をもって育てる」の割合が高くなっています。

図表 7-43 生物多様性に配慮した行動を起こすきっかけ（居住地域別）

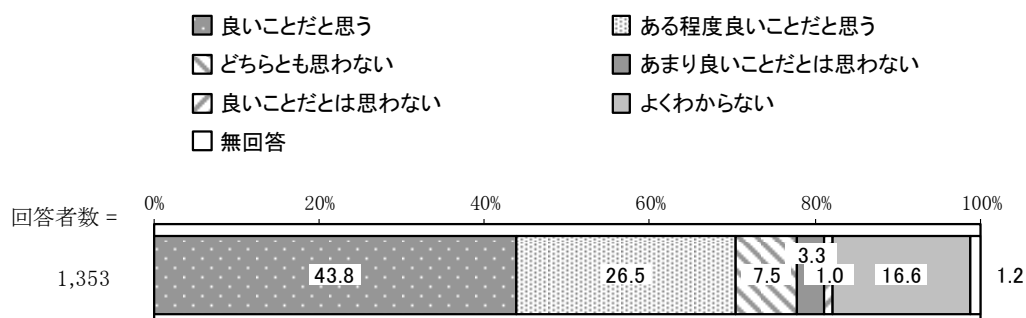
単位：%

区分	有効回答数（件）	身近な生き物の観察や外で積極的に自然に触れる	エコツアー（自然体験）に参加する	生物多様性の調査・保全活動（外来種の駆除等）に参加する	生き物を最後まで責任をもって育てる	気候変動から生き物の生息・生育環境を守るために、地球温暖化対策に取り組む	地域の生態系の保全のために、地元の食材を選ぶ（地産地消）	特に何も行わない	無回答
JR以南地域	110	14.5	11.8	0.9	41.8	17.3	15.5	21.8	8.2
片山・岸部地域	185	14.1	8.1	5.4	40.0	19.5	10.8	22.7	10.8
豊津・江坂・南吹田地域	227	18.9	7.5	6.2	41.4	18.5	16.7	20.7	9.3
千里山・佐井寺地域	242	17.8	6.2	5.0	52.1	25.6	19.8	15.7	4.5
山田・千里丘地域	304	19.4	7.2	5.6	38.8	21.4	20.7	20.4	6.6
千里ニュータウン・万博・阪大地域	243	18.1	7.8	4.5	41.2	23.0	17.7	19.8	8.2

問 47 吹田市では大阪府内等の木材利用に取り組むため、公共施設の木造化・木質化を進めようとしています。これについてどのように思いますか。(1つだけ○印)

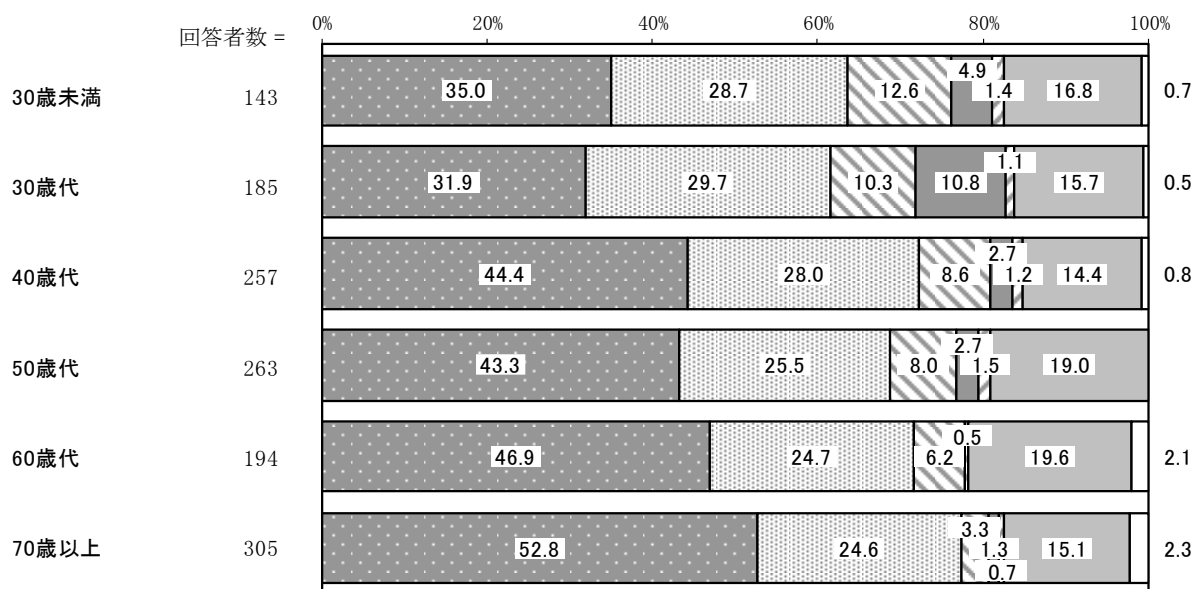
「良いことだと思う」と「ある程度良いことだと思う」をあわせた“良いことだと思う”の割合が70.3%、「あまり良いことだとは思わない」と「良いことだとは思わない」をあわせた“良いことだとは思わない”の割合が4.3%となっています。

図表 7-44 大阪府内等の木材利用について (単純回答)



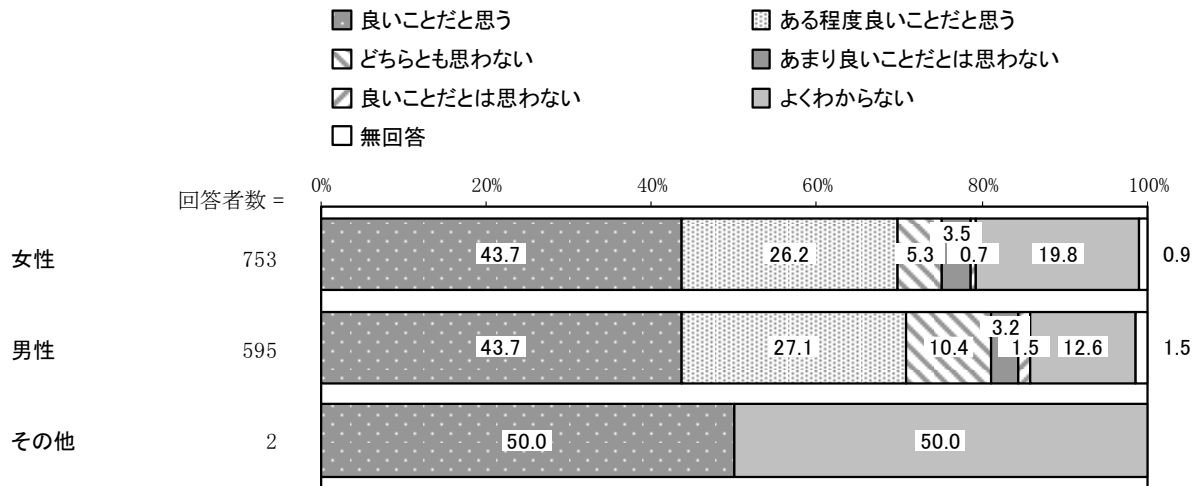
年齢別でみると、他に比べ、70歳以上で“良いことだと思う”の割合が高くなっています。また、30歳代で“良いことだとは思わない”の割合が高くなっています。

図表 7-45 大阪府内等の木材利用について (年齢別)



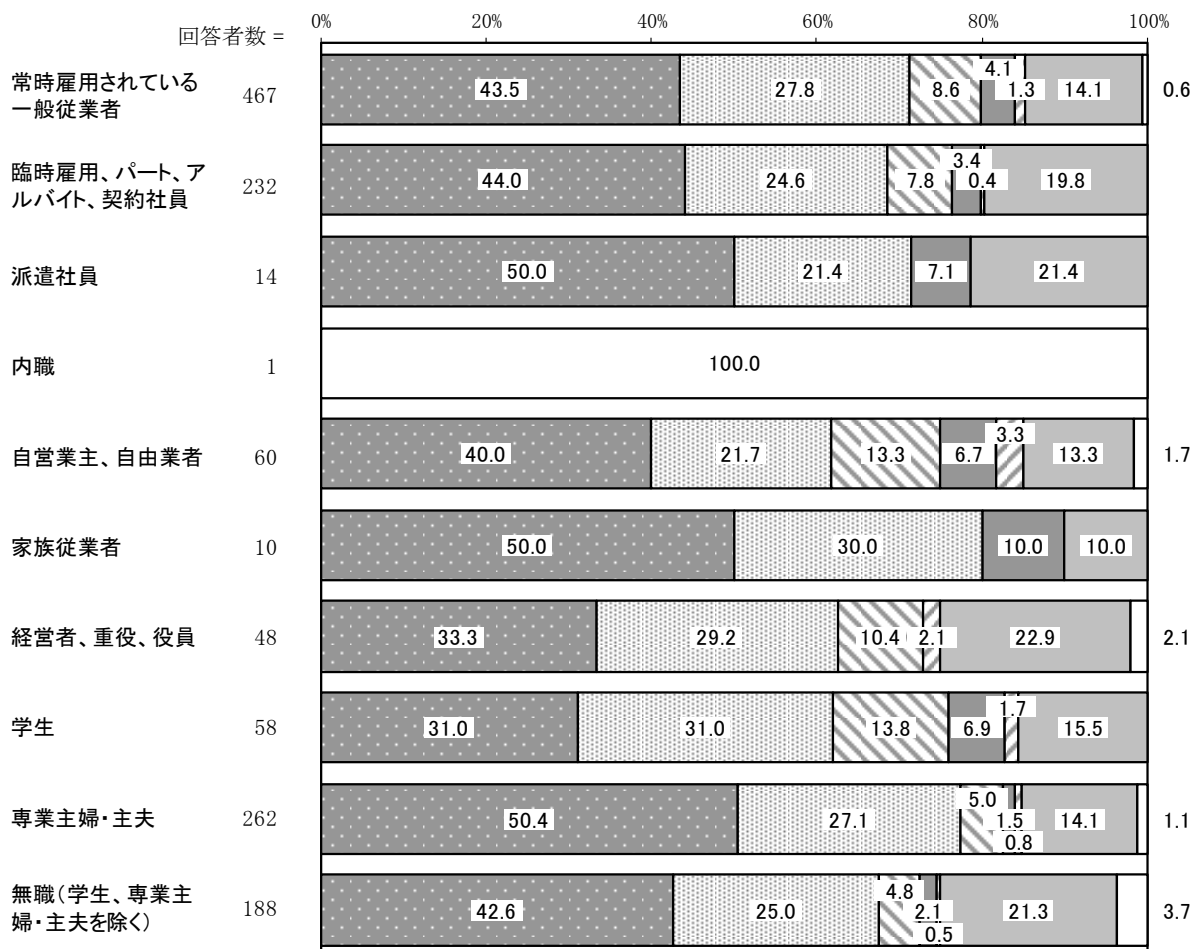
性別でみると、男性に比べ、女性で「よくわからない」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「どちらとも思わない」の割合が高くなっています。

図表 7-46 大阪府内等の木材利用について（性別）



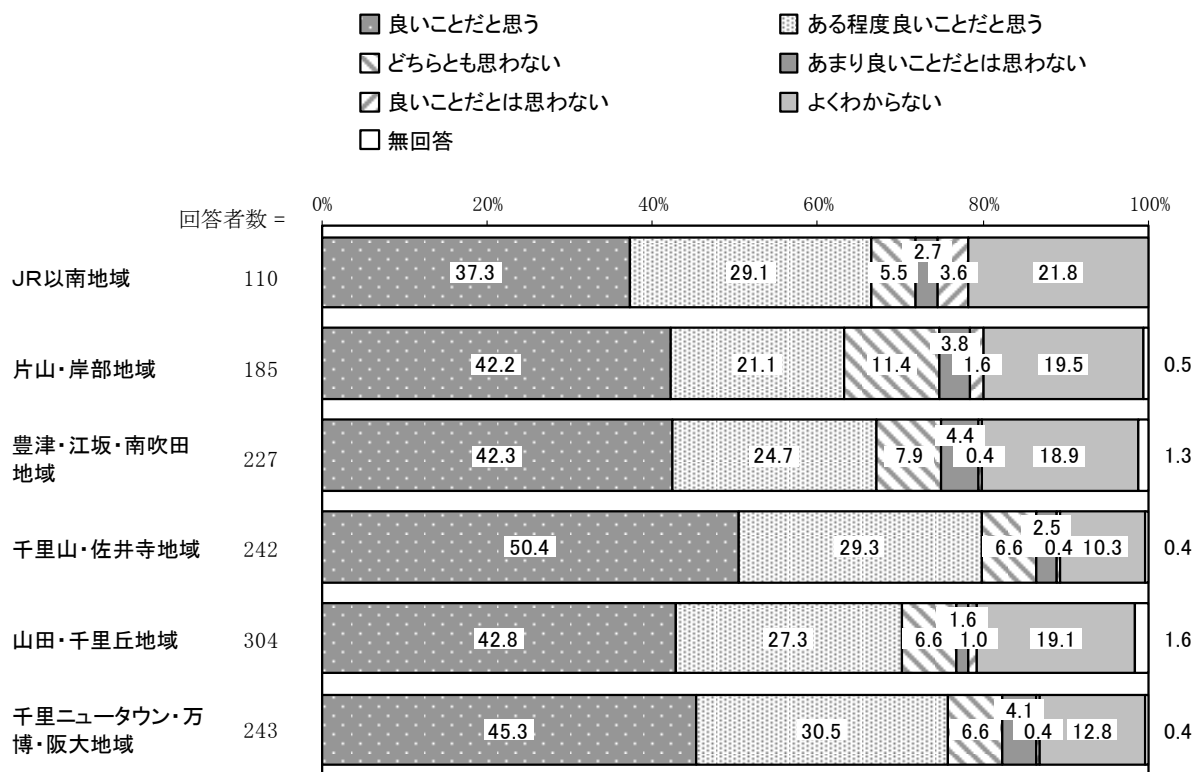
職業別でみると、他に比べ、家族従業者、専業主婦・主夫で“良いことだと思う”の割合が高くなっています。

図表 7-47 大阪府内等の木材利用について（職業別）



居住地域別で見ると、他に比べ、千里山・佐井寺地域で“良いことだと思う”の割合が高くなっています。

図表 7-48 大阪府内等の木材利用について（居住地域別）

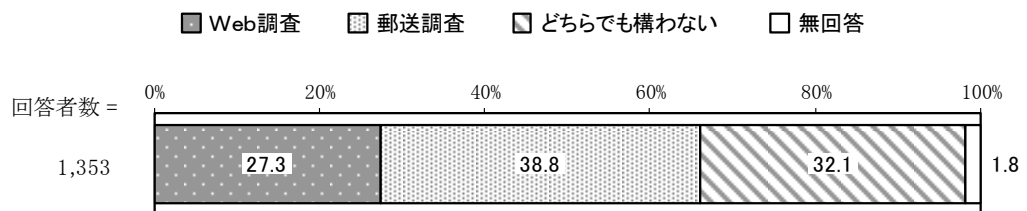


第8章 市政モニタリング調査について

問 48 現在、郵送にて回答していただく、郵送調査を実施しておりますが、今後、スマートフォンやパソコン等を用いてWeb上で回答していただく、Web調査の実施を検討しております。あなたは、Web調査と郵送調査のどちらが回答しやすいですか。(1つだけ〇印)

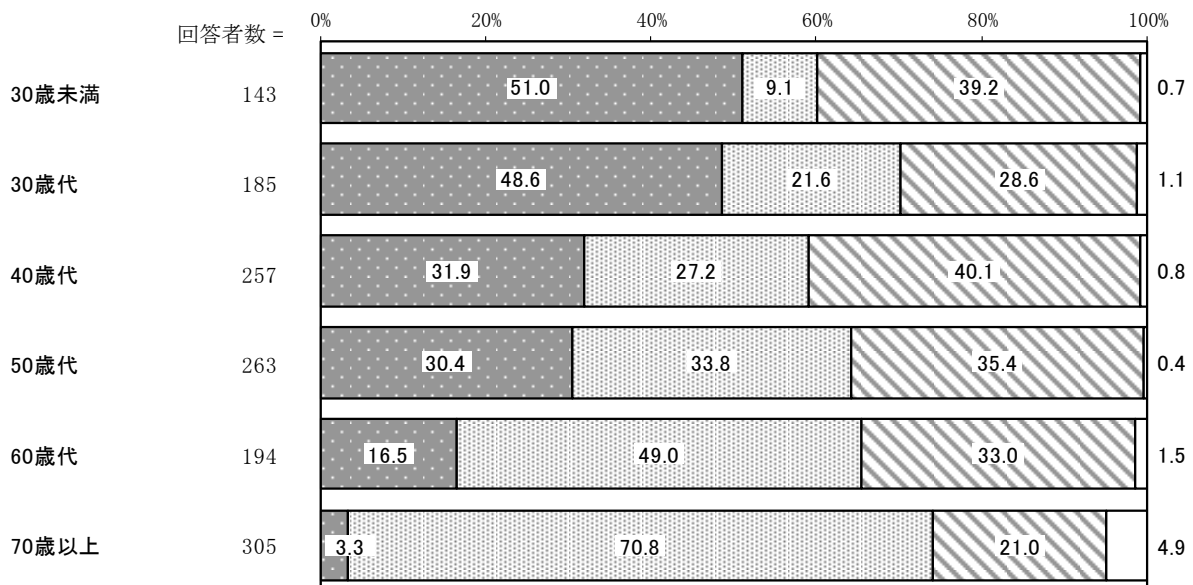
「郵送調査」の割合が38.8%と最も高く、次いで「どちらでも構わない」の割合が32.1%、「Web調査」の割合が27.3%となっています。

図表8-1 Web調査と郵送調査の方法について(単純回答)



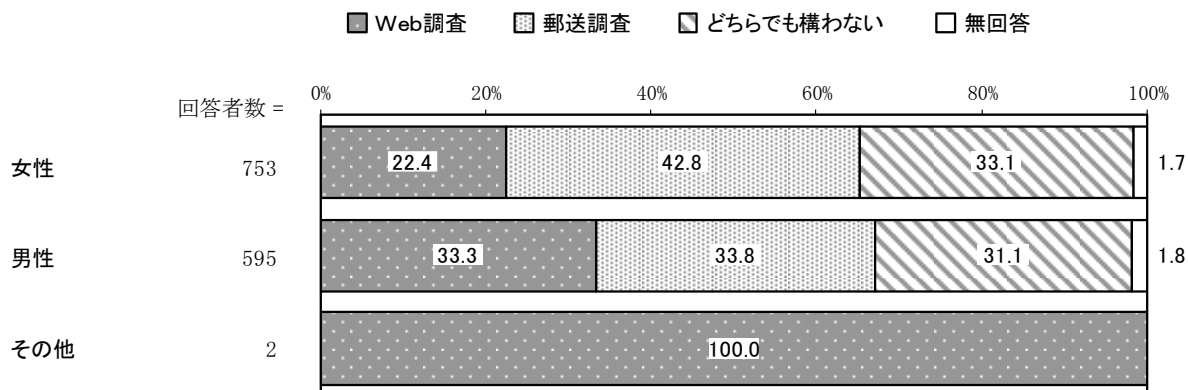
年齢別で見ると、年齢が低くなるにつれて「Web調査」の割合が高くなっています。

図表8-2 Web調査と郵送調査の方法について(年齢別)



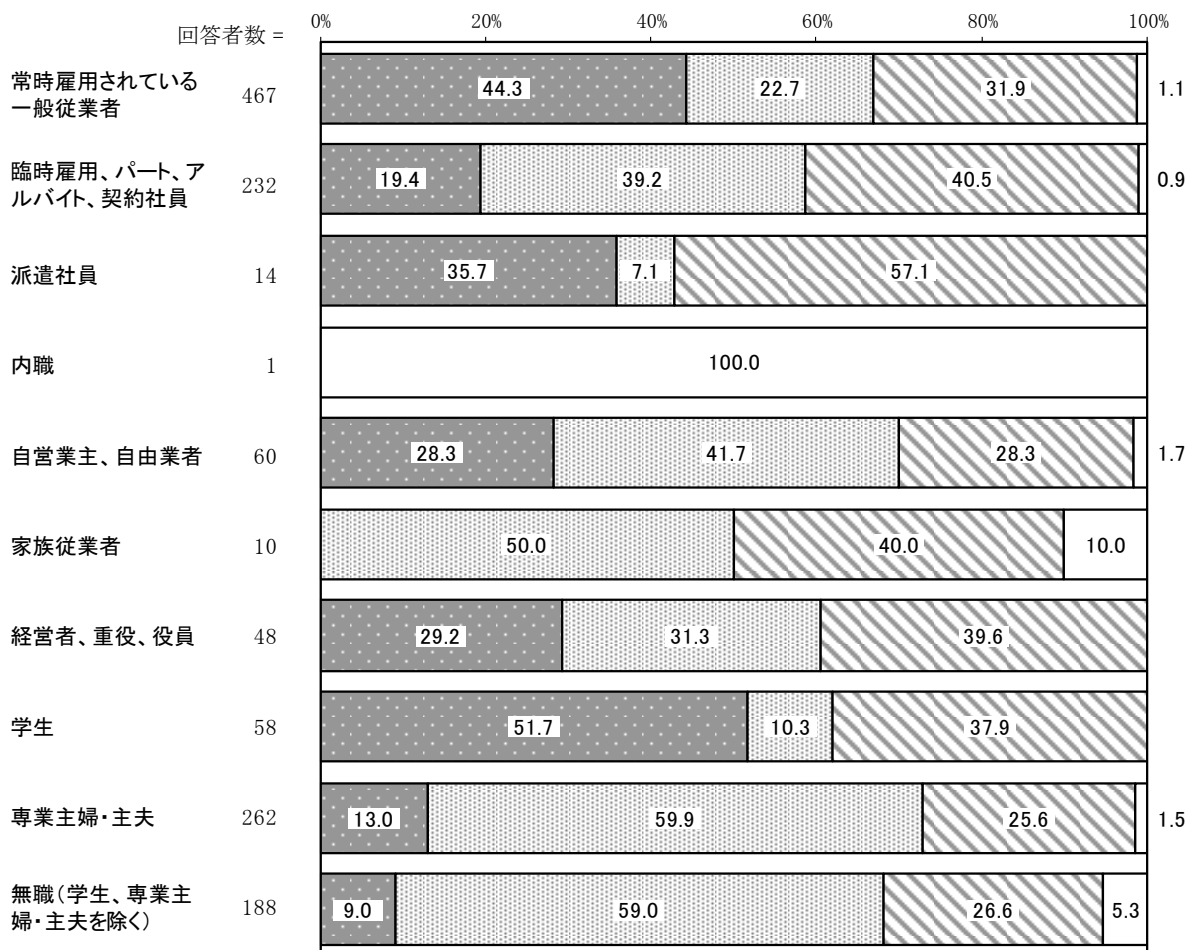
性別でみると、男性に比べ、女性で「郵送調査」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「Web調査」の割合が高くなっています。

図表 8-3 Web調査と郵送調査の方法について（性別）



職業別でみると、他に比べ、学生で「Web調査」の割合が高くなっています。また、専業主婦・主夫、無職（学生、専業主婦・主夫を除く）で「郵送調査」の割合が高くなっています。

図表 8-4 Web調査と郵送調査の方法について（職業別）



Ⅲ 調査に対する意見・感想

今回の調査に対する意見・感想を問49として自由記述形式で求めたところ、290人から回答を得られました。それを分類の上で計上した結果が下記の表です。1人の回答者が複数の回答を記入している場合もあるため、意見・感想の総数は295件となっています。

有効回答のうち、調査の実施に対して肯定的な意見・感想が53.9%、否定的な意見・感想が9.8%、その他の意見・感想が36.3%となっています。

表 調査に対する意見・感想

	%	件数		
		大分類	中分類	小分類
全 体	100.0	295	295	295
調査の実施に対して肯定的な意見・感想	53.9	159		
役に立つなら良い・参加できて良かった			64	
調査結果が行政に反映されることを期待する				14
調査は必要である				8
市政に関心を持つきっかけになった				14
参加できてよかった				10
その他				18
調査方法・内容			95	
調査内容を検討すべきである				15
質問の意味、意図がわかりにくい				7
調査結果を知りたい、公表すべき				8
回答のしかたがわかりにくい				0
他の調査方法を検討すべきである(WEB等)				17
一部回答できない箇所があった				2
謝礼が必要である				4
対象者数を増やすべきである				4
その他				38
調査の実施に対して否定的な意見・感想	9.8	29		
役に立つのか疑問・調査の目的がわからない・無駄			26	
どのように行政に反映されるのかわからない				6
調査の目的、質問の意図がわからない				12
調査の必要性を感じない、無駄である				8
負担・迷惑			3	
負担が大きい(量が多い)				3
その他	36.3	107	107	
市政に対する意見				72
その他				35

中分類についてみると、「調査方法・内容」についての意見・感想が95件で最も多く、次いで「役に立つなら良い・参加できて良かった」が64件となっています。

一方、「役に立つのか疑問・調査の目的がわからない・無駄」は26件、「負担・迷惑」が3件あり、調査実施に対して否定的な意見が合計29件です。

なお、「その他」(107件)では市政に対する意見のほか、環境問題や生活環境についての意見が挙げられています。

IV 調査票

令和2年度（2020年度）

吹田市市政モニタリング調査

《回答ご記入上の注意》

1. 宛名の方ご本人の回答をご記入ください。
2. ご記入は、黒のボールペン、濃い鉛筆、万年筆などをお願いします。
3. 匿名での調査の為、調査票や返信用封筒（切手不要）に氏名・住所などの個人情報に記載しないでください。
4. 回答は回答欄の番号に○印を、また、（ ）内は具体的にお書きください。
5. 各質問の中には、「いくつでも○印」「主なもの2つまで○印」等、質問によって○印の数が異なりますので、それにしたがってお答えください。
6. この調査票は両面印刷になっています。記入漏れのないようご注意ください。
7. 答えにくい質問にはお答えいただかなくても結構です。可能な範囲内で回答していただければ幸いです。
8. 回答のご記入が済みましたら、記入漏れがないかをご確認の上、9月30日（水）までに同封封筒にてご投函ください。（切手を貼る必要はありません。）

この調査票について不明な点がございましたら、下記へお問合せください。

〈お問合せ先〉

吹田市 市民部 市民総務室

〒564-8550 吹田市泉町1丁目3番40号

直通電話 06-6384-1378

F A X 06-6385-8300

吹田市のイメージキャラクター

すいたん



吹田市制施行80周年

吹田市地域一覧表

		地 域 名					
		J R以南 地域	片山・岸部 地域	豊津・江坂・ 南吹田地域	千里山・佐井寺 地域	山田・千里丘 地域	千里ニュー タウン・万 博・阪大地域
町 名	あ	1. 朝日町 2. 内本町	23. 朝日が丘町	37. 泉町 38. 江坂町 1～4丁目 39. 江の木町	48. 江坂町5丁目	67. 青葉丘北 68. 青葉丘南	86. 青山台
	か	3. 川岸町 4. 川園町 5. 寿町	24. 片山町 25. 上山手町 26. 岸部北 27. 岸部新町 28. 岸部中 29. 岸部南	40. 金田町	49. 春日	69. 樫切山	87. 上山田
	さ	6. 幸町 7. 昭和町 8. 吹東町 9. 末広町 10. 清和園町	30. 芝田町		50. 佐井寺 51. 佐井寺南が丘 52. 五月が丘北 53. 五月が丘西 54. 五月が丘東 55. 五月が丘南 56. 千里山霧が丘 57. 千里山高塚 58. 千里山竹園 59. 千里山月が丘 60. 千里山西 61. 千里山虹が丘 62. 千里山東 63. 千里山星が丘 64. 千里山松が丘	70. 清水 71. 尺谷 72. 新芦屋上 73. 新芦屋下 74. 千里丘上 75. 千里丘北 76. 千里丘下 77. 千里丘中 78. 千里丘西	88. 佐竹台 89. 千里万 博公園
	た	11. 高城町 12. 高浜町	31. 天道町 32. 出口町	41. 垂水町 42. 豊津町	65. 竹谷町		90. 高野台 91. 竹見台 92. 津雲台
	な	13. 中の島町 14. 西御旅町	33. 西の庄町			79. 長野西 80. 長野東	
	は	15. 東御旅町 16. 日の出町 17. 平松町	34. 原町 35. 藤が丘町	43. 広芝町 44. 穂波町			93. 藤白台 94. 古江台
	ま	18. 南正雀 19. 南清和園 町 20. 南高浜町 21. 目俵町 22. 元町		45. 南金田 46. 南吹田	66. 円山町		95. 桃山台
	や		36. 山手町	47. 芳野町		81. 山田市場 82. 山田北 83. 山田西 84. 山田東 85. 山田南	96. 山田丘

注) 江坂町は1～4丁目と5丁目地域が異なります。

あなたやあなたのご家族についてお尋ねします。

分析を行う上で、以下の質問が必要となります。すべて統計的に処理し、個人のお答えが特定されることは決してありませんので、ご記入いただきますようよろしくお願いいたします。

問1 あなたは、令和2年9月1日現在、何歳ですか。満年齢でご記入ください。

満 () 歳

問2 あなたの性別をお教えてください。(1つだけ○印) 無回答 0.2%

1. 女性 55.7% 2. 男性 44.0% 3. その他 0.1%

問3 あなたの主な職業は次のどれにあたりますか。(1つだけ○印) 無回答 1.0%

1. 常時雇用されている一般従業者		<u>34.5%</u>
2. 臨時雇用、パート、アルバイト、契約社員		<u>17.1%</u>
3. 派遣社員	<u>1.0%</u>	4. 内職 <u>0.1%</u>
5. 自営業主、自由業者	<u>4.4%</u>	6. 家族従業者 <u>0.7%</u>
7. 経営者、重役、役員	<u>3.5%</u>	8. 学生 <u>4.3%</u>
9. 専業主婦・主夫	<u>19.4%</u>	10. 無職(学生、専業主婦・主夫を除く) <u>13.9%</u>

問4 あなたの主な通勤・通学地はどこですか。自営業の方は自當地、主婦でパートなどをしている方はパート先をお答えください。(1つだけ○印) 無回答 13.7%

1. 大阪市	<u>22.6%</u>	2. 吹田市	<u>22.8%</u>	3. 豊中市	<u>3.6%</u>
4. 箕面市	<u>0.8%</u>	5. 池田市	<u>0.6%</u>	6. 茨木市	<u>2.5%</u>
7. 高槻市	<u>1.3%</u>	8. 摂津市	<u>1.3%</u>	9. その他の大阪府内	<u>3.8%</u>
10. 京都府	<u>2.1%</u>	11. 兵庫県	<u>2.1%</u>		
12. その他(具体的に:)					<u>3.5%</u>
13. 通勤・通学先はない	<u>19.4%</u>				

問5 あなたは、今、誰とお住まいですか。該当欄に、同居している方の人数をご記入ください。(あなたから見た続柄でお答えください。) 無回答 14.3%

配偶者については、有・無のいずれか1つだけに○印をつけてください。

無回答 5.5%

続柄	配偶者	祖父	祖母	父	母	兄弟	弟妹	子ども	孫	その他
人数	有 <u>66.9%</u> 無 <u>27.6%</u> <u>66.9%</u>	<u>0.4%</u>	<u>1.0%</u>	<u>9.5%</u>	<u>13.6%</u>	<u>3.3%</u>	<u>3.8%</u>	<u>45.7%</u>	<u>2.3%</u>	<u>2.7%</u>

問6 現在、あなたと同居しているご家族は、あなたを除いて何人ですか。該当欄に数字をご記入ください。

(中学生については、15歳であっても中学生欄に記入願います。) 無回答 15.4%

年齢	3歳未満	3歳以上 就学前	小学生	中学生	15 18 歳	19 24 歳	25 34 歳	35 44 歳	45 54 歳	55 64 歳	65 74 歳	75 84 歳	85 歳 以上
人数	5.6%	7.3%	12.9%	6.3%	9.5%	13.7%	12.9%	17.9%	23.9%	16.7%	14.6%	11.7%	2.5%

問7 あなたご自身とあなたの世帯全員の年間収入の合計はどれくらいですか。それぞれについてボーナスなども含めた額をお答えください。

下宿などで家計支持者と別居している方は、家計支持世帯の年間収入についてお答えください。(1つだけ○印)

【あなたご自身】 無回答 4.1%

1. 無収入	13.7%	2. 103万円未満	16.2%
3. 103~250万円未満	19.3%	4. 250~500万円未満	22.0%
5. 500~750万円未満	11.1%	6. 750~1,000万円未満	6.9%
7. 1,000万円以上	4.9%	8. わからない	1.8%

【あなたの世帯全員合計】 無回答 10.7%

1. 250万円未満	10.7%	2. 250~500万円未満	22.4%
3. 500~750万円未満	17.8%	4. 750~1,000万円未満	14.6%
5. 1,000~1,500万円未満	10.9%	6. 1,500万円以上	4.4%
7. わからない	8.5%		

問8 あなたが今、主として住んでいる住宅の種類は何ですか。(1つだけ○印)

無回答 1.9%

1. 持ち家(一戸建て、タウンハウス)	30.7%
2. 持ち家(マンション)	36.7%
3. 民間賃貸(一戸建て)	1.2%
4. 民間賃貸(マンション、アパート、文化住宅)	18.4%
5. 公団・公社(賃貸)	4.6%
6. 府営・市営(賃貸)	3.5%
7. 社宅・寮	2.2%
8. その他(具体的に:)	0.7%

あなたがお住まいの地域についてお尋ねします。

問 9 あなたは、現在どこにお住まいですか。1 ページの一覧表を参照し、お住まいの町の番号を次の記入欄に記入してください。なお、江坂町 1～4 丁目と 5 丁目は、別の番号が割り当てられています。ご注意ください。

お住まいの町の番号	
-----------	--

問 10 あなたのお住まいの地域はどこですか。1 ページの一覧表を参照し、次の中からお答えください。(1つだけ○印)

なお、江坂町 1～4 丁目と 5 丁目では地域が異なりますので、ご注意ください。

無回答 3.1%

1. JR以南地域	<u>8.1%</u>	2. 片山・岸部地域	<u>13.7%</u>
3. 豊津・江坂・南吹田地域	<u>16.8%</u>	4. 千里山・佐井寺地域	<u>17.9%</u>
5. 山田・千里丘地域	<u>22.5%</u>	6. 千里ニュータウン・万博・阪大地域	<u>18.0%</u>

問 11 あなたのお住まいの小校区はどこですか。(1つだけ○印) 無回答 9.3%

1. 吹田第一小	<u>2.1%</u>	2. 吹田第二小	<u>3.1%</u>
3. 吹田第三小	<u>3.8%</u>	4. 吹田東小	<u>1.3%</u>
5. 吹田南小	<u>2.4%</u>	6. 吹田第六小	<u>1.3%</u>
7. 千里第一小	<u>3.9%</u>	8. 千里第二小	<u>3.5%</u>
9. 千里第三小	<u>3.8%</u>	10. 千里新田小	<u>3.1%</u>
11. 佐井寺小	<u>2.7%</u>	12. 東佐井寺小	<u>2.7%</u>
13. 岸部第一小	<u>1.5%</u>	14. 岸部第二小	<u>2.4%</u>
15. 豊津第一小	<u>5.0%</u>	16. 豊津第二小	<u>2.5%</u>
17. 江坂大池小	<u>1.5%</u>	18. 山手小	<u>2.1%</u>
19. 片山小	<u>3.0%</u>	20. 山田第一小	<u>2.4%</u>
21. 山田第二小	<u>2.4%</u>	22. 山田第三小	<u>2.1%</u>
23. 山田第五小	<u>1.1%</u>	24. 東山田小	<u>2.9%</u>
25. 南山田小	<u>3.5%</u>	26. 西山田小	<u>3.0%</u>
27. 北山田小	<u>1.8%</u>	28. 千里丘北小	<u>1.3%</u>
29. 佐竹台小	<u>2.4%</u>	30. 高野台小	<u>1.5%</u>
31. 津雲台小	<u>2.4%</u>	32. 古江台小	<u>2.5%</u>
33. 藤白台小	<u>3.7%</u>	34. 青山台小	<u>1.6%</u>
35. 桃山台小	<u>3.3%</u>	36. 千里たけみ小	<u>1.2%</u>

問 12 あなたは、吹田市に住んで（通算）何年になりますか。（1つだけ○印）

無回答 1.0%

1. 1年未満	<u>3.8%</u>	2. 1～5年未満	<u>11.2%</u>
3. 5～10年未満	<u>10.6%</u>	4. 10～20年未満	<u>18.5%</u>
5. 20～30年未満	<u>15.4%</u>	6. 30～40年未満	<u>13.4%</u>
7. 40～50年未満	<u>14.3%</u>	8. 50年以上	<u>11.8%</u>

問 13 今住んでいる場所の直前には、あなたはどこに住んでいましたか。

（1つだけ○印） 無回答 3.1%

1. 生まれてからずっと同じところに住んでいる	<u>5.1%</u>
2. 吹田市内の別のところに住んでいた	<u>27.5%</u>
3. 近隣の市（豊中市、箕面市、池田市、茨木市、高槻市、摂津市）	<u>18.0%</u>
4. 大阪市 <u>14.9%</u>	5. その他の大阪府内 <u>7.8%</u>
6. 京都府内 <u>2.0%</u>	7. 兵庫県内 <u>5.8%</u>
8. その他（都道府県名等を具体的にお書きください） （ ）	<u>15.9%</u>

問 14 あなたは、現在お住まいのところにこれからも住み続けたいと思いますか。

（1つだけ○印） 無回答 1.0%

1. 今住んでいるところが気に入っているので、住み続けようと思っている	<u>61.7%</u>
2. できれば引っ越したいが、たぶんこのまま住み続けることになると思う	<u>10.8%</u>
3. できれば住み続けたいが、たぶん引っ越すことになると思う	<u>9.7%</u>
4. よそへ移りたいので、引っ越すことを考えている	<u>3.9%</u>
5. わからない	<u>12.9%</u>

問 15 生まれた場所に関係なく、あなたは吹田市を「私のふるさと」と思っていますか。

（1つだけ○印） 無回答 1.0%

1. いつも思っている	<u>30.8%</u>	2. ときどき思う	<u>26.9%</u>
3. あまり思わない	<u>30.4%</u>	4. まったく思わない	<u>10.9%</u>

1 防災について

問 16 あなたは、お住まいの地域の洪水ハザードマップを見たことがありますか。

(最もあてはまるものに1つだけ○印) 無回答 1.5%

- | | |
|-------------------------------|-------|
| 1. 見たことがある。住んでいる場所を確認している | 52.3% |
| 2. 見たことはあるが、住んでいる場所まで確認していない | 20.8% |
| 3. 見たことはない | 22.4% |
| 4. 住んでいる地域は水害がないので、ハザードマップはない | 1.8% |
| 5. ハザードマップという言葉自体を知らない | 1.2% |

問 17 あなたは、風水害の際に避難する場所や方法を決めていますか。

(最もあてはまるものに1つだけ○印) 無回答 1.3%

- | | |
|------------------------|-------|
| 1. 具体的に避難する場所や方法を決めている | 15.2% |
| 2. 大まかな避難の場所や方法を考えている | 46.7% |
| 3. ほとんど考えていない | 25.4% |
| 4. 避難することを考えていない | 11.4% |

問 18 あなたは、新型コロナウイルス感染症が収束しない中であって、風水害時に避難する場所や持ち物に関して意識していることはありますか。

(最もあてはまるものに1つだけ○印) 無回答 1.3%

- | | |
|--|-------|
| 1. これまでどおり、避難する場所や持ち物に変わりはない | 16.8% |
| 2. 感染症等が心配なので、安全な友人宅や親せき宅等に避難しようと思っている | 5.8% |
| 3. 感染症等が心配なので、感染を予防するものを避難所に持っていかようと思っている | 22.2% |
| 4. 感染症等が心配なので、自宅にとどまり、できるだけ避難しないでおこうと思っている | 38.4% |
| 5. そもそも、自分が避難することは考えていない | 15.5% |

問 19 あなたは台風や大雨の時、気象警報や避難情報などの情報をどこから入手しますか。

(いくつでも○印) 無回答 0.9%

- | | |
|---|-------|
| 1. テレビ | 89.7% |
| 2. ラジオ | 13.9% |
| 3. 行政職員（市職員、公共施設の職員等） | 1.2% |
| 4. 家族・親戚 | 14.6% |
| 5. 近所の人・友人・知人 | 9.8% |
| 6. 職場・仕事関係の人 | 7.1% |
| 7. インターネット（吹田市HP、気象庁HP、YAHOOやウェザーニューズ等） | 71.0% |
| 8. SNS（Twitter、facebook、LINE等） | 25.1% |
| 9. その他（ | 0.8% |

問 20 あなたは、地震や風水害などの災害に備えていることはありますか

(いくつでも○印) 無回答 1.8%

1. いつも風呂の水をためおきしている	16.4%
2. 食料や飲料水を準備している	56.7%
3. 持ち出し用に携帯ラジオ・衣類・毛布・懐中電灯・医薬品などを準備している	30.7%
4. 災害発生時に自分がどのような具体的な行動を取るべきか考えている	16.9%
5. 応急手当やAEDの使用方法を知っている	14.1%
6. 避難場所までの安全な避難経路を考えている	13.5%
7. 電気・水道・ガスなどのライフラインが止まった時の備えをしている	21.7%
8. 家族との連絡方法を決めている	20.9%
9. 防災訓練に積極的に参加している	7.2%
10. 近所に、災害時に助け合いができるような友人・知人・親戚がいる	18.2%
11. 自分や家族の健康が悪化した時の、通院・入院先を決めている	11.6%
12. 家が壊れた時の避難所以外の仮住まいの場所を決めている	3.9%
13. 耐震診断を行い、自分の家の危険度を把握している	4.3%
14. 自分の家のブロック塀を点検し、倒壊を防止している	2.3%
15. 家具や冷蔵庫などを固定し、倒壊を防止している	19.1%
16. ハザードマップを家の中で掲示している	2.0%
17. 地震保険・建物更生共済等に入っている	30.5%
18. 自治会等での災害対応における役割を担っている	1.8%
19. 近所の高齢者・要支援者の存在を把握している	4.1%
20. あてはまるものがない	11.1%

問 21 あなたは、お住まいの地域の防災訓練に参加したことがありますか。

(最もあてはまるものに1つだけ○印) 無回答 1.8%

1. ほぼ毎年のように参加している	6.1%
2. 何年かに1回は参加している	15.8%
3. 参加したことはほとんどない	12.0%
4. 参加したことはない	47.7%
5. 地域で防災訓練を行っているか、知らない	16.6%

2 パスポートセンターについて

問 22 あなたは吹田市にパスポートセンターがあることを知っていますか。

(1つだけ○印) 無回答 1.0%

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. 知っている 38.2% | 2. 知らない 60.8% |
|----------------|---------------|

問 23 あなたは吹田市パスポートセンターについて、次のことをご存知ですか。

(1つだけ○印) 無回答 3.7%

- | | |
|---|-------|
| 1. 吹田市に本籍がある人は、申請時に必要な戸籍謄(抄)本を同時に取得することができる | 11.5% |
| 2. 吹田市に住民票がなくても、郵便物などで住んでいることが証明できれば居所申請できる | 1.2% |
| 3. 1と2をどちらも知っている | 3.5% |
| 4. 1と2をどちらも知らない | 80.2% |

問 24 あなたは吹田市パスポートセンターの施設について、どの程度満足していますか。

(1つだけ○印) 無回答 4.1%

- | | |
|---|-------|
| 1. 施設の規模・質ともに満足している | 7.0% |
| 2. 施設の規模には満足しているが、質に不満がある
(具体的な理由:) | 0.4% |
| 3. 施設の質には満足しているが、規模に不満がある
(具体的な理由:) | 1.0% |
| 4. 施設の規模・質ともに不満である
(具体的な理由:) | 0.4% |
| 5. わからない | 87.0% |

問 25 吹田市パスポートセンターを利用したことがありますか。(1つだけ○印)

無回答 1.2%

- | | |
|-----------------------------|-------|
| 1. 利用したことがある | 9.3% |
| 2. 一度も利用したことがない → 【問 25-2へ】 | 89.5% |

問 25 で「1. 利用したことがある」と選択された方にお聞きします。

問25-1 窓口対応は満足 of いくものでしたか。(1つだけ○印) 無回答 1.6%

- | | |
|----------------|-------|
| 1. 非常に満足 | 33.3% |
| 2. どちらかといえば満足 | 46.0% |
| 3. どちらかといえば不満 | 3.2% |
| 4. 非常に不満(理由:) | 0.8% |
| 5. わからない | 15.1% |

問 25 で「2. 一度も利用したことがない」と選択された方にお聞きします。

問25-2 一度も利用したことがない理由を教えてください。

(いくつでも○印) 無回答 1.0%

1. 場所を知らない	35.9%	2. 遠くていけない	1.2%
3. 利用する必要がない	58.2%	4. 利用する時間がない	1.7%
5. その他(具体的に:)	9.1%
6. わからない	7.2%		

問 26 吹田市パスポートセンターの場所についてお聞きします。JR 吹田駅前にあるのは便利だと思いますか。(1つだけ○印) 無回答 2.2%

1. おおいにそう思う	14.9%	2. そう思う	39.8%
3. あまり思わない	19.1%	4. 全く思わない(理由:)	4.5%
5. わからない	19.6%		

問 27 吹田市パスポートセンターが開設して、便利になったと思いますか。

(1つだけ○印) 無回答 2.4%

1. おおいにそう思う	11.9%	2. そう思う	28.5%
3. あまり思わない	7.8%	4. 全く思わない(理由:)	2.6%
5. わからない	46.9%		

3 市民自治について

問 28 吹田市では、市民との協働を進めています。「協働」とは、市民及び市が、共通の目的を実現するため、それぞれの役割と責任を自覚しながら、お互いの立場を尊重し、協力することをいいます。この「協働」という言葉について、あなたはご存知でしたか。(1つだけ○印) 無回答 1.3%

1. 「協働」という言葉の内容を知っている	12.9%
2. 「協働」という言葉の内容までは知らないが、言葉は知っている	23.7%
3. 「協働」という言葉を知らない	62.1%

問 29 吹田市は平成 19 年 1 月に「協働」の理念などを定めた吹田市自治基本条例を施行しました。この条例についてご存知ですか。(1つだけ○印) 無回答 1.2%

1. 条例の内容を知っている	0.8%
2. 条例の内容までは知らないが、名前は知っている	11.1%
3. 条例の内容も名前も知らない	86.9%

問 30 多くの審議会では委員を市民から公募していますが、市民からの応募が少ないのが現状です。それはどういう理由からだと思えますか。(2つまで○印)

無回答 3.0%

1. 公募していることを知らない	57.5%
2. 何をするとところかがわからない	28.9%
3. 参加できる時間帯ではない	5.0%
4. 仕事などで参加する余裕がない	29.9%
5. 興味がない	22.8%
6. その他(具体的に:)	2.2%

問 31 あなたは、自治会に加入していますか。(1つだけ○印) 無回答 0.7%

※市民体育祭や地域の防災訓練に参加しているような自治会活動を行っている管理組合を含みます。

1. 加入している	51.0%
2. 加入していない →【問 31-3へ】	38.7%
3. わからない →【問 32へ】	9.5%

問 31 で自治会に「1. 加入している」と選択された方にお聞きします。

問31-1 あなたは、自治会の活動に満足していますか。(1つだけ○印) 無回答 0.4%

1. 満足している	15.8%	2. どちらかといえば満足している	44.9%
3. どちらかといえば不満である	9.4%	4. 不満である	4.6%
5. わからない	24.8%		

問 31-1 で自治会の活動に対し、「3. どちらかといえば不満である」、「4. 不満である」と選択された方にお聞きします。

問31-2 お差し支えなければ、その理由をご記入ください。(自由記述)

問 31 で自治会に「2. 加入していない」と選択された方にお聞きします。

問31-3 自治会に加入していない理由は何ですか。(いくつでも○印) 無回答 4.8%

1. 近所付き合いをしたくない	9.7%
2. 自治会費などが高い	3.8%
3. 役員を引き受けたくない	29.0%
4. 加入の仕方がわからない(きっかけがない)	26.3%
5. 加入するメリットがない	27.7%
6. 仕事が忙しく会議や行事などに参加できない	29.2%
7. 自分の住んでいる地域には自治会そのものがない	15.1%
8. その他(具体的に:)	15.1%

すべての方にお聞きします。

問 32 あなたは、自治会の必要性を感じていますか。(1つだけ○印) 無回答 3.7%

1. 必要である	20.8%	2. どちらかといえば必要である	33.3%
3. どちらかといえば必要ではない	12.7%	4. 必要ではない	5.5%
5. わからない	23.9%		

問 32 で自治会が「1. 必要である」「2. どちらかといえば必要である」と選択された方にお聞きします。

問32-1 あなたは、自治会の必要性をどのようなところに感じていますか。最も大切だと思えるものを教えてください。(1つだけ○印) 無回答 16.5%

1. 住民同士の親睦の場を提供してくれる	17.8%
2. 住民同士の助け合いを促進してくれる	18.2%
3. 近隣トラブルの解決を図ってくれる	2.3%
4. 地域清掃など良好な生活環境の維持に貢献している	12.8%
5. 地域の防災機能を担っている	7.7%
6. 地域の防犯機能を担っている	3.7%
7. 都市景観・街並みなど地域の景観を良好に維持するための機能を担っている	1.8%
8. 地域課題を解決するための話し合いの場となる	8.7%
9. 地域情報が入手できる	7.7%
10. その他(具体的に:)	0.8%
11. 特になし	2.0%

問 33 あなたは、次の項目について、どの程度満足していますか。また、今後の市民自治を進めるにあたってどの程度重要だと思いますか。

(「満足度」と「重要度」からそれぞれ1つずつ○印)

	満足度					重要度						
	満足している	どちらかといえば満足している	普通	どちらかといえば不満である	不満である	無回答	重要である	どちらかといえば重要である	今の程度で良い	どちらかといえば重要ではない	重要ではない	無回答
①地域課題や社会的な課題の解決のための市民、事業者、行政の協働	2.4%	8.1%	68.7%	6.9%	3.2%	10.8%	17.7%	23.9%	39.6%	3.1%	0.9%	14.9%
②市からの情報提供・公表	5.1%	14.6%	59.8%	6.4%	3.1%	11.0%	28.6%	19.4%	34.8%	2.1%	0.8%	14.3%
③市民参画の推進	2.1%	5.0%	70.7%	6.7%	3.1%	12.4%	12.0%	20.7%	47.0%	3.3%	1.1%	15.9%

問 34 吹田市には市民が相互に交流し、多様なコミュニティ活動を行う施設として、コミュニティセンターや市民センター、山田ふれあい文化センター、市民ホールといった「コミュニティ施設」を整備し、多目的ホールや会議室などの貸室の運営を行っています。

あなたはこれまで、「コミュニティ施設」の貸室を利用したことがありますか。

(1つだけ○印) 無回答 4.6%

- | | |
|--------------------------|-------|
| 1. 利用したことがある | 24.1% |
| 2. 利用したことがない → 【問 34-3へ】 | 71.3% |

問 34 で「1. 利用したことがある」と選択された方にお聞きします。

問34-1 あなたは、コミュニティ施設をどのくらいの頻度で利用していますか。最も近いものをお答えください。(1つだけ○印) 無回答 3.4%

- | | |
|----------------|-------|
| 1. 年1～3回 | 56.1% |
| 2. 月1～2回 | 13.8% |
| 3. 週1～2回 | 5.2% |
| 4. その他(具体的に:) | 21.5% |

問34-2 コミュニティ施設では、「午前」、「午後」、「夜間」の使用時間区分を基本とし、3時間単位又は4時間単位で使用の申込みを受け付けています。この使用時間区分を今後、1時間単位又は2時間単位に見直すことについて、あなたの考えに最も近い選択肢を選んでください。(1つだけ○印)

無回答 4.3%

- | | |
|------------------------------|-------|
| 1. 現状のままで良い(3時間単位又は4時間単位が良い) | 61.3% |
| 2. 1時間単位又は2時間単位が良い | 30.1% |
| 3. その他(具体的に:) | 4.3% |

問 34 で「2. 利用したことがない」と選択された方にお聞きします。

問34-3 あなたがコミュニティ施設を利用したことがない理由として当てはまるもの全てに○をつけてください。(いくつでも○印) 無回答 26.8%

- | | |
|------------------------------|-------|
| 1. 近くにコミュニティ施設がない | 7.1% |
| 2. 魅力的なサークル、講座がない | 9.0% |
| 3. 3時間単位又は4時間単位の使用時間区分が使いにくい | 0.3% |
| 4. 使用料が高い | 0.2% |
| 5. 忙しく時間がない | 15.6% |
| 6. 利用方法が分からない | 11.3% |
| 7. インターネットで申し込みができない | 2.4% |
| 8. 利用する機会がない | 54.8% |
| 9. その他(具体的に:) | 3.8% |

4 住みやすさについて

問 35 吹田市に暮らしていて、良いと思うところを聞かせてください。(3つまで○印)

無回答 8.5%

1. 交通の利便性	61.8%	2. 買い物の利便性	37.9%
3. 子育て環境	12.3%	4. 教育環境	8.8%
5. ショッピングモール、娯楽施設の充実	6.9%	6. 活気やにぎわい	1.1%
7. 景観や街並み	14.4%	8. 公園・緑地の充実	26.5%
9. 病院などの医療施設の充実	29.4%	10. 高齢対策など福祉環境の充実	2.0%
11. 安全性(防災・防犯)の高さ	9.4%	12. 住民の感じの良さ	7.2%
13. ガンバ大阪のホームタウン	3.0%	14. 住宅環境	16.8%
15. 市民活動が活発	0.3%		
16. その他(具体的に:)			1.7%

5 吹田市情報発信プラザ(Inforest すいた)について

問 36 本施設は、ららぽーと EXPOCITY の1階にある吹田市の情報発信拠点です。

これまで訪問したことがありますか。(1つだけ○印) 無回答 2.1%

1. 0回 81.2% 2. 1回 7.9% 3. 2~5回 6.3% 4. 6回以上 2.5%

問 36 で「2. 1回」「3. 2~5回」「4. 6回以上」と選択された方にお聞きします。

問 36-1 どのような目的で訪問されましたか。(いくつでも○印) 無回答 0.9%

1. 観光情報の収集	11.9%	2. チラシ、パンフレットなど配架物の収集	13.7%
3. 展示品の見学	30.1%	4. 商品の購入	13.7%
5. マンホールカードの入手	4.4%	6. たまたま立ち寄った	64.2%
7. その他(具体的に:)			4.0%

問 36-2 どのような感想をもたれましたか。(1つだけ○印)

	満足している	どちらかといえば満足している	普通	どちらかといえば不満である	不満である	無回答
1. チラシ、冊子など配架物	10.6%	19.0%	65.9%	1.8%	0.4%	2.2%
2. 展示品	10.2%	24.3%	59.3%	2.7%	0.4%	3.1%
3. スタッフの対応	10.2%	15.0%	69.9%	1.3%	0.9%	2.7%
4. 紹介している市内の魅力情報	7.1%	16.8%	68.1%	3.5%	1.3%	3.1%

問36-2で「4. どちらかといえば不満である」「5. 不満である」と選択された方にお聞きします。

問36-3 差し支えなければ、その理由をご記入ください。(自由記述)

問36で「2. 1回」「3. 2～5回」「4. 6回以上」と選択された方にお聞きします。

問36-4 本施設の情報をもとに、市内の観光スポット等を訪問されましたか。

(1つだけ○印) 無回答 38.5%

1. 訪問した 11.5% 2. 訪問していない 50.0%

6 ひきこもりについて

問37 あなたの家族(あなたご自身が対象者である場合も含みます。)に「ひきこもり」(過去6か月の間、外出していても家族以外の人とのコミュニケーションがほとんどない状態)の方がいますか。(1つだけ○印) 無回答 1.6%

1. いる 5.1% 2. いない → 【問38へ】 93.3%

問37-1から問37-10は問37で「1. いる」と選択された方に、その対象者についてお聞きします。

問37-1 対象者の方はいくつですか。(1つだけ○印) 無回答 26.1%

1. 14歳以下	1.4%	2. 15～19歳以下	10.1%
3. 20～24歳以下	4.3%	4. 25～29歳以下	10.1%
5. 30～34歳以下	7.2%	6. 35～39歳以下	4.3%
7. 40～44歳以下	4.3%	8. 45～49歳以下	2.9%
9. 50～54歳以下	5.8%	10. 55～59歳以下	1.4%
11. 60～64歳以下	1.4%	12. 65歳以上	20.3%

問37-2 性別はどちらですか。(1つだけ○印) 無回答 30.4%

1. 女性 20.3% 2. 男性 49.3% 3. その他 0.0%

問37-3 現在の状態になってからどのくらいの期間を経過していますか。

(1つだけ○印) 無回答 33.3%

1. 6か月以上1年未満	13.0%	2. 1～3年未満	13.0%
3. 3～5年未満	5.8%	4. 5～7年未満	4.3%
5. 7～10年未満	1.4%	6. 10年以上	29.0%

問37-4 どのようなきっかけで現在の状態になりましたか。(1つだけ○印)

無回答 39.1%

1. 不登校(小中学校)	10.1%	2. 不登校(高校以上)	4.3%
3. 受験の失敗	0.0%	4. 就職活動がうまくいかなかった	5.8%
5. 職場になじめなかった	2.9%	6. 人間関係がうまくいかなかった	2.9%
7. 病気	17.4%	8. 障がい	5.8%
9. その他(具体的に:)			11.6%

問37-5 最後に卒業もしくは中退した、または現在、在学している学校はどれですか。

(1つだけ○印) 無回答 34.8%

1. 中学校 在学	1.4%	2. 中学校 卒業	5.8%
3. 高等学校 在学	4.3%	4. 高等学校 中退	5.8%
5. 高等学校 卒業	13.0%	6. 専門学校 在学	0.0%
7. 専門学校 中退	1.4%	8. 専門学校 卒業	5.8%
9. 高等専門学校・短期大学 在学	0.0%	10. 高等専門学校・短期大学 中退	0.0%
11. 高等専門学校・短期大学 卒業	2.9%	12. 大学・大学院 在学	5.8%
13. 大学・大学院 中退	5.8%	14. 大学・大学院 卒業	11.6%
15. その他(具体的に:)			1.4%

問37-6 最後に就労した状況についてお答えください。(1つだけ○印)

無回答 29.0%

1. 正社員	17.4%	2. 契約社員 派遣社員又はパート・アルバイト	23.2%
3. 自営業・自由業	7.2%	4. 働いたことはない	23.2%

問37-7 普段ご自宅にいるときに、よくしていることすべてに○をつけてください。

(いくつでも○印) 無回答 10.1%

1. テレビを見る・ラジオを聴く	62.3%	2. 本を読む・新聞を読む	30.4%
3. PC・スマホを見る(動画を見る・音楽を聴く・ゲーム・SNSを含む)	47.8%		
4. 勉強をする	7.2%	5. 仕事をする	1.4%
6. 家事をする	36.2%	7. 育児をする	0.0%
8. 介護・看護をする	2.9%	9. 家族と会話をする	26.1%
10. その他(具体的に:)			2.9%

問37-8 現在、普段どのくらい外出しますか。(1つだけ○印) 無回答 15.9%

1. 自分の趣味に関する用事の時だけ外出する	39.1%
2. 近所のコンビニなどには出かける	31.9%
3. 自室からは出るが、家からは出ない	10.1%
4. 自室からほとんど出ない	2.9%

問37-9 現在、福祉サービス（介護・障がい等）を受けていますか。

（1つだけ○印） 無回答 10.1%

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. 受けている 14.5% | 2. 受けていない 75.4% |
|----------------|-----------------|

問 37-10 現在の状態について相談する意思がありますか。（いくつでも○印）

無回答 50.7%

- | | |
|---------------------------|-------|
| 1. 本人が現在相談している（積極的に相談したい） | 2.9% |
| 2. 家族が現在相談している（積極的に相談したい） | 7.2% |
| 3. 本人が可能であれば相談したい | 7.2% |
| 4. 家族が可能であれば相談したい | 8.7% |
| 5. 本人があまり相談したいと思わない | 10.1% |
| 6. 家族があまり相談したいとは思わない | 1.4% |
| 7. 本人が相談したいとは思わない | 14.5% |
| 8. 家族が相談したいとは思わない | 2.9% |
- 問 37-12 へ

問 37-10 で「1」～「4」と選択された方にお聞きします。

問37-11 相談機関への希望はありますか。（いくつでも○印） 無回答 11.8%

- | | |
|-------------------------------|-------------------------|
| 1. 無料相談できる 52.9% | 2. 親身になって話を聞いてくれる 35.3% |
| 3. 医学的な助言をくれる 35.3% | 4. 自宅へ訪問してくれる 29.4% |
| 5. 家族会や当事者会など同じ状況の人と話せる 23.5% | |

問 37-10 で「5」～「8」と選択された方にお聞きします。

問37-12 相談したくない理由は何ですか。（いくつでも○印） 無回答 0.0%

- | | |
|-------------------------------|-------|
| 1. 解決できないのではないかと
思う | 17.6% |
| 2. 上手く話ができない | 17.6% |
| 3. 人に知られたくない | 11.8% |
| 4. どのような相談機関があるか
分からない | 17.6% |
| 5. 経済的な負担が心配 | 0.0% |
| 6. 困っていない、相談の必要が
あると思っていない | 52.9% |
| 7. かつて相談して解決に至ら
なかった | 11.8% |

すべての方にお聞きします。

問 38 あなたが、次の相談機関のうち知っているものはどれですか。（いくつでも○印）

無回答 17.4%

- | | |
|------------------------------|----------------------|
| 1. 子ども・若者総合相談センター（ぷらっとるーむ吹田） | 4.0% |
| 2. 教育センター 11.0% | 3. ニート・ひきこもり相談 2.4% |
| 4. JOBナビ吹田 9.3% | 5. 吹田子ども家庭センター 9.0% |
| 6. 吹田市保健所 74.4% | 7. 民間NPO 5.0% |
| 8. 生活困窮者自立支援センター 7.8% | 9. 社会福祉協議会（社協） 24.8% |
| 10. 障がい者相談支援センター 20.5% | |

7 地球環境問題(地球温暖化、生物多様性等)について

問 39 あなたは、地球温暖化についてご存知ですか。また、重要な問題だと思いますか。(1つだけ○印) 無回答 1.8%

1. 知っており、重要な問題だと思う	86.6%
2. 知っているが、重要な問題だと思わない	5.3%
3. あまりよく知らない	5.8%
4. 全く知らない	0.4%

問 40 あなたは、ご家庭でどのような省エネ行動を行っていますか。(いくつでも○印)

無回答 3.9%

1. 照明やテレビ、パソコンは使用しないときには電源をOFFにしている	65.8%
2. 電気ポットや炊飯器は長時間使用しないときにはプラグを抜いている	34.6%
3. 冷蔵庫のドアの開け閉めを減らし、つめこみすぎないようにしている	38.1%
4. エアコンやファンヒーターは適切な設定温度にしている	71.0%
5. カーテンやすだれを活用している	55.4%
6. 家族で間隔を空けずに入浴するようにしている	23.5%
7. ふんわりアクセルなどのエコドライブをしている	17.0%
8. エコマーク商品などの環境に配慮した商品を購入するようにしている	8.0%
9. その他(具体的に:)	2.1%

問 41 数万円程度で自宅のベランダ等にご自身で設置ができ、災害(停電)時にも役立つ、太陽光パネルを使用した家庭用発電装置についてお聞かせください。

(1つだけ○印) 無回答 3.4%

1. すでに設置済みである	1.8%
2. 知っており、興味がある	11.8%
3. 知っているが、興味はない	25.9%
4. 知らなかったが、興味がある	37.6%
5. 知らないし、興味もない	19.4%

問 42 電力の小売が全面自由化されました。電力の契約先を変更する予定はありますか。(1つだけ○印) 無回答 3.7%

1. すでに変更済みである	25.2%	2. 予定がある	0.9%
3. 検討中である	6.4%	4. 予定はない	48.3%
5. わからない	15.4%		

問42で「1. すでに変更済みである」「2. 予定がある」「3. 検討中である」と選択された方にお聞きします。

問42-1 電力の契約先を変更する場合、どのような基準で電力会社を選択しますか(選択しましたか)。(主なもの2つまで○印) 無回答 4.1%

1. 環境への配慮	8.4%	2. 料金の安さ	76.1%
3. 料金プランの豊富さ	17.3%	4. 電力会社のイメージ	17.5%
5. その他(具体的に:)			6.1%
※市が再生可能エネルギー導入拡大のため実施している「市民向けの電気の切替キャンペーン」で変更した方は、こちらにその旨を記載してください。			
6. わからない	2.5%		

問 43 夏の暑さをしのぐために、普段どのようなことをしていますか。

(いくつでも○印) 無回答 1.0%

1. 帽子をかぶる	48.1%	2. 日傘を使う	45.9%
3. 首や額を冷やす	25.2%	4. 飲み物をこまめに飲む	80.7%
5. うちわや扇子を使う	36.7%	6. 衣服を工夫する	50.6%
7. その他(具体的に:)			3.0%
8. 何もしていない	2.5%		

問 44 熱中症の危険度を把握するために、どのような情報を参考にしていますか。

(いくつでも○印) 無回答 1.2%

1. 気温	85.4%	2. 湿度	44.4%
3. 暑さ指数 WBGT	7.2%		
4. ニュース、天気予報等のコメント(主に数値以外の情報)			69.7%
5. その他(具体的に:)			0.6%
6. 何も参考にしていない	3.1%		

問 45 あなたは、生物多様性についてご存知ですか。また、重要な問題だと思いますか。(1つだけ○印) 無回答 1.8%

1. 知っており、重要な問題だと思う	26.5%
2. 知っているが、重要な問題だと思わない	3.2%
3. あまりよく知らない	46.0%
4. 全く知らない	22.5%

問 46 生物多様性に配慮した行動として、どのようなことであれば行いたいと思いますか。(主なもの2つまで○印) 無回答 8.1%

1. 身近な生き物の観察や外で積極的に自然に触れる	17.7%
2. エコツアー（自然体験）に参加する	7.7%
3. 生物多様性の調査・保全活動（外来種の駆除等）に参加する	4.9%
4. 生き物を最後まで責任をもって育てる	42.4%
5. 気候変動から生き物の生息・生育環境を守るために、地球温暖化対策に取り組む	21.2%
6. 地域の生態系の保全のために、地元の食材を選ぶ（地産地消）	17.1%
7. 特に何も行わない	20.0%

問 47 吹田市では大阪府内等の木材利用に取り組むため、公共施設の木造化・木質化を進めようとしていますが、これについてどのように思いますか。（1つだけ○印）

無回答 1.2%

1. 良いことだと思う	43.8%	2. ある程度良いことだと思う	26.5%
3. どちらとも思わない	7.5%	4. あまり良いことだとは思わない	3.3%
5. 良いことだとは思わない	1.0%	6. よくわからない	16.6%

市政モニタリング調査についてお尋ねします。

問 48 現在、郵送にて回答していただく、郵送調査を実施しておりますが、今後、スマートフォンやパソコン等を用いてWeb上で回答していただく、Web調査の実施を検討しております。

あなたは、Web調査と郵送調査のどちらが回答しやすいですか。

(1つだけ○印) 無回答 1.8%

1. Web調査	27.3%
2. 郵送調査	38.8%
3. どちらでも構わない	32.1%

問 49 最後に、この調査に対してご意見・ご感想等ございましたらご記入ください。

(自由記述)

以上で終わりです。お忙しい中、ご協力いただき、ありがとうございました。
お手数ですが、記入漏れがないかご確認の上、返信用封筒（切手不要）にてご返送ください。

令和2年度（2020年度）
吹田市市政モニタリング調査報告書

令和3年（2021年）3月

発行：吹田市 市民部 市民総務室

所在地：〒564-8550

大阪府吹田市泉町1丁目3番40号

TEL：06-6384-1378（直通）

FAX：06-6385-8300